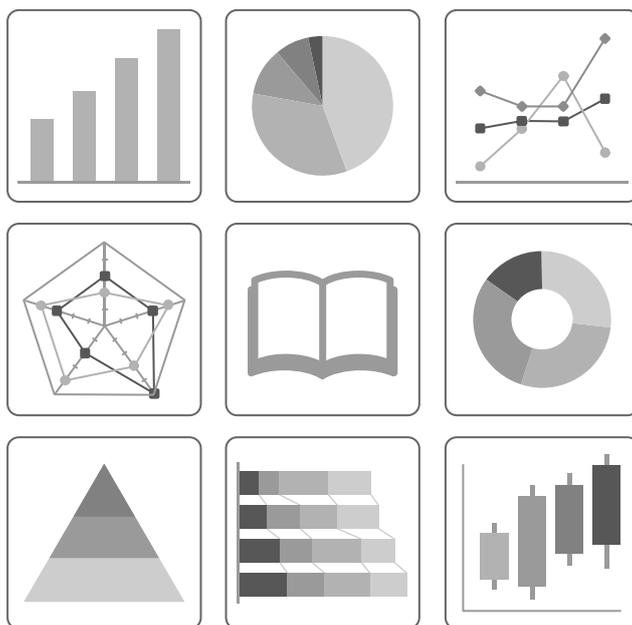


# 刈谷市

## 障害福祉計画・障害児福祉計画策定にかかる アンケート調査結果報告書



令和3年3月

刈 谷 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>アンケートから読み取れる障害福祉施策へのニーズ</b> .....	<b>2</b>
1	障害福祉サービスへのニーズ .....	2
2	地域生活支援事業等へのニーズ .....	2
3	障害児支援へのニーズ .....	3
4	権利擁護等の支援へのニーズ .....	3
5	災害時支援へのニーズ .....	3
<b>III</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>4</b>
1	回答者属性 .....	4
2	障害の状況について .....	21
3	生活支援について .....	30
4	日中活動や雇用・就労について .....	32
5	相談相手について .....	45
6	障害福祉サービス等について .....	47
7	権利擁護について .....	110
8	災害時のことについて .....	116
9	障害のある子どもの療育・教育・就学について .....	119



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

令和2年6月26日現在、刈谷市に居住している障害者手帳所持者及び障害福祉サービス等利用者から無作為に抽出

## 3 調査期間

令和2年7月3日から令和2年7月27日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,000通	652通	65.2%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## Ⅱ アンケートから読み取れる障害福祉施策へのニーズ

### 1 障害福祉サービスへのニーズ

○サービスの利用状況別に見た障害福祉サービス等の利用予定（P98、問 38 利用状況別）をみると、短期入所（ショートステイ）を利用している人のうち 32.1%が今よりも利用を増やす予定であり、今後も利用が増加していくことがうかがえます。

福祉サービスに対する多様なニーズが見られる中、障害のある人の個々のニーズや実態に応じて適切な支援が行えるよう、居宅介護や生活介護、短期入所などの在宅サービスの量的・質的な充実が必要です。

○今後 3 年以内で希望する暮らし方（P31、問 24）をみると、「自宅で家族と一緒に暮らしたい」の割合がいずれの障害も 60%を超えており、全体でも 77.8%と最も高くなっています。一方で、知的障害のある人で「グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい」、精神障害のある人で「自宅でひとり暮らしをしたい」という希望も一定程度存在します。

グループホームの利用が増加する中で、今後の利用意向も多く、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、本人の生活を地域で支えるグループホームなどの整備が引き続き求められます。

○今後の収入を得る仕事への意向（P41、問 32）をみると、仕事をしていない 18～64 歳の人のうち、知的障害のある人では 34.9%、精神障害のある人では 55.8%が「仕事をしたい」と考えており、就労意欲に応えられるよう、就労支援サービスの充実に対するニーズがうかがえます。

○就労支援に必要なもの（P42、問 34）として、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「職場の障害者理解」の割合が高くなっています。特に、精神障害のある人で「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」の割合が高くなっています。

企業と就労する障害のある人をマッチングさせ、就労後も働き続けるために、就労準備支援等による効果的な就労移行支援、ジョブコーチ等による就労定着支援の一層の推進が求められます。

### 2 地域生活支援事業等へのニーズ

○障害福祉サービス等の利用予定（P98、問 38 利用状況別）をみると、日中一時支援事業を利用している人のうち、76.3%が「今と同じくらい利用する予定」、16.9%が「今よりも利用を増やす予定」と回答しており、今後も利用は増加することが見込まれます。

また、外出の際に困ること（P37、問 29）について、「困った時にどうすればいいのか心配」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「公共交通機関が少ない（ない）」の割合が 17.5%、「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」の割合が 13.5%となっており、外出の支援に対するニーズもうかがえます。

今後も、日常生活における困りごとの相談への対応や生活を支援するサービスの充実が求められます。

### 3 障害児支援へのニーズ

- 現在利用しているサービスの中で、特に充実・改善してほしいもの（P131、問 50）をみると、「放課後等デイサービス」の割合が 50.8%と最も高くなっています。また、障害児支援の利用予定（P130、問 49 利用状況別）をみると、現在放課後等デイサービスを利用していない人のうち、24.1%が今後の利用を希望していることから、今後も利用は増加していくことがうかがえ、量と質の確保が求められています。
- 医療的ケアの状況（P27、問 20）をみると、障害のある子どもの 16.3%が「受けている」と回答しています。こうした医療的ケアが必要な児童については、関係機関が連携した総合的な支援体制を構築するとともに、医療的ケア児及び重症心身障害児を対象とする児童発達支援や放課後等デイサービスの事業実施への支援が必要です。

### 4 権利擁護等の支援へのニーズ

- 障害があることで差別や嫌な思いをした経験（P110、問 40）をみると、「ある」と、「少しある」の割合をあわせて 49.7%となっており、2人に1人が差別や嫌な思いをした経験があるという結果となっています。また、他に比べ、障害のある子どもで「少しある」の割合が高くなっています。障害者基本法や障害者差別解消法の目的とする共生社会の実現に向けて、差別や偏見の解消のための周知啓発や市民の障害への理解を深めるため、多様な機会を通じて地域住民とふれあうとともに、さらに、障害のある人が積極的に社会活動に参画できるよう支援していく必要があります。
- 成年後見制度の認知度（P114、問 44）をみると、「制度を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「制度も内容も知らない」の割合が 30.7%となっています。また、知的障害のある人で「制度も内容も知らない」の割合が高くなっています。今後、成年後見制度の利用を促進すべく、制度の周知や制度利用のための支援に取り組んでいくことが必要です。

### 5 災害時支援へのニーズ

- 火事や地震等の災害時の避難状況（P116、問 46、47）をみると、一人で避難「できない」の割合が 44.9%となっています。また、家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所に助けられる人が「いない」の割合が 37.0%となっています。今後、災害発生時の迅速かつ適切な情報提供、避難支援体制の強化が求められます。
- 火事や地震等の災害時に困ること（P118、問 48）をみると、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が 52.5%と最も高く、「投薬や治療が受けられない」の割合も 37.7%と高くなっています。避難生活における安全・安心の確保等に向け、福祉避難拠点の整備や地域住民が主体となった避難所ごとの管理運営体制の構築など、地域全体で取り組んでいくことが必要です。

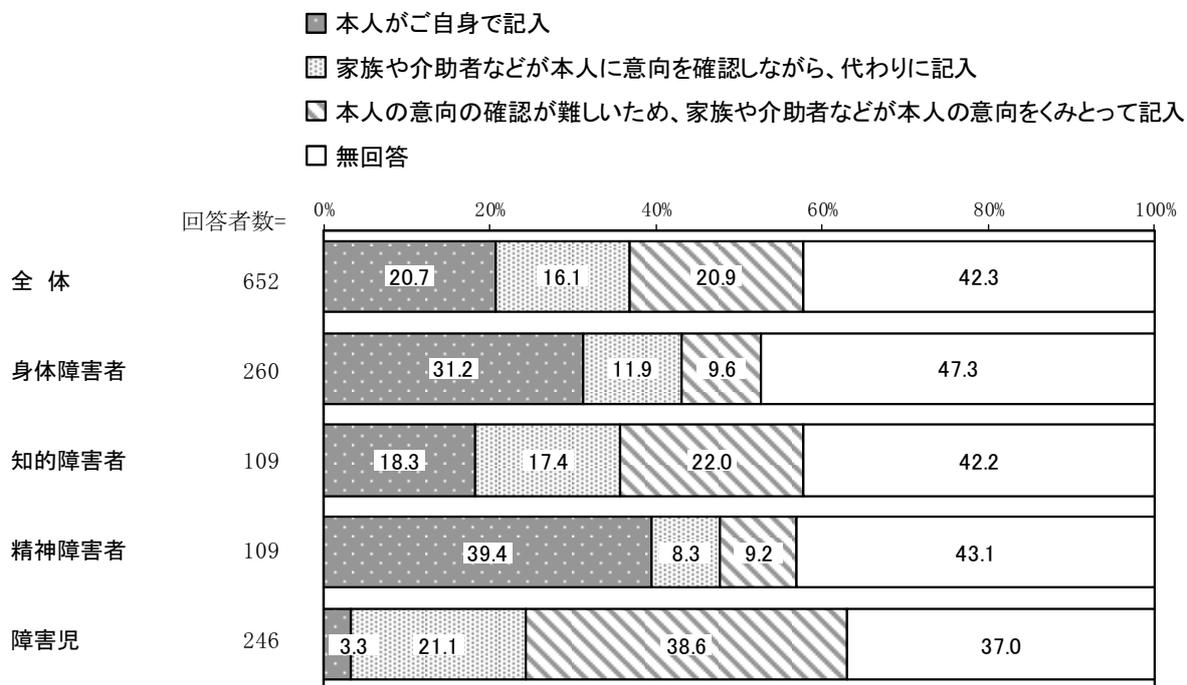
### Ⅲ 調査結果

#### 1 回答者属性

問1 このアンケートの記入方法について、あてはまるものをお答えください。(〇は1つだけ)

「本人の意向の確認が難しいため、家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入」の割合が20.9%と最も高く、次いで「本人がご自身で記入」の割合が20.7%、「家族や介助者などが本人に意向を確認しながら、代わりに記入」の割合が16.1%となっています。

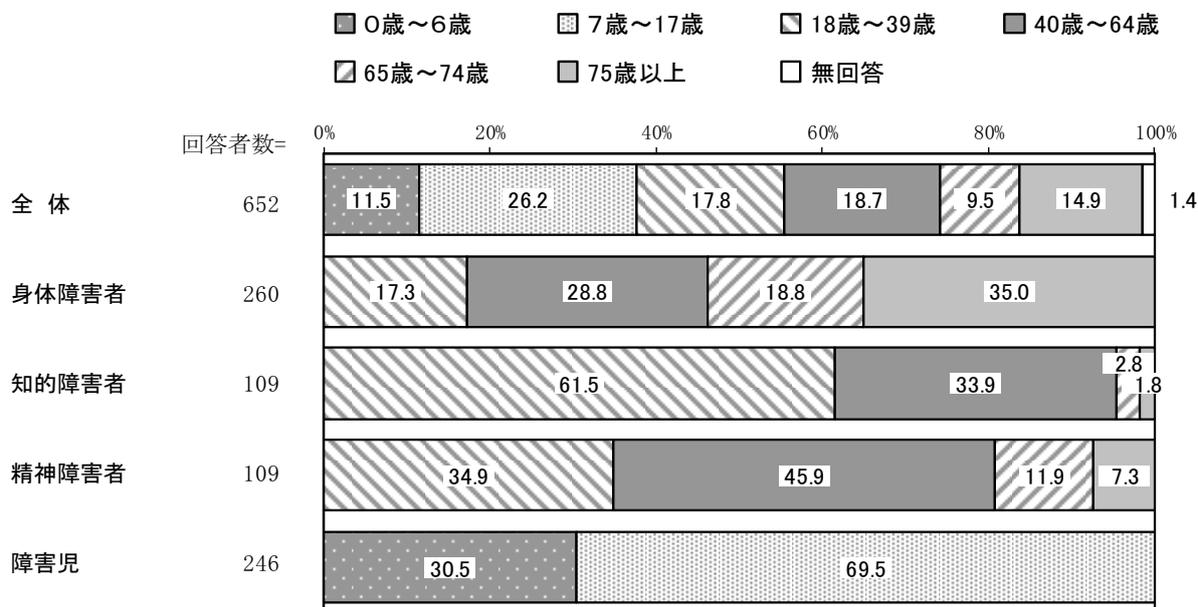
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「本人がご自身で記入」の割合が、障害のある子どもで「本人の意向の確認が難しいため、家族や介助者などが本人の意向をくみとって記入」の割合が高くなっています。



**問2 あなたの年齢をお答えください。(数字を記入) ※令和2年4月1日現在**

「7歳～17歳」の割合が26.2%と最も高く、次いで「40歳～64歳」の割合が18.7%、「18歳～39歳」の割合が17.8%となっています。

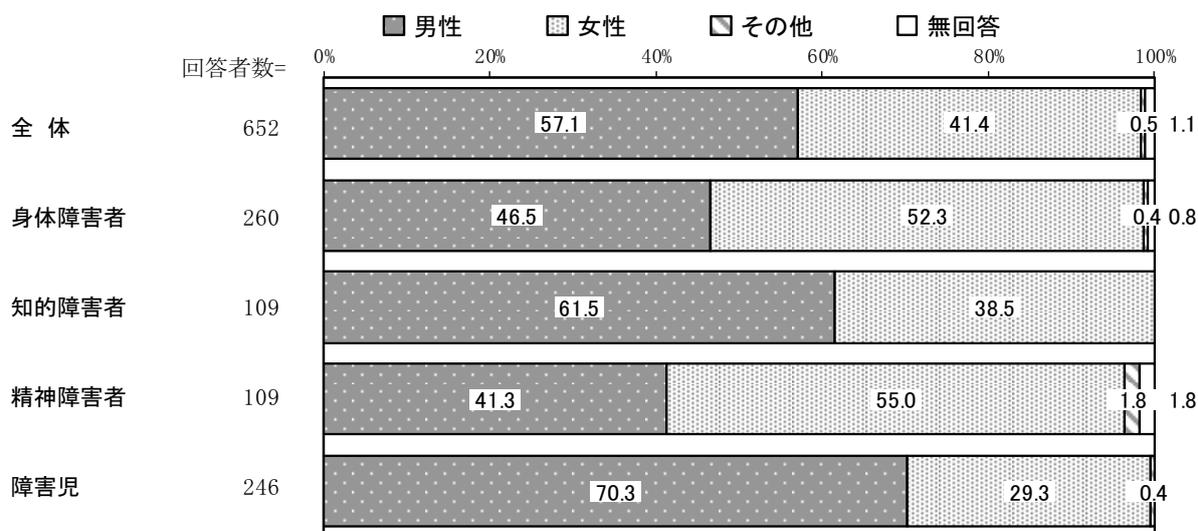
障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「75歳以上」の割合が、知的障害のある人で「18歳～39歳」の割合が高くなっています。また、精神障害のある人で「40歳～64歳」の割合が高くなっています。



**問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)**

「男性」の割合が57.1%、「女性」の割合が41.4%となっています。

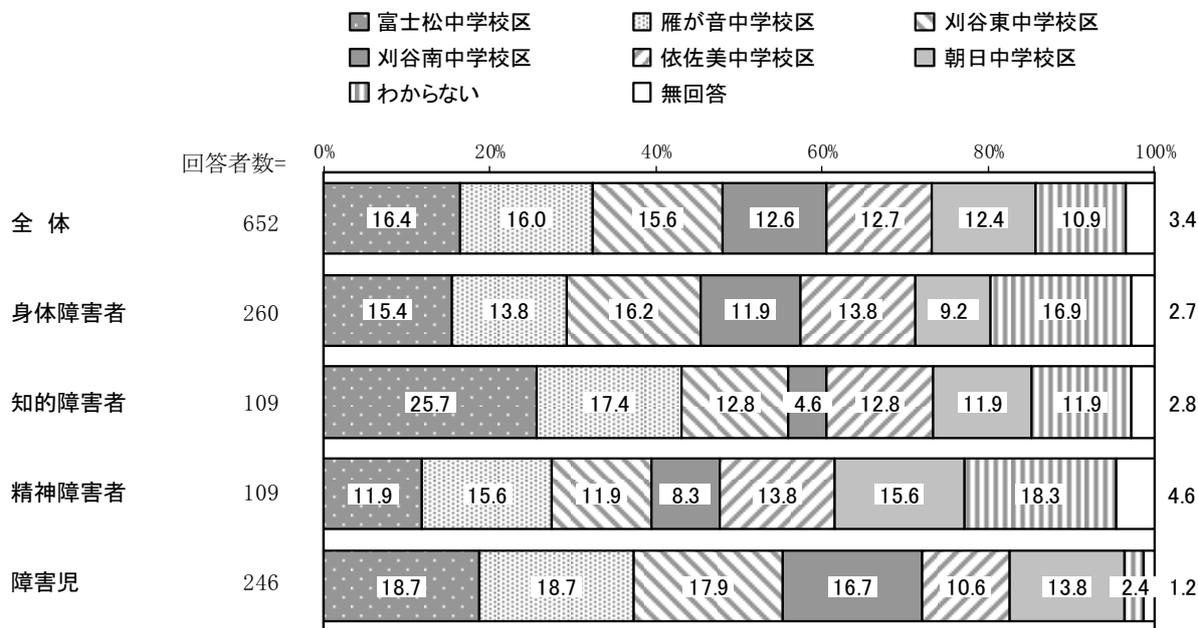
障害別でみると、他に比べ、障害のある子どもで「男性」の割合が高くなっています。



**問4 あなたの居住地（中学校区別）は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）**

「富士松中学校区」の割合が16.4%と最も高く、次いで「雁が音中学校区」の割合が16.0%、「刈谷東中学校区」の割合が15.6%となっています。

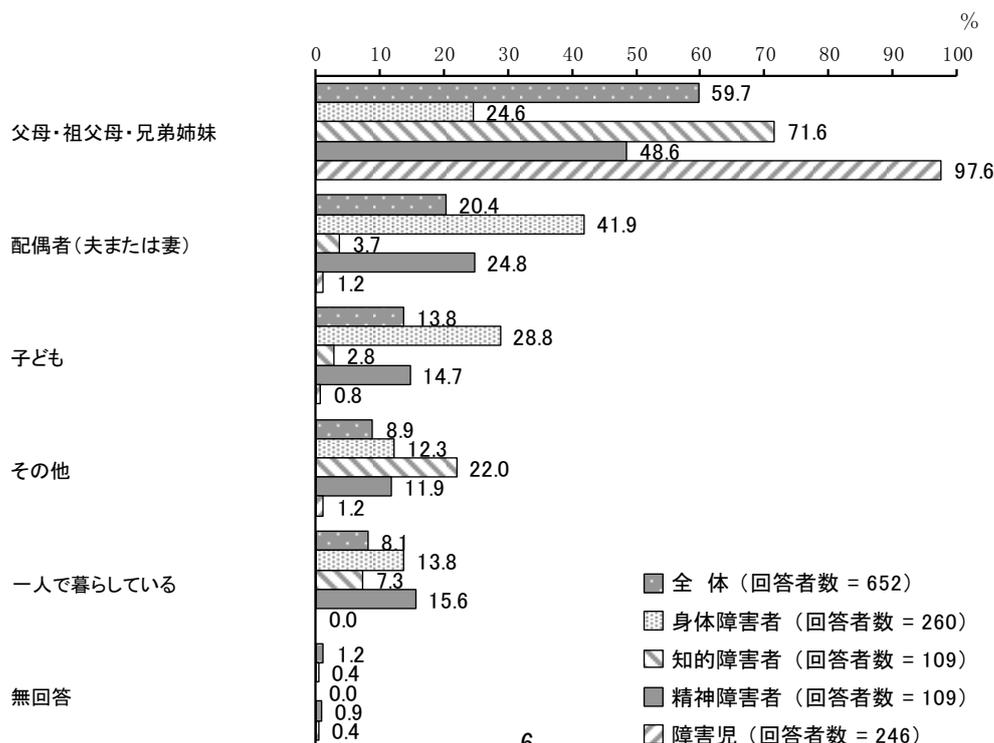
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「富士松中学校区」の割合が高くなっています。



**問5 いま、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）**

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が59.7%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」の割合が20.4%、「子ども」の割合が13.8%となっています。

障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人、精神障害のある人で「一人で暮らしている」の割合が高くなっています。

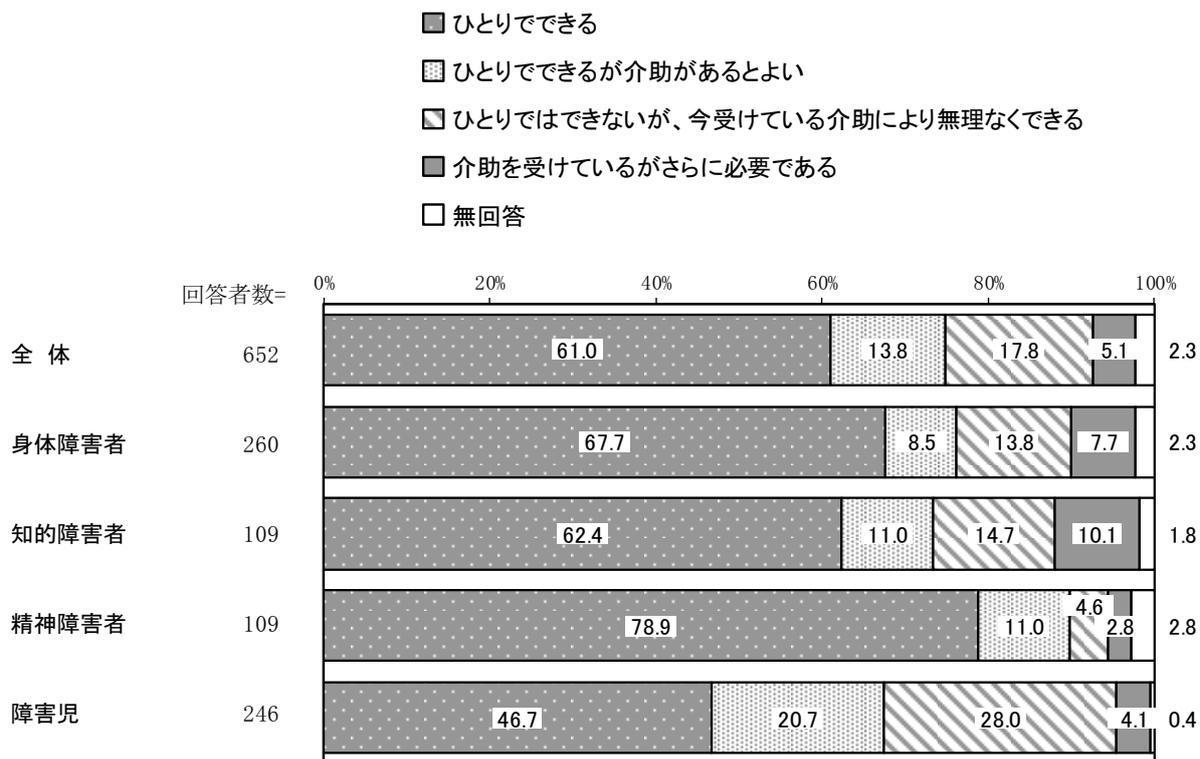


問6 あなたは次のことに介助が必要ですか。(それぞれ○は1つだけ)

① 食事・入浴・トイレ・着替えなどの日常動作

「ひとりでできる」の割合が61.0%と最も高く、次いで「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が17.8%、「ひとりでできるが介助があるとよい」の割合が13.8%となっています。

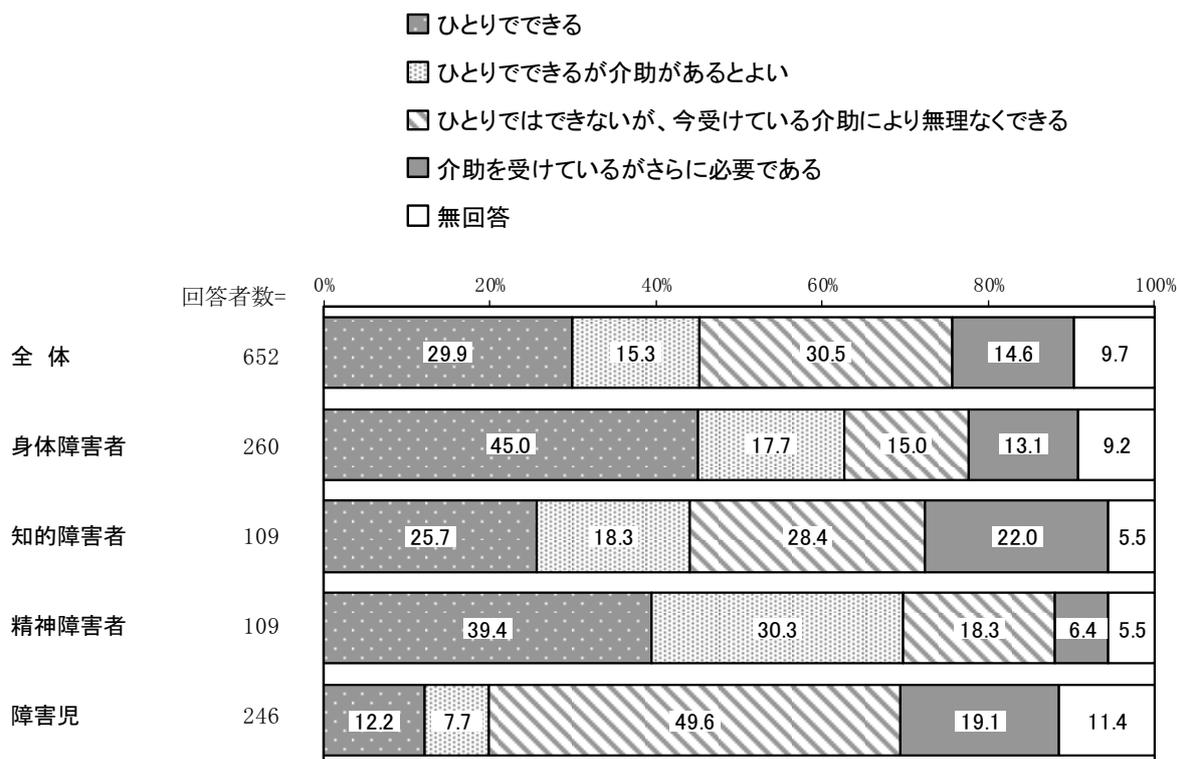
障害別でみると、他に比べ、障害のある子どもで「ひとりでできる」の割合が低くなっています。



## ②料理・掃除・洗濯などの家事

「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が30.5%と最も高く、次いで「ひとりでできる」の割合が29.9%、「ひとりでできるが介助があるとよい」の割合が15.3%となっています。

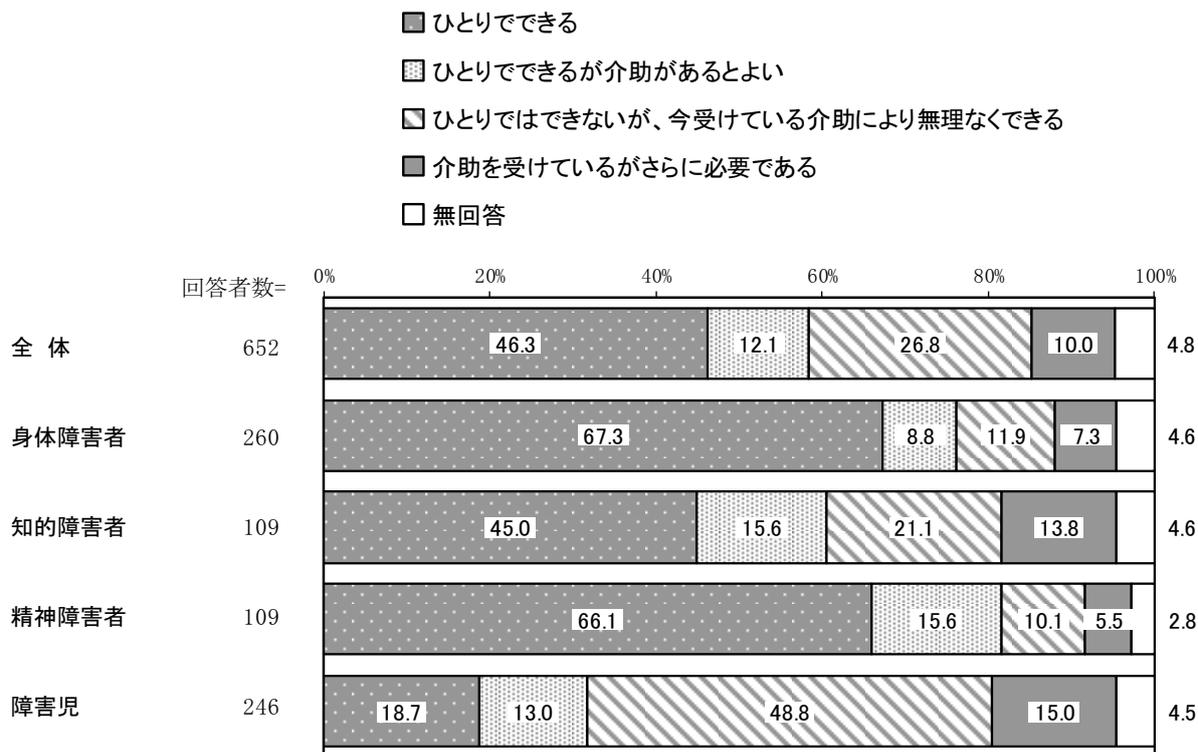
障害別で見ると、身体障害のある人、精神障害のある人に比べ、知的障害のある人で「ひとりでできる」の割合が低くなっています。



### ③薬を飲む、保管する

「ひとりでできる」の割合が46.3%と最も高く、次いで「ひとりでできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が26.8%、「ひとりでできるが介助があるとよい」の割合が12.1%となっています。

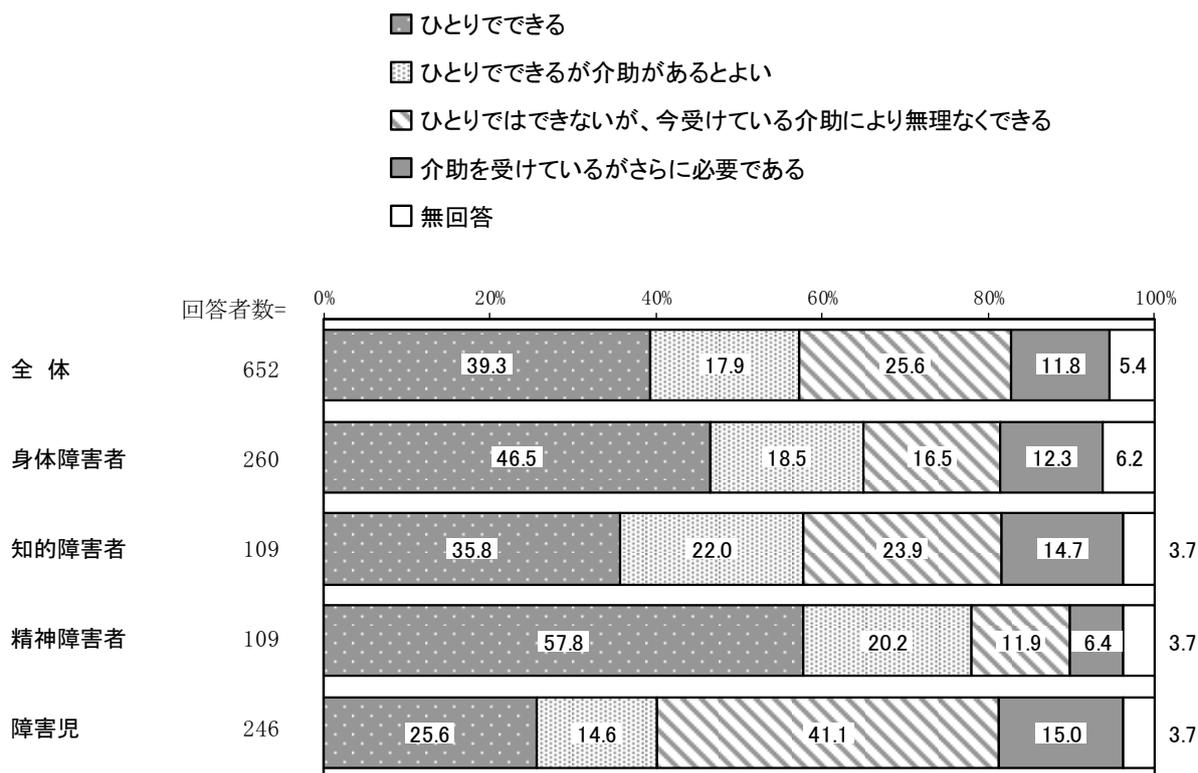
障害別で見ると、他に比べ、障害のある子どもで「ひとりでできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が高くなっています。



#### ④外出する（通勤・通学・通院や買い物など）

「ひとりでできる」の割合が39.3%と最も高く、次いで「ひとりでできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が25.6%、「ひとりでできるが介助があるとよい」の割合が17.9%となっています。

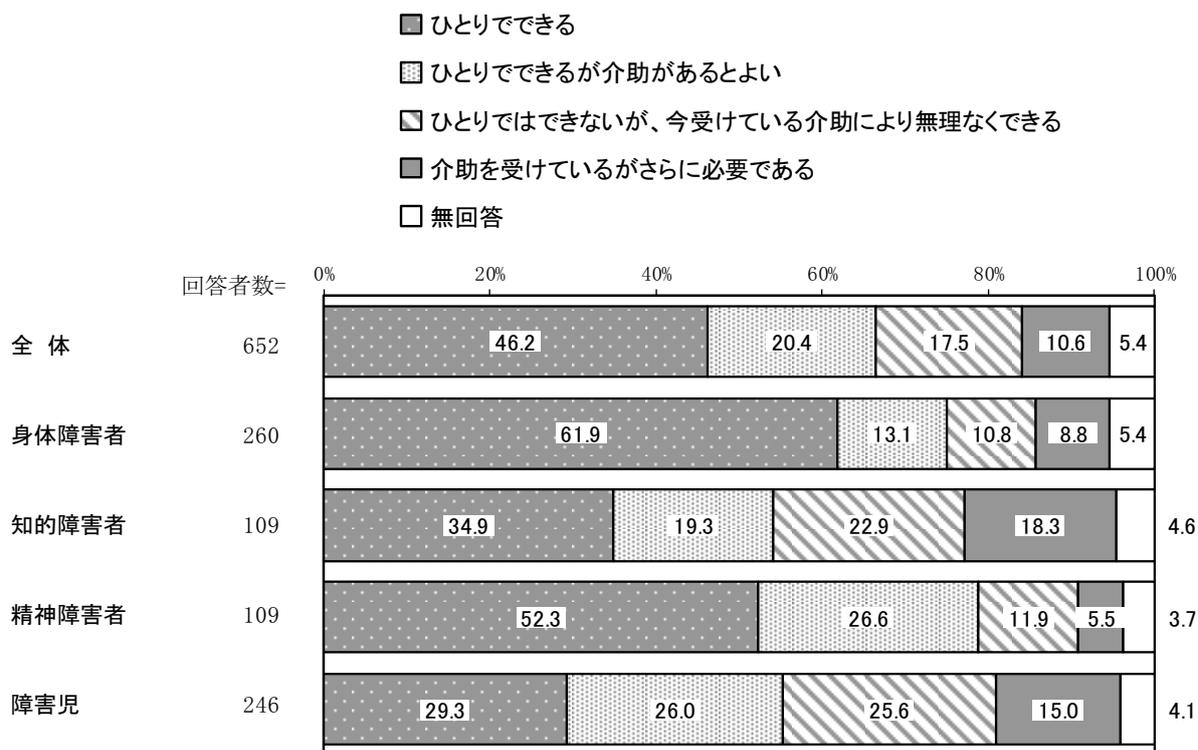
障害別で見ると、他に比べ、精神障害のある人で「ひとりでできる」の割合が、障害のある子どもで「ひとりでできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が高くなっています。



### ⑤自分の考えを伝える

「ひとりでできる」の割合が46.2%と最も高く、次いで「ひとりでできるが介助があるとよい」の割合が20.4%、「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が17.5%となっています。

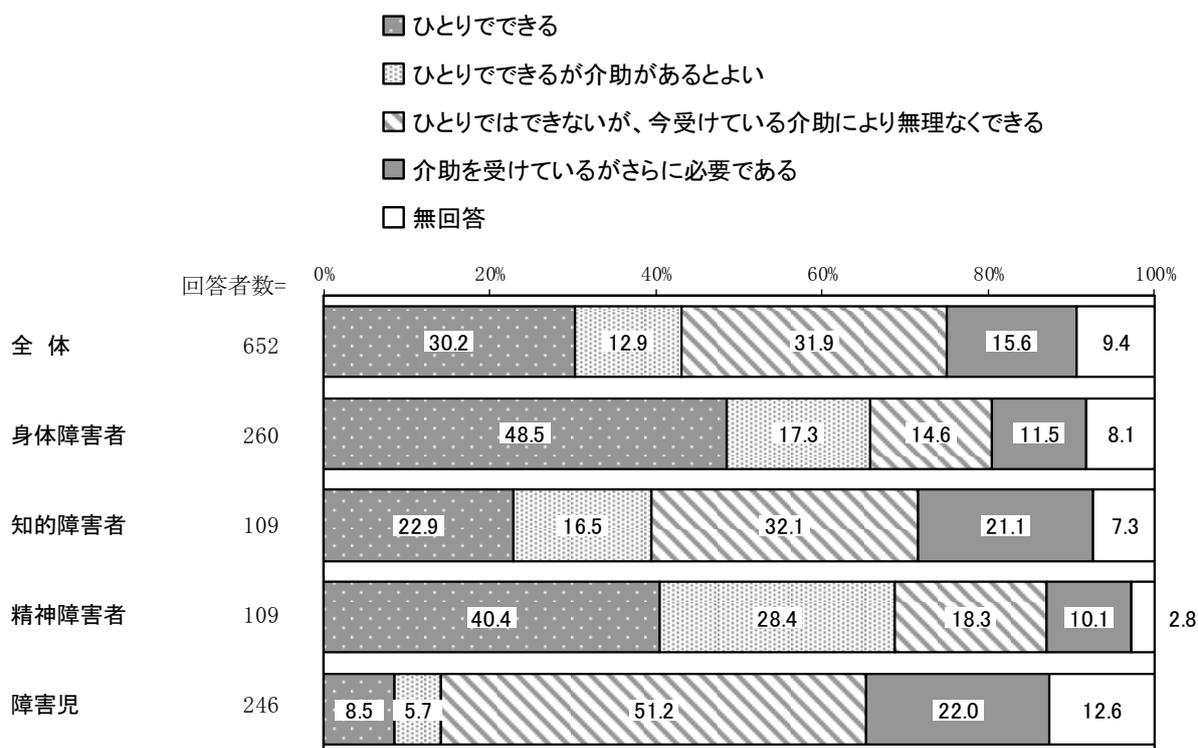
障害別で見ると、他に比べ、知的障害のある人、障害のある子どもで「ひとりでできる」の割合が低くなっています。



### ⑥生活費などお金の管理

「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が31.9%と最も高く、次いで「ひとりでできる」の割合が30.2%、「介助を受けているがさらに必要である」の割合が15.6%となっています。

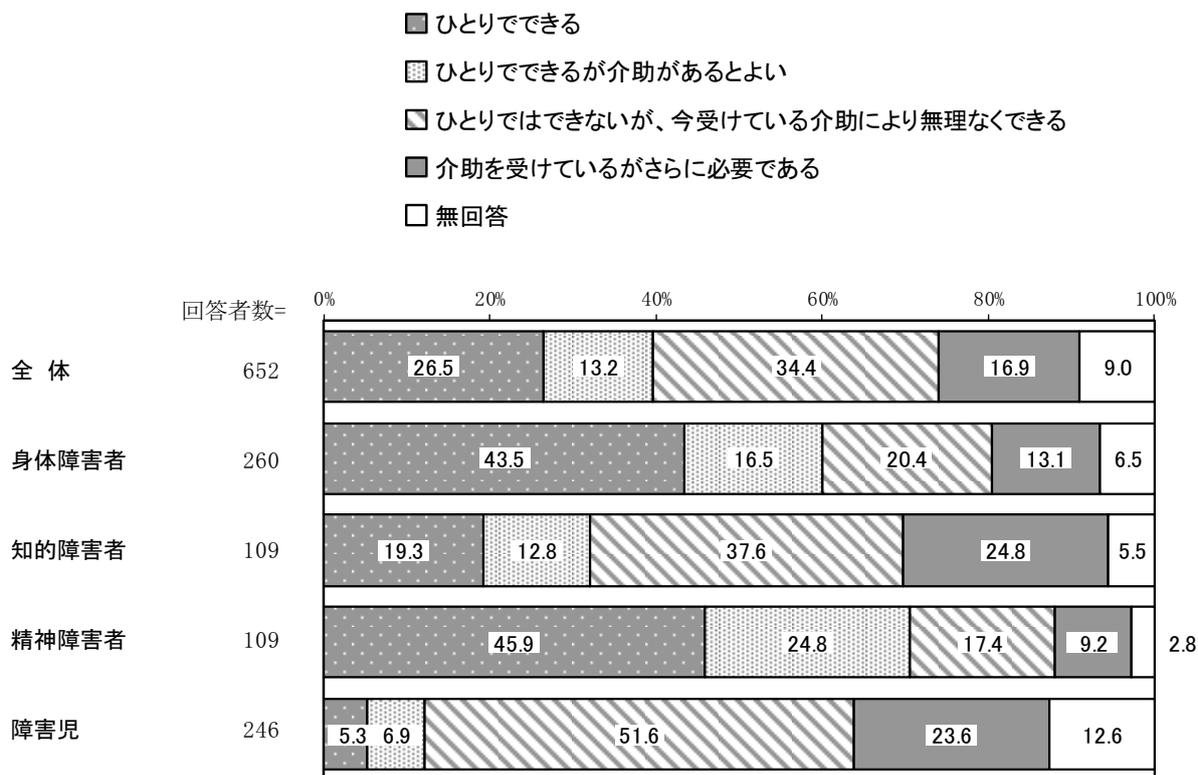
障害別で見ると、身体障害のある人、精神障害のある人に比べ、知的障害のある人で「介助を受けているがさらに必要である」の割合が高くなっています。



### ⑦ 日常の暮らしに必要な事務手続き

「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が34.4%と最も高く、次いで「ひとりでできる」の割合が26.5%、「介助を受けているがさらに必要である」の割合が16.9%となっています。

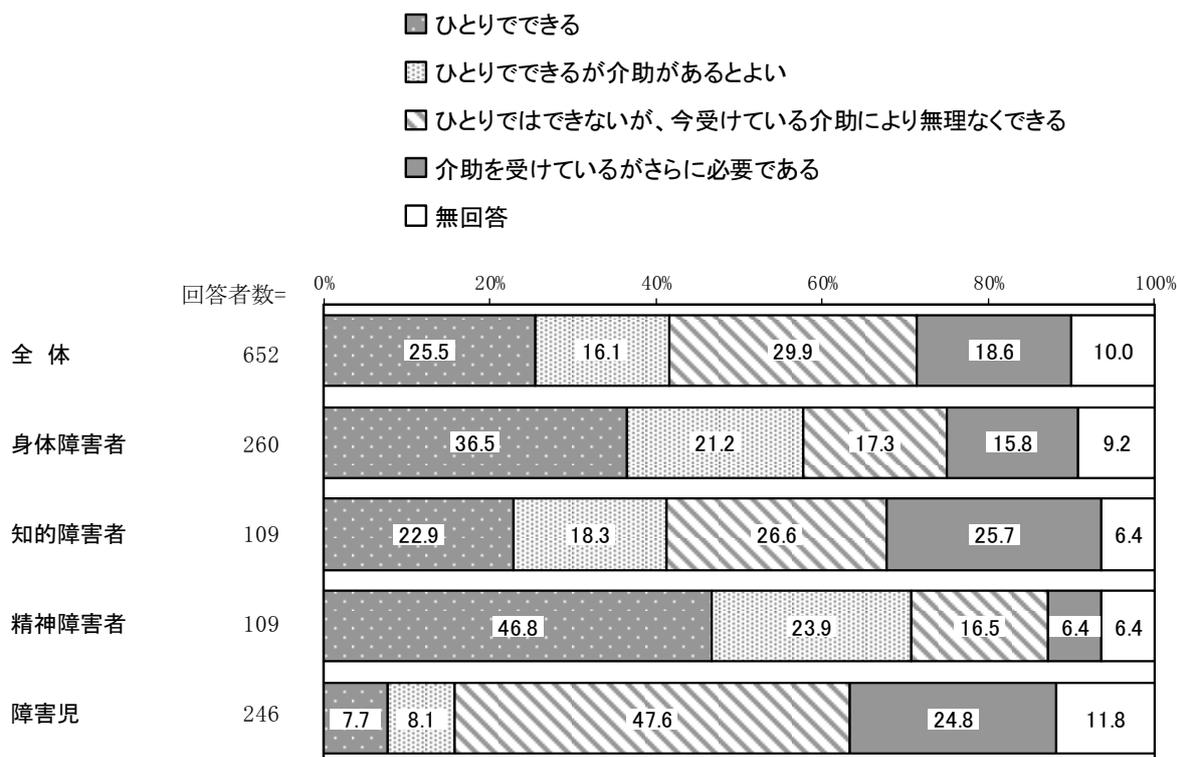
障害別で見ると、身体障害のある人、精神障害のある人に比べ、知的障害のある人で「介助を受けているがさらに必要である」の割合が高くなっています。



### ⑧緊急時の避難・連絡

「ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」の割合が29.9%と最も高く、次いで「ひとりでできる」の割合が25.5%、「介助を受けているがさらに必要である」の割合が18.6%となっています。

障害別で見ると、他に比べ、知的障害のある人、障害のある子どもで「介助を受けているがさらに必要である」の割合が高くなっています。

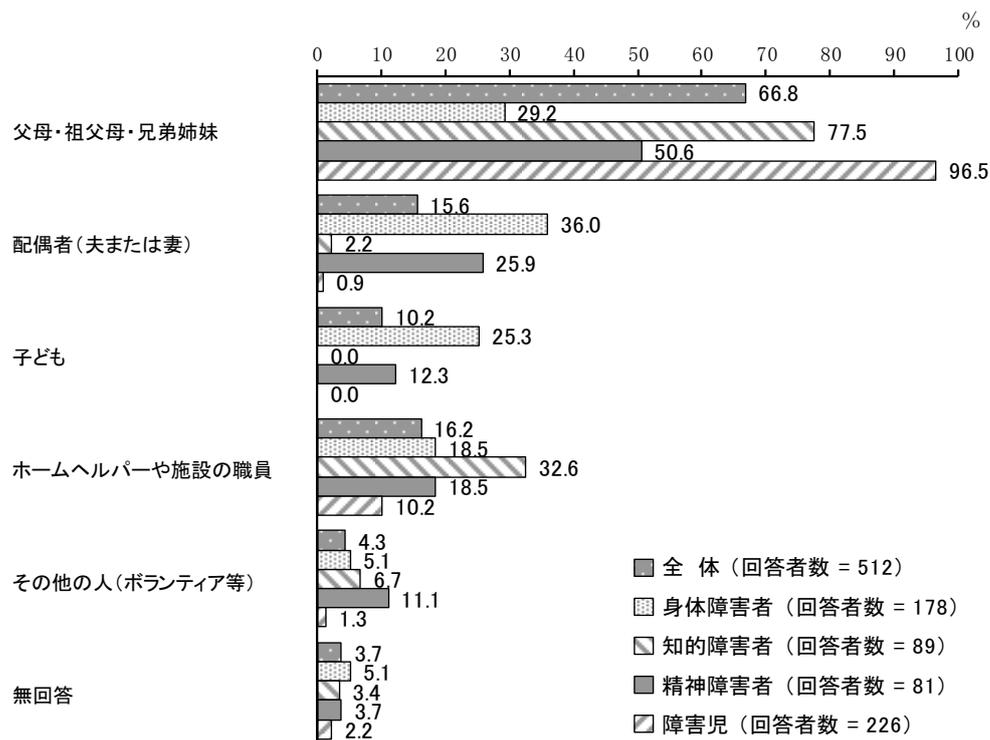


問6で「2 ひとりでできるが介助があるとよい」「3 ひとりではできないが、今受けている介助により無理なくできる」「4 介助を受けているがさらに必要である」と回答した方におたずねします。

**問7 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)**

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が66.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が16.2%、「配偶者(夫または妻)」の割合が15.6%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が高くなっています。

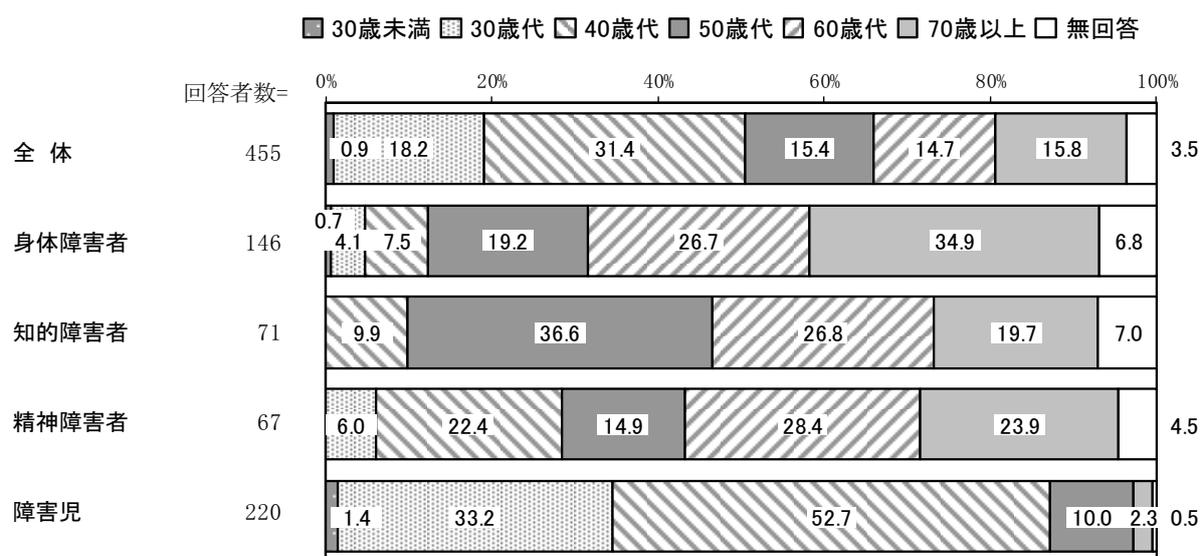


問7で「1 父母・祖父母・兄弟姉妹」「2 配偶者（夫または妻）」「3 子ども」と回答した方におたずねします。

**問8 主な支援者の年齢は、何歳ですか。（数字を記入） ※令和2年4月1日現在**

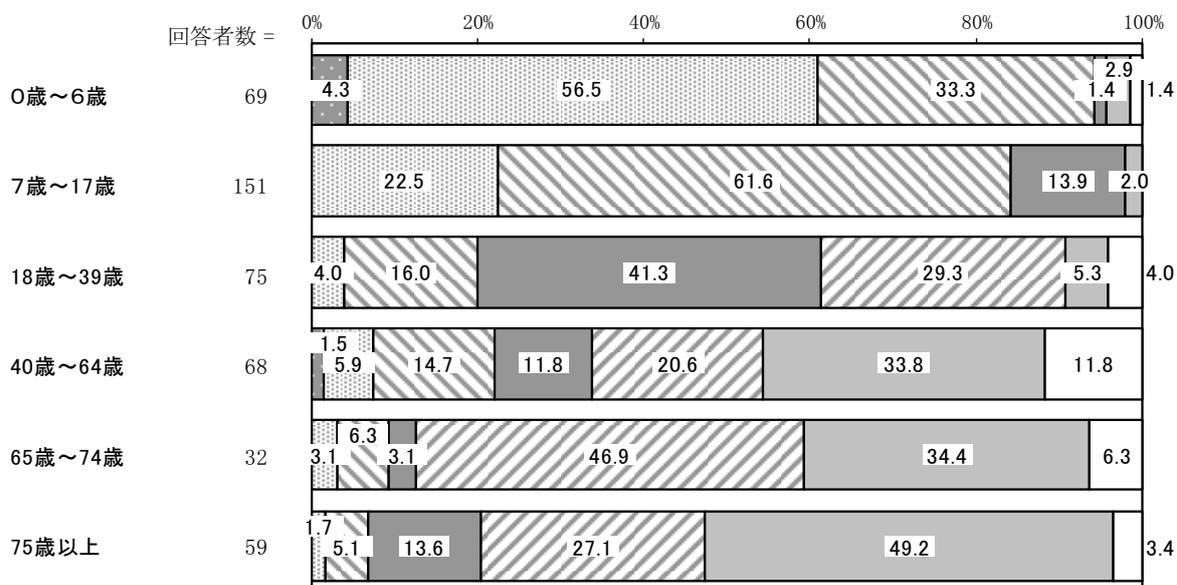
「40歳代」の割合が31.4%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が18.2%、「70歳以上」の割合が15.8%となっています。

障害別でみると、身体障害のある人で「60歳代」「70歳以上」の割合が61.6%、知的障害のある人で「60歳代」「70歳以上」の割合が46.5%、精神障害のある人で「60歳代」「70歳以上」の割合が52.3%となっています。



**【年齢別】**

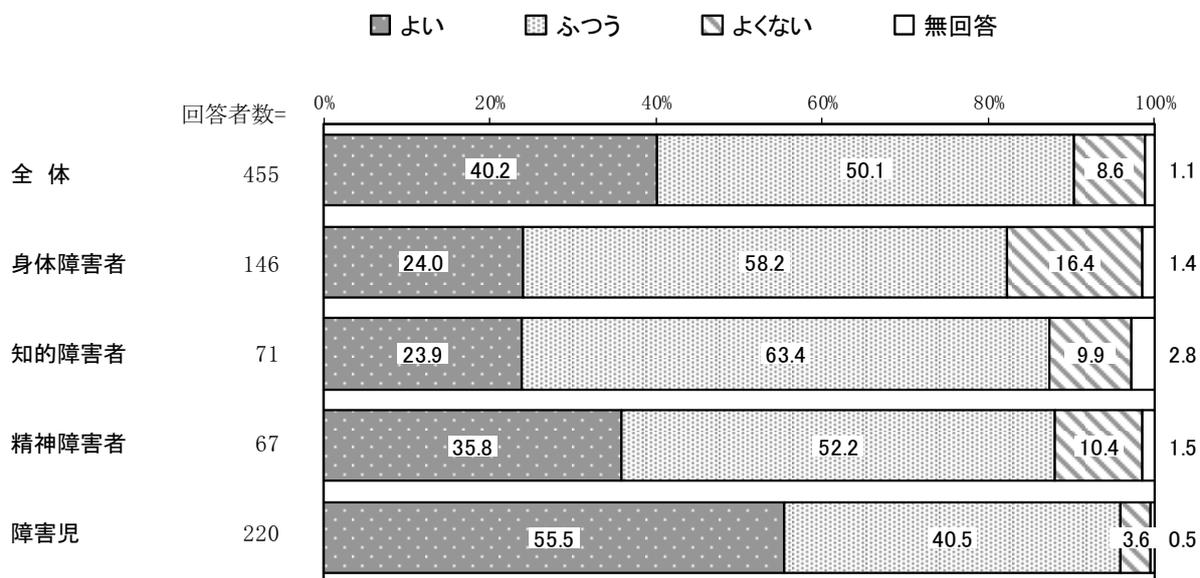
主な支援者の年齢を本人の年齢別でみると、65歳～74歳で「60歳代」「70歳以上」の割合が81.3%、75歳以上で「60歳代」「70歳以上」の割合が76.3%となっています。



問7で「1 父母・祖父母・兄弟姉妹」「2 配偶者（夫または妻）」「3 子ども」と回答した方におたずねします。

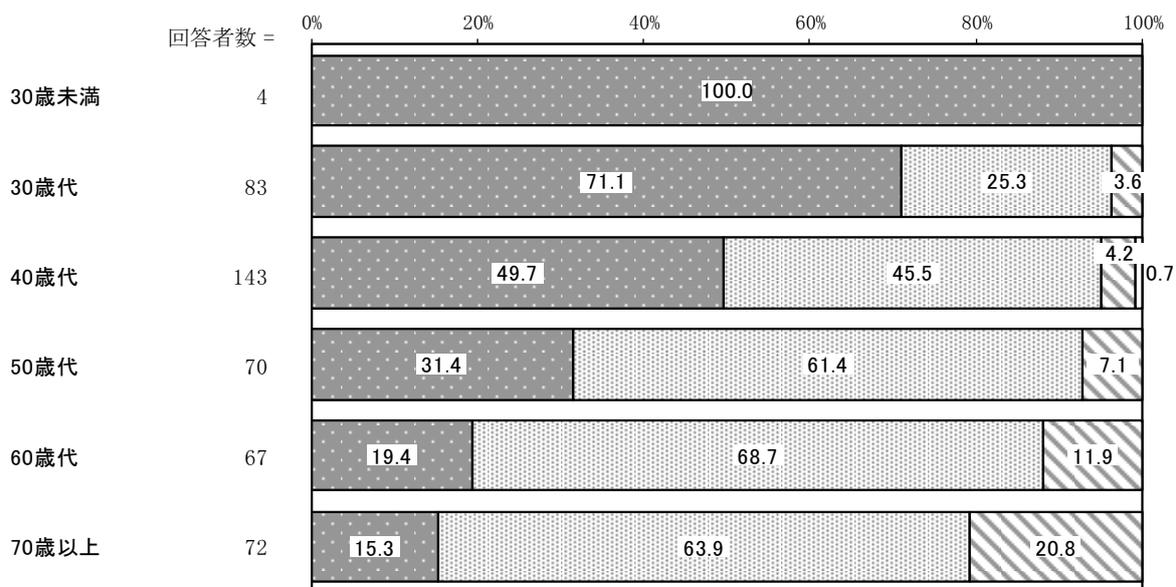
**問9 主な支援者の健康状態はいかがですか。**

「ふつう」の割合が50.1%と最も高く、次いで「よい」の割合が40.2%となっています。障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「よくない」の割合が高くなっています。



**【主な支援者の年齢別】**

主な支援者の年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「よくない」の割合が高くなっています。

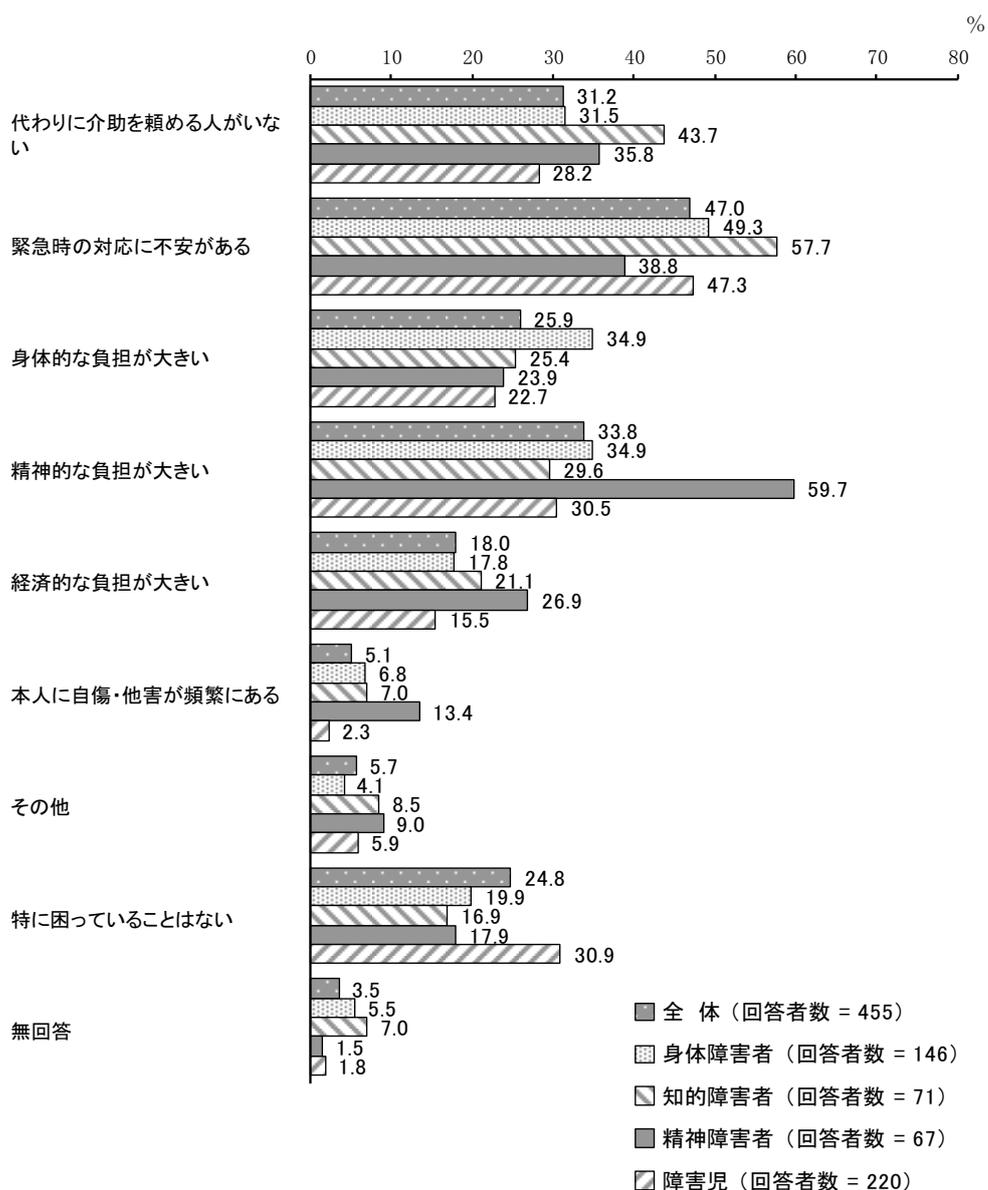


問7で「1 父母・祖父母・兄弟姉妹」「2 配偶者（夫または妻）」「3 子ども」と回答した方におたずねします。

**問10 介助について、困っていることは何ですか。（〇はいくつでも）**

「緊急時の対応に不安がある」の割合が47.0%と最も高く、次いで「精神的な負担が大きい」の割合が33.8%、「代わりに介助を頼める人がいない」の割合が31.2%となっています。

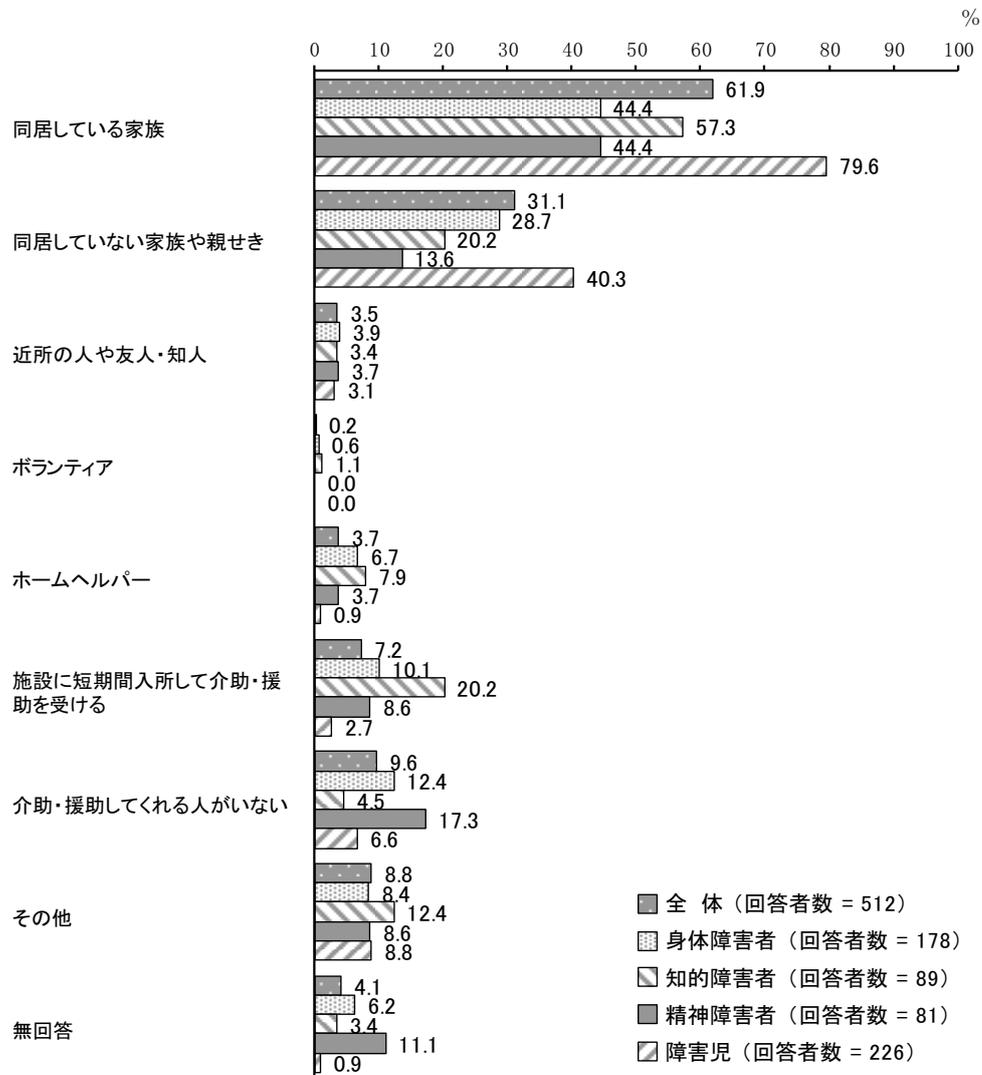
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「代わりに介助を頼める人がいない」「緊急時の対応に不安がある」の割合が、精神障害のある人で「精神的な負担が大きい」の割合が高くなっています。



問11 あなたを主に介助・支援している方が、病気の時や外出をしなければならないときなどは、代わりにどなたが介助・援助していますか。(〇は3つまで)

「同居している家族」の割合が61.9%と最も高く、次いで「同居していない家族や親せき」の割合が31.1%となっています。

障害別で見ると、他に比べ、知的障害のある人で「施設に短期間入所して介助・援助を受ける」の割合が、精神障害のある人で「介助・援助してくれる人がいない」の割合が高くなっています。



【介助について困っていること別】

介助について困っていること別でみると、他に比べ、本人に自傷・他害が頻繁にあるで「介助・援助してくれる人がいない」の割合が高くなっています。

単位：%

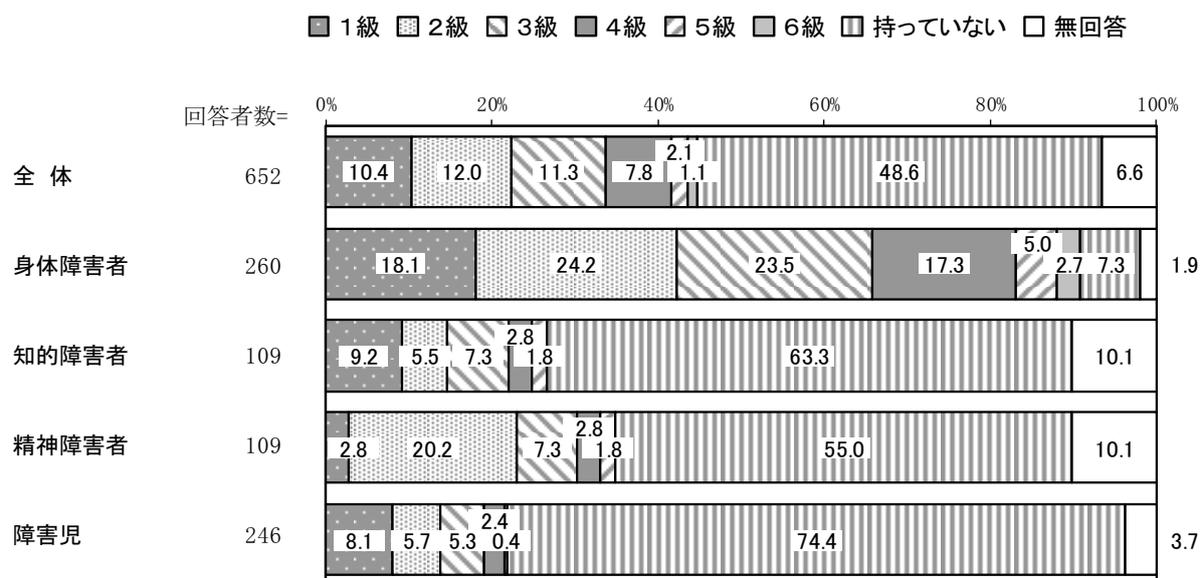
区分	有効回答数 (件)	同居している家族	親せき 同居していない家族や	近所の人や友人・知人	ボランティア	ホームヘルパー	施設に短期間入所して 介助・援助を受ける	介助・援助してくれる 人がいない	その他	無回答
代わりに介助を頼める人がいない	142	56.3	28.9	3.5	—	3.5	9.9	17.6	7.7	5.6
緊急時の対応に不安がある	214	68.2	35.5	5.1	—	4.2	7.9	9.8	9.3	1.4
身体的な負担が大きい	118	63.6	32.2	5.1	—	4.2	11.0	8.5	10.2	4.2
精神的な負担が大きい	154	68.2	32.5	2.6	—	1.9	6.5	12.3	7.1	2.6
経済的な負担が大きい	82	61.0	23.2	2.4	—	4.9	4.9	14.6	9.8	4.9
本人に自傷・他害が頻繁にある	23	69.6	13.0	8.7	—	—	—	26.1	4.3	4.3
その他	26	61.5	26.9	7.7	—	—	—	11.5	15.4	11.5
特に困っていることはない	113	70.8	41.6	2.7	—	1.8	3.5	5.3	4.4	1.8

## 2 障害の状況について

### 問 12 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

「持っていない」の割合が48.6%と最も高く、次いで「2級」の割合が12.0%、「3級」の割合が11.3%となっています。

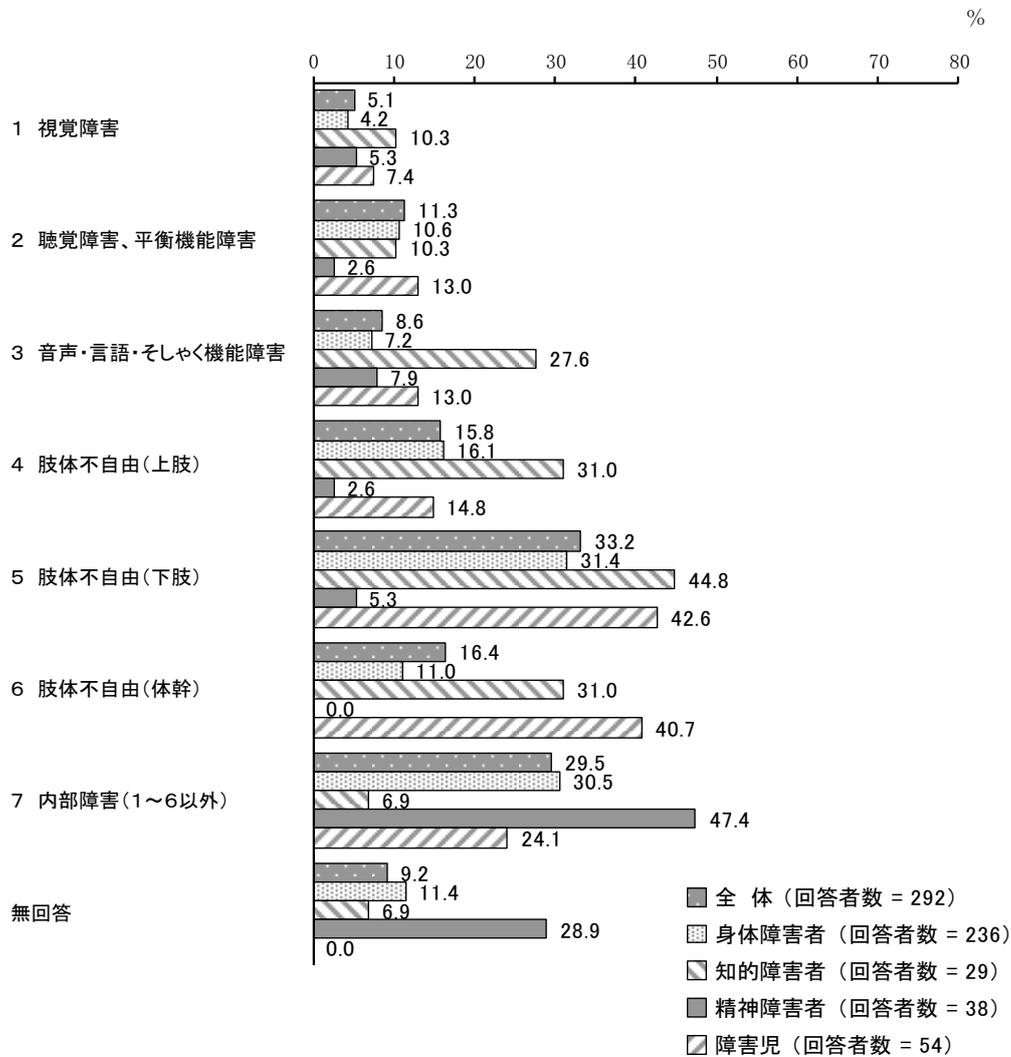
障害別で見ると、知的障害のある人で26.6%、精神障害のある人で34.9%の人が身体障害者手帳を重複して所持しています。



問13 あなたの障害はどのような障害ですか。身体障害者手帳の内容からお答えください。(〇はいくつでも)

「肢体不自由(下肢)」の割合が33.2%と最も高く、次いで「内部障害(1~6以外)」の割合が29.5%、「肢体不自由(体幹)」の割合が16.4%となっています。

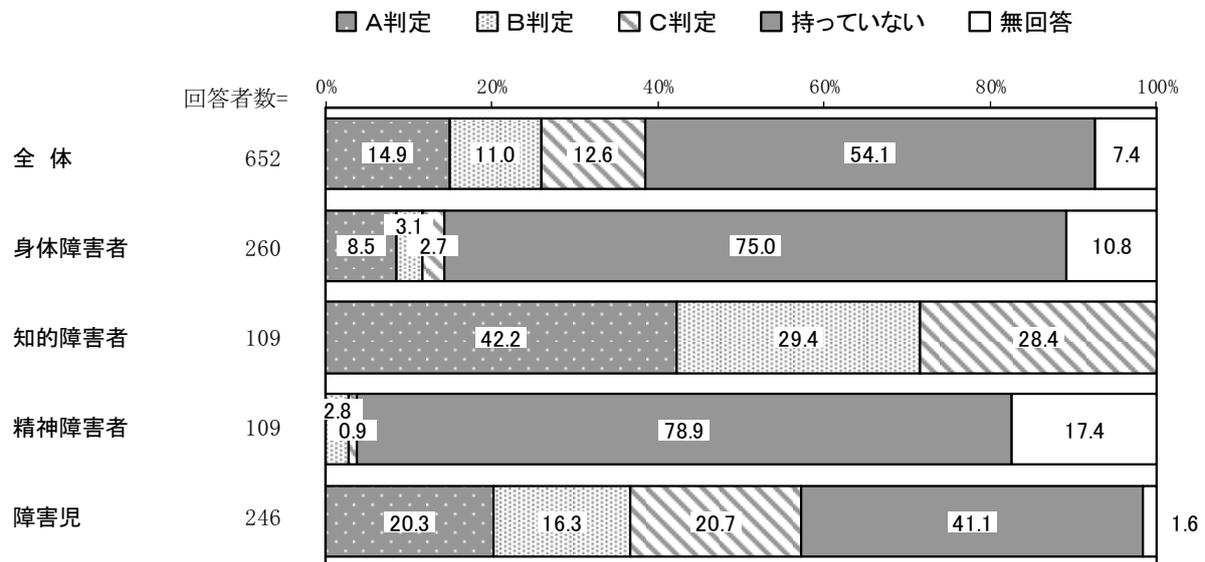
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「肢体不自由(下肢)」の割合が、精神障害のある人で「内部障害(1~6以外)」の割合が高くなっています。



**問 14 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)**

「持っていない」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「A判定」の割合が 14.9%、「C判定」の割合が 12.6%となっています。

障害別でみると、身体障害のある人で 14.3%、障害のある子どもで 57.3%の人が療育手帳を重複して所持しています。



**問 15 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)**

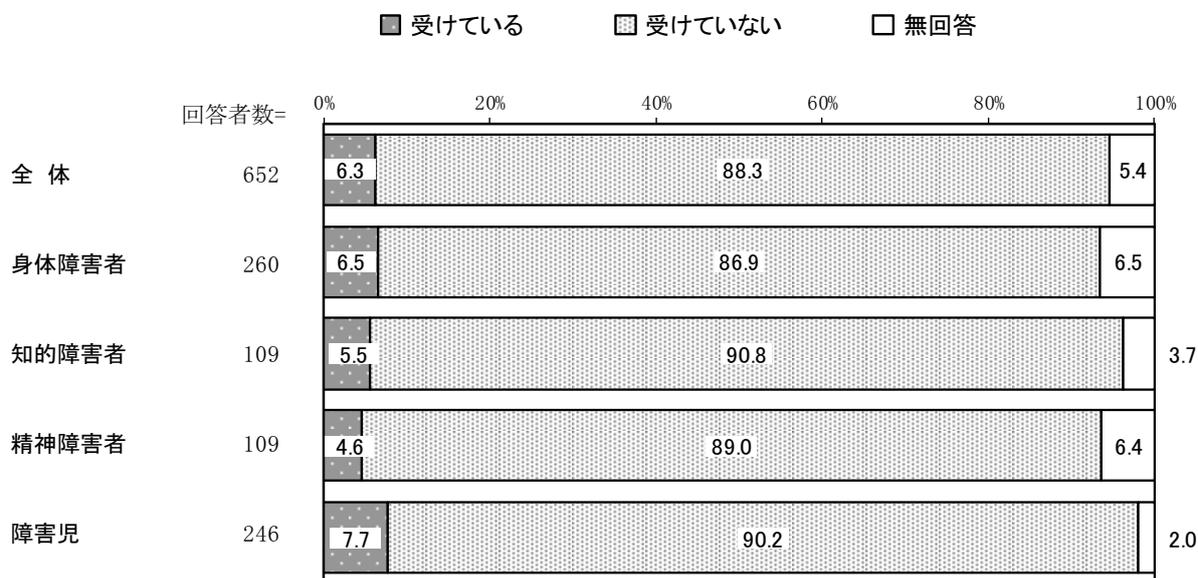
「持っていない」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「2級」の割合が 12.6%となっています。

障害別でみると、身体障害のある人で 18.0%の人が精神障害者保健福祉手帳を重複して所持しています。



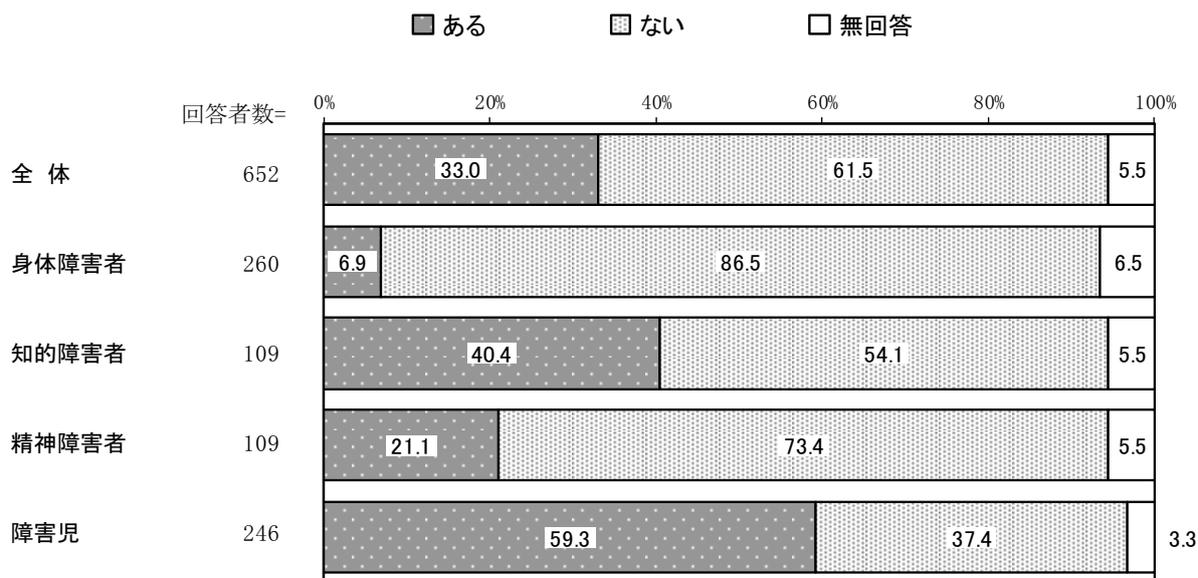
**問 16 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）**

「受けている」の割合が6.3%、「受けていない」の割合が88.3%となっています。  
 障害別でみると、大きな差異はみられません。



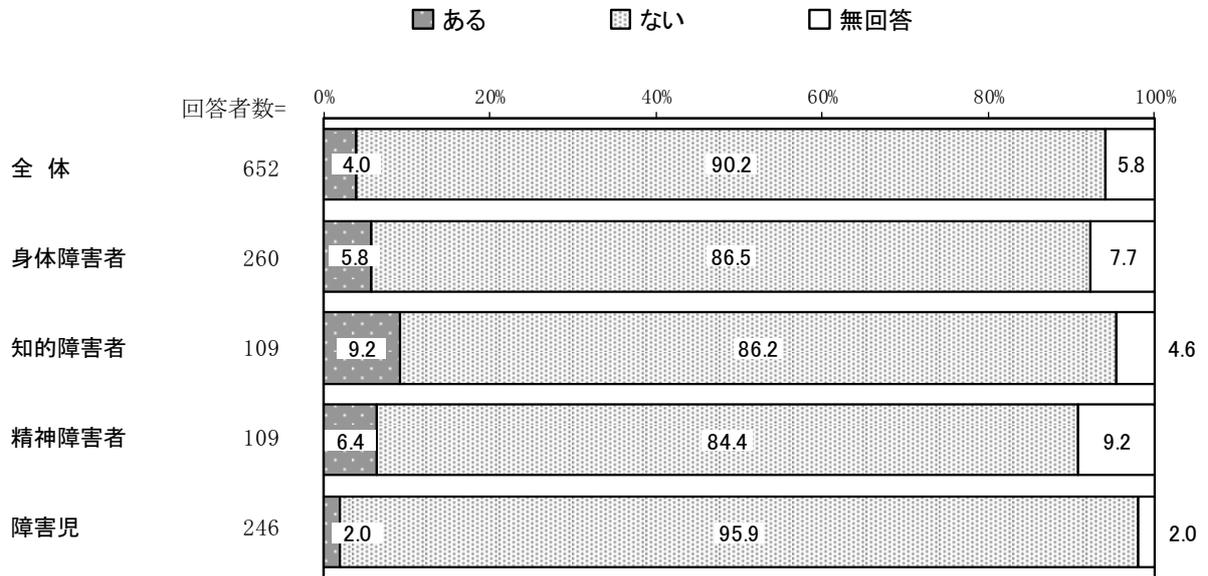
**問 17 あなたは発達障害として診断をされたことがありますか。（○は1つだけ）**

「ある」の割合が33.0%、「ない」の割合が61.5%となっています。  
 障害別でみると、障害のある子どもで59.3%の人が発達障害として診断されています。



問 18 あなたは、高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が4.0%、「ない」の割合が90.2%となっています。  
 障害別でみると、知的障害のある人で9.2%の人が高次脳機能障害として診断されています。

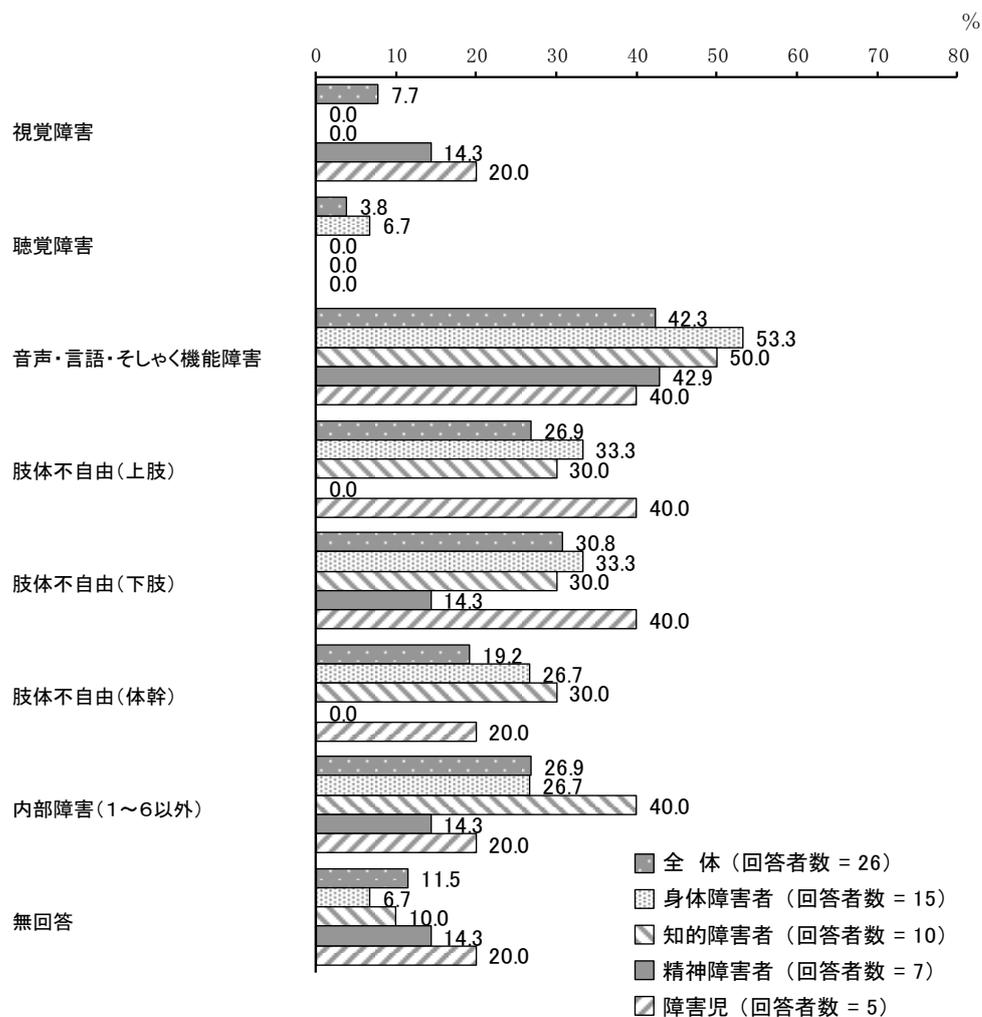


問 18 で「1 ある」と回答した方におたずねします。

**問 19 その関連障害をお答えください。(〇はいくつでも)**

「音声・言語・そしゃく機能障害」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「肢体不自由(下肢)」の割合が 30.8%、「肢体不自由(上肢)」、「内部障害(1～6以外)」の割合が 26.9%となっています。

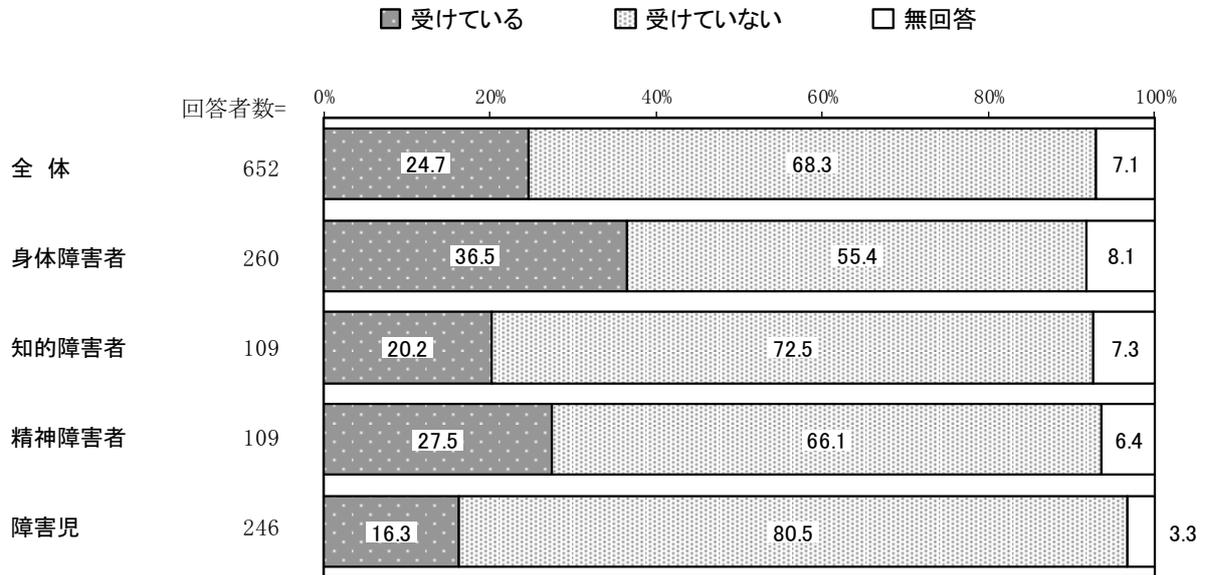
障害別でみると、いずれの障害も「音声・言語・そしゃく機能障害」の割合が高くなっています。



**問 20 あなたは、現在医療的ケアを受けていますか。(○は1つだけ)**

「受けている」の割合が 24.7%、「受けていない」の割合が 68.3%となっています。

障害別でみると、身体障害のある人で 36.5%、障害のある子どもで 16.3%の人が、現在医療的ケアを受けています。

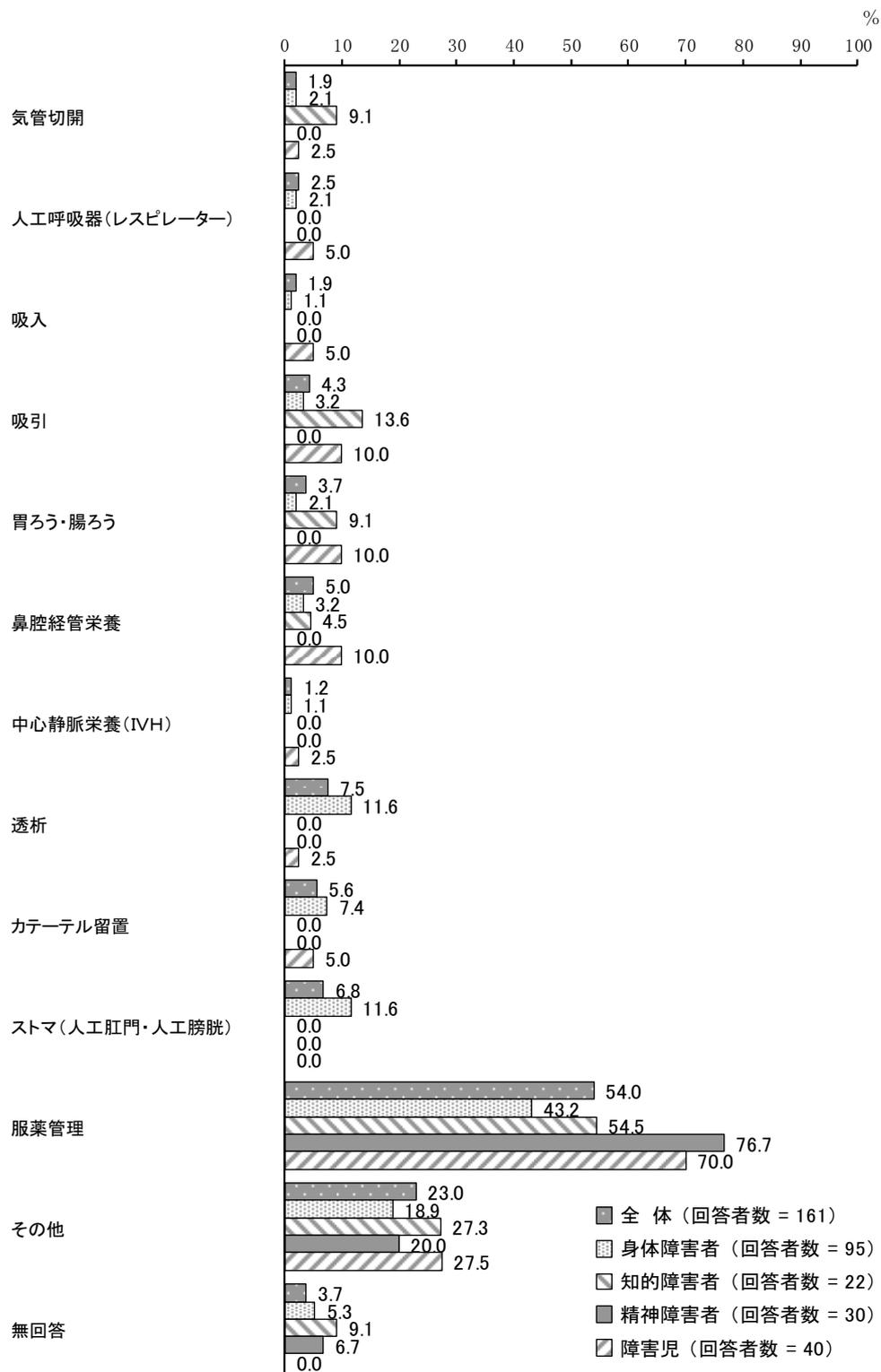


問 20 で「1 受けている」と回答した方におたずねします。

**問 21 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。(〇はいくつでも)**

「服薬管理」の割合が 54.0%と最も高くなっています。

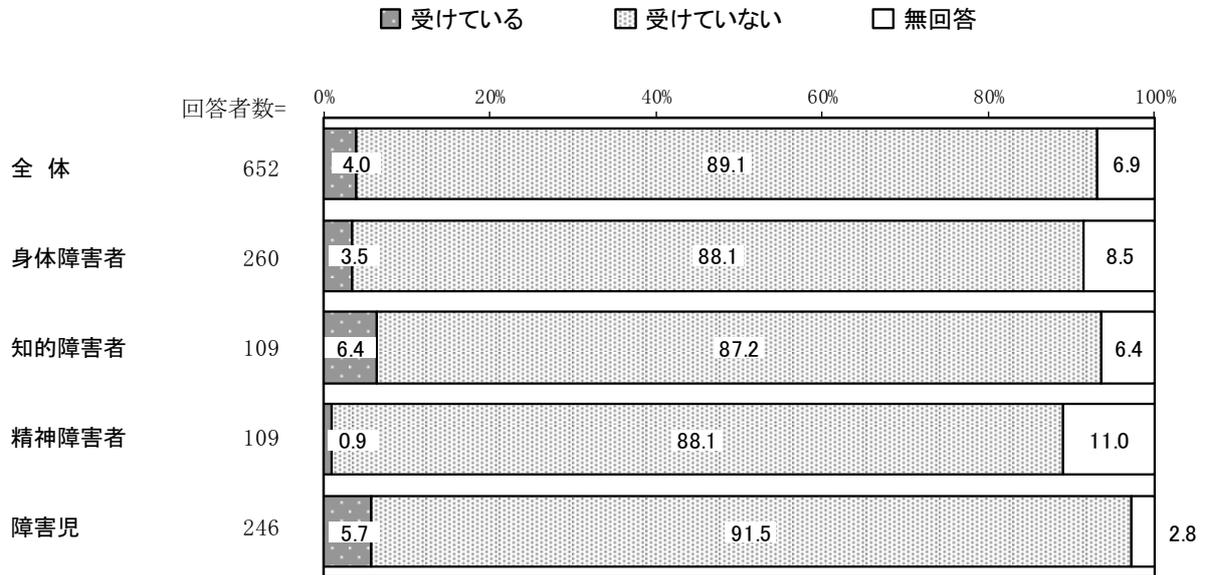
障害別でみると、いずれの障害も「服薬管理」の割合が高くなっています。



問 22 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

「受けている」の割合が 4.0%、「受けていない」の割合が 89.1%となっています。

障害別でみると、知的障害のある人で 6.4%、障害のある子どもで 5.7%の人が、重症心身障害の認定を受けています。



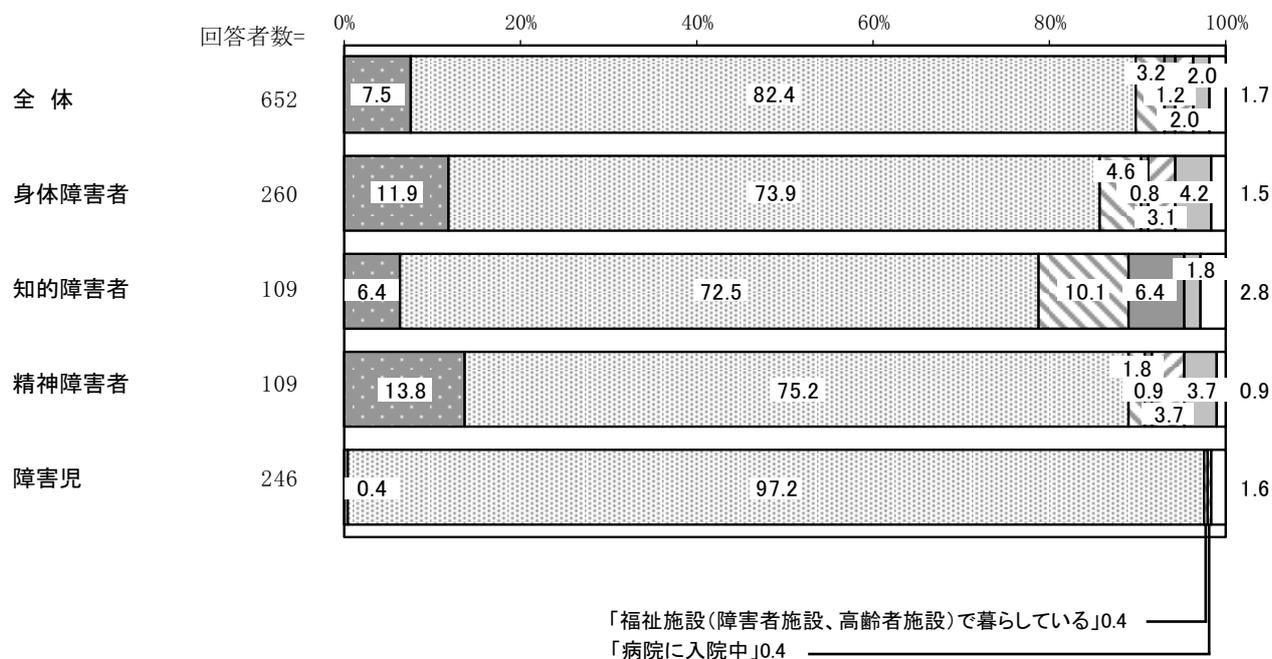
### 3 生活支援について

#### 問 23 現在、どこで暮らしていますか。(〇は1つだけ)

「自宅で家族等と暮らしている」の割合が82.4%と最も高くなっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「福祉施設（障害者施設、高齢者施設）で暮らしている」の割合が10.1%、「グループホームで暮らしている」の割合が6.4%と高くなっています。

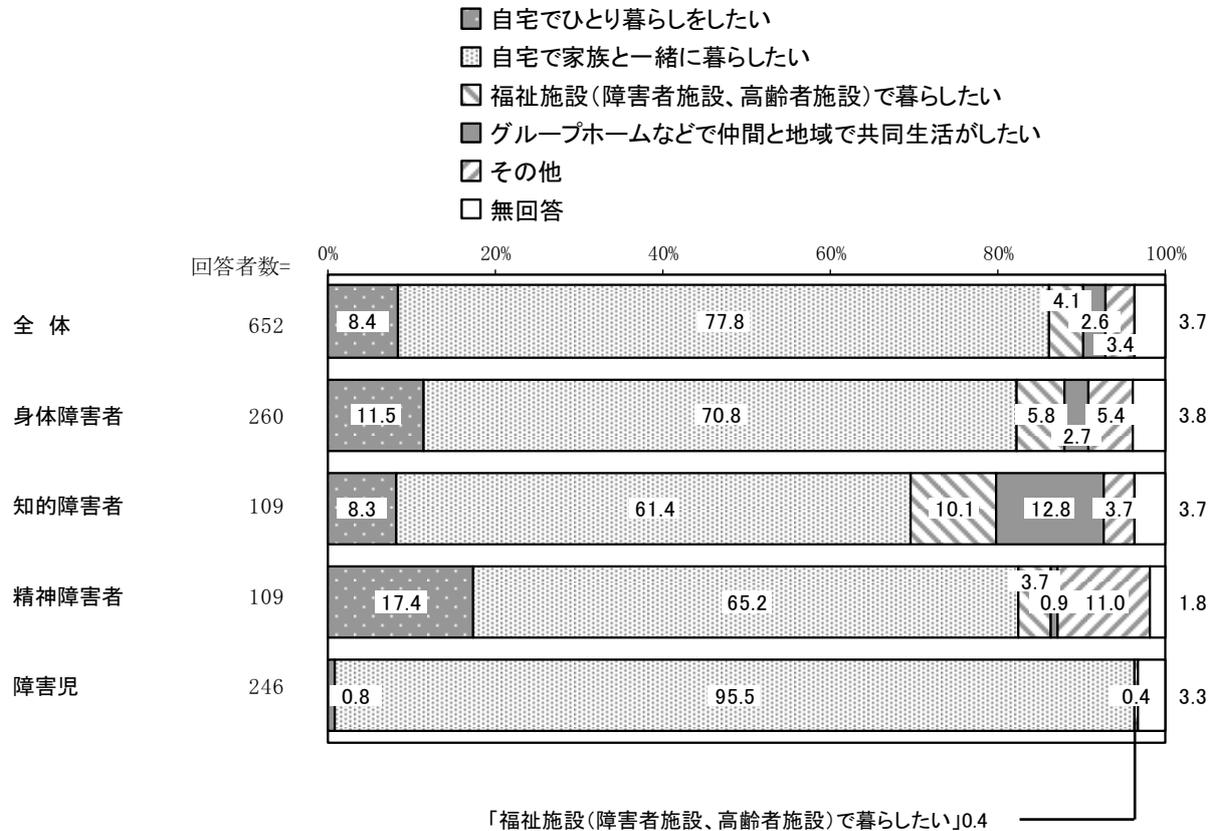
- 自宅でひとり暮らしをしている
- 自宅で家族等と暮らしている
- 福祉施設（障害者施設、高齢者施設）で暮らしている
- グループホームで暮らしている
- 病院に入院中
- その他
- 無回答



問 24 今後3年以内、どのような暮らし方を望まれますか。(〇は1つだけ)

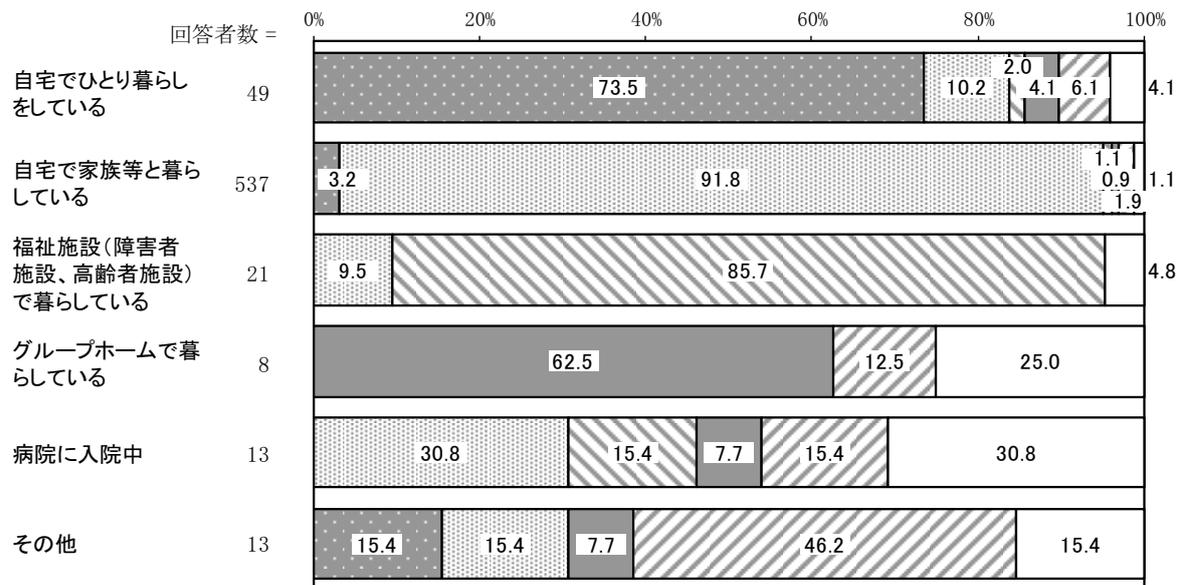
「自宅で家族と一緒に暮らしたい」の割合が77.8%と最も高くなっています。

障害別でみると、いずれの障害も「自宅で家族と一緒に暮らしたい」の割合が6割以上となっています。



【現在の暮らし方別】

今後の暮らし方を現在の暮らし方別でみると、現在暮らしている場所で、今後も暮らしていきたいと考えている人が多いことがうかがえます。

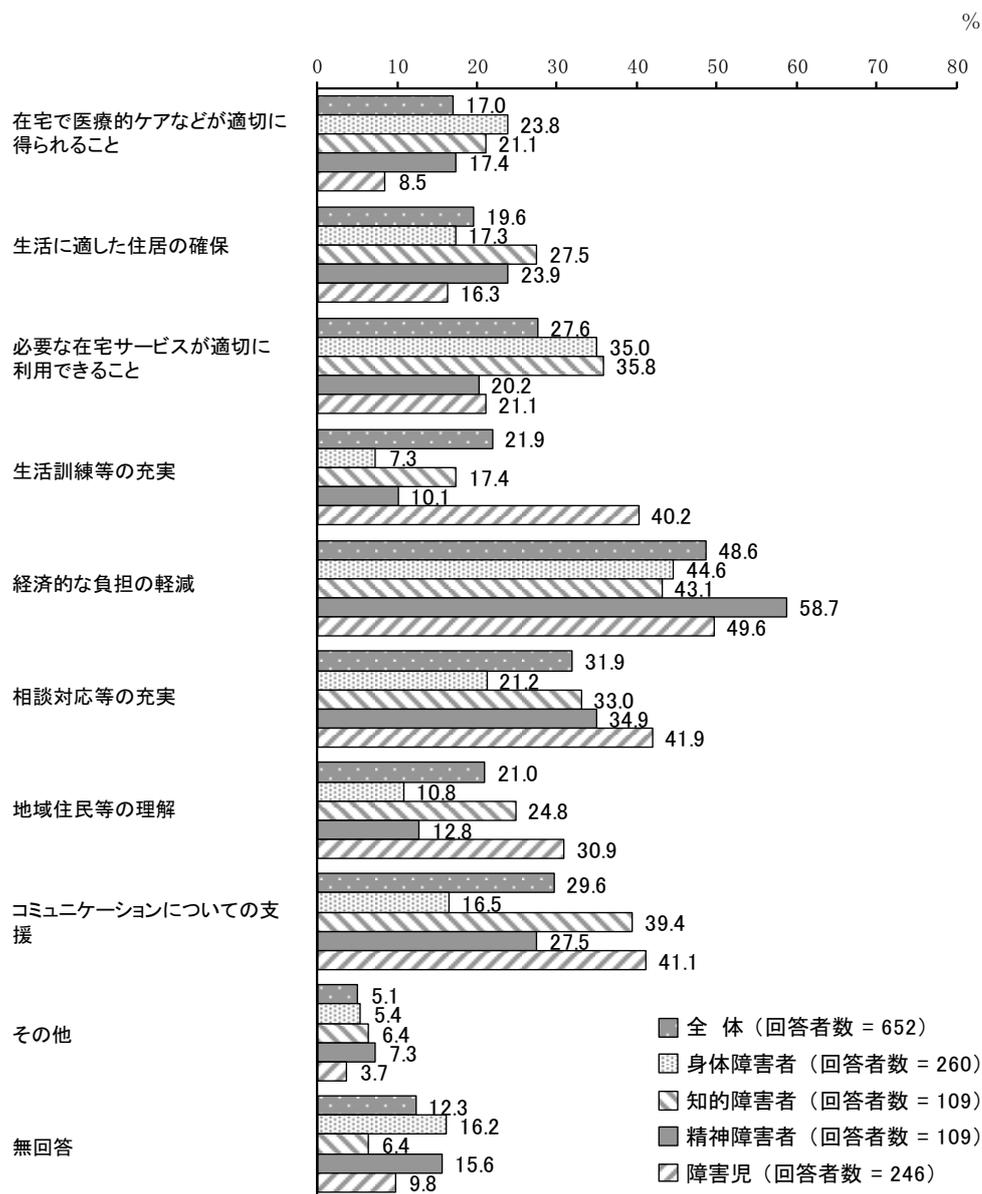


## 4 日中活動や雇用・就労について

問 25 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「経済的な負担の軽減」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「相談対応等の充実」の割合が 31.9%、「コミュニケーションについての支援」の割合が 29.6%となっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「経済的な負担の軽減」の割合が高くなっています。



【将来の暮らし方別】

将来の暮らし方別でみると、他に比べ、グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたいで「相談対応等の充実」「地域住民等の理解」の割合が高くなっています。

今後、自宅でひとり暮らしをしたい人では「経済的な負担」、グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい人では「相談対応等」に不安を抱いている人が多いことがうかがえます。

単位：%

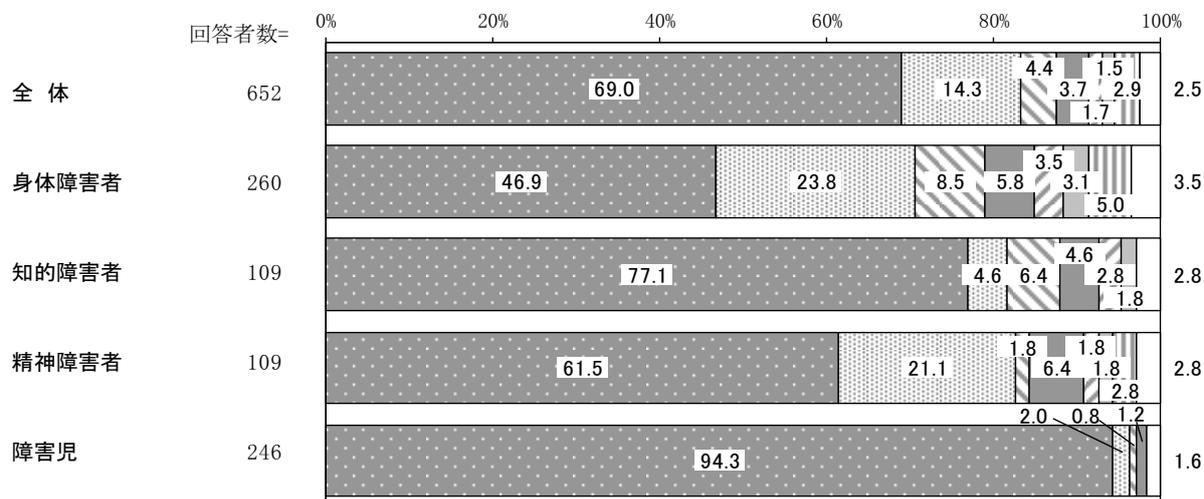
区分	有効回答数(件)	在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	生活に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
自宅でひとり暮らしをしたい	55	16.4	34.5	25.5	7.3	52.7	25.5	18.2	16.4	5.5	10.9
自宅で家族と一緒に暮らしたい	507	17.8	18.3	28.6	24.3	49.7	33.1	22.5	31.2	4.1	10.1
福祉施設(障害者施設、高齢者施設)で暮らしたい	27	7.4	7.4	25.9	25.9	44.4	29.6	7.4	33.3	11.1	7.4
グループホームなどで仲間と地域で共同生活がしたい	17	23.5	41.2	29.4	29.4	47.1	58.8	35.3	41.2	11.8	5.9
その他	22	22.7	27.3	27.3	13.6	59.1	27.3	13.6	27.3	18.2	13.6

問 26 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(通勤・通学・通院等を含みます)(○は1つだけ)

「週に4日以上」の割合が69.0%と最も高く、次いで「週に2、3日」の割合が14.3%となっています。

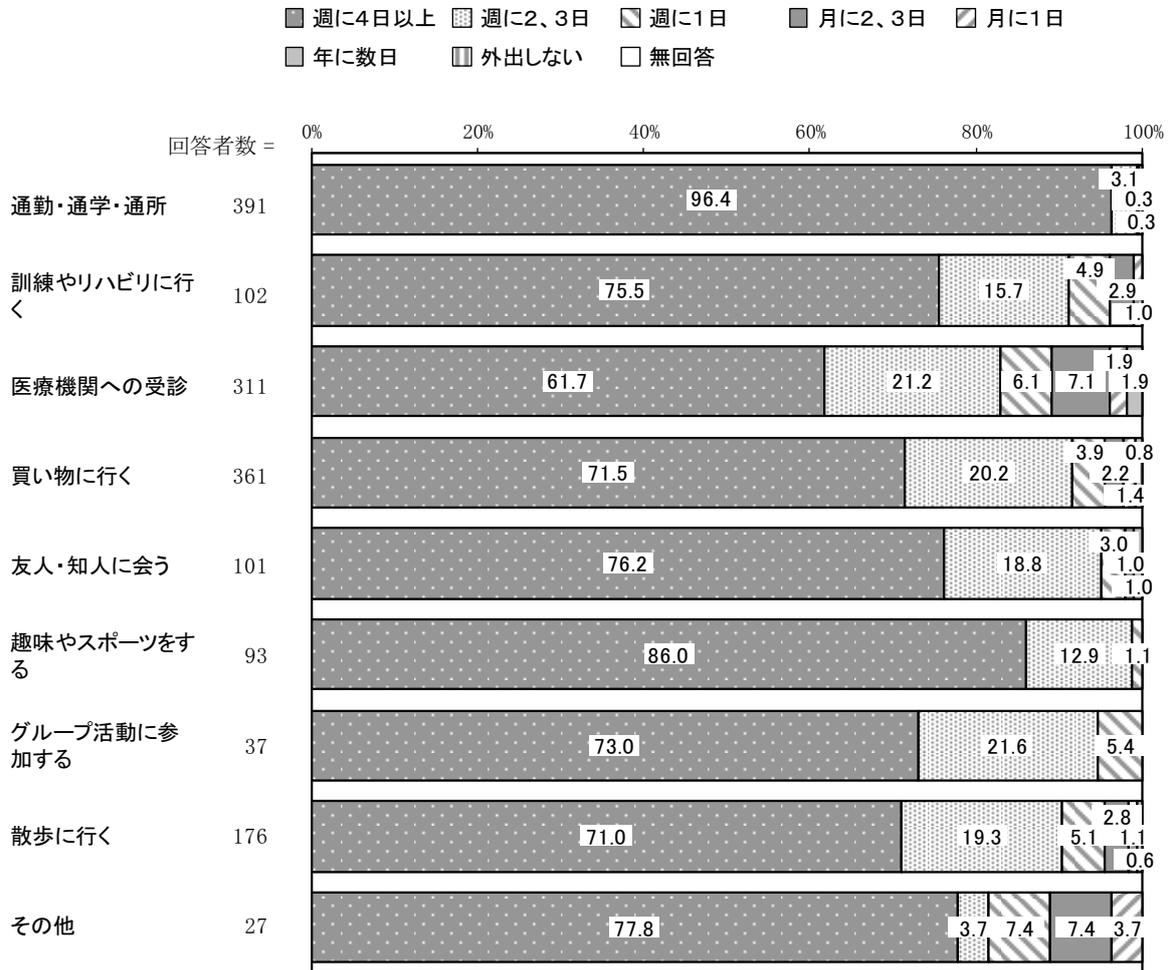
障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「週に4日以上」の割合が低くなっています。

■ 週に4日以上 ■ 週に2、3日 ■ 週に1日 ■ 月に2、3日 ■ 月に1日  
 ■ 年に数日 ■ 外出しない □ 無回答



## 【外出の目的別】

外出の目的別でみると、他に比べ、医療機関への受診で「週に4日以上」の割合が低くなっています。

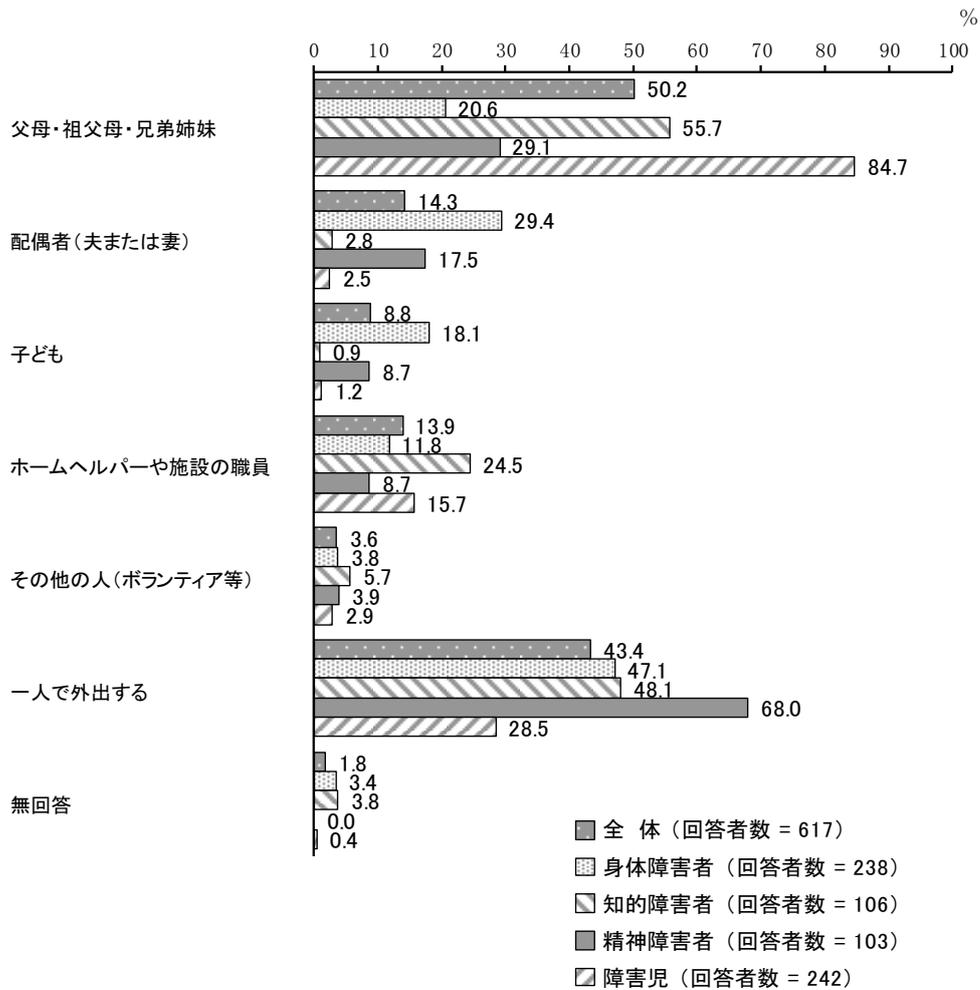


問 26 で「1 週に4日以上」「2 週に2、3日」「3 週に1日」「4 月に2、3日」「5 月に1日」「6 年に数日」と回答した方におたずねします。

**問 27 あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。(〇はいくつでも)**

「父母・祖父母・兄弟姉妹」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「一人で外出する」の割合が 43.4%、「配偶者（夫または妻）」の割合が 14.3%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が高くなっています。

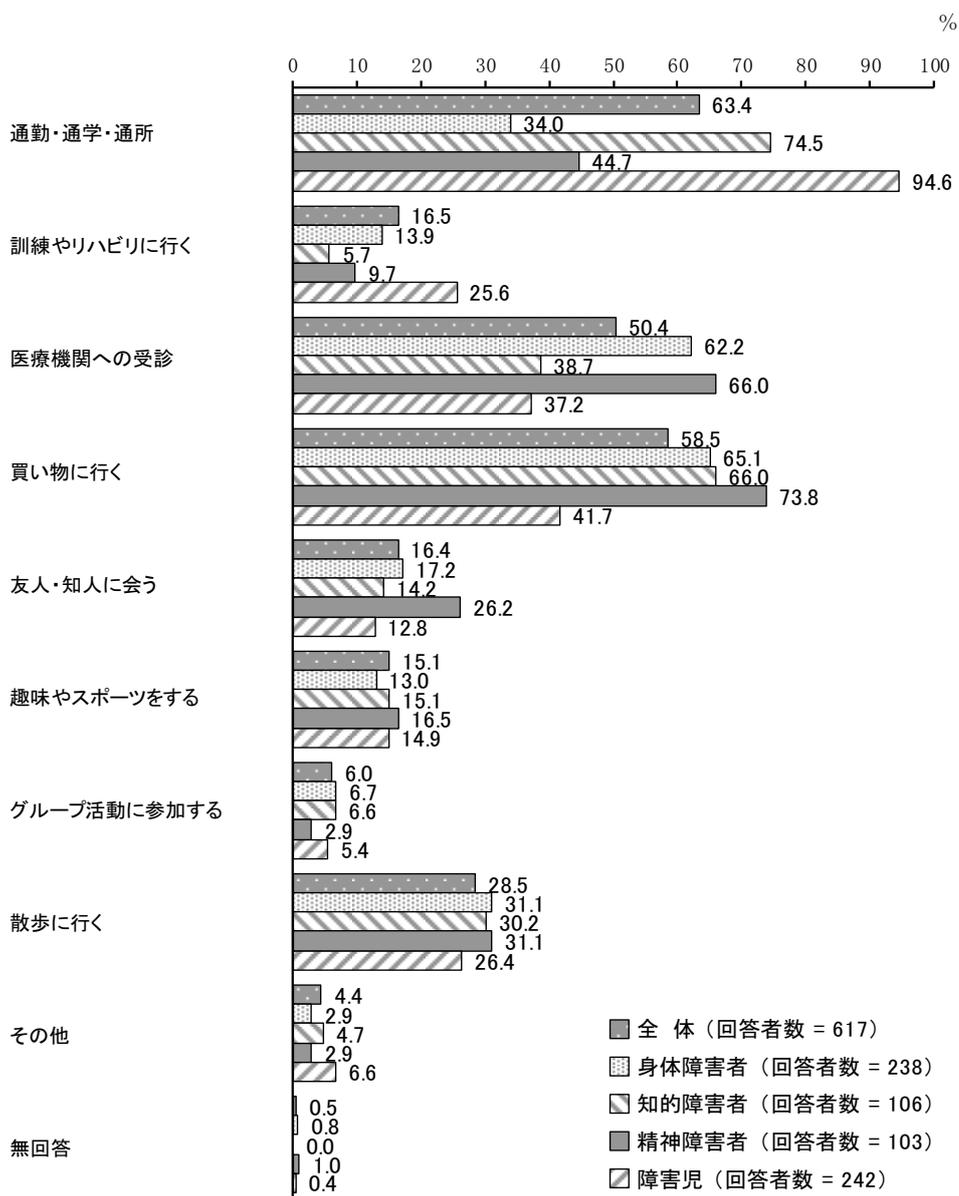


問 26 で「1 週に4日以上」「2 週に2、3日」「3 週に1日」「4 月に2、3日」「5 月に1日」「6 年に数日」と回答した方におたずねします。

**問 28 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇はいくつでも)**

「通勤・通学・通所」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「買い物に行く」の割合が 58.5%、「医療機関への受診」の割合が 50.4%となっています。

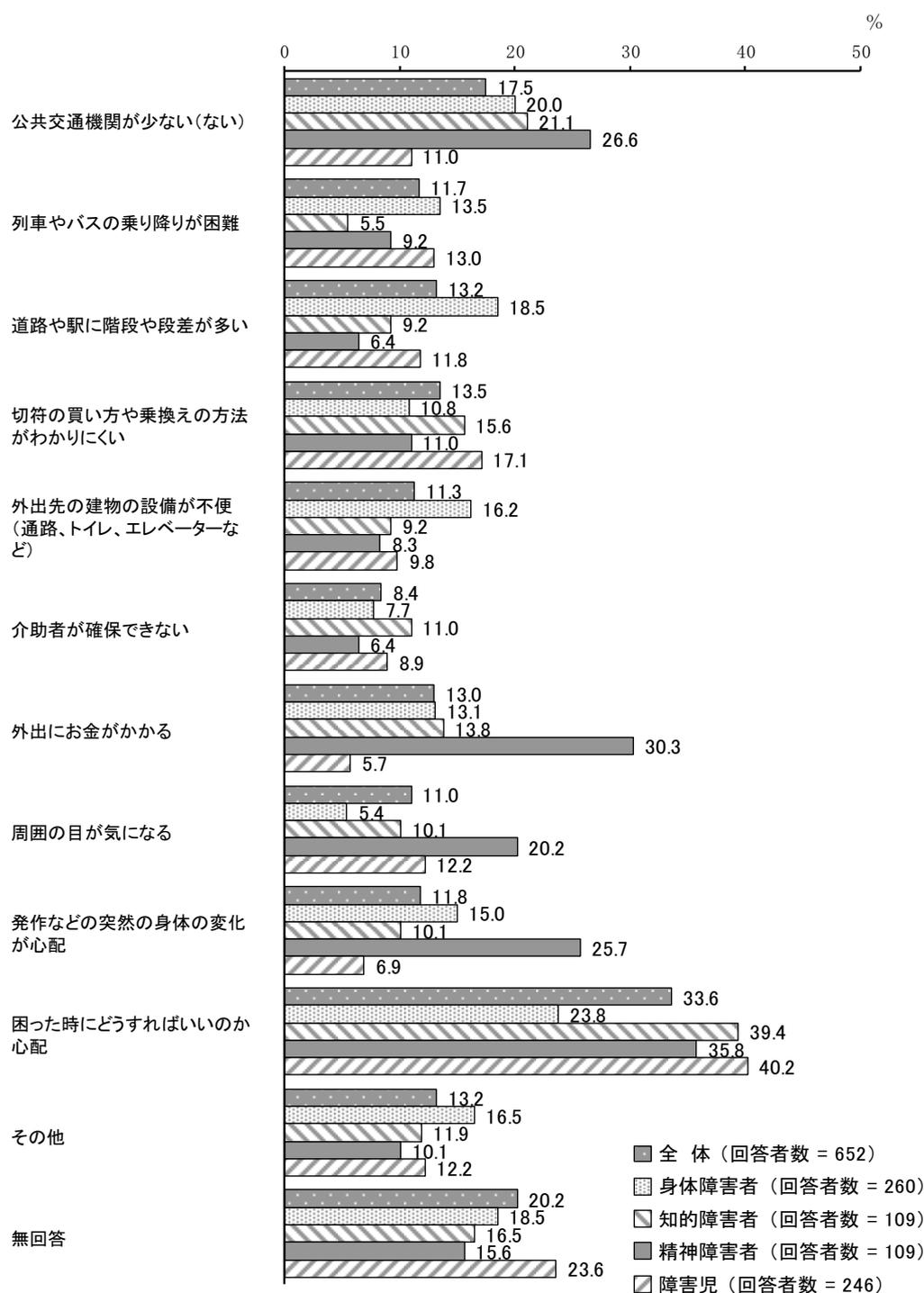
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「買い物に行く」の割合が、障害のある子どもで「通勤・通学・通所」の割合が高くなっています。



## 問 29 あなたが外出するときに困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

「困った時にどうすればいいのか心配」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」の割合が 17.5%、「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」の割合が 13.5%となっています。

障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「道路や駅に階段や段差が多い」の割合が、精神障害のある人で「外出にお金がかかる」の割合が高くなっています。また、障害のある子どもで「困った時にどうすればいいのか心配」の割合が高くなっています。



### 【外出の頻度別】

外出の頻度別でみると、他に比べ、外出しないで「道路や駅に階段や段差が多い」「切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい」「外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

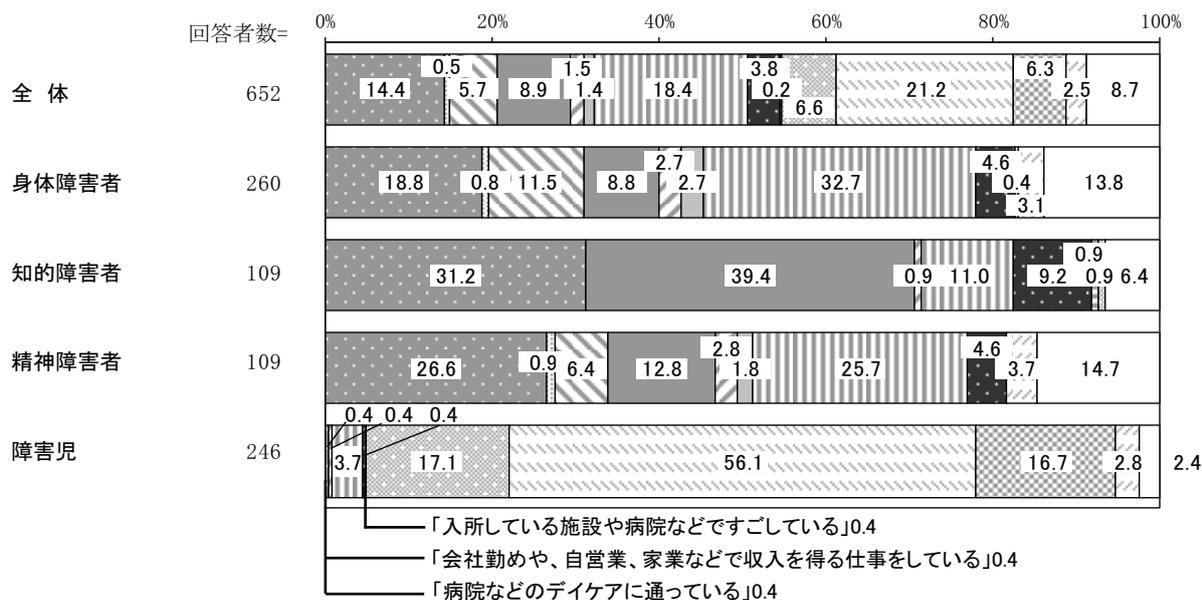
区分	有効回答数（件）	公共交通機関が少ない（ない）	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便（通路、トイレ、エレベーターなど）	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作などの突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのかわからない	その他	無回答
週に4日以上	450	18.2	9.8	10.4	13.6	9.8	7.6	11.8	12.2	9.1	35.1	14.4	18.9
週に2、3日	93	20.4	18.3	21.5	16.1	15.1	10.8	20.4	11.8	23.7	37.6	9.7	10.8
週に1日	29	17.2	10.3	17.2	13.8	13.8	3.4	10.3	6.9	10.3	20.7	10.3	24.1
月に2、3日	24	12.5	25.0	16.7	8.3	4.2	8.3	12.5	12.5	29.2	33.3	8.3	25.0
月に1日	11	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2	18.2	18.2	—	18.2	18.2	27.3	18.2
年に数日	10	—	—	10.0	—	20.0	20.0	10.0	—	—	20.0	—	50.0
外出しない	19	15.8	26.3	31.6	21.1	31.6	21.1	15.8	—	10.5	31.6	10.5	36.8

問 30 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

「一般の高校、小中学校に通っている」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「自宅ですごしている」の割合が 18.4%、「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」の割合が 14.4%となっています。

障害別で見ると、他に比べ、身体障害のある人で「自宅ですごしている」の割合が、知的障害のある人で「福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型も含む）」の割合が高くなっています。

- 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている
- ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
- 専業主婦(主夫)をしている
- 福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)
- 病院などのデイケアに通っている
- リハビリテーションを受けている
- 自宅ですごしている
- 入所している施設や病院などで過ごしている
- 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
- 特別支援学校(小中高等部)に通っている
- 一般の高校、小中学校に通っている

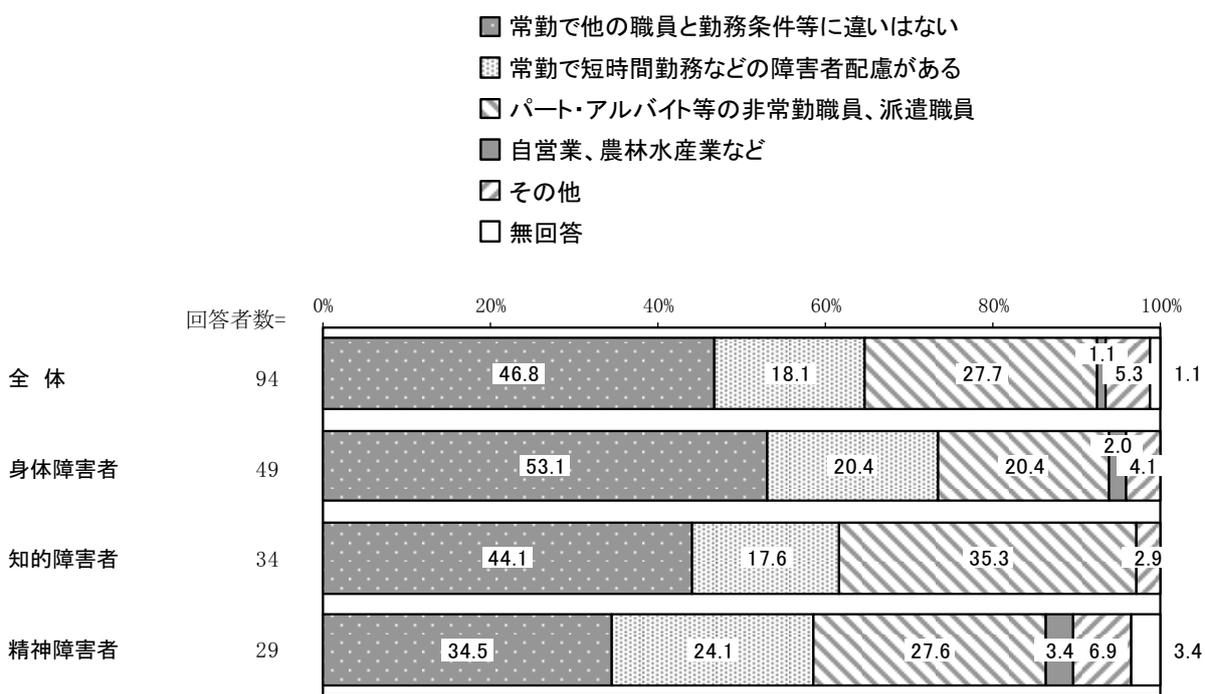


問 30 で「1 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と回答した方におたずねします。

**問 31 あなたはどのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)**

「常勤で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が 27.7%、「常勤で短時間勤務などの障害者配慮がある」の割合が 18.1%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」の割合が高くなっています。また、精神障害のある人で「常勤で他の職員と勤務条件等に違いはない」の割合が低くなっています。

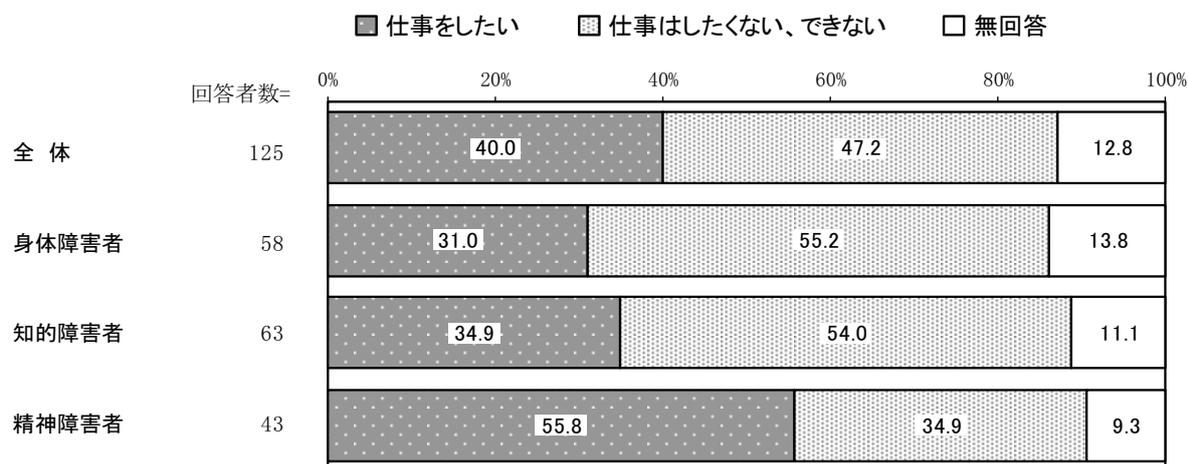


問 30 で「1 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」以外と回答した 18～64 歳の方におたずねします。

**問 32 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は 1 つだけ)**

「仕事をしたい」の割合が 40.0%、「仕事はしたくない、できない」の割合が 47.2%となっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「仕事をしたい」の割合が高くなっています。

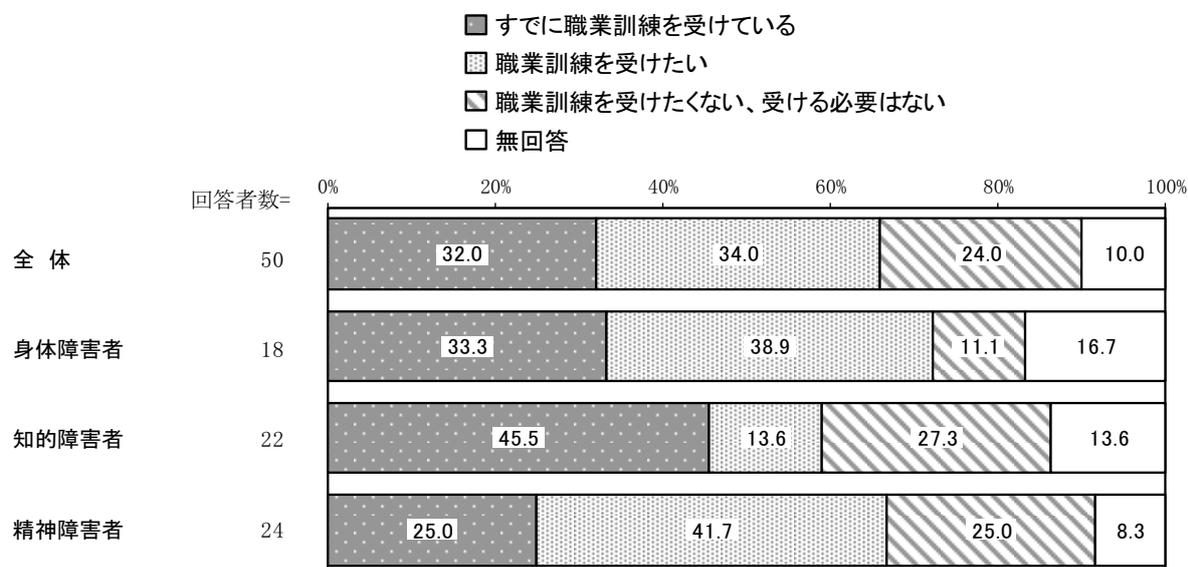


問 32 で「1 仕事をしたい」と回答した方におたずねします。

**問 33 収入を得る仕事をするために、職業訓練を受けたいと思いますか。(○は 1 つだけ)**

「職業訓練を受けたい」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「すでに職業訓練を受けている」の割合が 32.0%、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」の割合が 24.0%となっています。

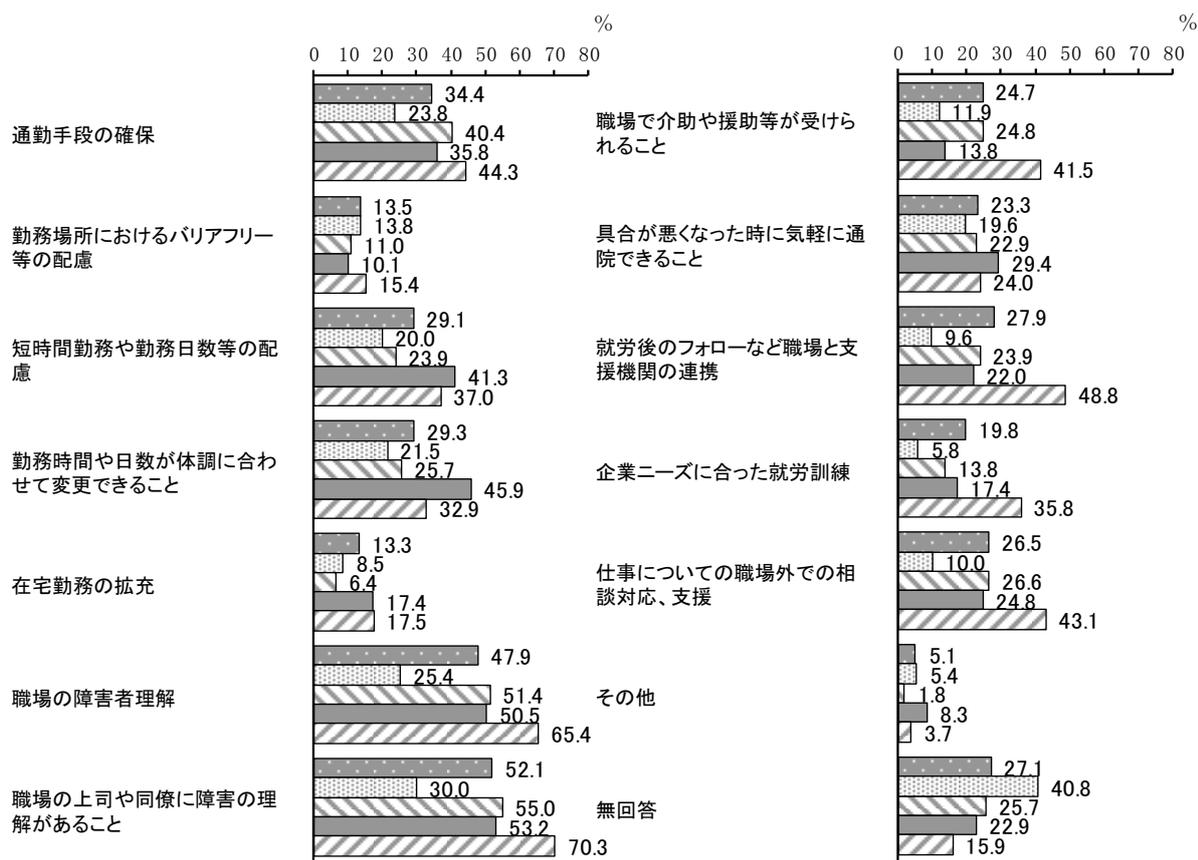
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「すでに職業訓練を受けている」の割合が高くなっています。



問 34 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「職場の障害者理解」の割合が 47.9%、「通勤手段の確保」の割合が 34.4%となっています。

障害別で見ると、他に比べ、精神障害のある人で「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」の割合が、障害のある子どもで「職場の障害者理解」「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の割合が高くなっています。



- 全体 (回答者数 = 652)
- ▨ 身体障害者 (回答者数 = 260)
- ▧ 知的障害者 (回答者数 = 109)
- ▩ 精神障害者 (回答者数 = 109)
- 障害児 (回答者数 = 246)

【勤務形態別】

勤務形態別でみると、他に比べ、常勤で短時間勤務などの障害者配慮があるで「短時間勤務や勤務日数等の配慮」「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」の割合が、パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員で「職場の障害者理解」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	通勤手段の確保	勤務場所における バリアフリー等の 配慮	短時間勤務や勤務 日数等の配慮	勤務時間や日数が 体調に合わせて変 更できること	在宅勤務の拡充	職場の障害者理解	職場の上司や同僚 に障害の理解があ ること
常勤で他の職員と勤務条件等に違いはない	44	40.9	15.9	18.2	29.5	11.4	52.3	63.6
常勤で短時間勤務などの障害者配慮がある	17	41.2	11.8	47.1	52.9	17.6	47.1	64.7
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	26	38.5	3.8	38.5	30.8	15.4	76.9	61.5
自営業、農林水産業など	1	100.0	—	100.0	100.0	—	100.0	—
その他	5	20.0	—	40.0	20.0	—	40.0	—

区分	職場で介助や援助 等が受けられるこ と	具合が悪くなった 時に気軽に通院で きるこ	就労後のフォロー など職場と支援機 関の連携	企業ニーズに合っ た就労訓練	仕事についての職 場外での相談対応、 支援	その他	無回答
常勤で他の職員と勤務条件等に違いはない	15.9	25.0	18.2	13.6	20.5	6.8	6.8
常勤で短時間勤務などの障害者配慮がある	11.8	47.1	17.6	11.8	29.4	11.8	—
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	15.4	15.4	19.2	23.1	23.1	3.8	7.7
自営業、農林水産業など	—	100.0	—	—	—	—	—
その他	—	40.0	—	—	20.0	—	20.0

### 【収入を得る仕事への意向別】

収入を得る仕事への意向別でみると、仕事はしたくない、できないに比べ、仕事をしたいで「短時間勤務や勤務日数等の配慮」「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」「職場の障害者理解」「職場の上司や同僚に障害の理解があること」「具合が悪くなった時に気軽に通院できること」「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」「企業ニーズに合った就労訓練」「仕事についての職場外での相談対応、支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	通勤手段の確保	勤務場所における バリアフリー等の 配慮	短時間勤務や勤務 日数等の配慮	勤務時間や日数が 体調に合わせて変 更できること	在宅勤務の拡充	職場の障害者理解	職場の上司や同僚 に障害の理解があ ること
仕事をしたい	50	42.0	12.0	46.0	60.0	16.0	72.0	86.0
仕事はしたくない、 できない	59	40.7	20.3	39.0	30.5	15.3	47.5	47.5

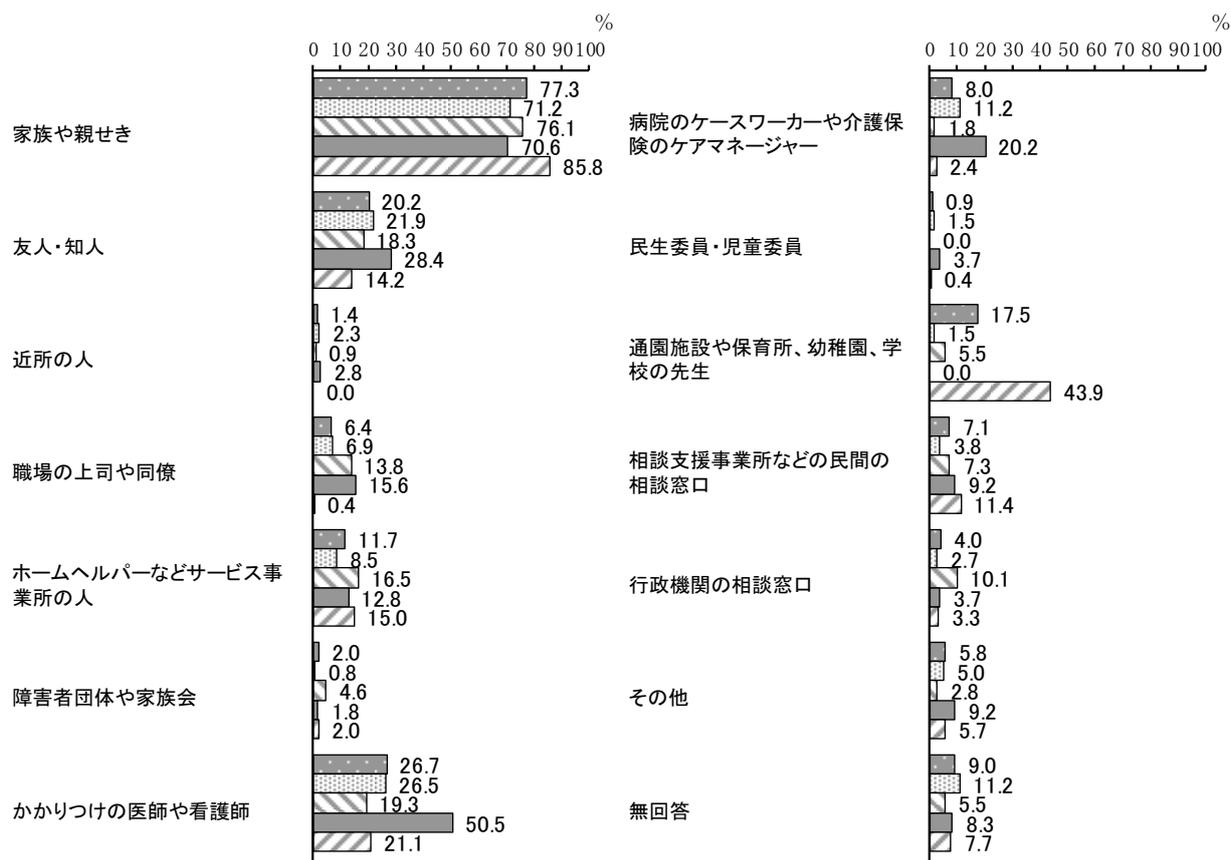
区分	職場で介助や援助 と等が受けられるこ と	具合が悪くなった 時に気軽に通院で きること	就労後のフォロー など職場と支援機 関の連携	企業ニーズに合っ た就労訓練	仕事についての職 場外での相談対応、 支援	その他	無回答
仕事をしたい	26.0	38.0	40.0	24.0	36.0	6.0	4.0
仕事はしたくない、 できない	28.8	27.1	22.0	13.6	23.7	10.2	27.1

## 5 相談相手について

問 35 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(〇はいくつでも)

「家族や親せき」の割合が77.3%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」の割合が26.7%、「友人・知人」の割合が20.2%となっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「かかりつけの医師や看護師」の割合が、障害のある子どもで「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」の割合が高くなっています。

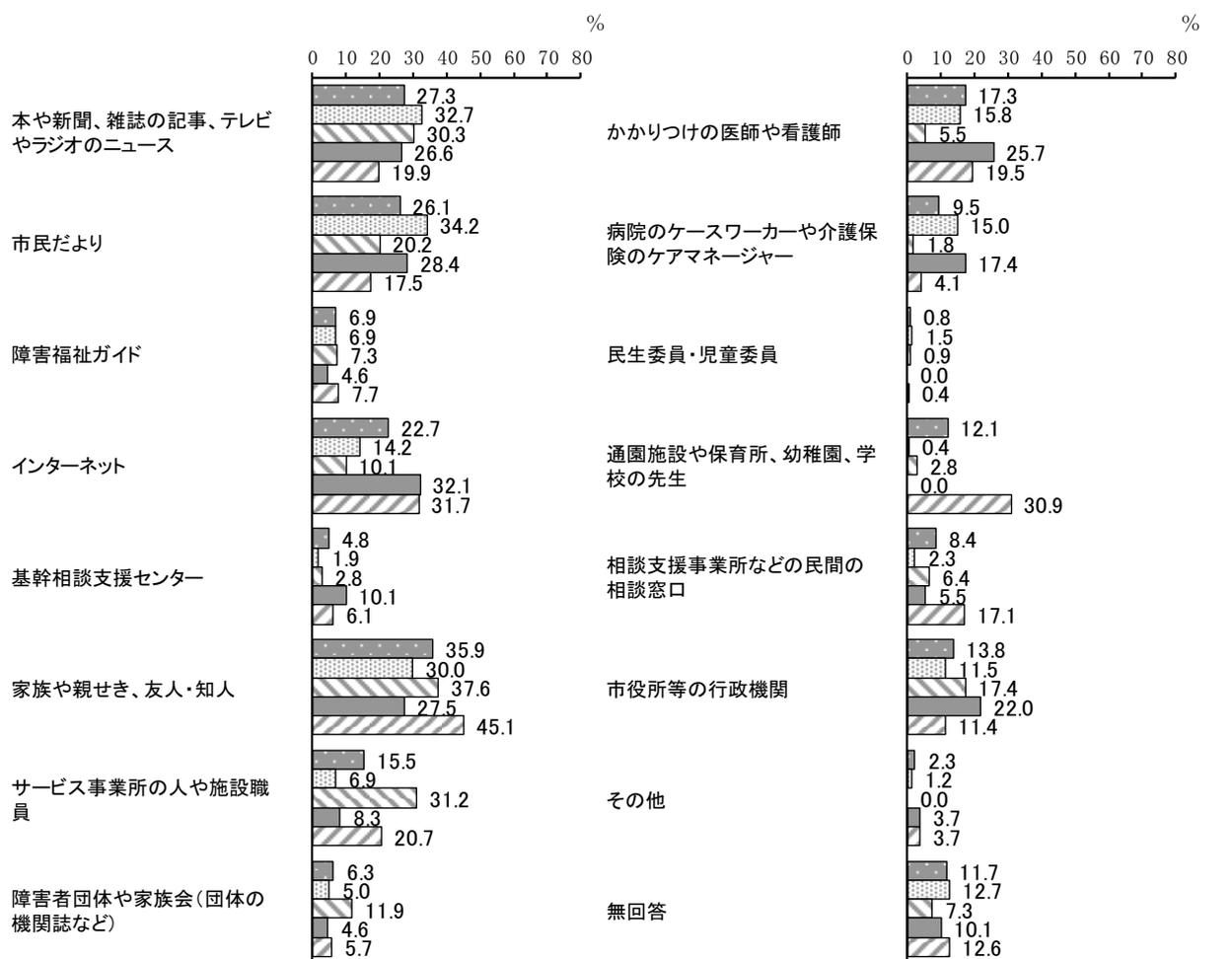


- 全体 (回答者数 = 652)
- ▨ 身体障害者 (回答者数 = 260)
- ▧ 知的障害者 (回答者数 = 109)
- ▩ 精神障害者 (回答者数 = 109)
- 障害児 (回答者数 = 246)

問 36 あなたは、障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(〇はいくつでも)

「家族や親せき、友人・知人」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」の割合が 27.3%、「市民だより」の割合が 26.1%となっています。

障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「市民だより」の割合が、知的障害のある人で「サービス事業所の人や施設職員」の割合が高くなっています。また、障害のある子どもで「家族や親せき、友人・知人」の割合が高くなっています。



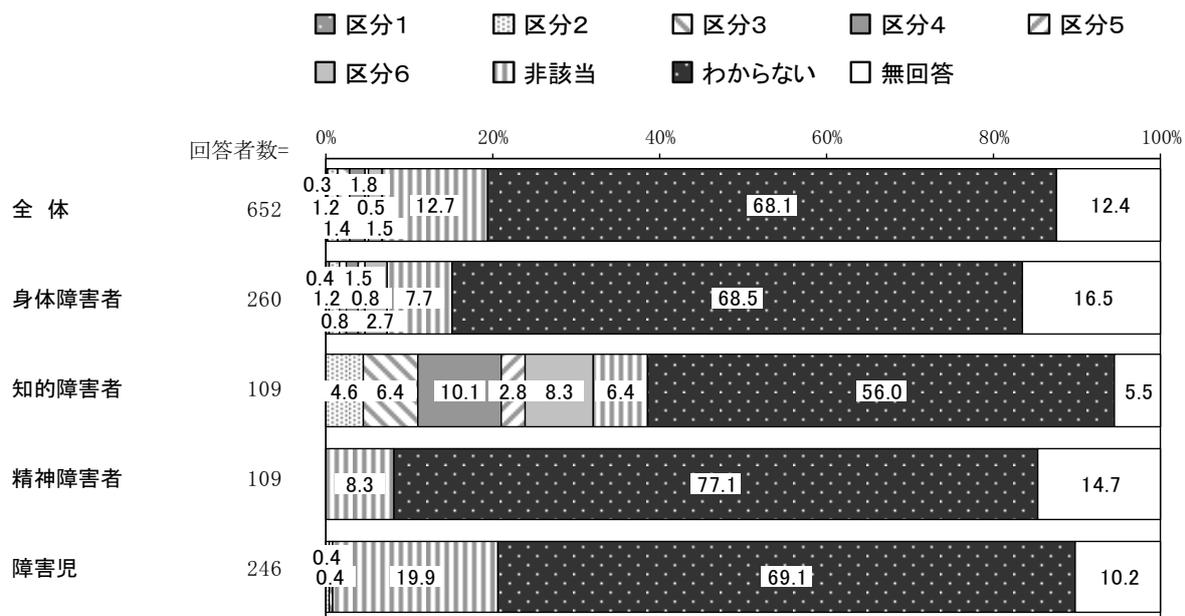
- 全体 (回答者数 = 652)
- ▨ 身体障害者 (回答者数 = 260)
- ▧ 知的障害者 (回答者数 = 109)
- 精神障害者 (回答者数 = 109)
- ▨ 障害児 (回答者数 = 246)

## 6 障害福祉サービス等について

問 37 あなたは、障害者総合支援法の障害支援区分認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

「わからない」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「非該当」の割合が 12.7%となっています。

障害別でみると、知的障害のある人で障害支援区分認定を受けている人が 32.2%となっています。

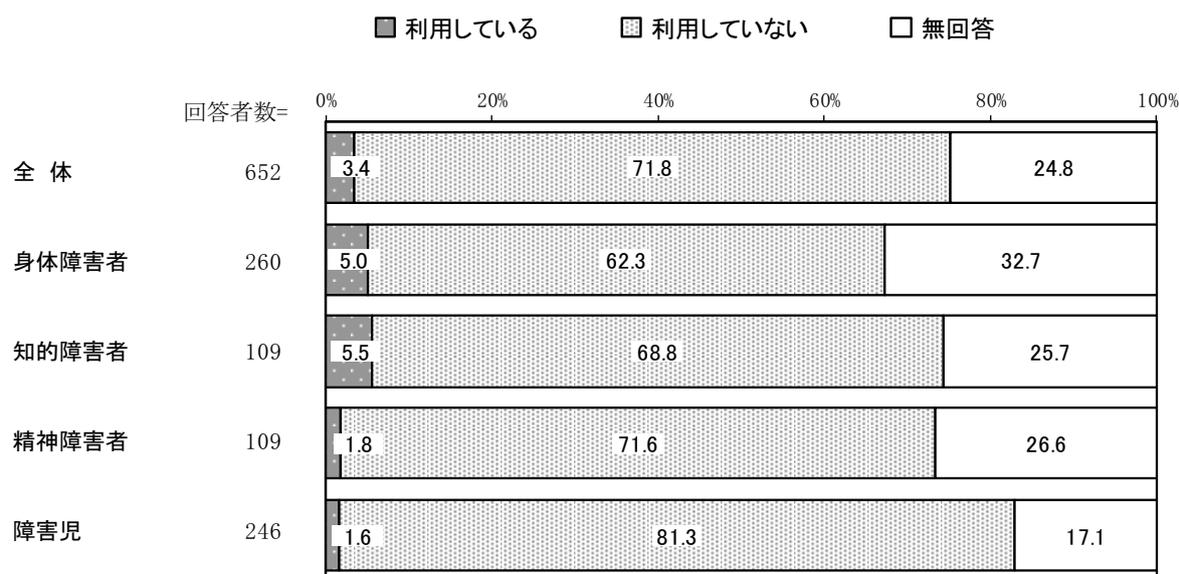


問 38 次の各サービスにおいて、現在のサービスの利用状況と今後3年以内の利用意向をお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

### 1 居宅介護（ホームヘルプ）

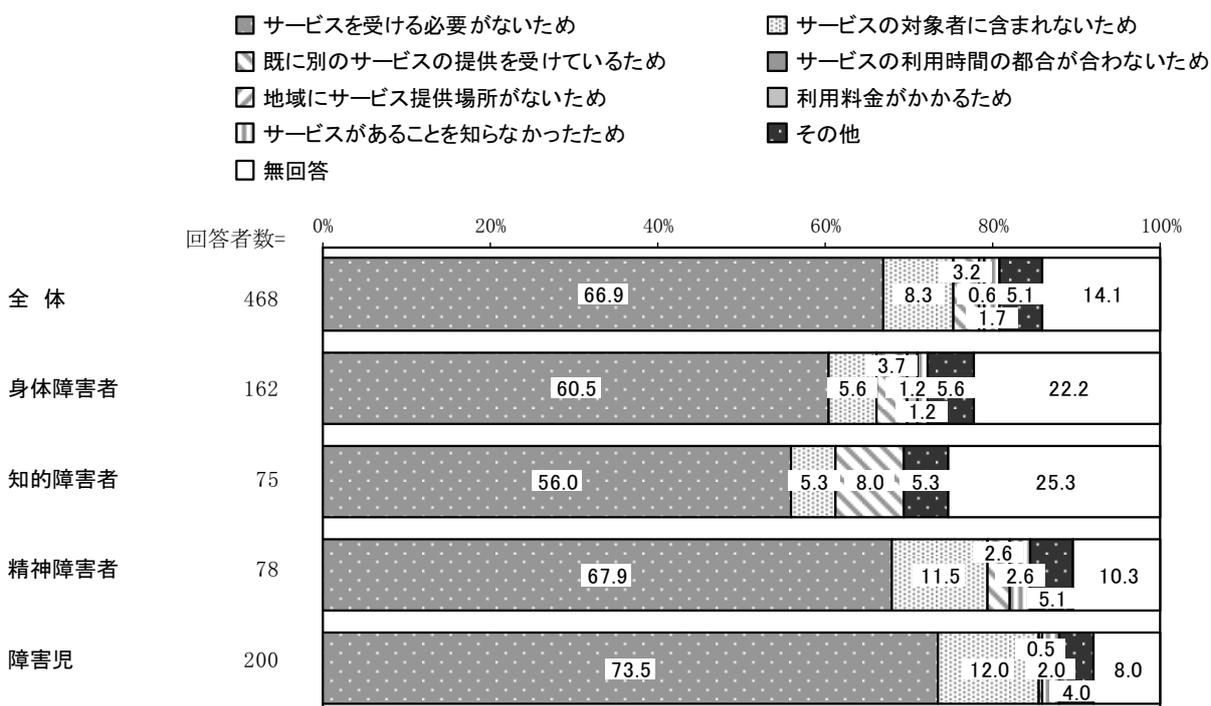
#### 現在の利用

「利用している」の割合が3.4%、「利用していない」の割合が71.8%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で5.0%、知的障害のある人で5.5%の人が利用しています。



#### 利用していない場合の理由

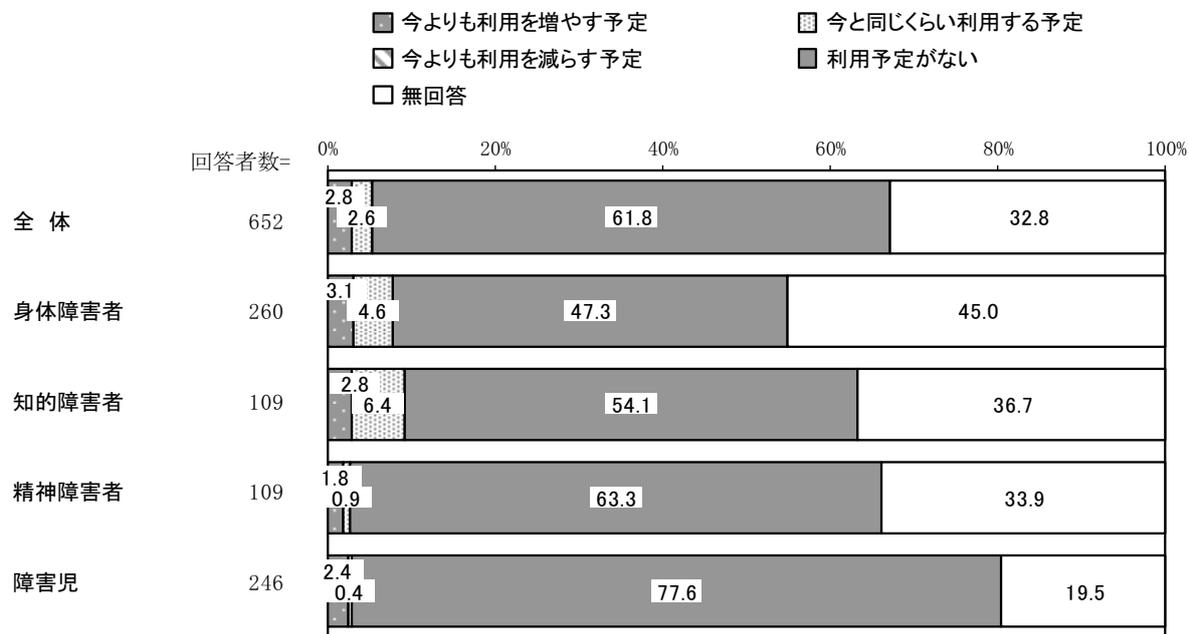
「サービスを受ける必要がないため」の割合が66.9%と最も高くなっています。  
 障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が61.8%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で7.7%、知的障害のある人で9.2%の人が今後の利用を希望しています。

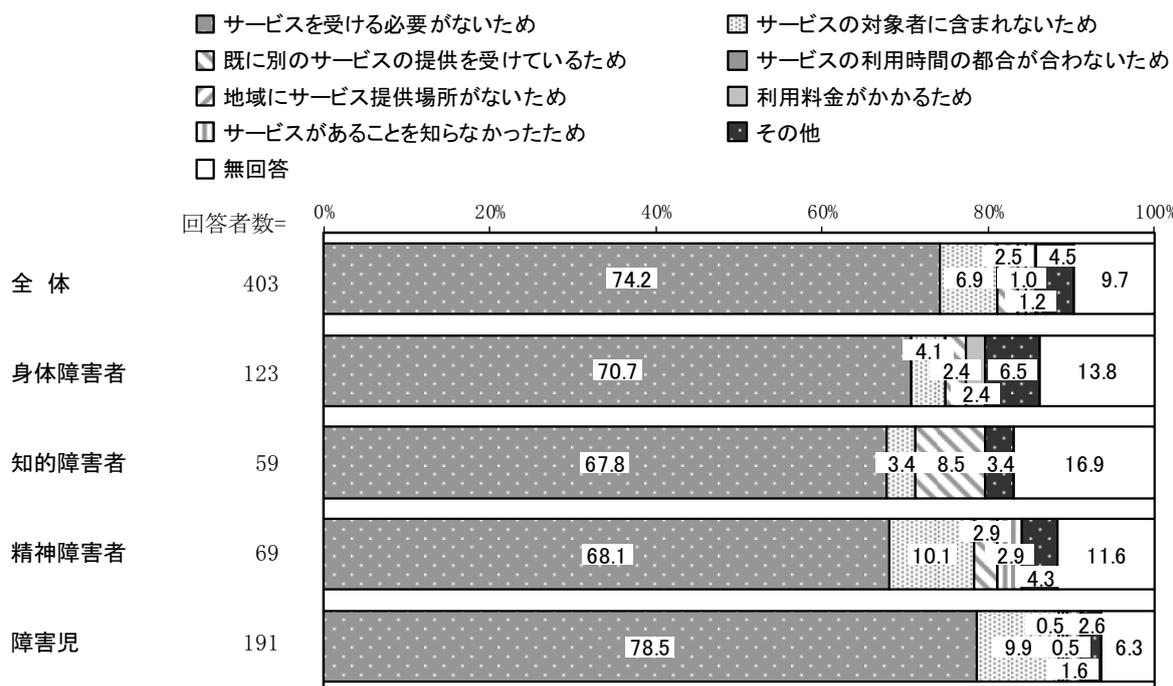


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が74.2%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

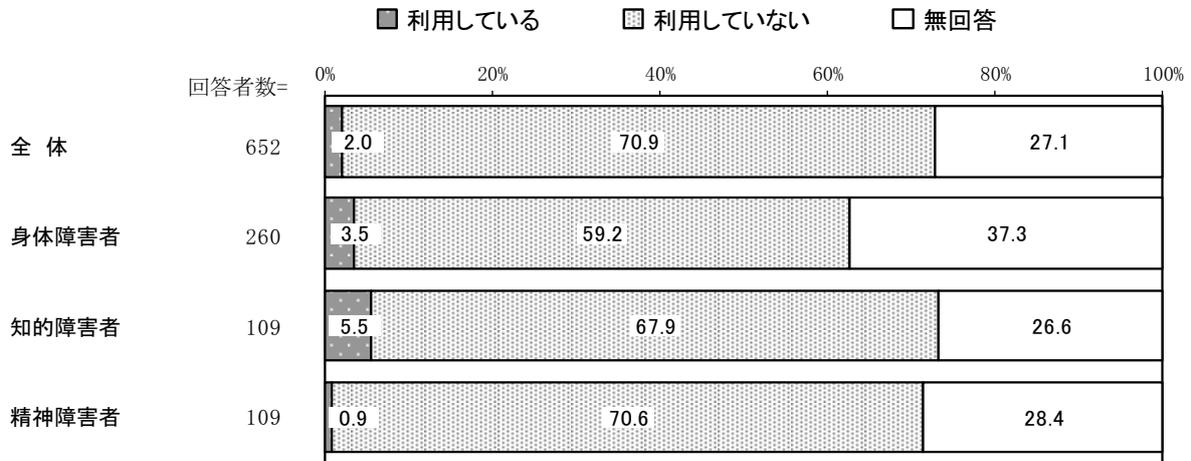
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。



## 2 重度訪問介護

### 現在の利用

「利用している」の割合が2.0%、「利用していない」の割合が70.9%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で5.5%の人が利用しています。

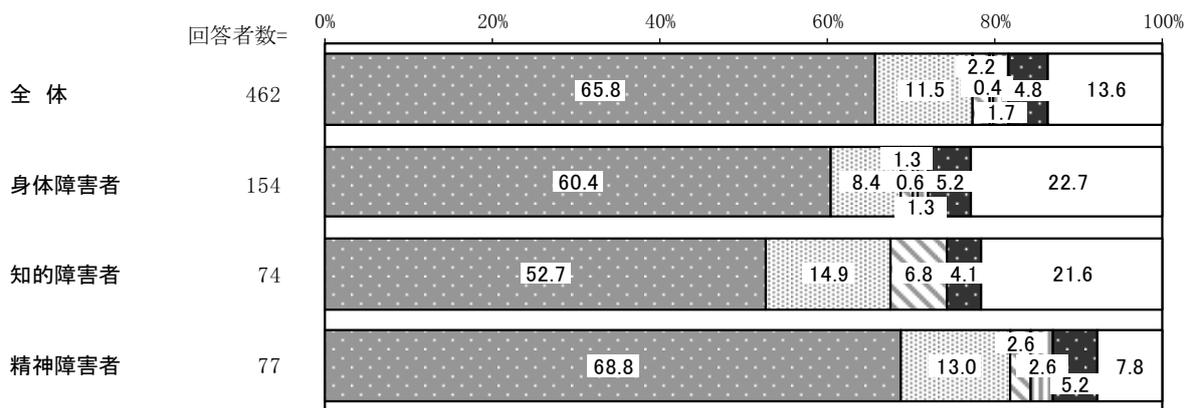


### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.8%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.5%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。

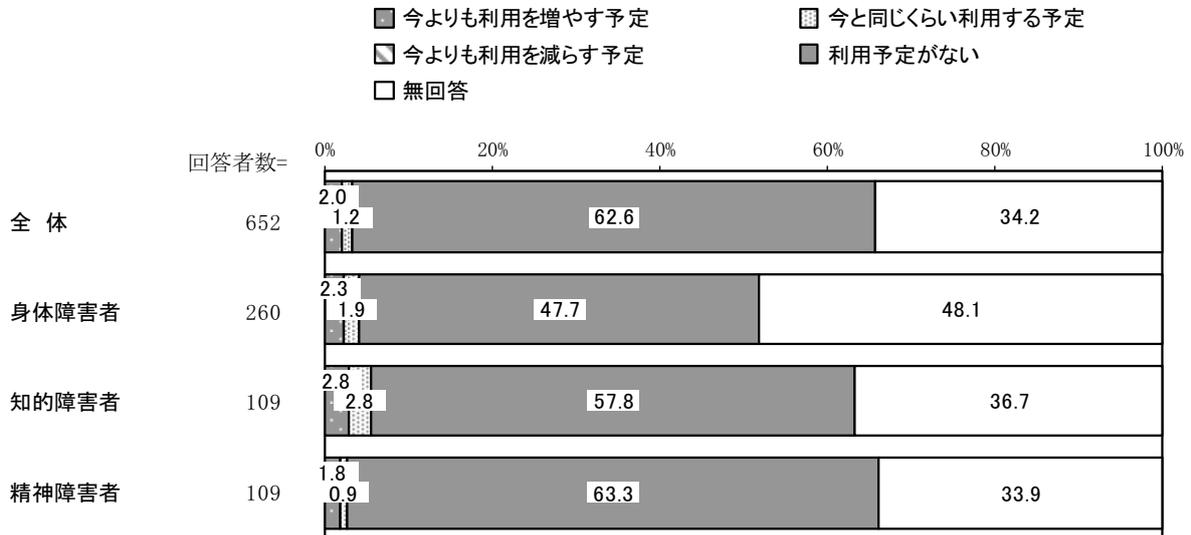
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が62.6%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で4.2%、知的障害のある人で5.6%の人が今後の利用を希望しています。

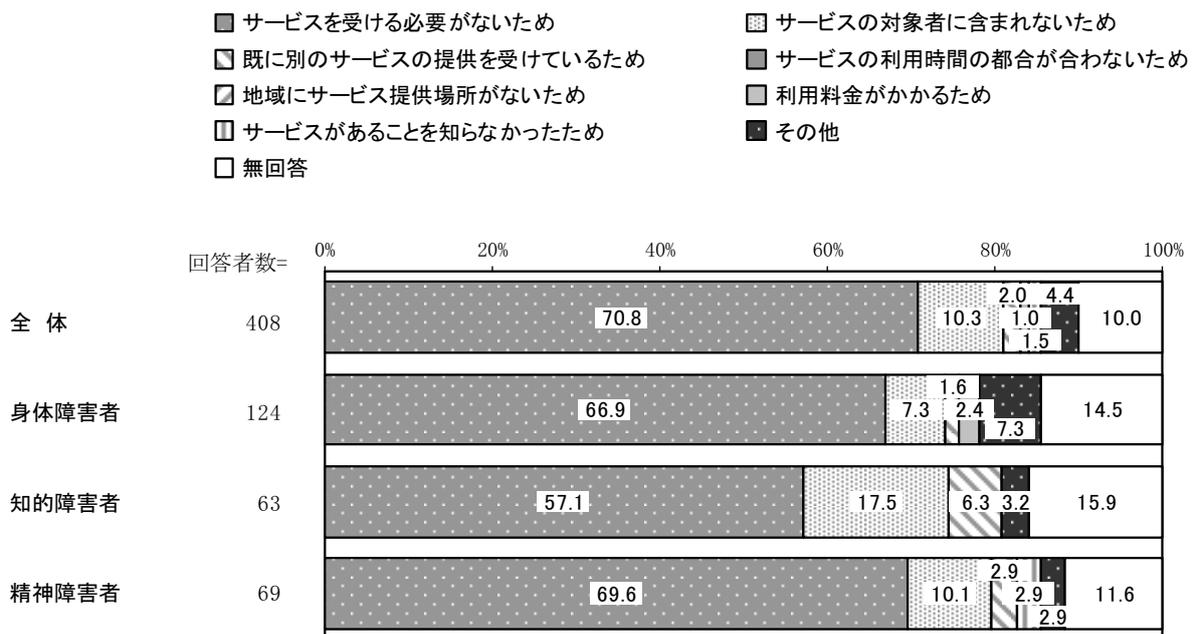


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が70.8%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.3%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

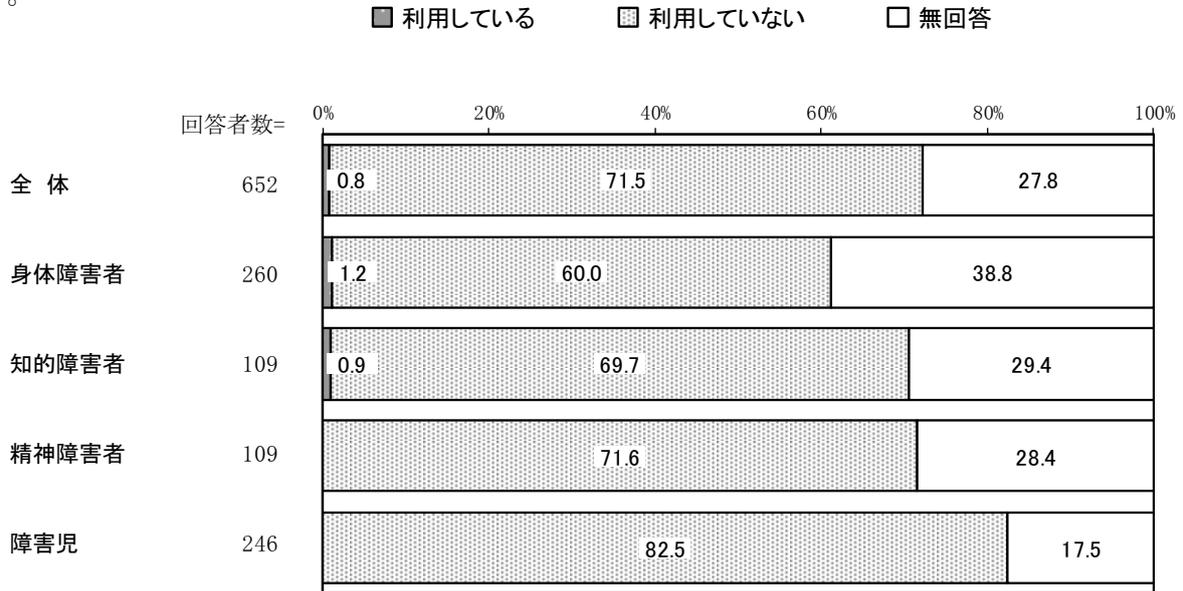
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



### 3 同行援護

#### 現在の利用

「利用している」の割合が0.8%、「利用していない」の割合が71.5%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で1.2%、知的障害のある人で0.9%の人が利用しています。

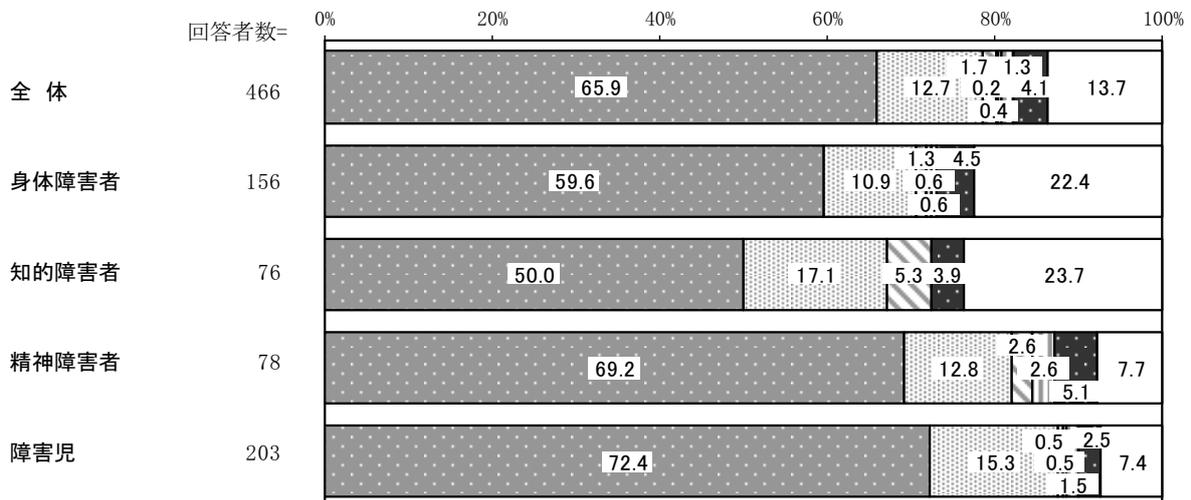


#### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が12.7%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。

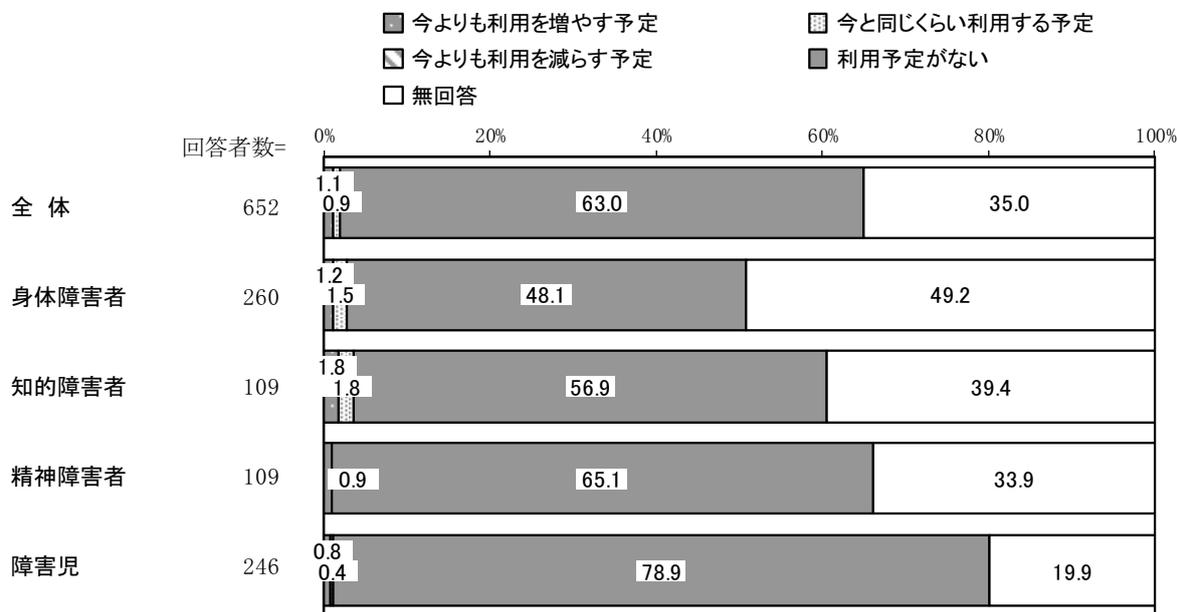
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が63.0%と最も高くなっています。

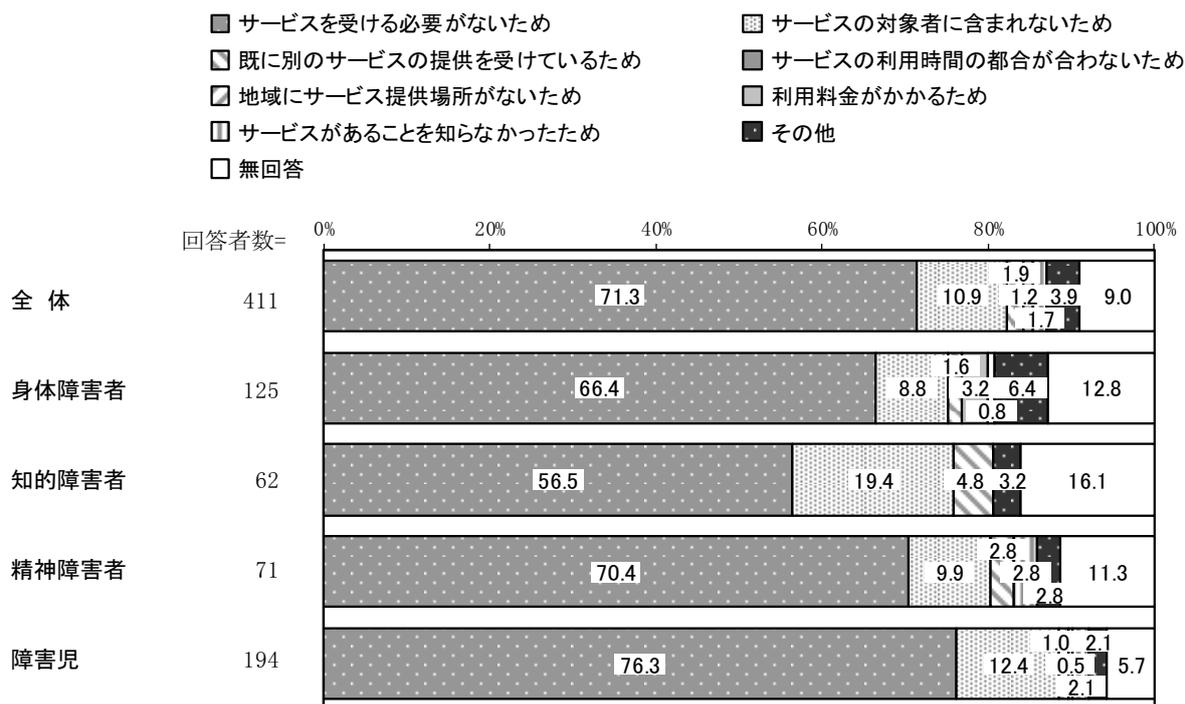
障害別でみると、身体障害のある人で2.7%、知的障害のある人で3.6%の人が今後の利用を希望しています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が71.3%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.9%となっています。

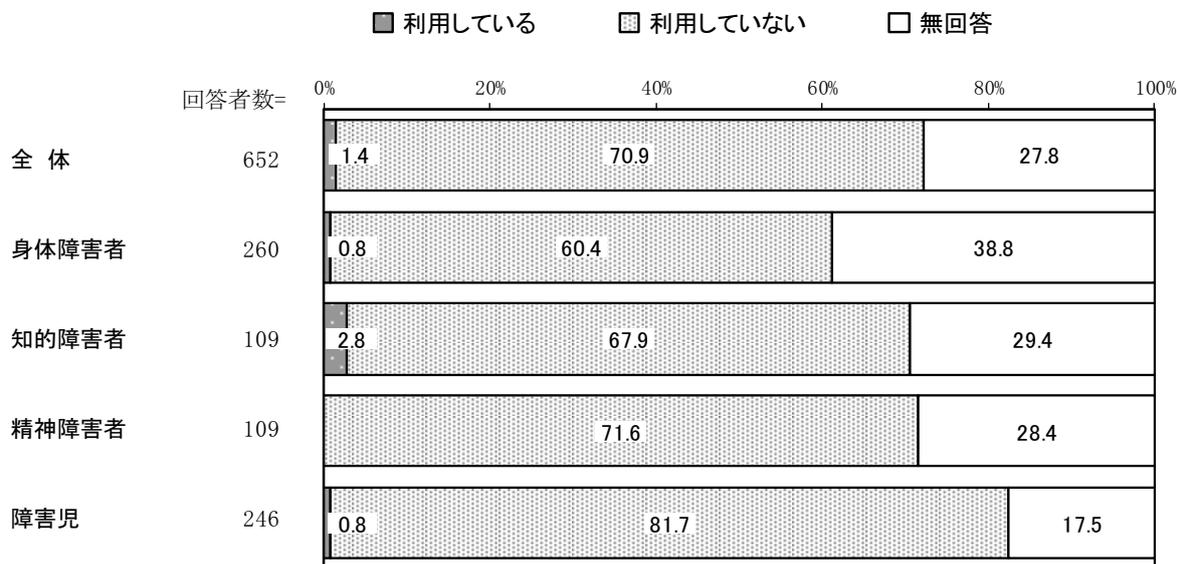
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。



## 4 行動援護

### 現在の利用

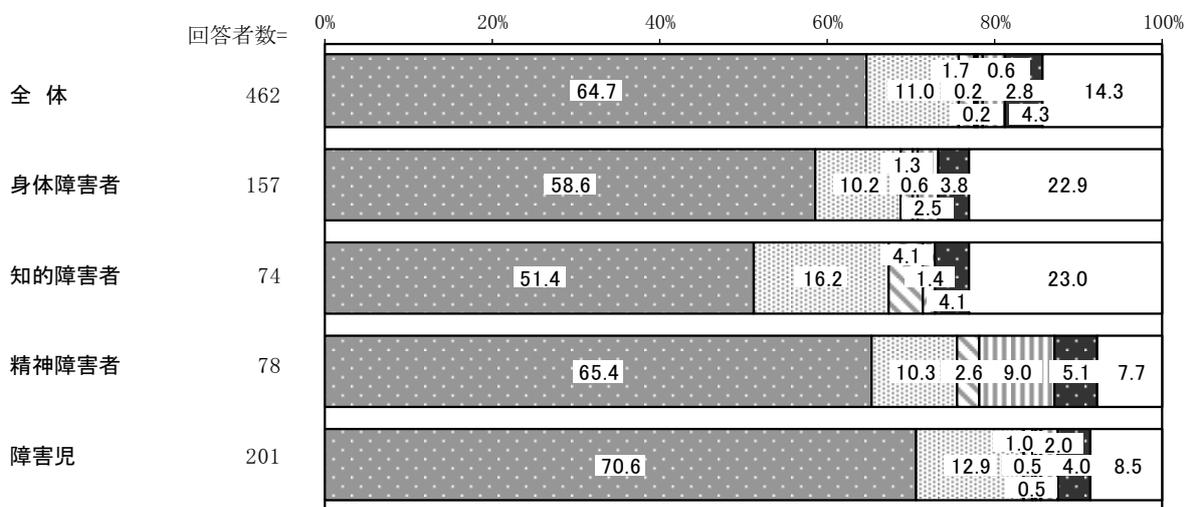
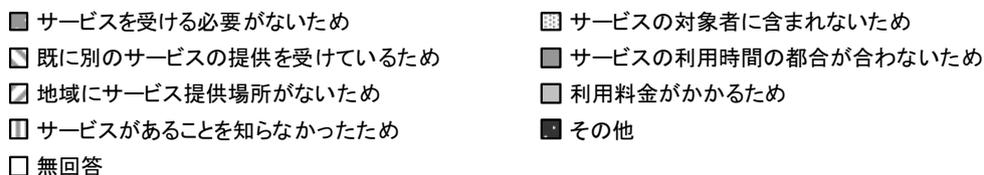
「利用している」の割合が1.4%、「利用していない」の割合が70.9%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で2.8%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が64.7%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.0%となっています。

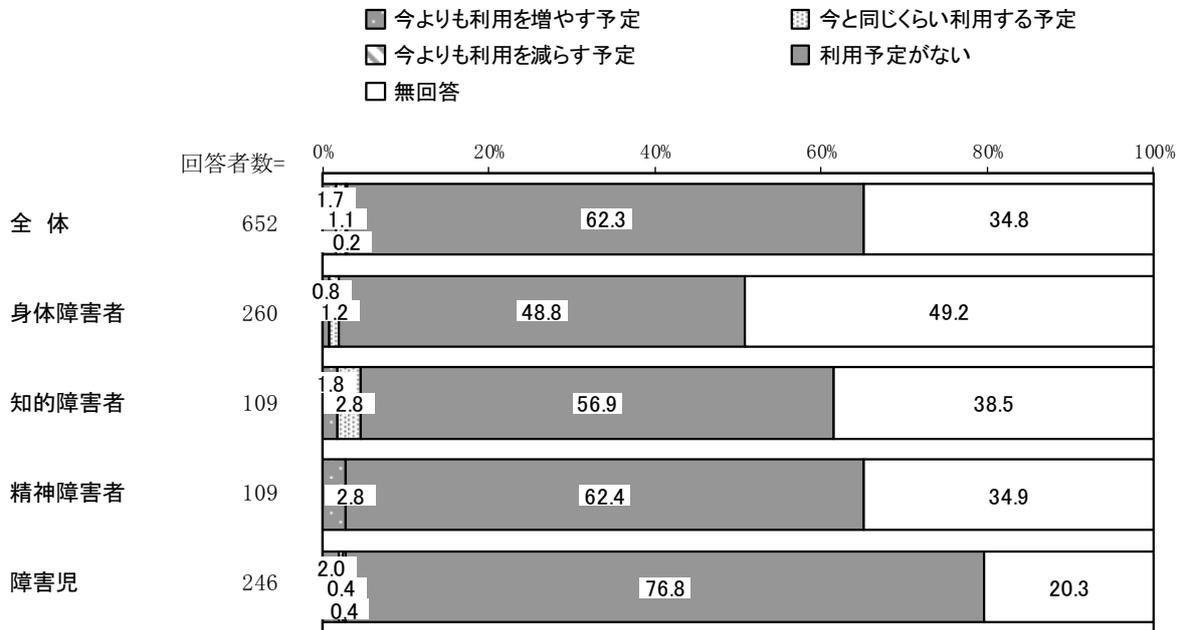
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が62.3%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で4.6%の人が今後の利用を希望しています。

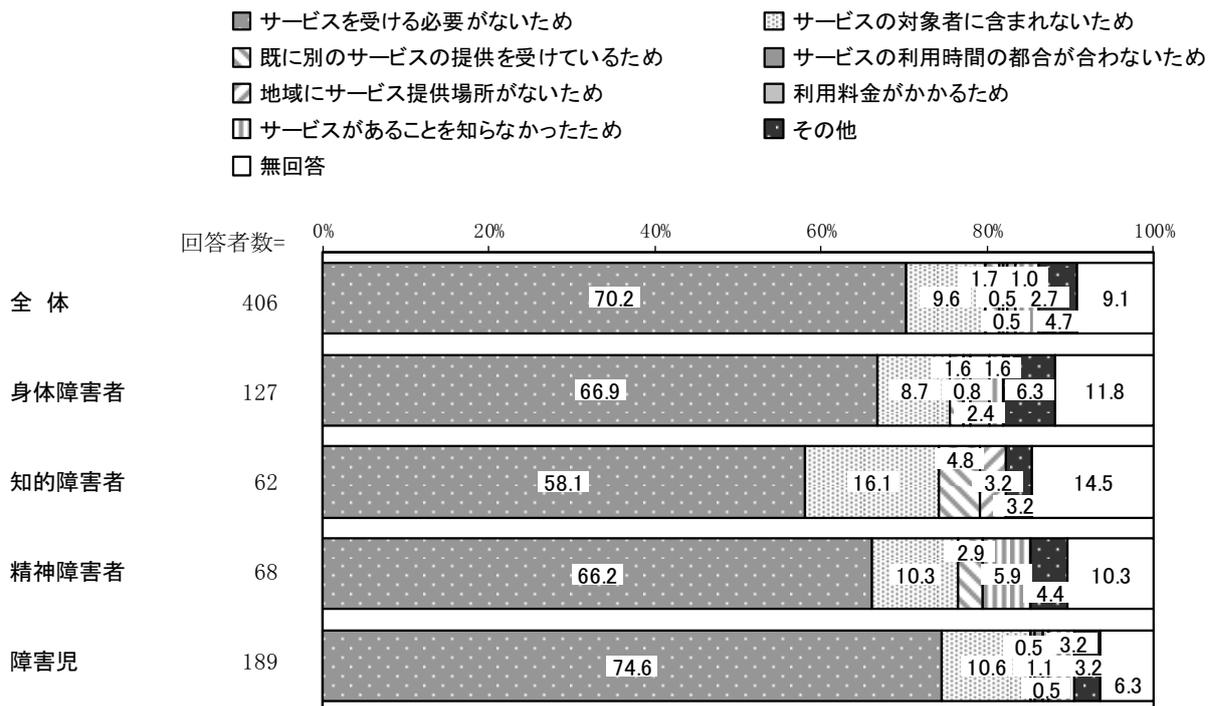


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が70.2%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

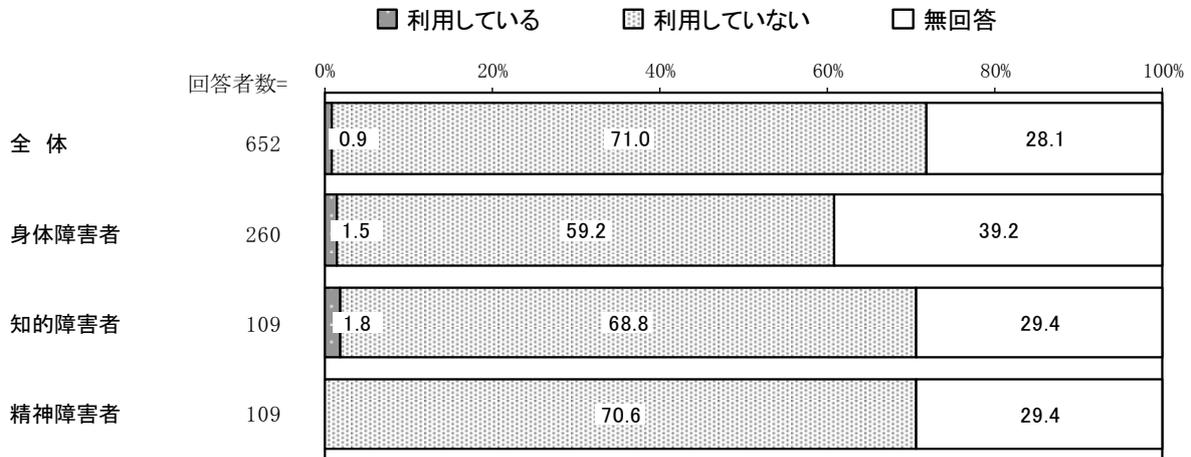
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 5 重度障害者等包括支援

### 現在の利用

「利用している」の割合が0.9%、「利用していない」の割合が71.0%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で1.5%、知的障害のある人で1.8%の人が利用しています。

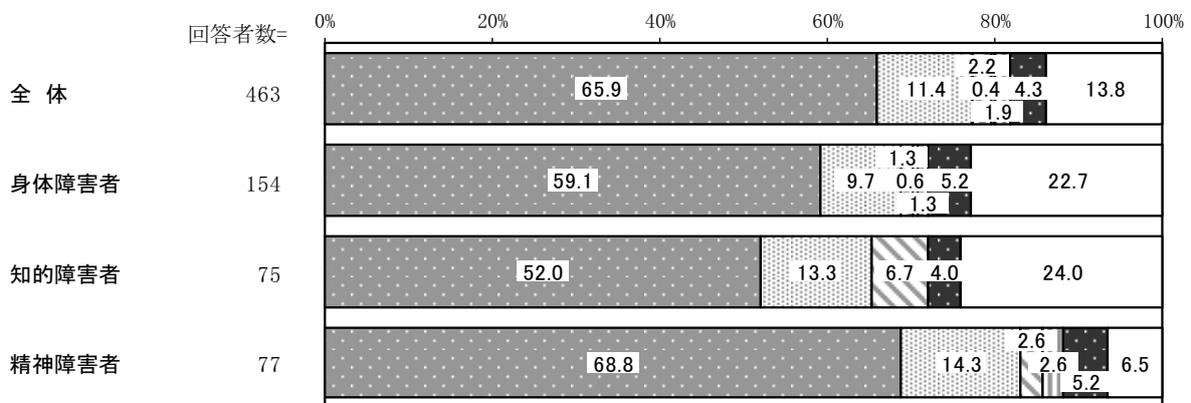


### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.4%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。

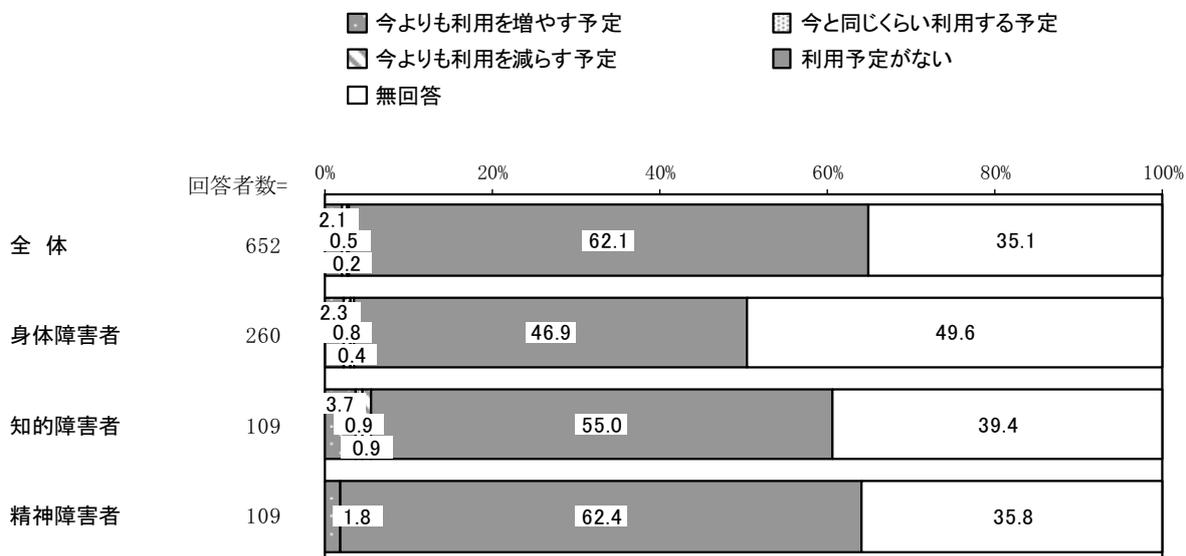
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が62.1%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で3.1%、知的障害のある人で4.6%の人が今後の利用を希望しています。

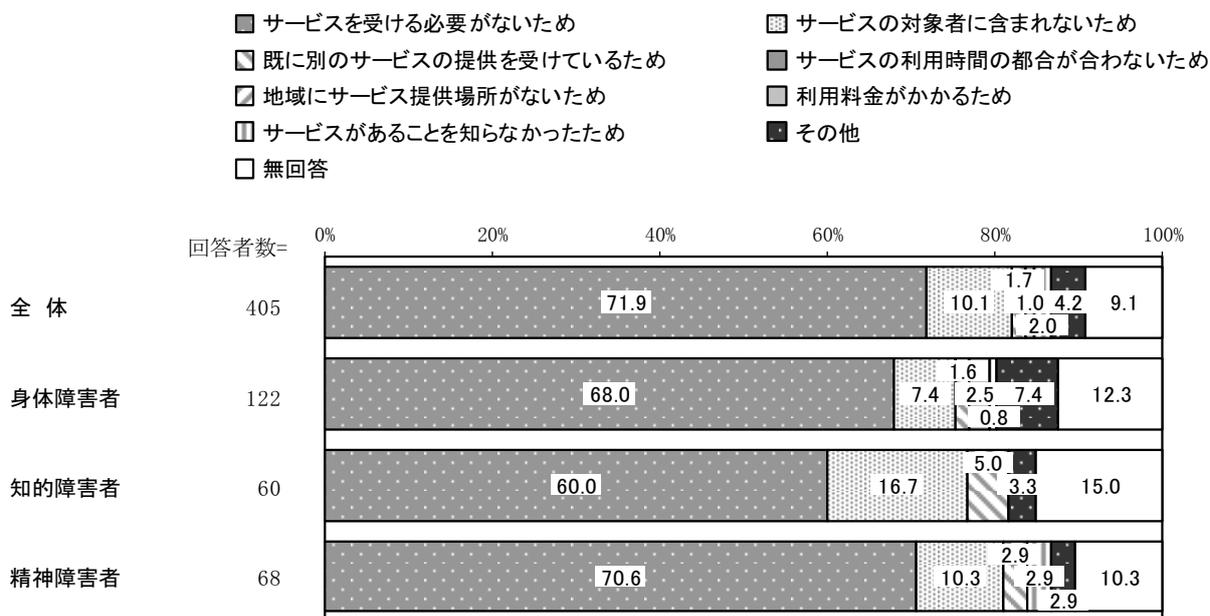


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が71.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.1%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

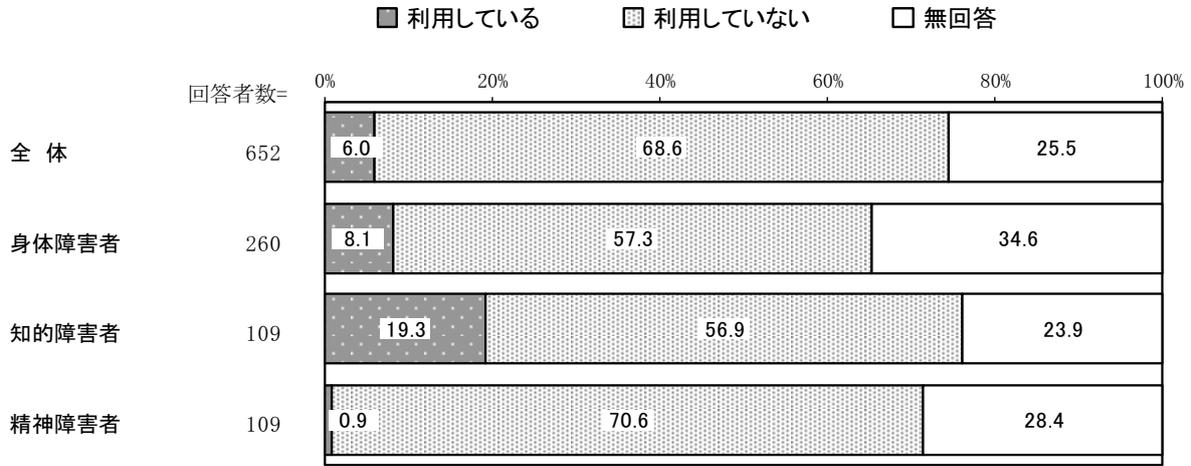
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。



## 6 生活介護

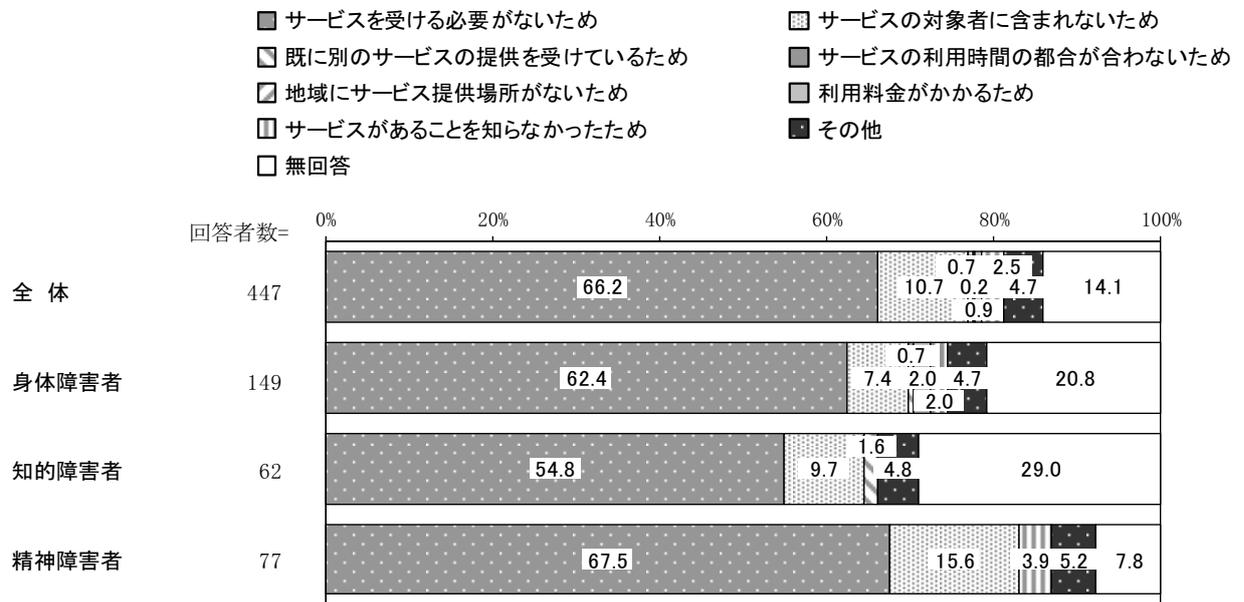
### 現在の利用

「利用している」の割合が6.0%、「利用していない」の割合が68.6%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で19.3%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

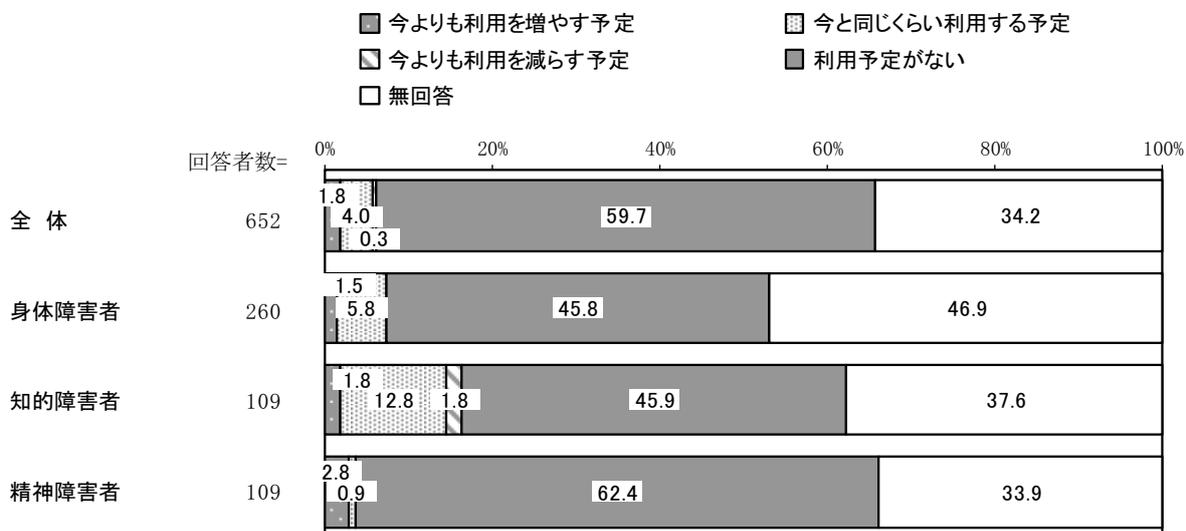
「サービスを受ける必要がないため」の割合が66.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.7%となっています。



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が59.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で14.6%の人が今後の利用を希望しています。

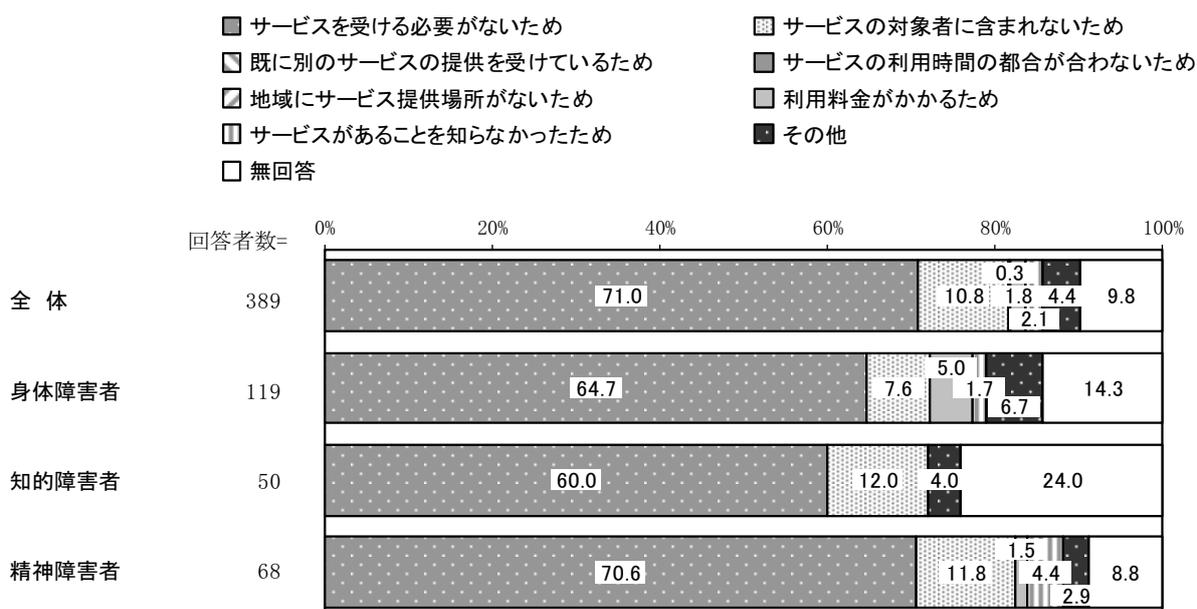


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が71.0%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.8%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「利用料金がかかるため」の割合が高くなっています。

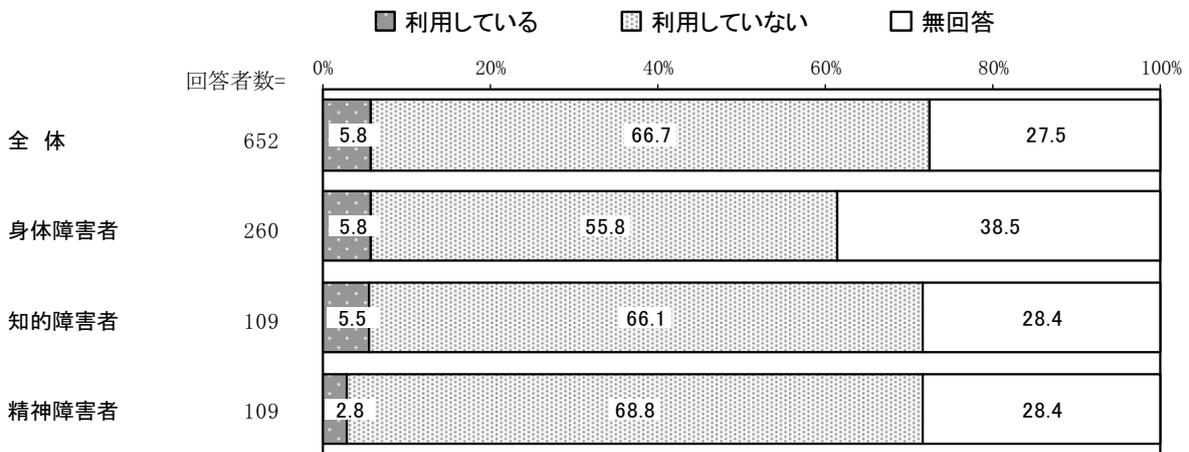
障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「利用料金がかかるため」の割合が高くなっています。



## 7 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

### 現在の利用

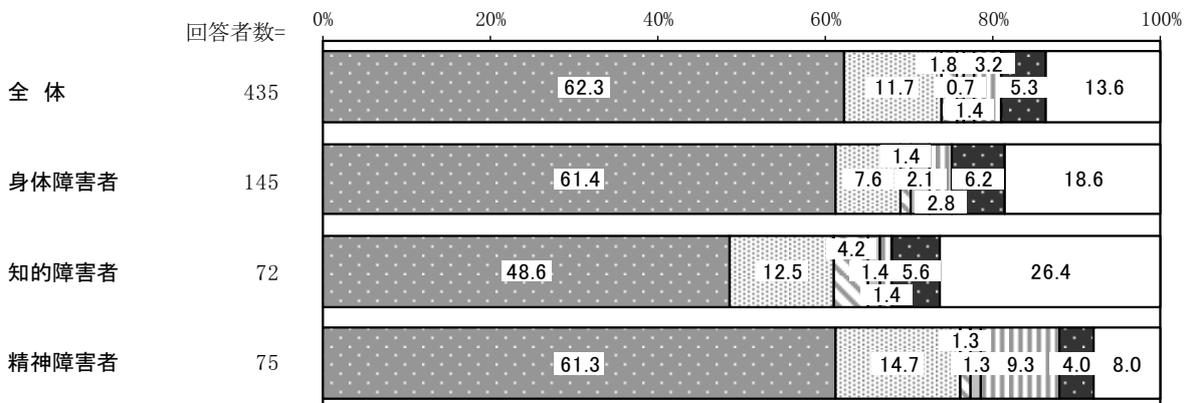
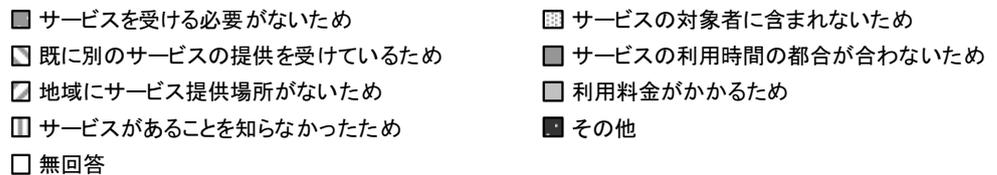
「利用している」の割合が5.8%、「利用していない」の割合が66.7%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で5.8%、知的障害のある人で5.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.3%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.7%となっています。

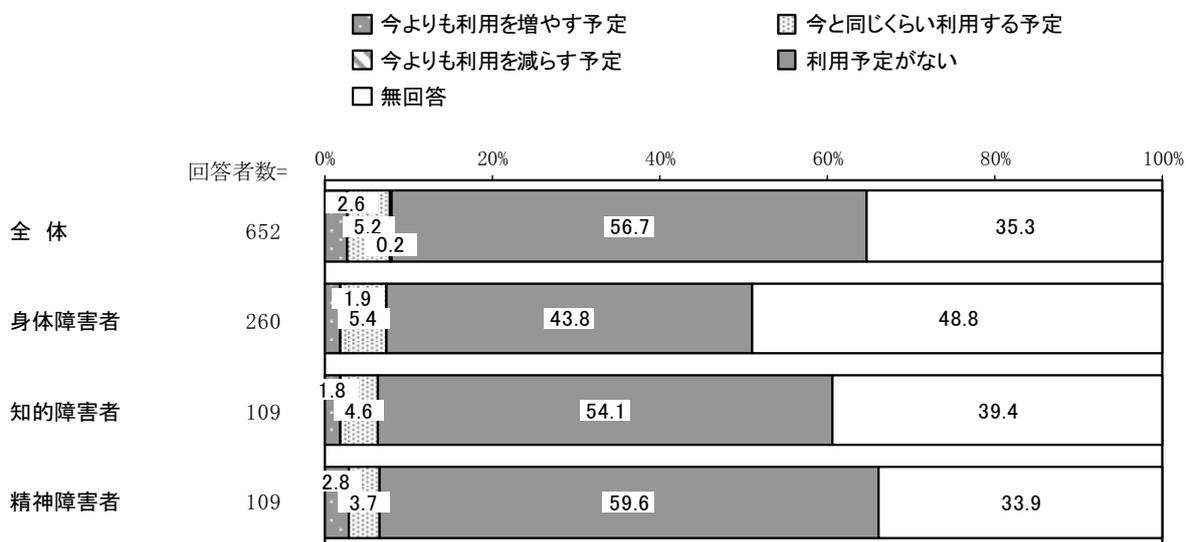
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が56.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で7.3%、知的障害のある人で6.4%の人が今後の利用を希望しています。

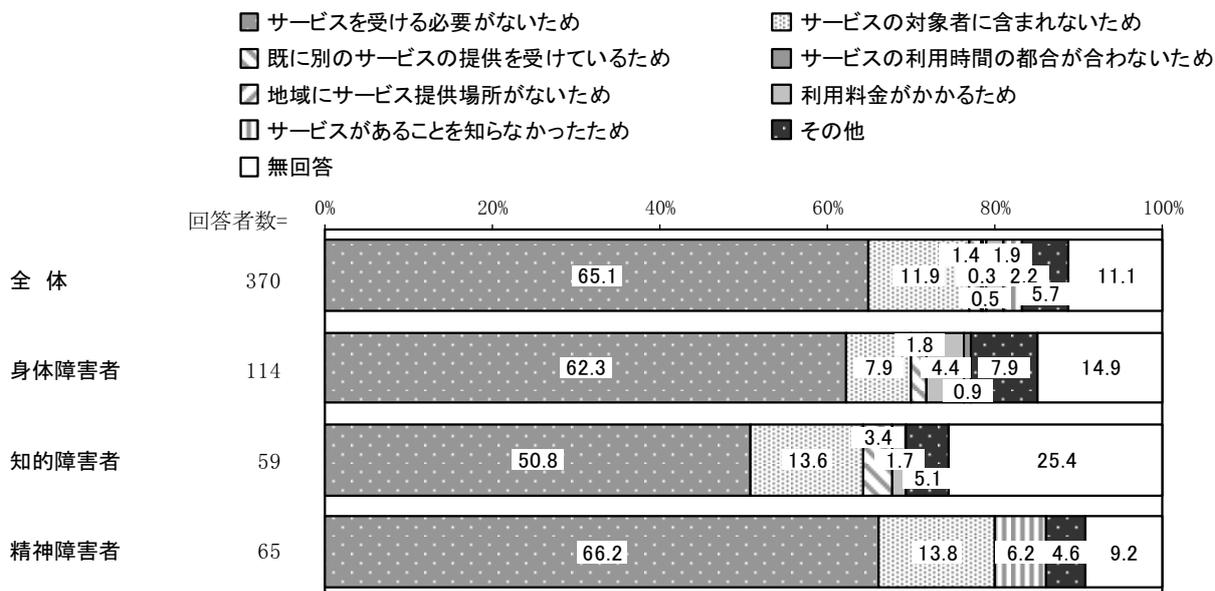


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.1%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.9%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

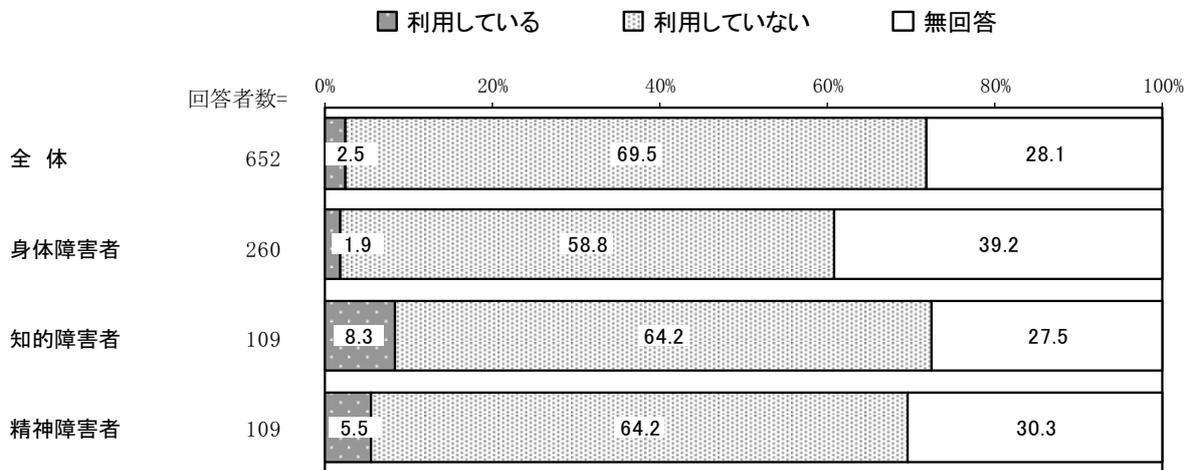
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 8 就労移行支援

### 現在の利用

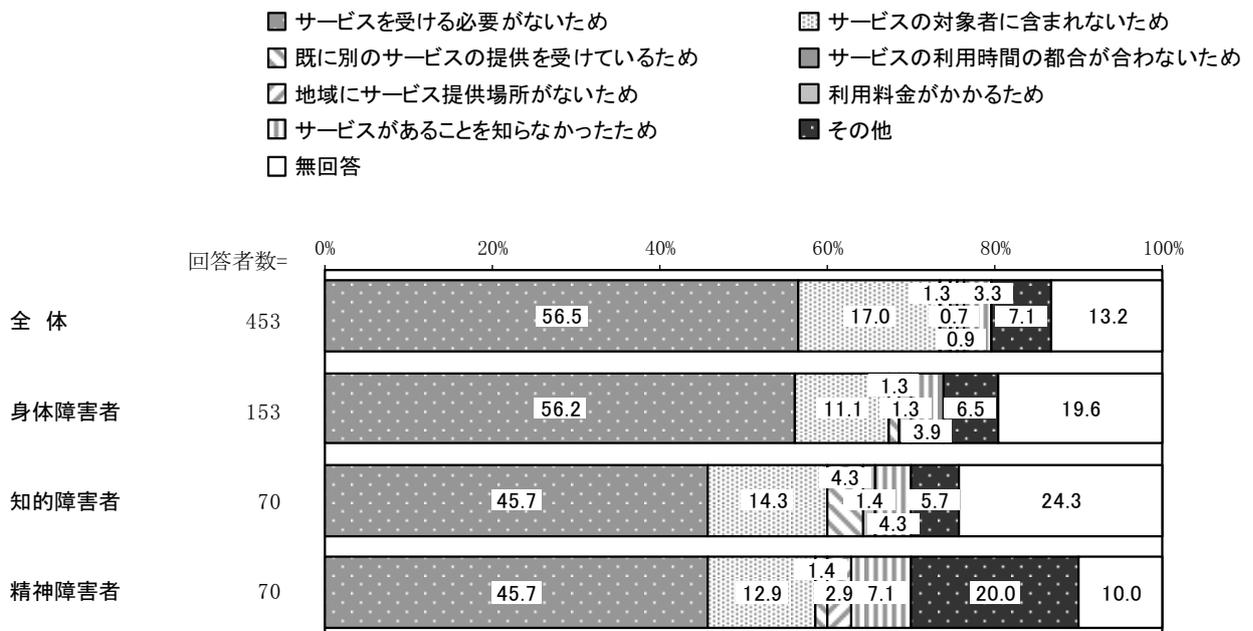
「利用している」の割合が2.5%、「利用していない」の割合が69.5%となっています。  
 障害別でみると、知的障害のある人で8.3%、精神障害のある人で5.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が56.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が17.0%となっています。

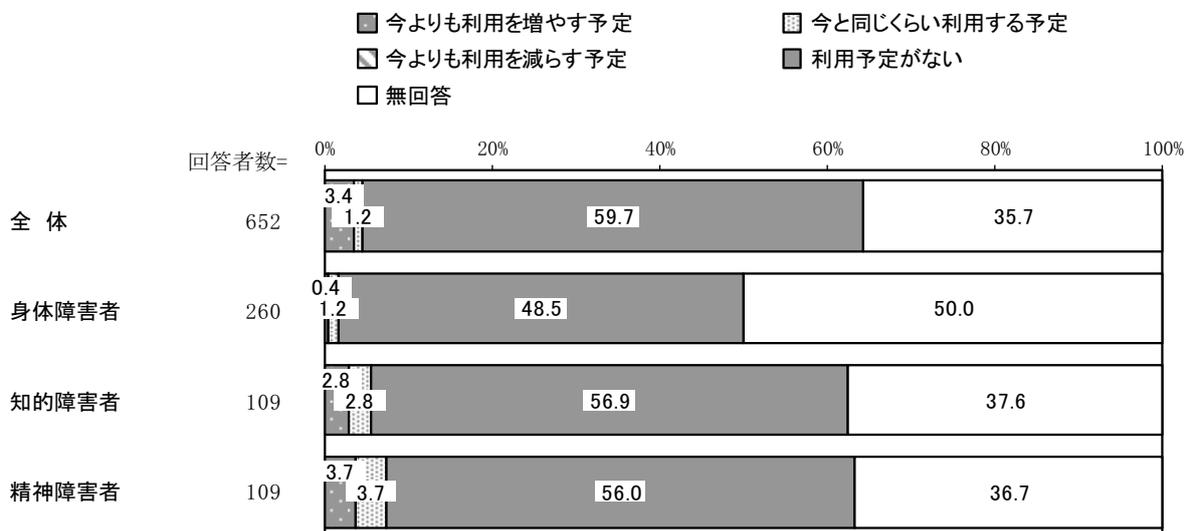
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「その他」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が59.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で5.6%、精神障害のある人で7.4%の人が今後の利用を希望しています。

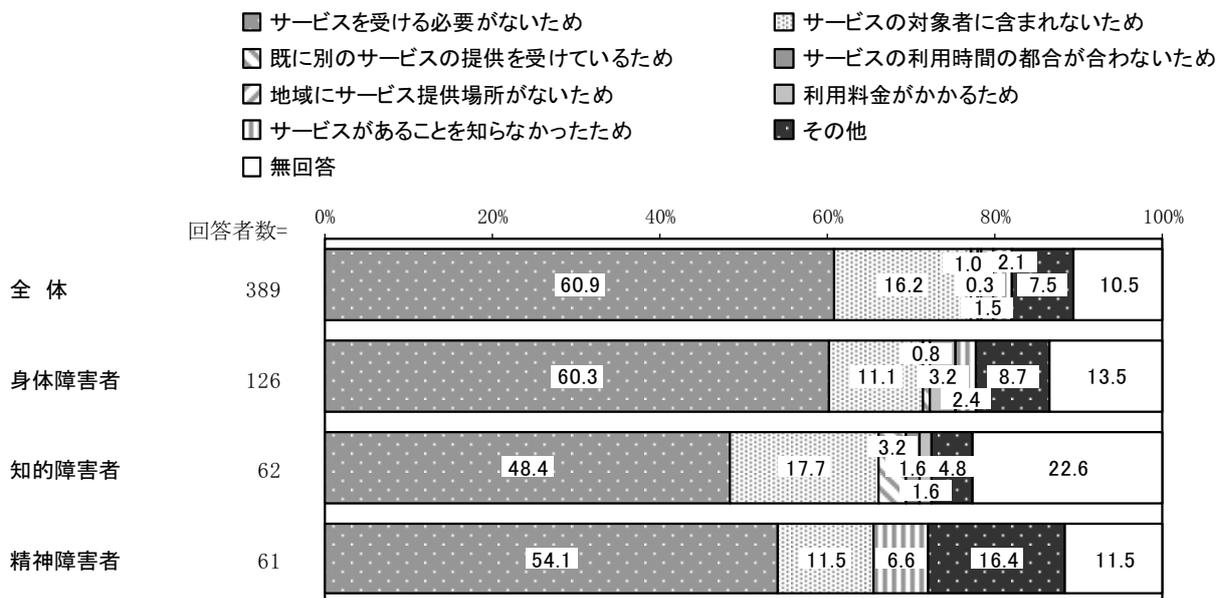


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が60.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が16.2%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

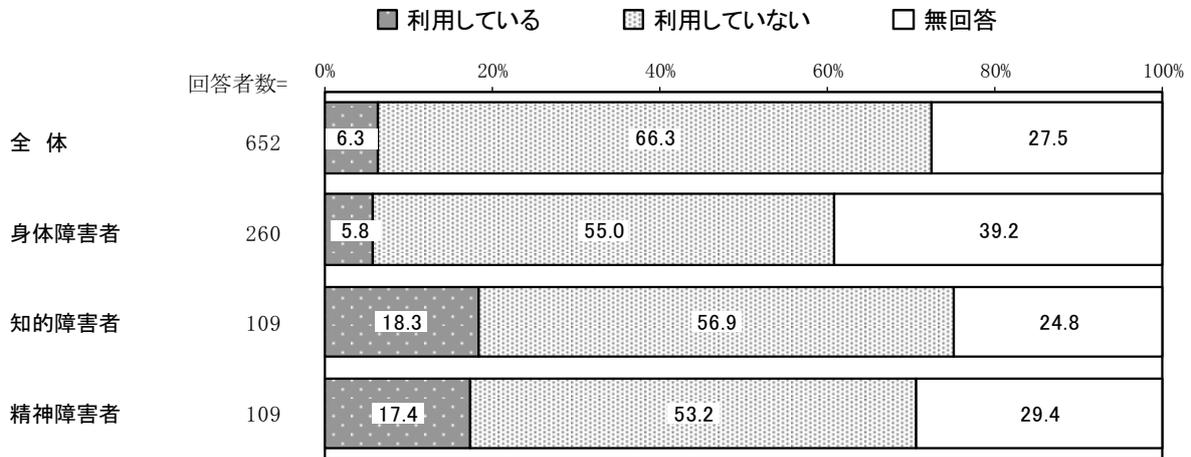


## 9 就労継続支援（A型、B型）

### 現在の利用

「利用している」の割合が6.3%、「利用していない」の割合が66.3%となっています。

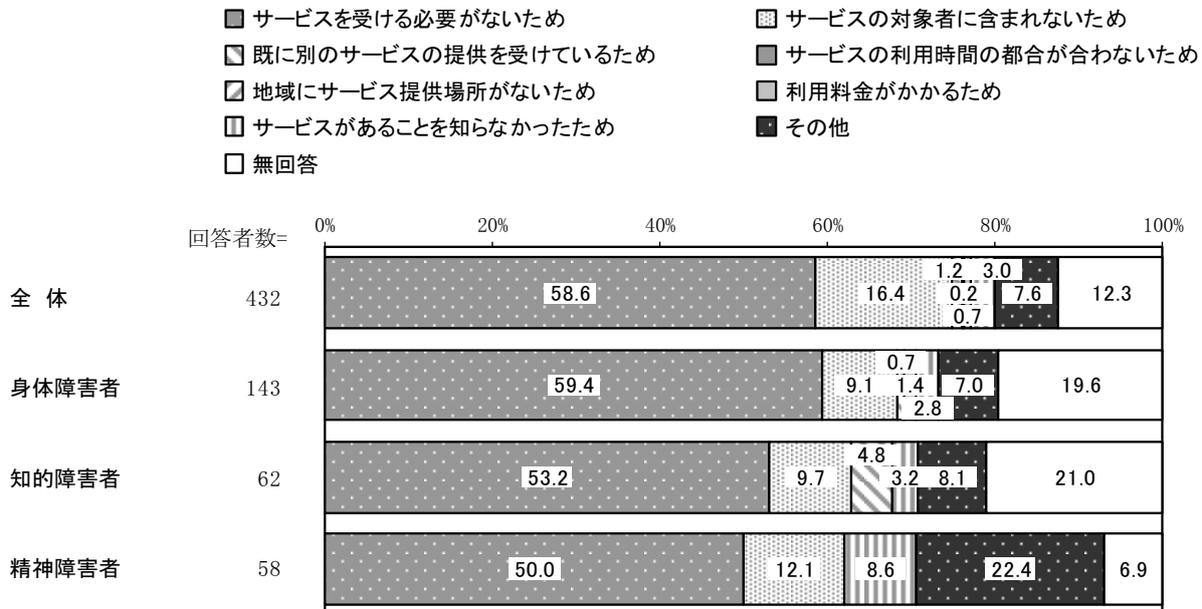
障害別でみると、知的障害のある人で18.3%、精神障害のある人で17.4%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が58.6%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が16.4%となっています。

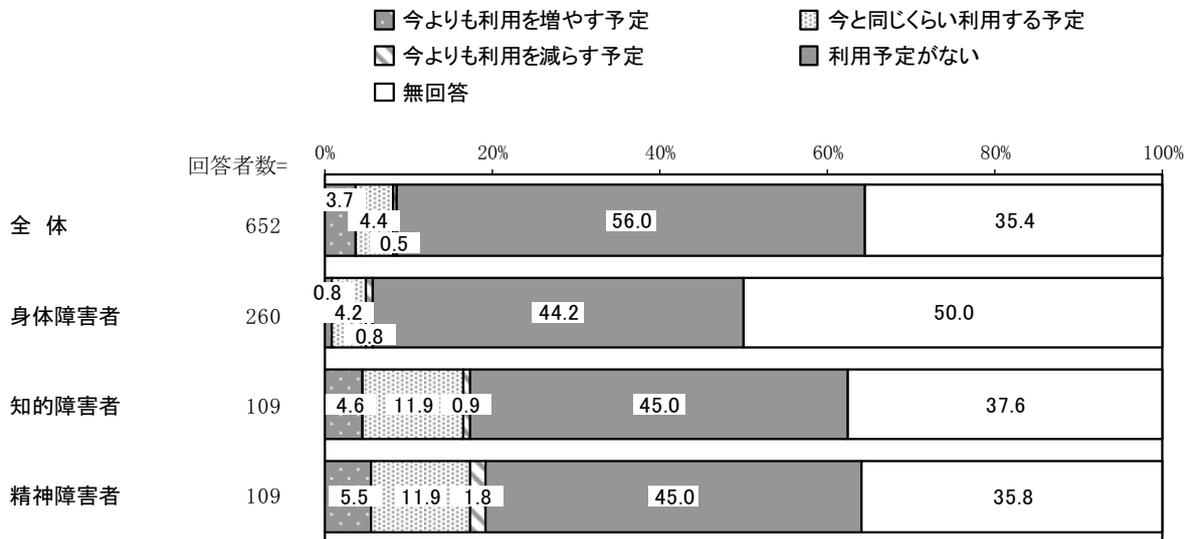
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「その他」の割合が高くなっています。



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が56.0%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で16.5%、精神障害のある人で17.4%の人が今後の利用を希望しています。

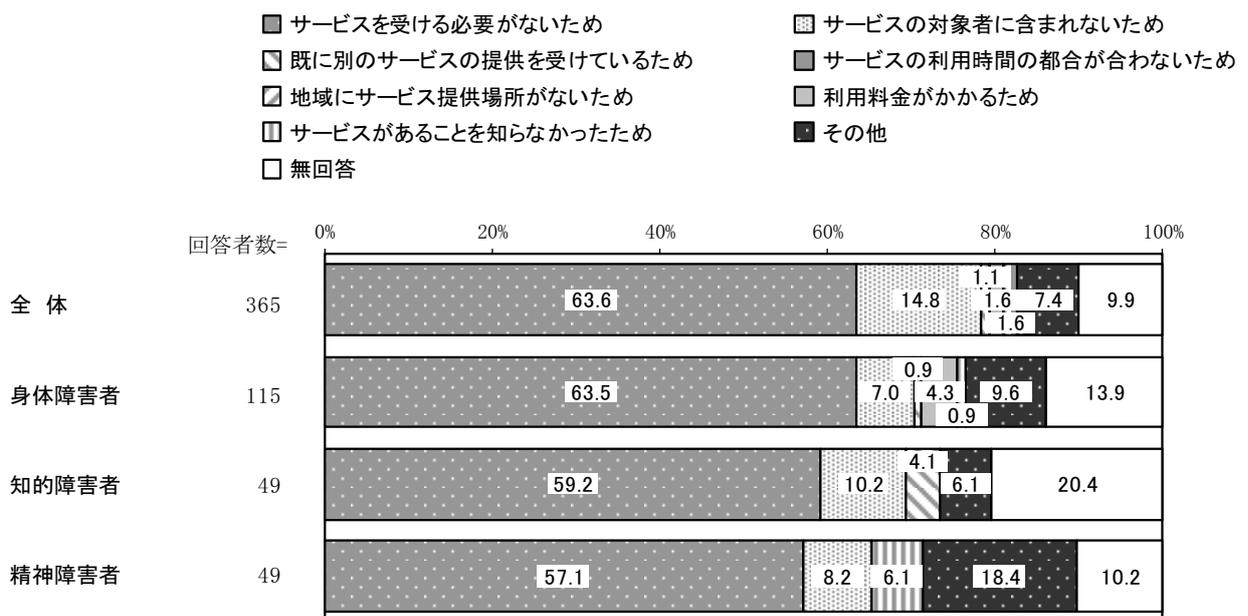


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が63.6%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が14.8%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

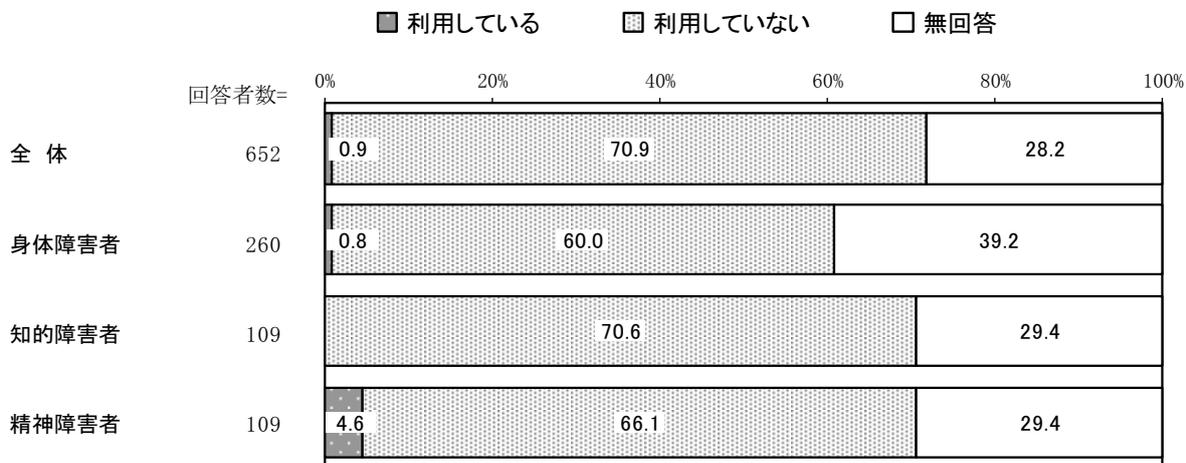
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「その他」の割合が高くなっています。



## 10 就労定着支援

### 現在の利用

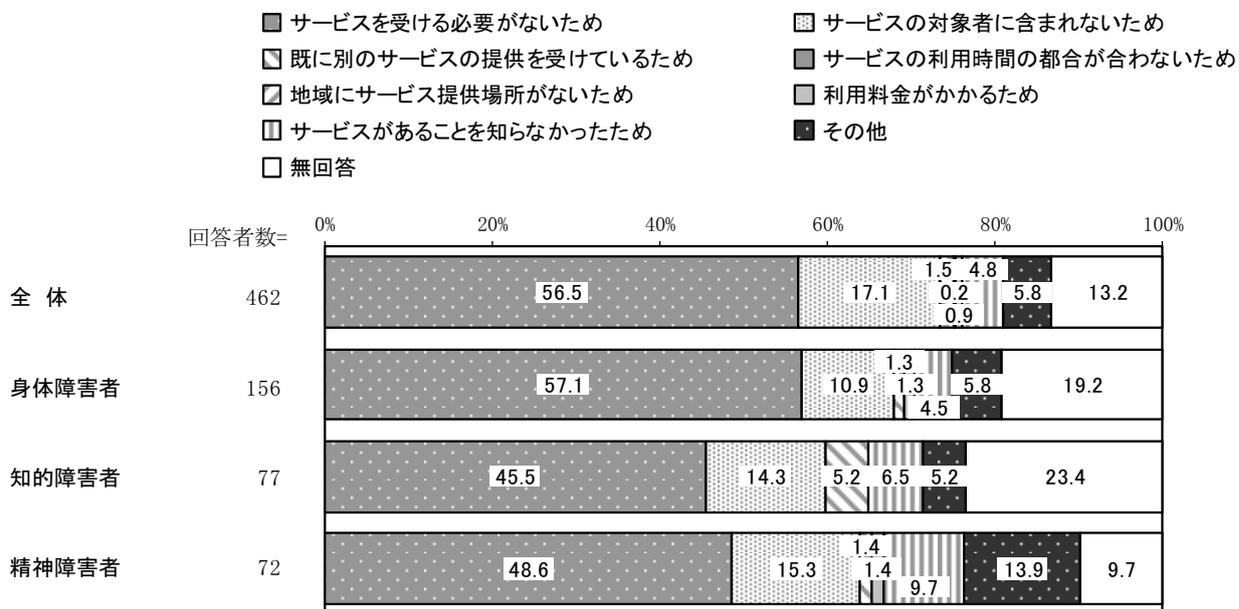
「利用している」の割合が0.9%、「利用していない」の割合が70.9%となっています。  
障害別でみると、精神障害のある人で4.6%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が56.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が17.1%となっています。

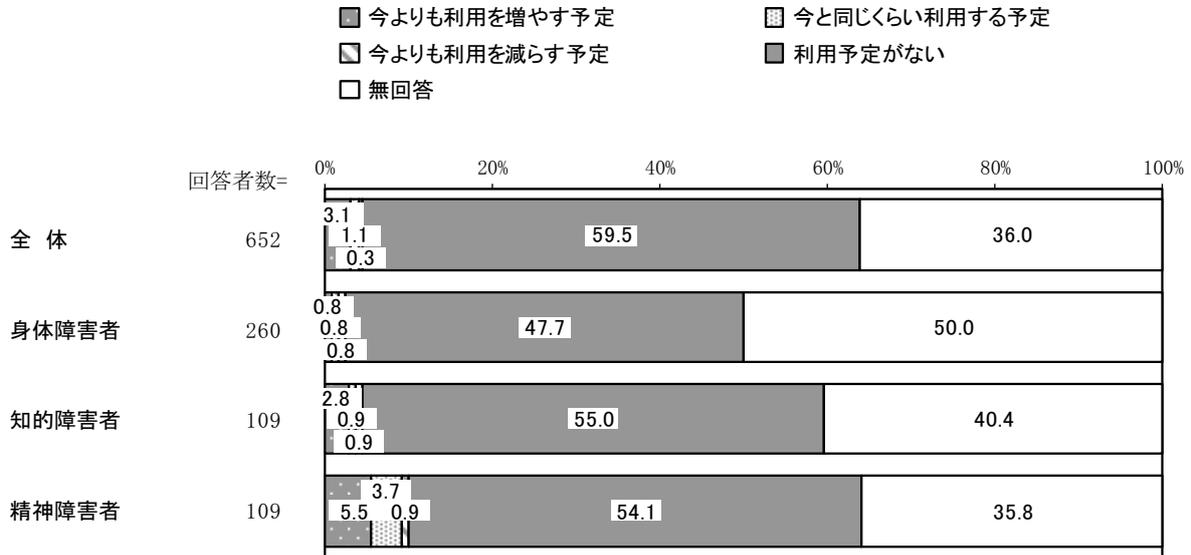
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が59.5%と最も高くなっています。

障害別でみると、精神障害のある人で9.2%の人が今後の利用を希望しています。

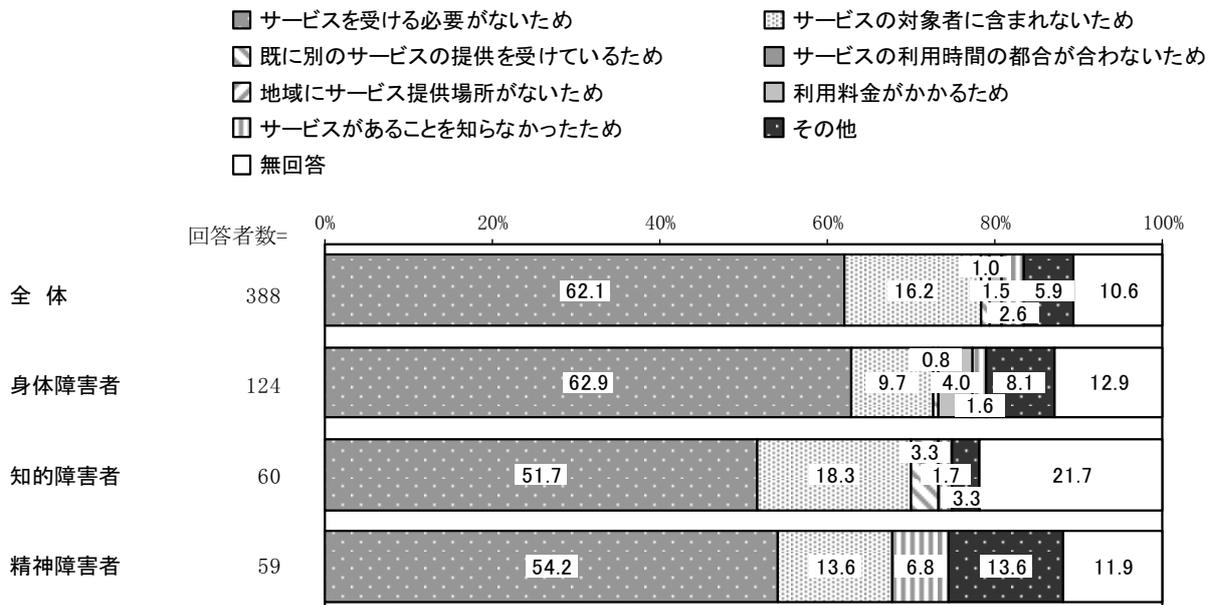


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.1%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が16.2%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

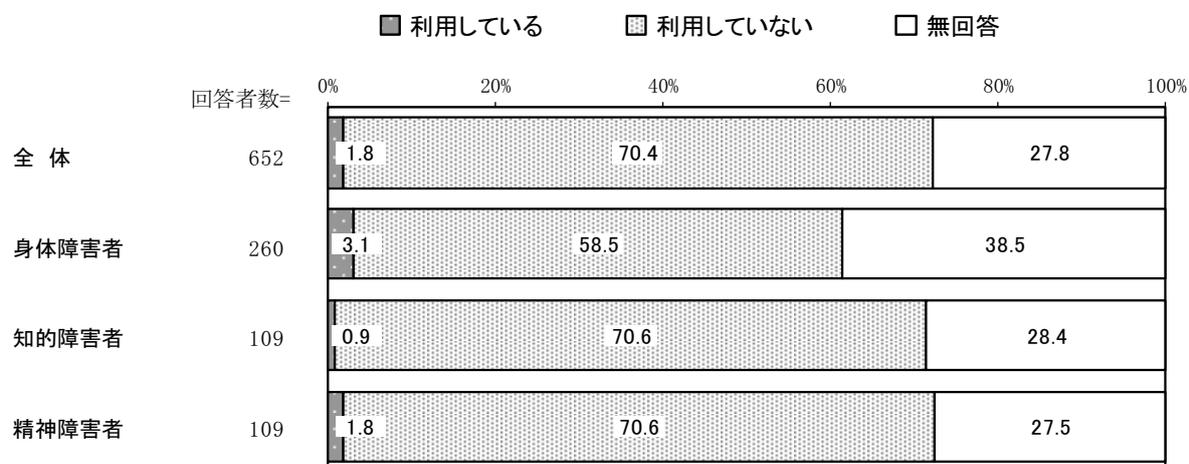
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 11 療養介護

### 現在の利用

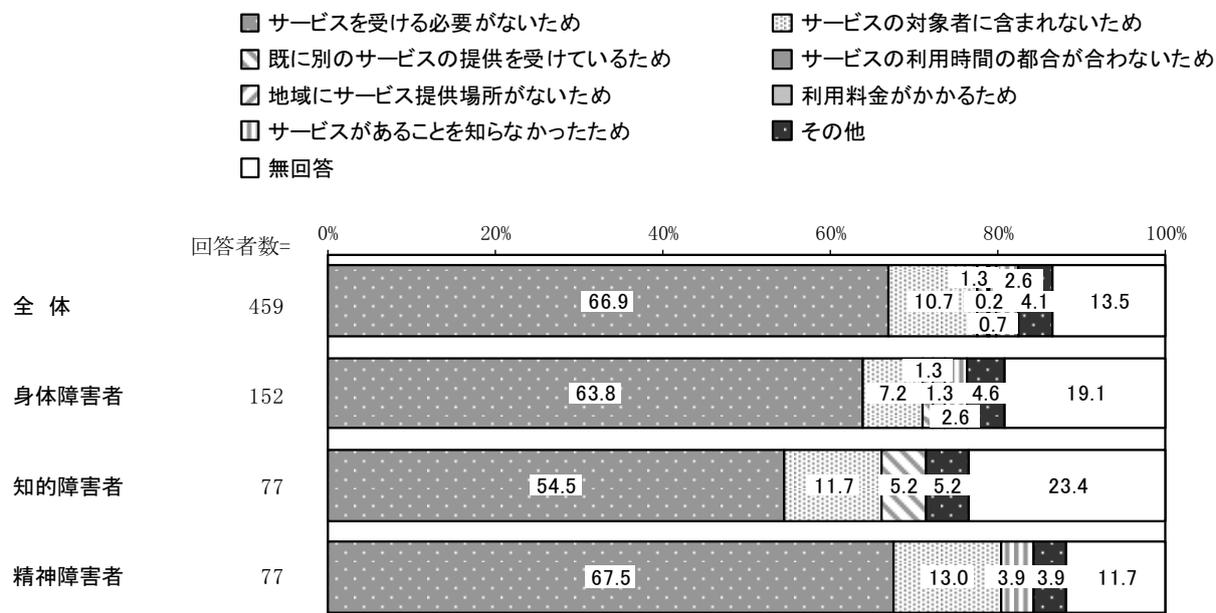
「利用している」の割合が1.8%、「利用していない」の割合が70.4%となっています。  
障害別でみると、身体障害のある人で3.1%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が66.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.7%となっています。

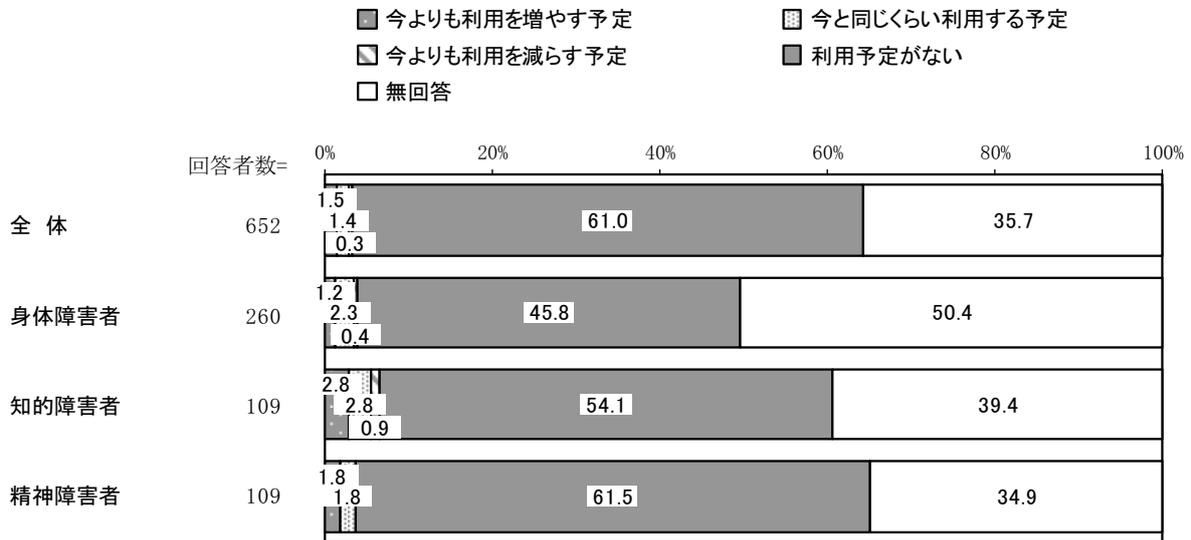
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が61.0%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で3.5%、知的障害のある人で5.6%の人が今後の利用を希望しています。

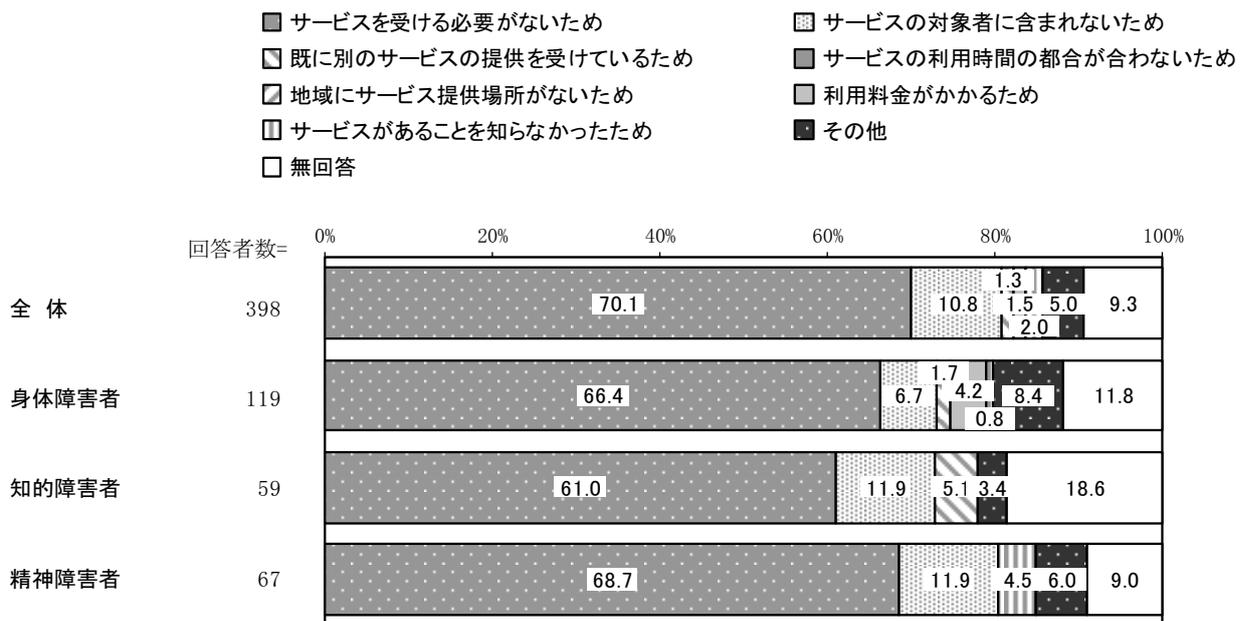


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が70.1%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.8%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

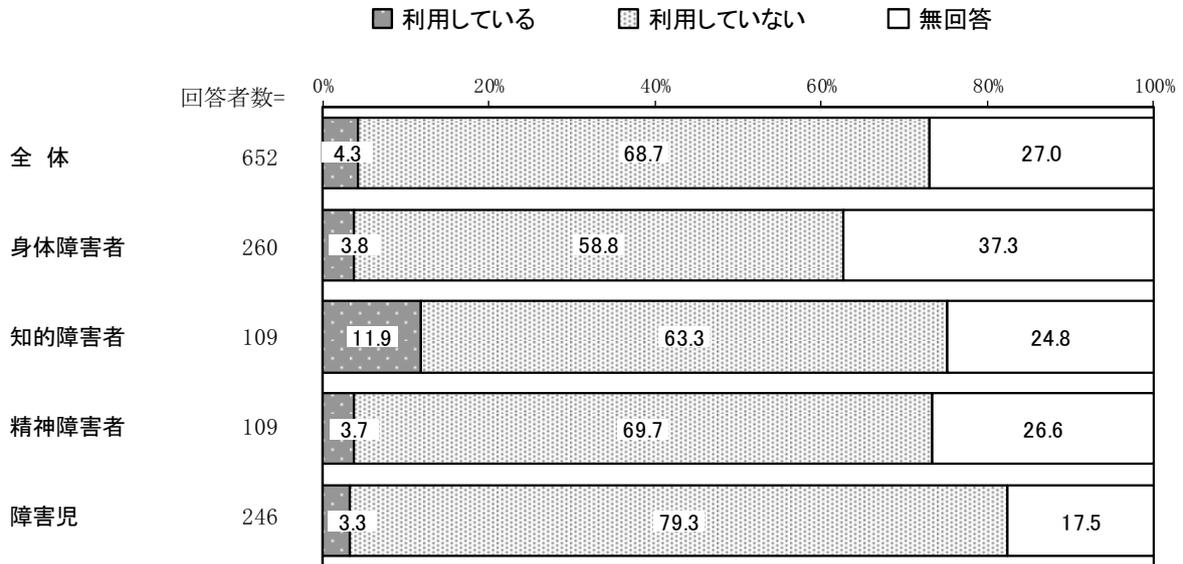
障害別でみると、大きな差異はみられません。



## 12 短期入所（ショートステイ）

### 現在の利用

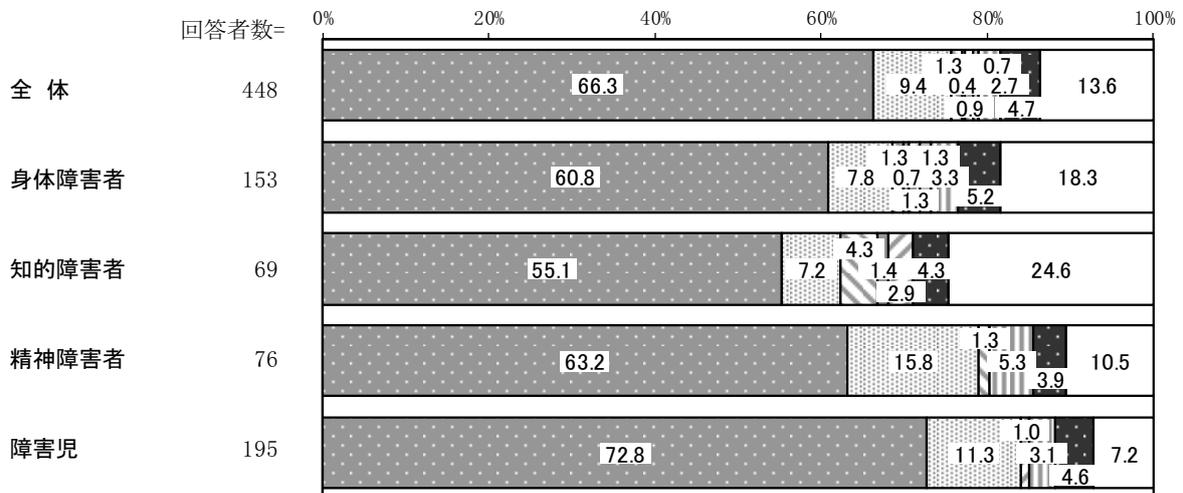
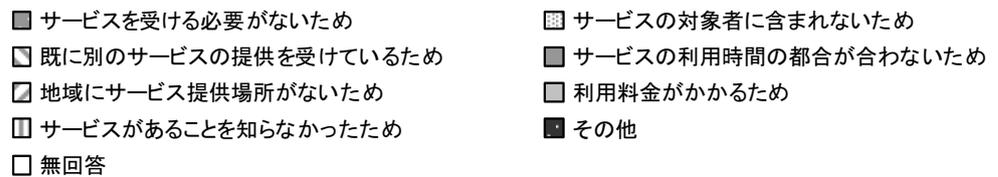
「利用している」の割合が4.3%、「利用していない」の割合が68.7%となっています。  
 障害別でみると、知的障害のある人で11.9%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が66.3%と最も高くなっています。

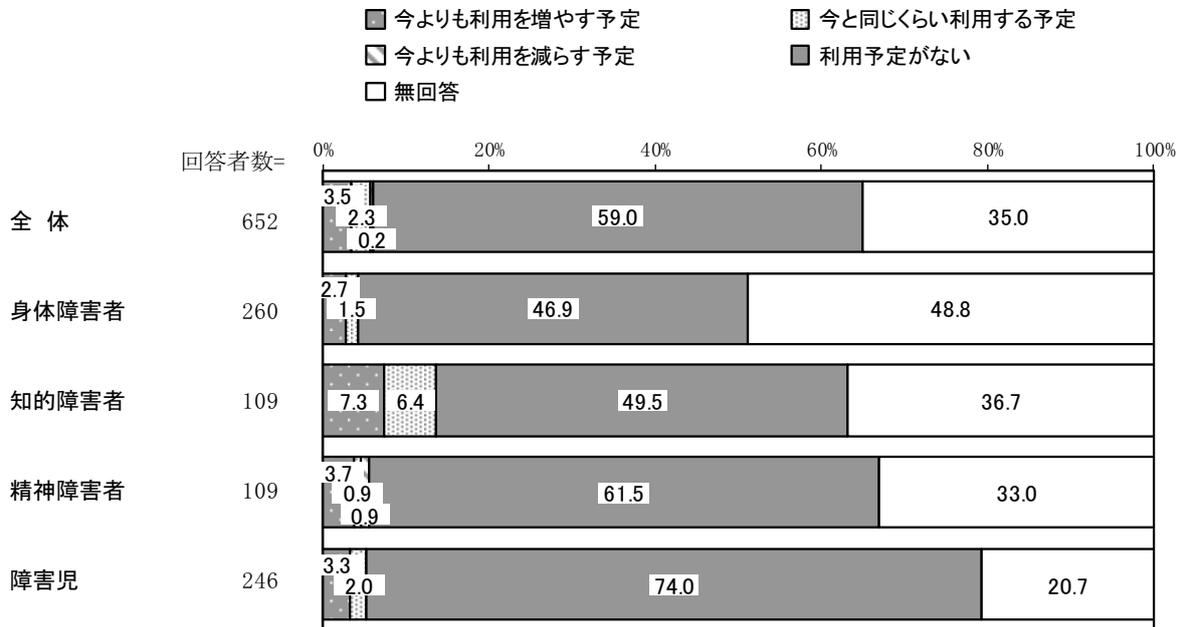
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が59.0%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で13.7%の人が今後の利用を希望しています。

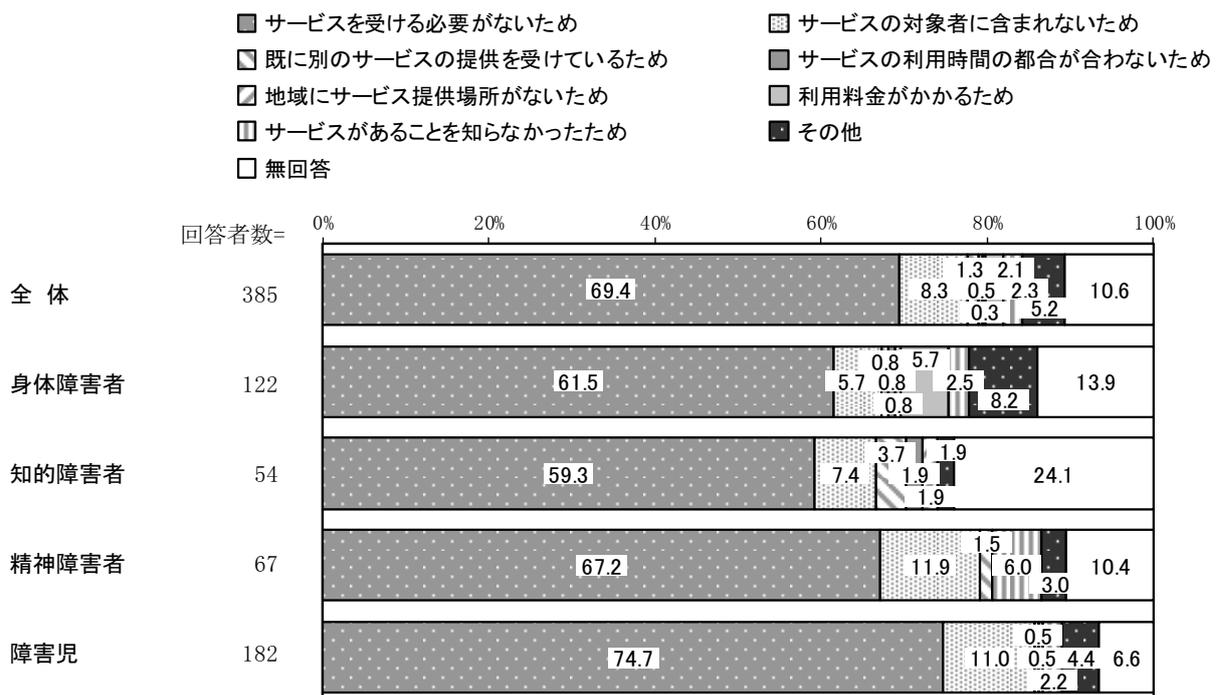


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.4%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「利用料金がかかるため」の割合が高くなっています。

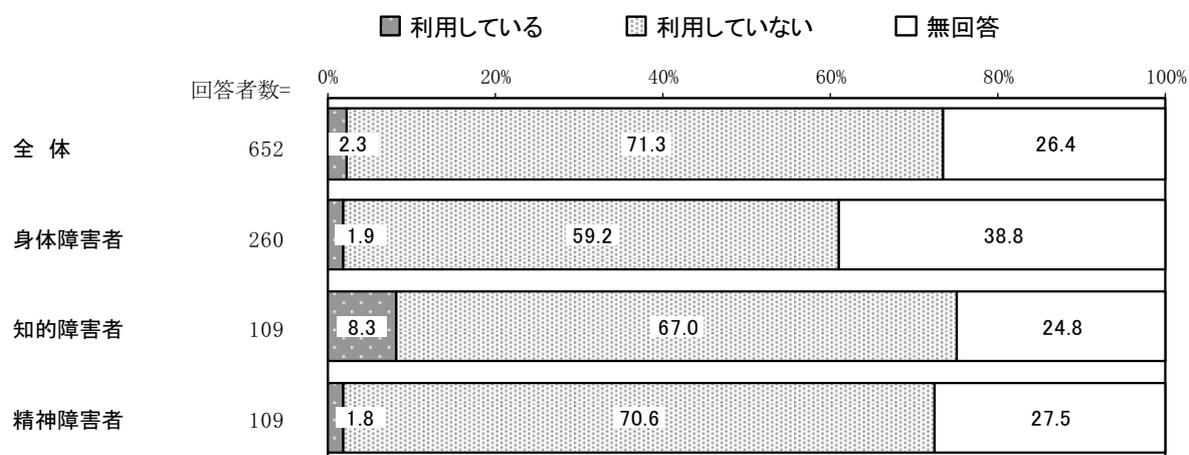
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 13 共同生活援助（グループホーム）

#### 現在の利用

「利用している」の割合が2.3%、「利用していない」の割合が71.3%となっています。  
障害別で見ると、知的障害のある人で8.3%の人が利用しています。

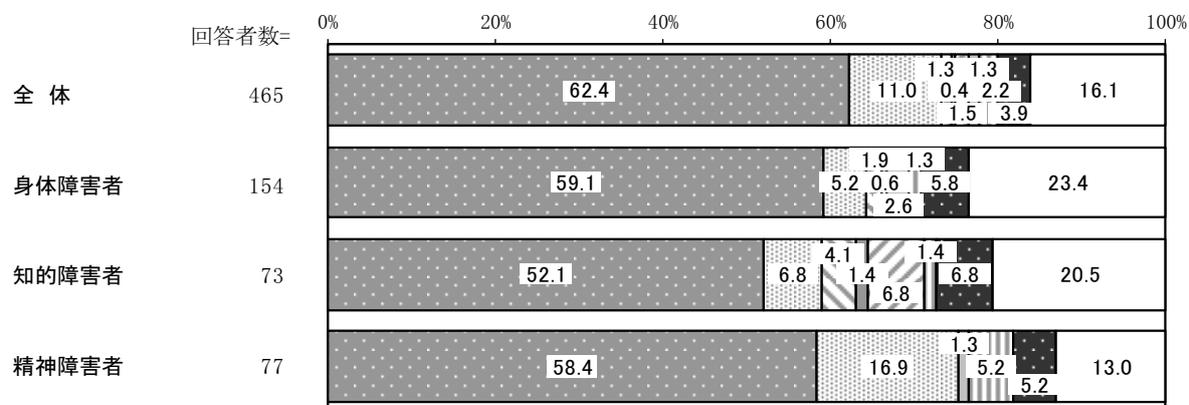


#### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.4%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.0%となっています。

障害別で見ると、他に比べ、知的障害のある人で「地域にサービス提供場所がないため」の割合が、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

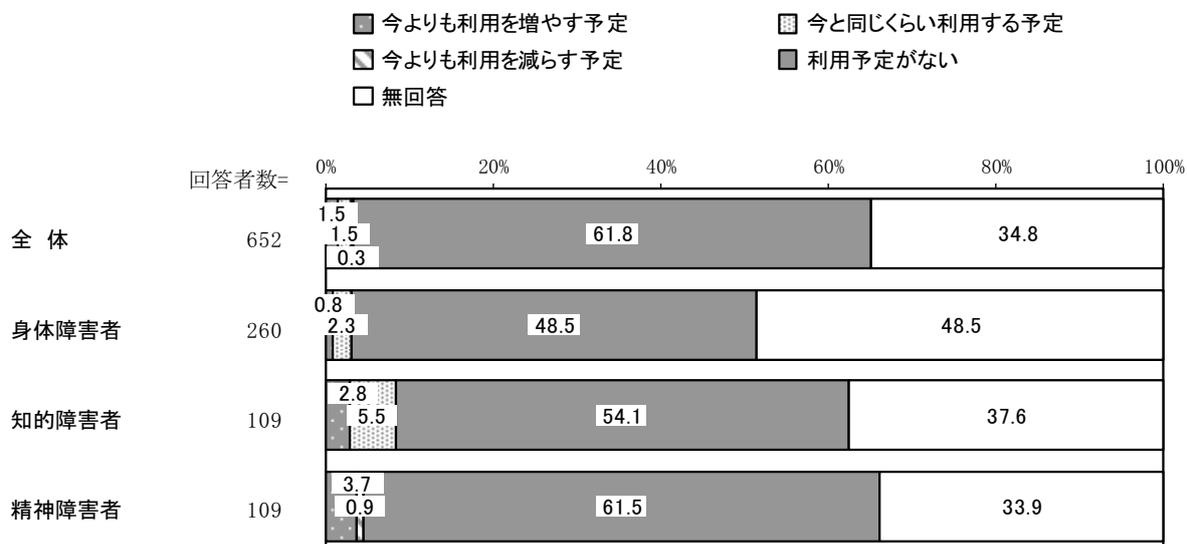
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が61.8%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で8.3%の人が今後の利用を希望しています。

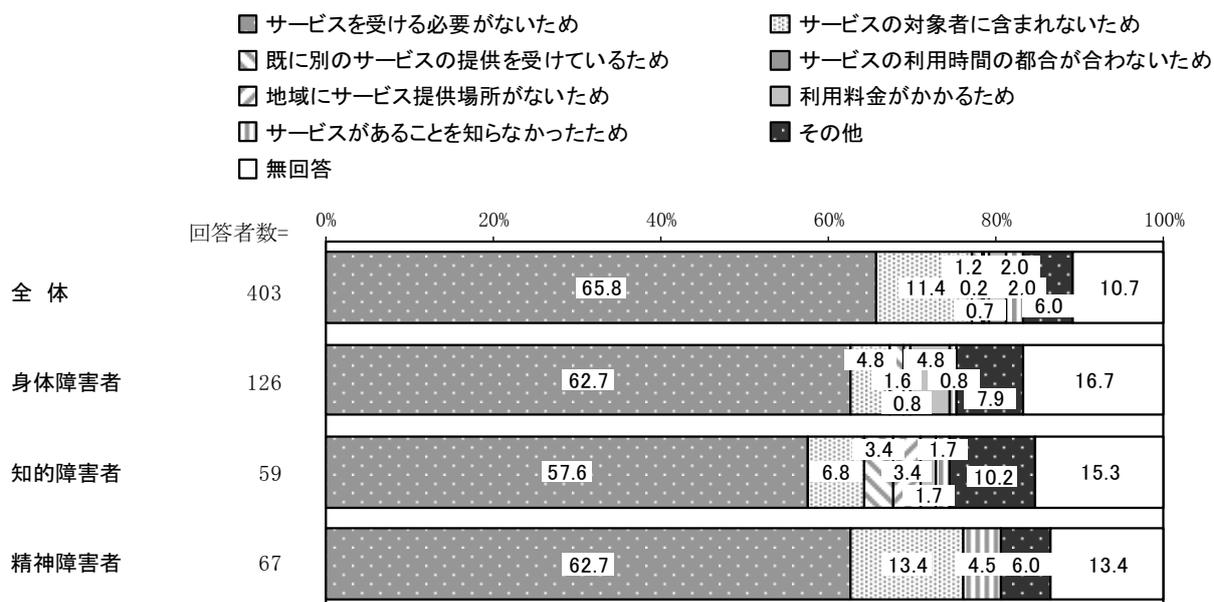


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.8%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.4%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「地域にサービス提供場所がないため」の割合が低くなっています。

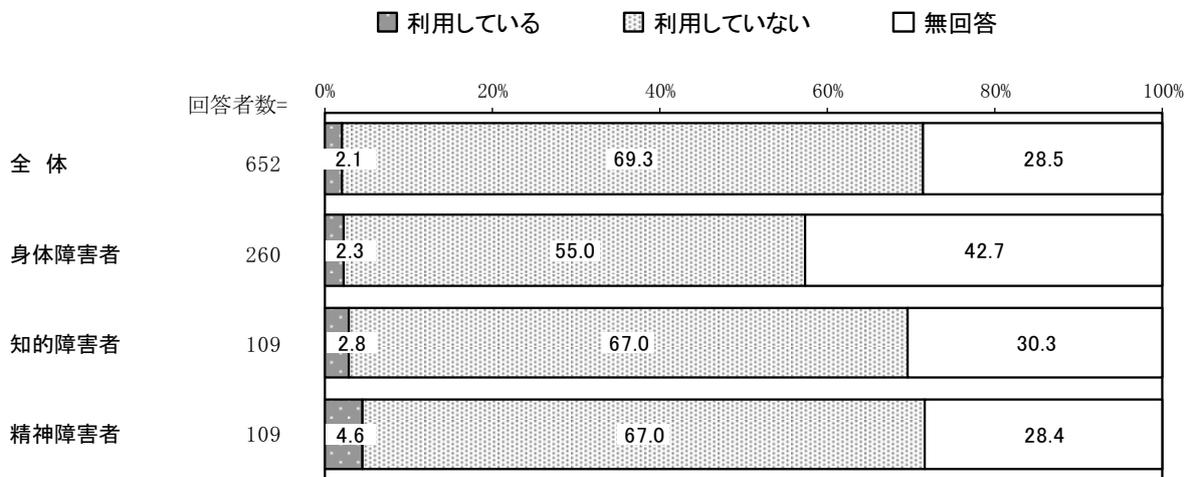
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「地域にサービス提供場所がないため」の割合が高くなっています。



## 14 自立生活援助

### 現在の利用

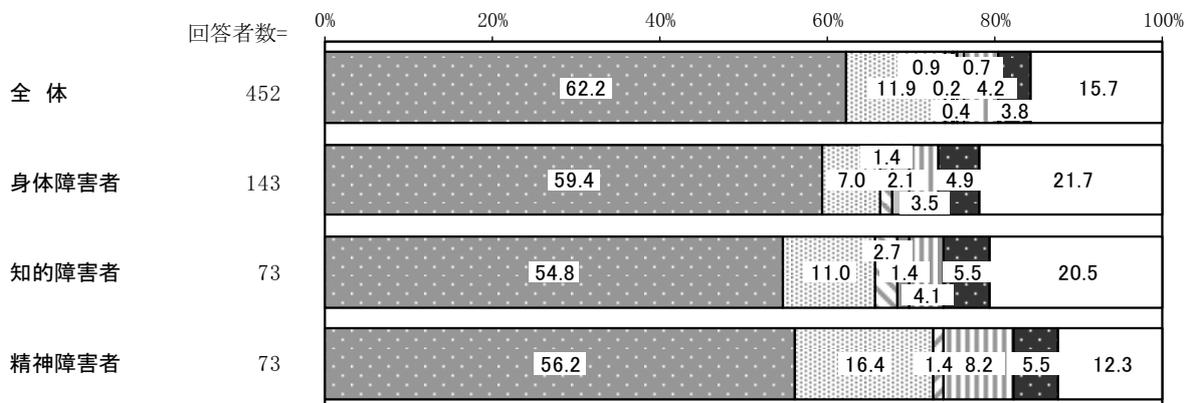
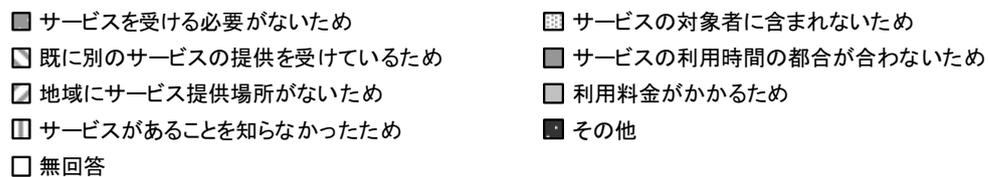
「利用している」の割合が2.1%、「利用していない」の割合が69.3%となっています。  
障害別で見ると、精神障害のある人で4.6%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.9%となっています。

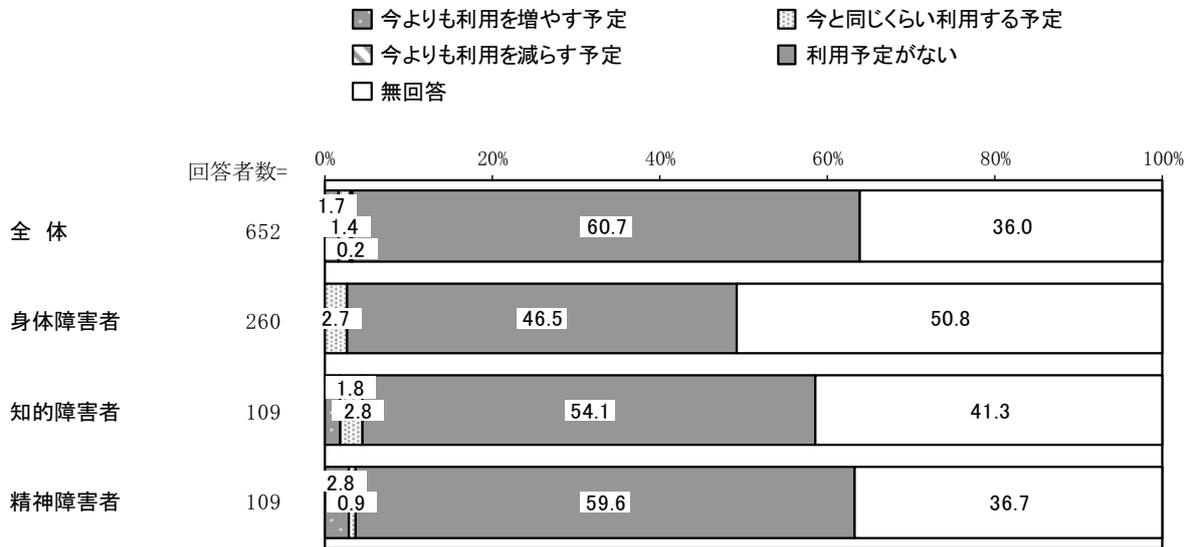
障害別で見ると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が60.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で4.6%、精神障害のある人で3.7%の人が今後の利用を希望しています。

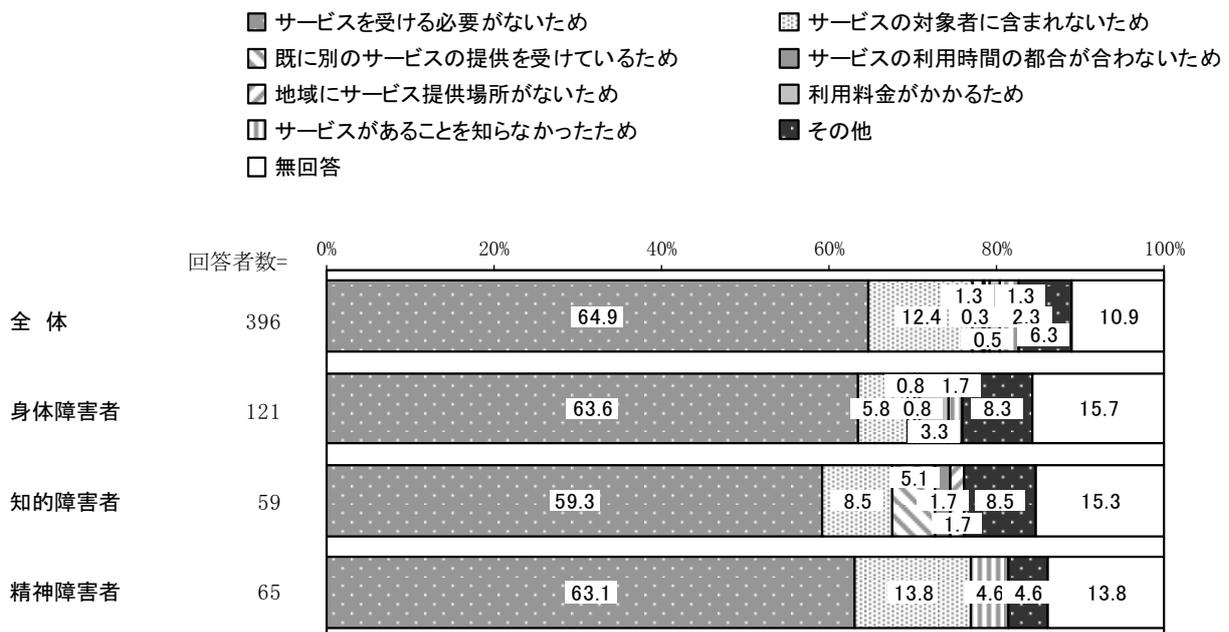


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が64.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が12.4%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。

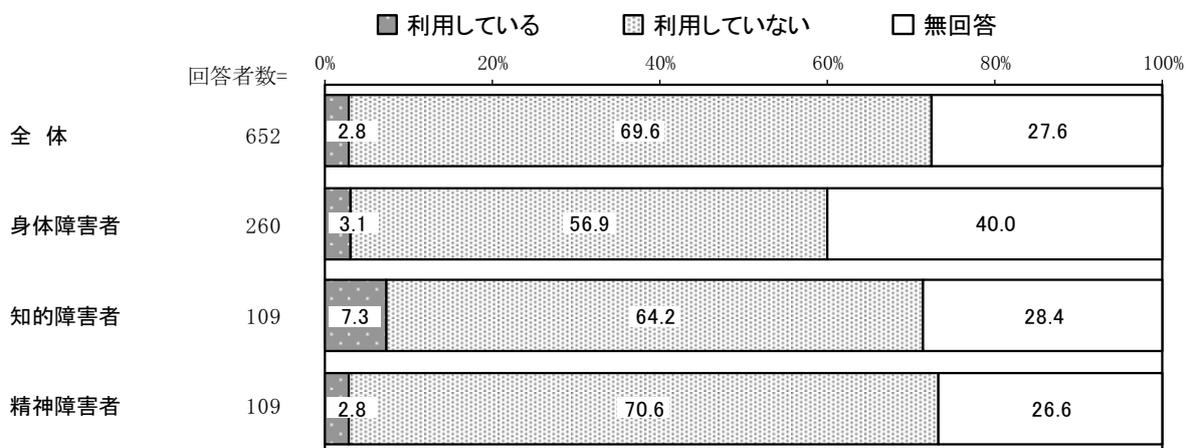
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 15 施設入所支援

### 現在の利用

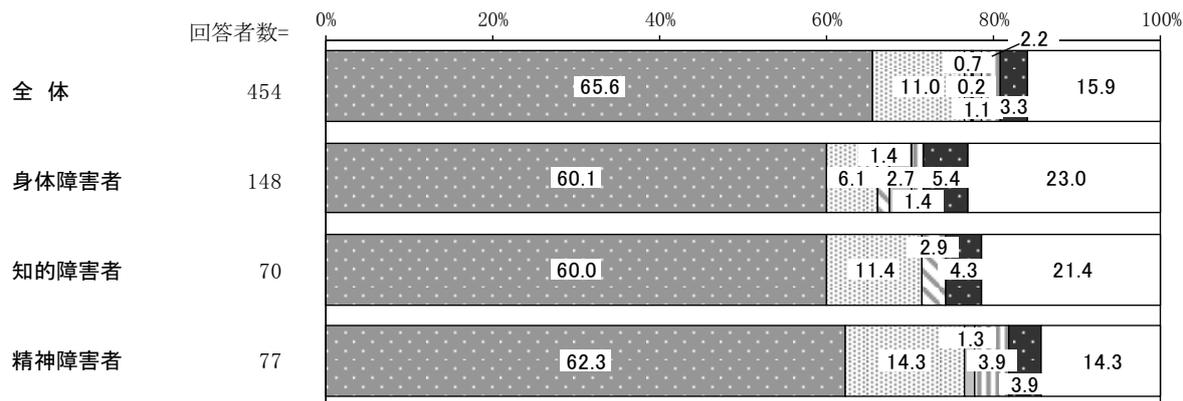
「利用している」の割合が2.8%、「利用していない」の割合が69.6%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で7.3%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

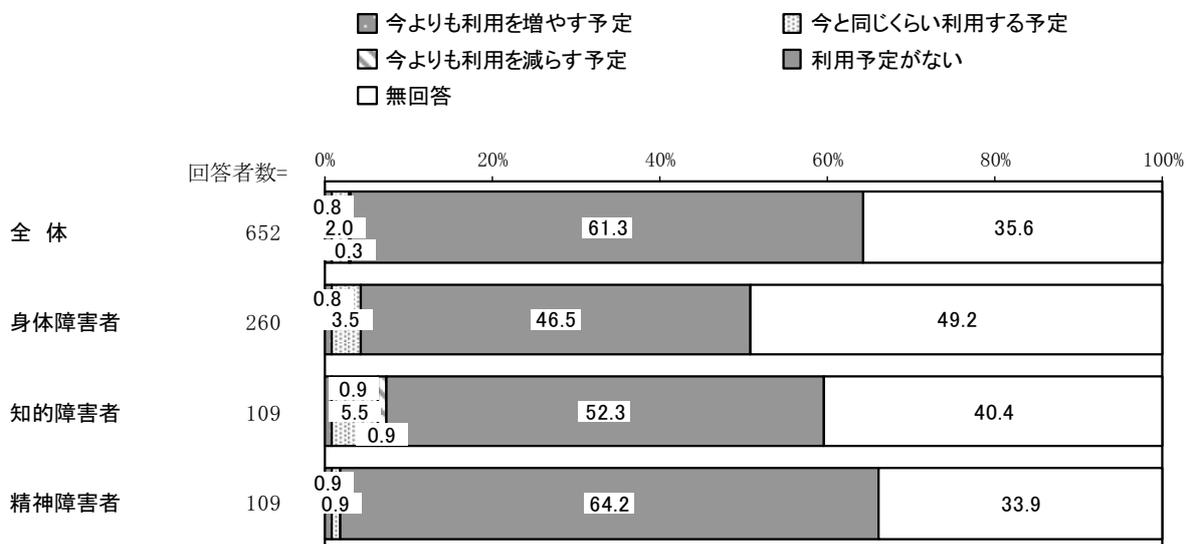
「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.6%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.0%となっています。

- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



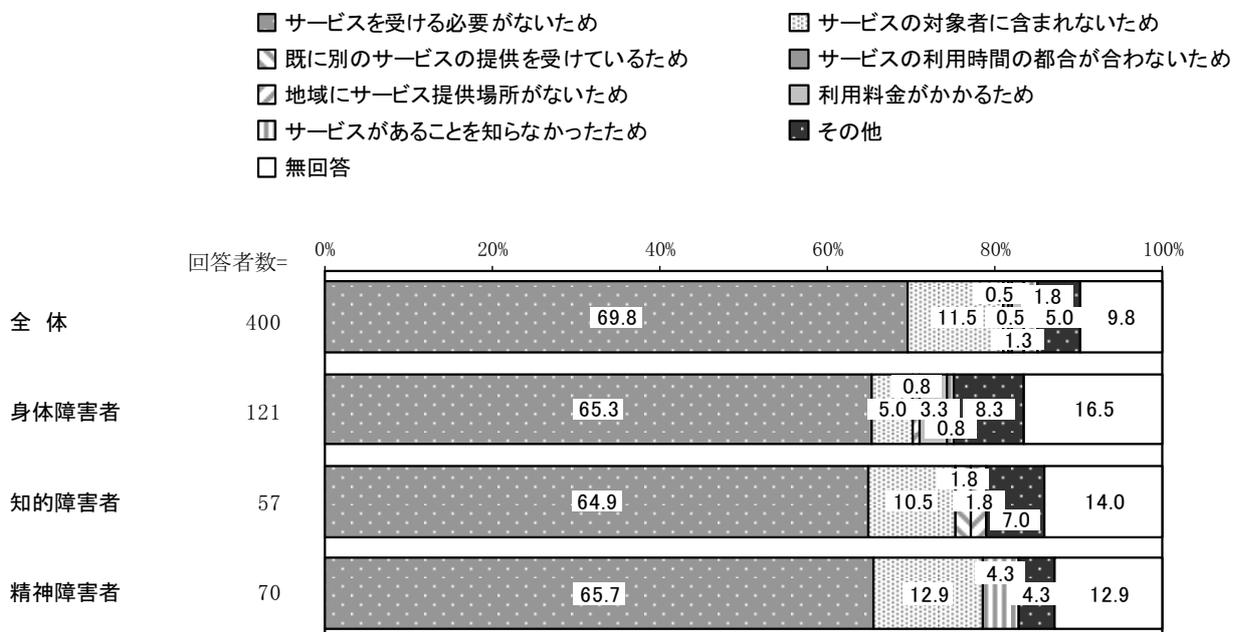
### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が61.3%と最も高くなっています。  
 障害別で見ると、知的障害のある人で6.4%の人が今後の利用を希望しています。



### 利用予定がない場合の理由

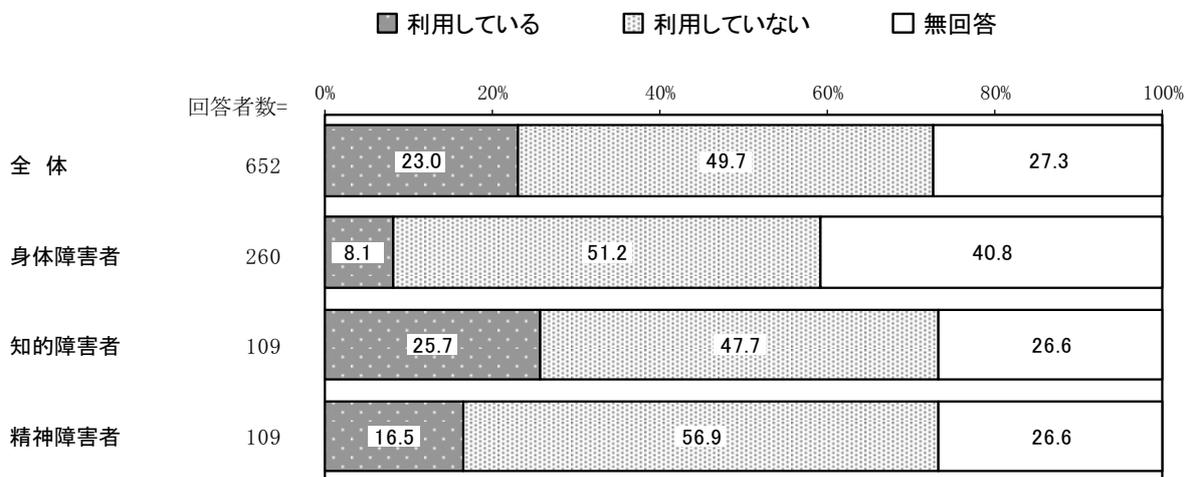
「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.8%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.5%となっています。



## 16 計画相談支援

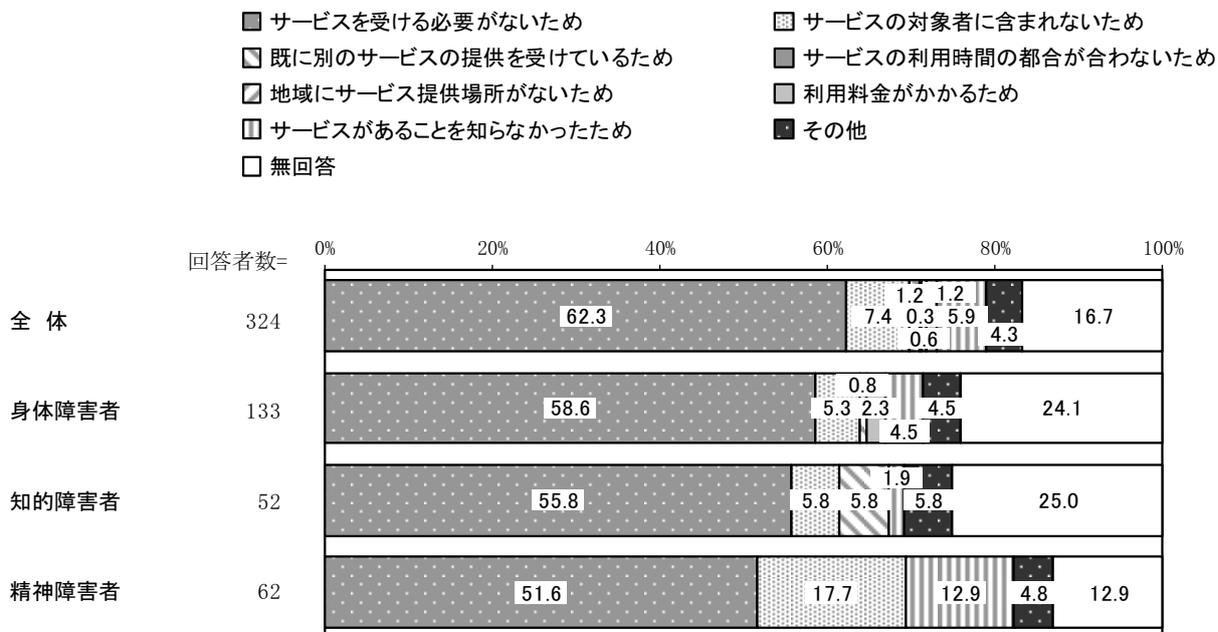
### 現在の利用

「利用している」の割合が23.0%、「利用していない」の割合が49.7%となっています。  
 障害別でみると、知的障害のある人で25.7%、精神障害のある人で16.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

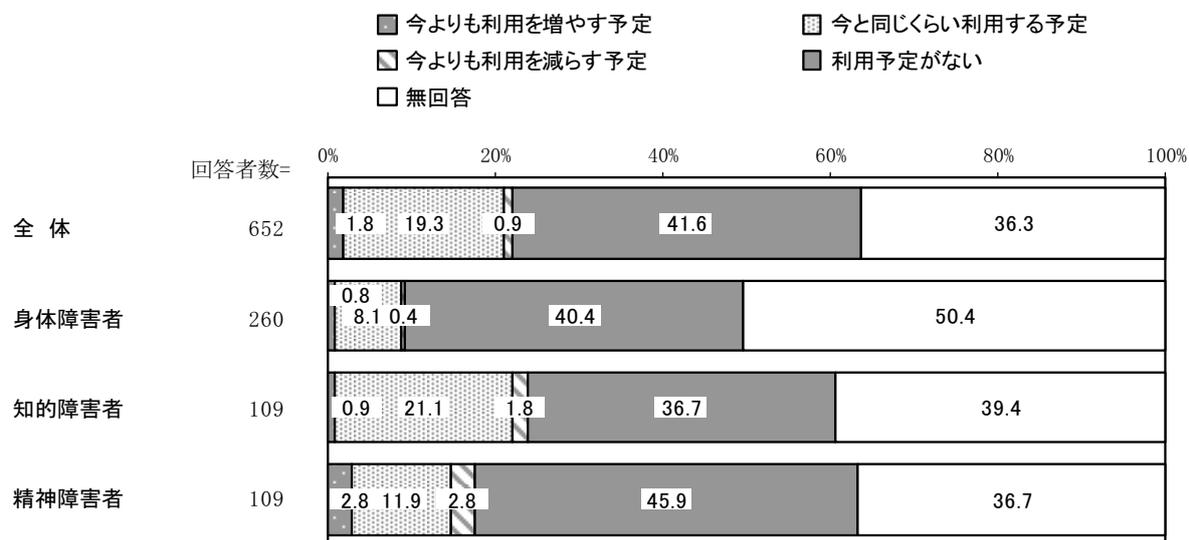
「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.3%と最も高くなっています。  
 障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が41.6%と最も高く、次いで「今と同じくらい利用する予定」の割合が19.3%となっています。

障害別でみると、知的障害のある人で22.0%、精神障害のある人で14.7%の人が今後の利用を希望しています。

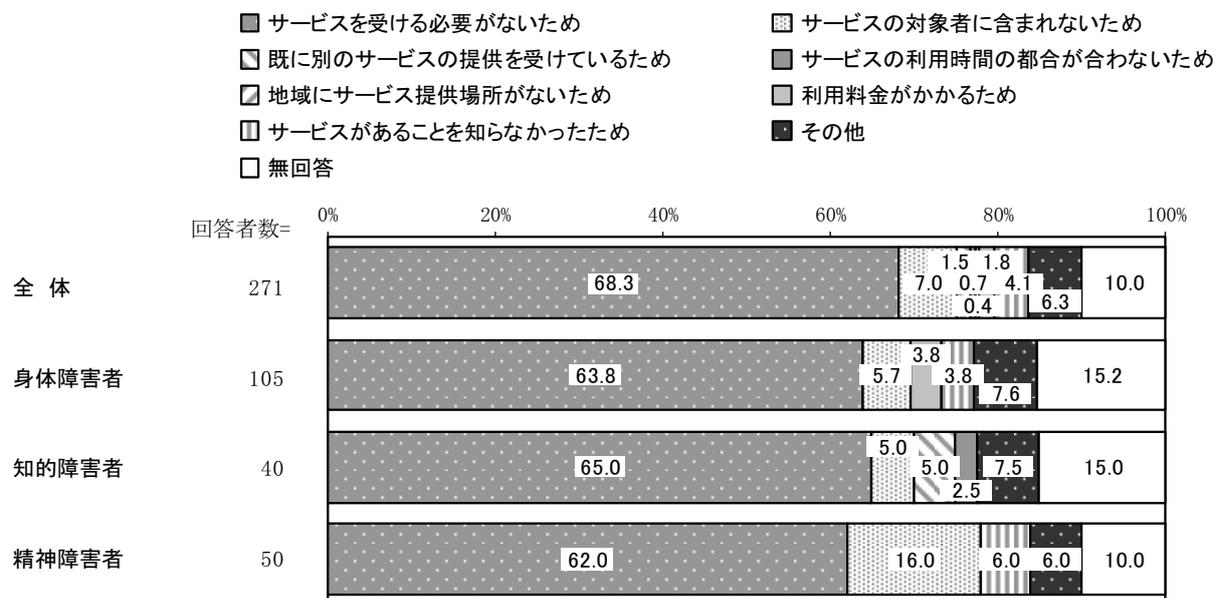


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が68.3%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

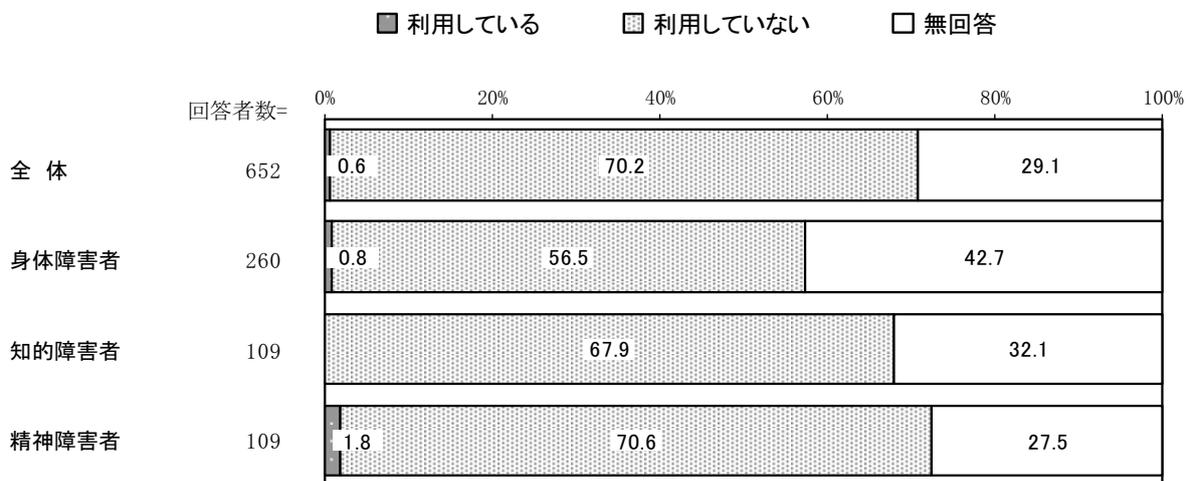
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 17 地域移行支援

### 現在の利用

「利用している」の割合が0.6%、「利用していない」の割合が70.2%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で0.8%、精神障害のある人で1.8%の人が利用しています。

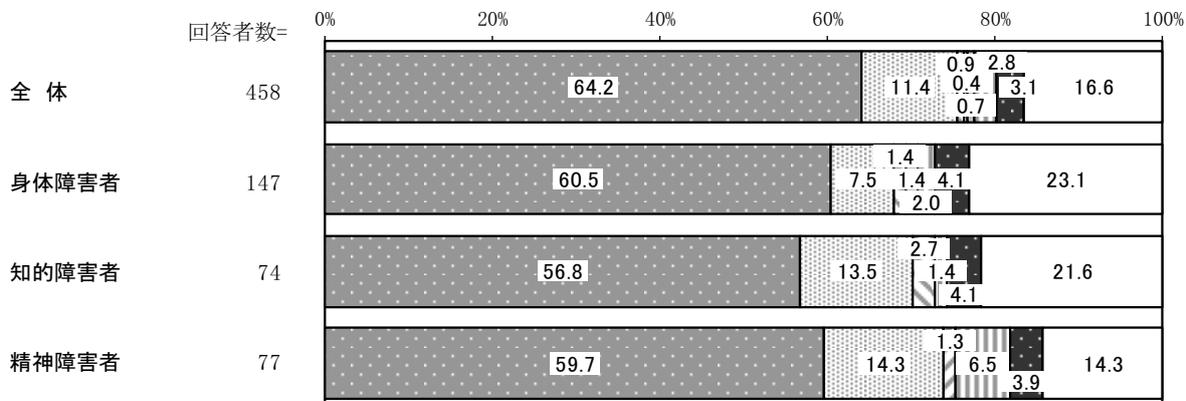


### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が64.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.4%となっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

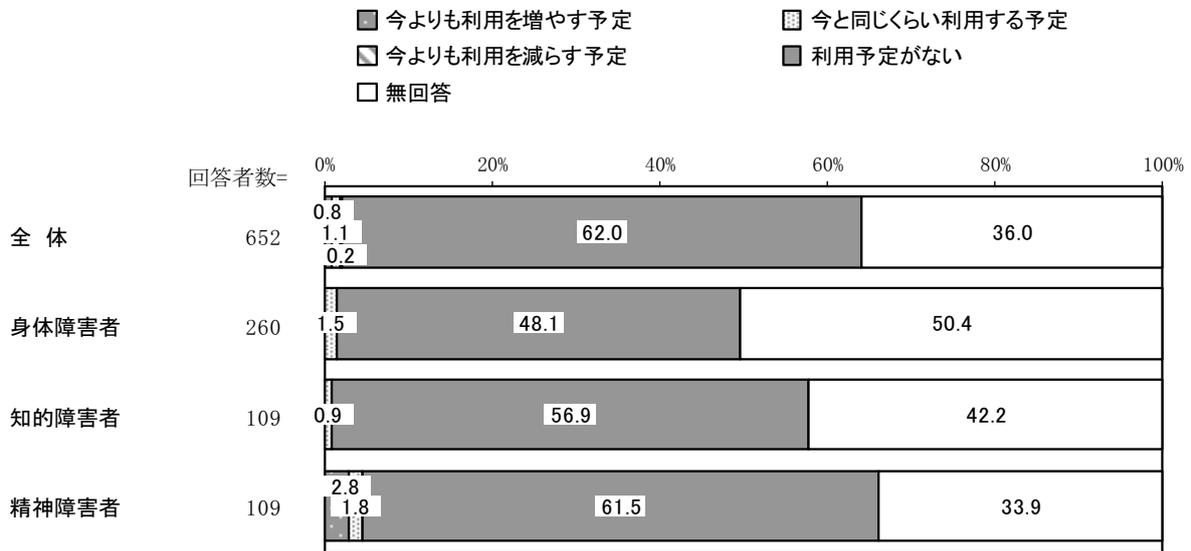
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

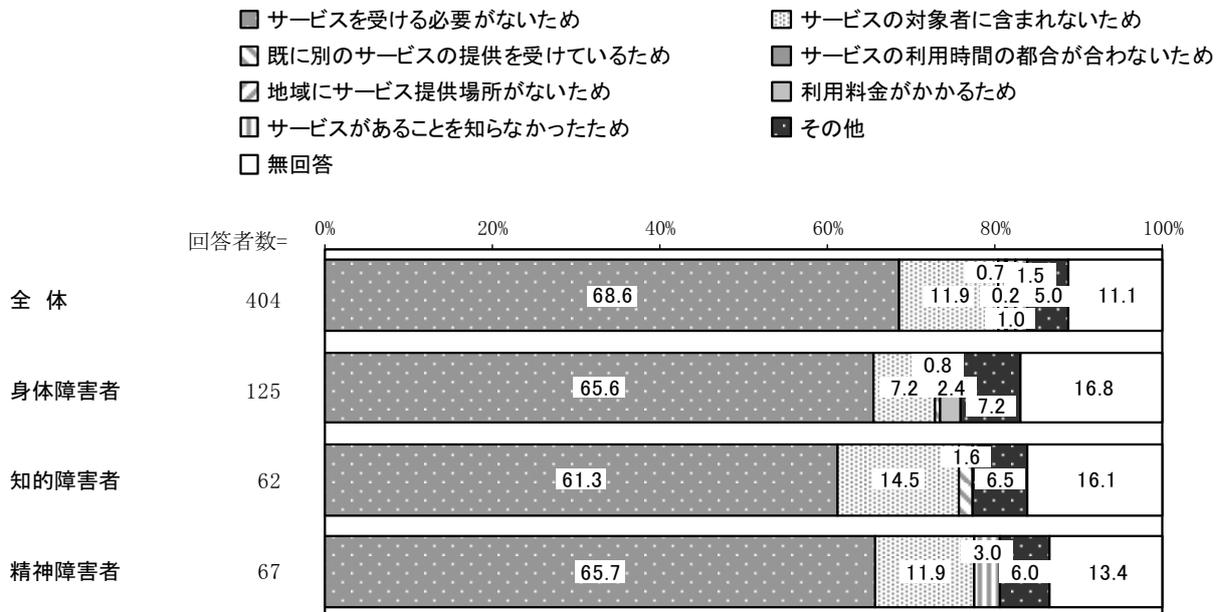
「利用予定がない」の割合が62.0%と最も高くなっています。

障害別で見ると、身体障害のある人で1.5%、精神障害のある人で4.6%の人が今後の利用を希望しています。



### 利用予定がない場合の理由

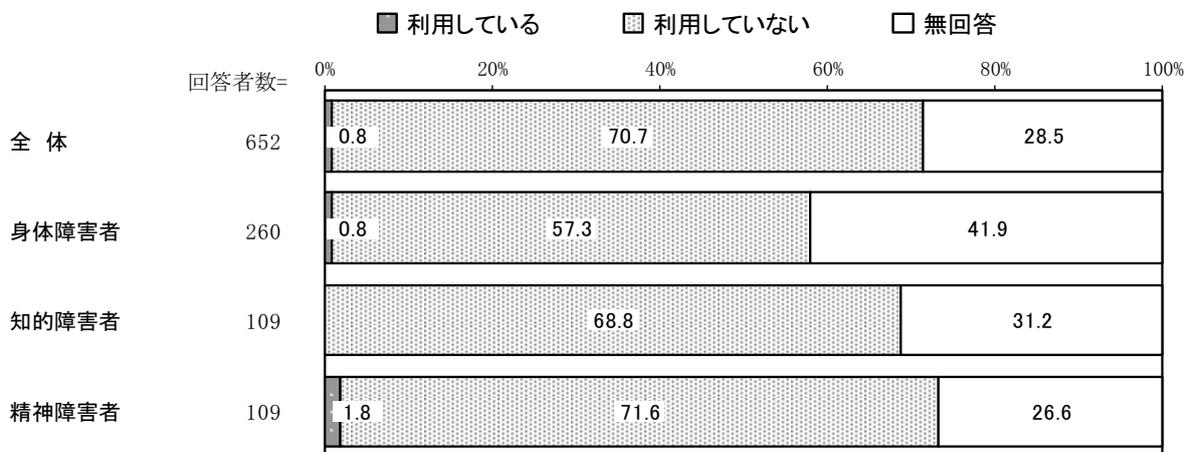
「サービスを受ける必要がないため」の割合が68.6%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.9%となっています。



## 18 地域定着支援

### 現在の利用

「利用している」の割合が0.8%、「利用していない」の割合が70.7%となっています。  
障害別でみると、精神障害のある人で1.8%の人が利用しています。

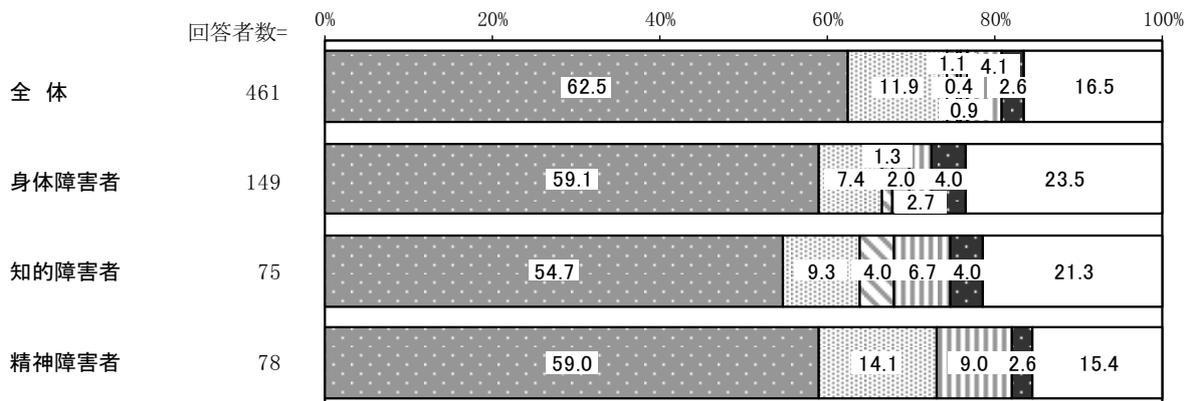


### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が62.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.9%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

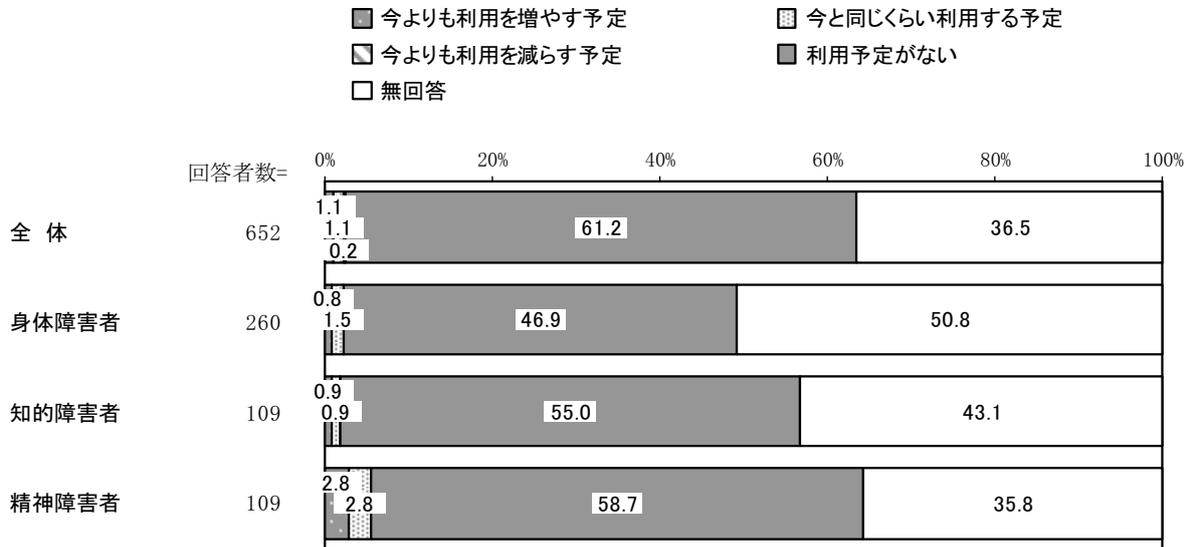
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が61.2%と最も高くなっています。

障害別でみると、精神障害のある人で5.6%の人が今後の利用を希望しています。

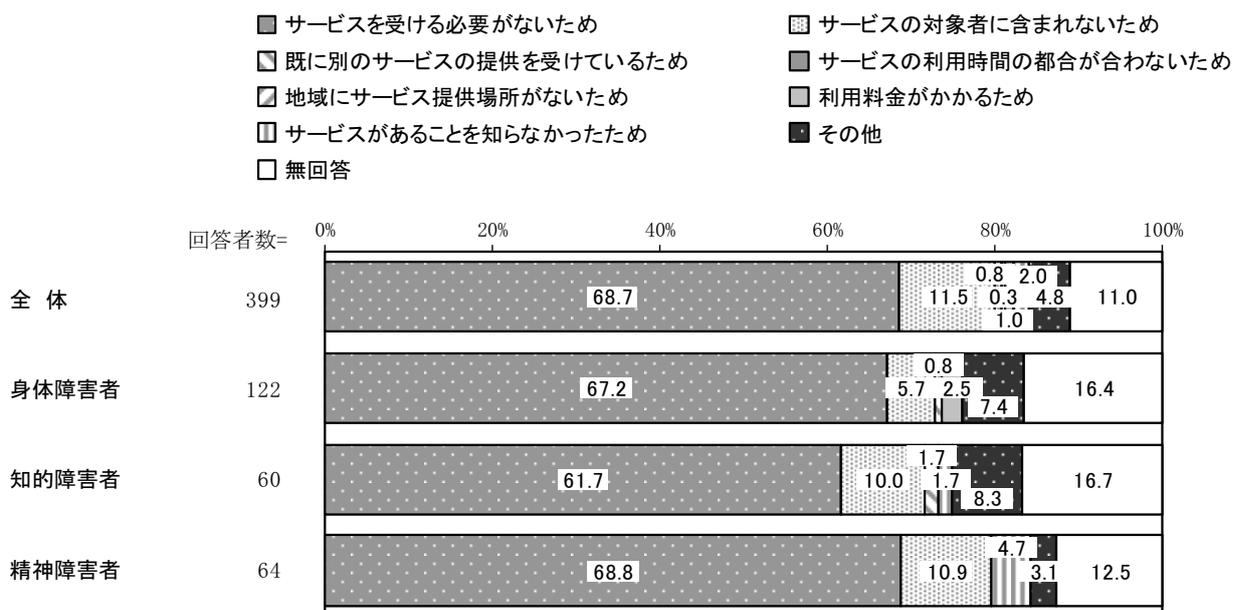


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が68.7%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.5%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

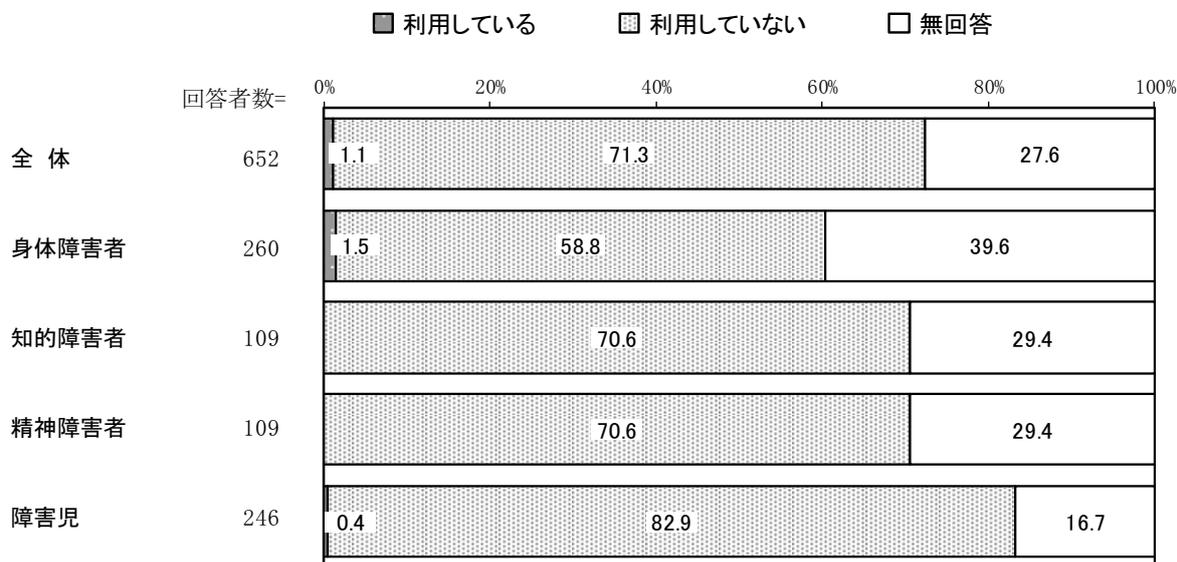
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 19 手話通訳者派遣

### 現在の利用

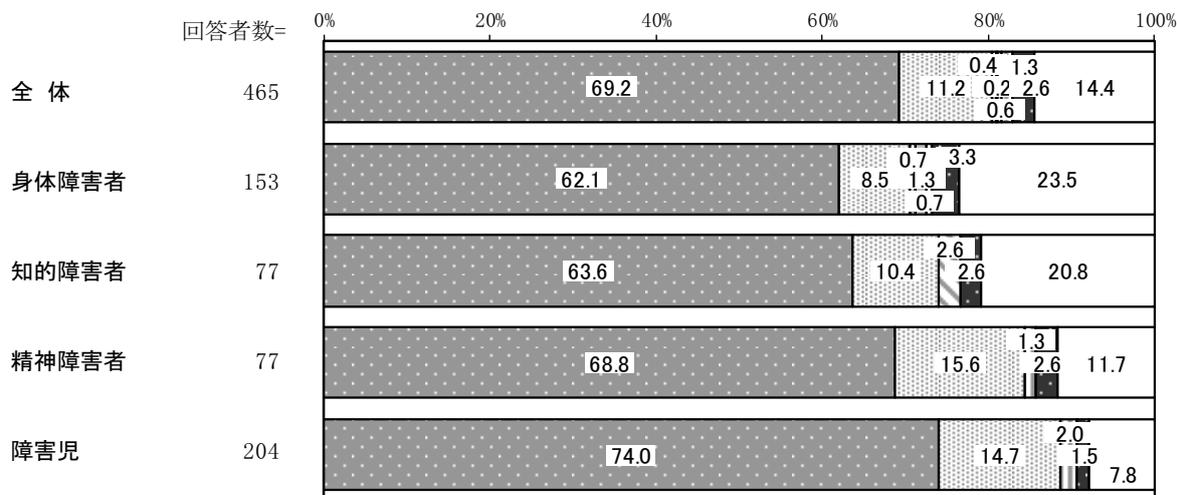
「利用している」の割合が1.1%、「利用していない」の割合が71.3%となっています。  
障害別でみると、身体障害のある人で1.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

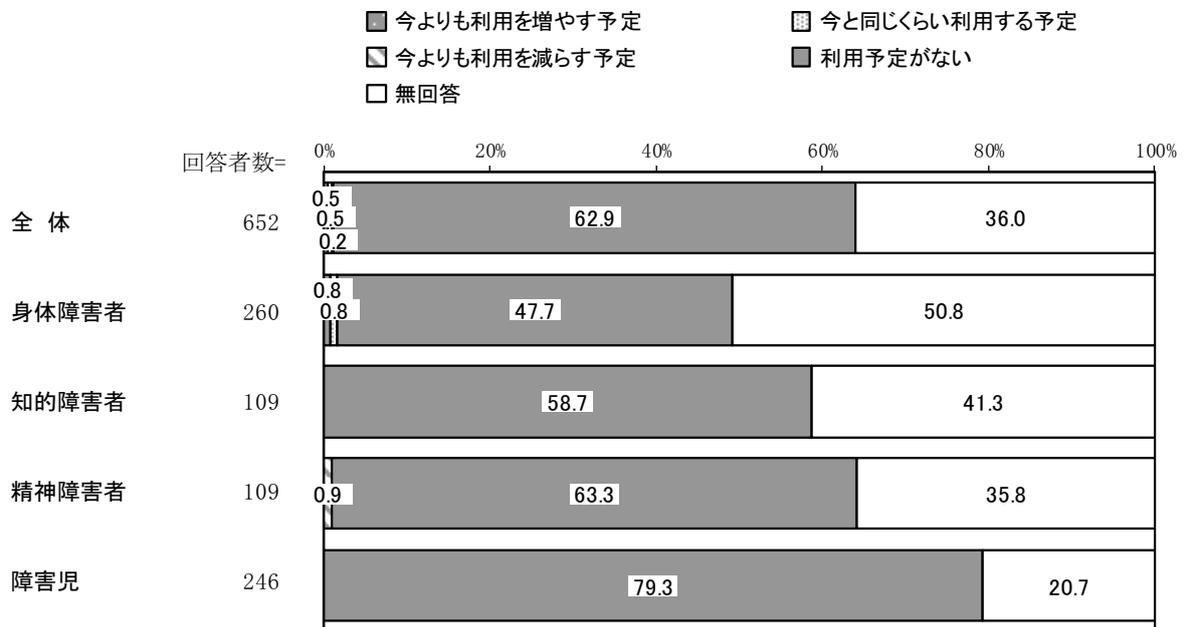
「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.2%となっています。

- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



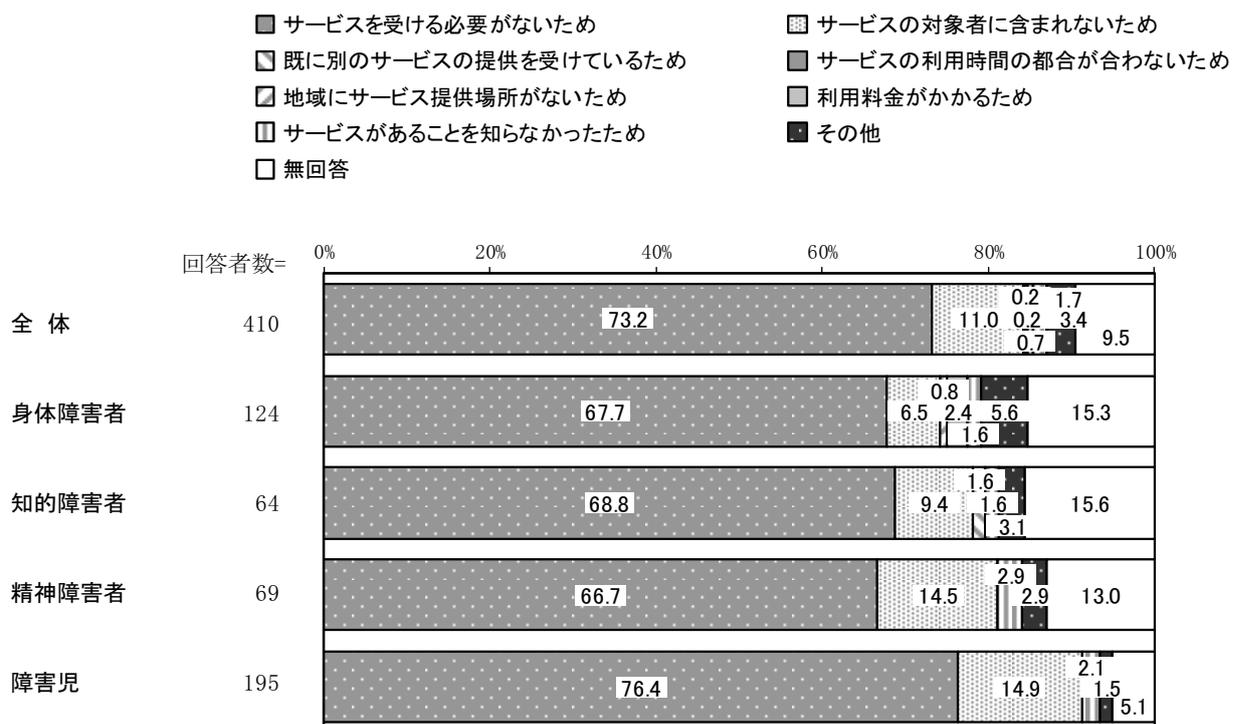
### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が62.9%と最も高くなっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で1.6%の人が今後の利用を希望しています。



### 利用予定がない場合の理由

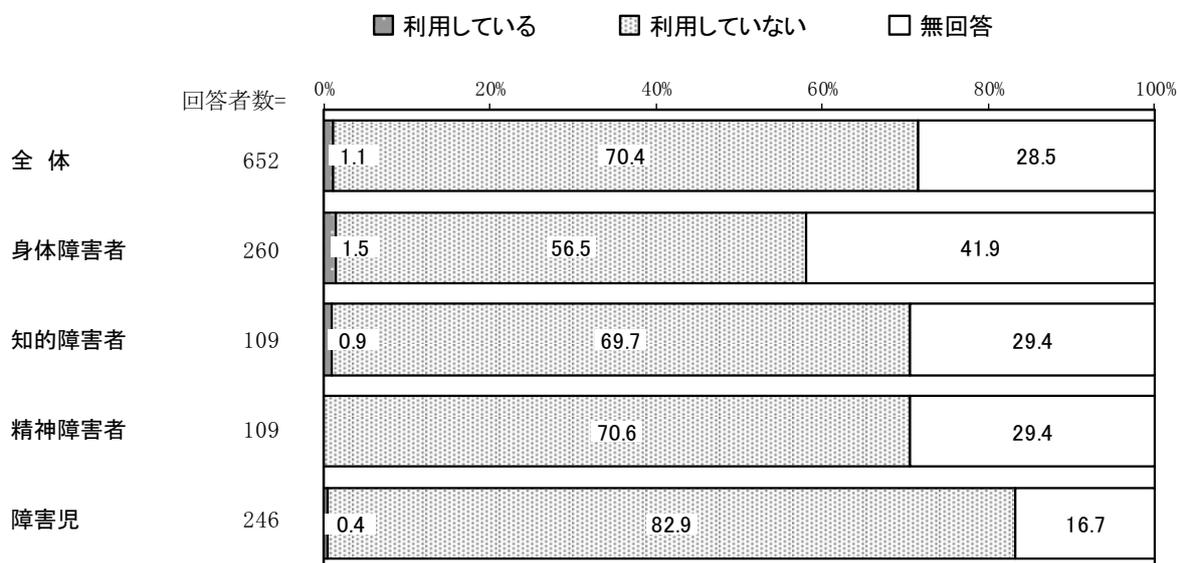
「サービスを受ける必要がないため」の割合が73.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.0%となっています。



## 20 要約筆記者派遣

### 現在の利用

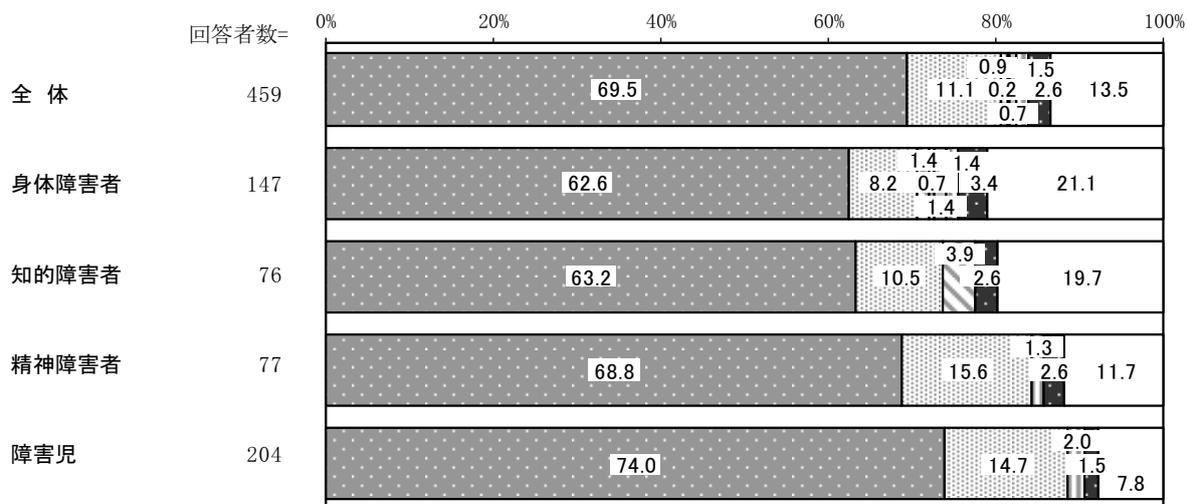
「利用している」の割合が1.1%、「利用していない」の割合が70.4%となっています。障害別でみると、身体障害のある人で1.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.1%となっています。

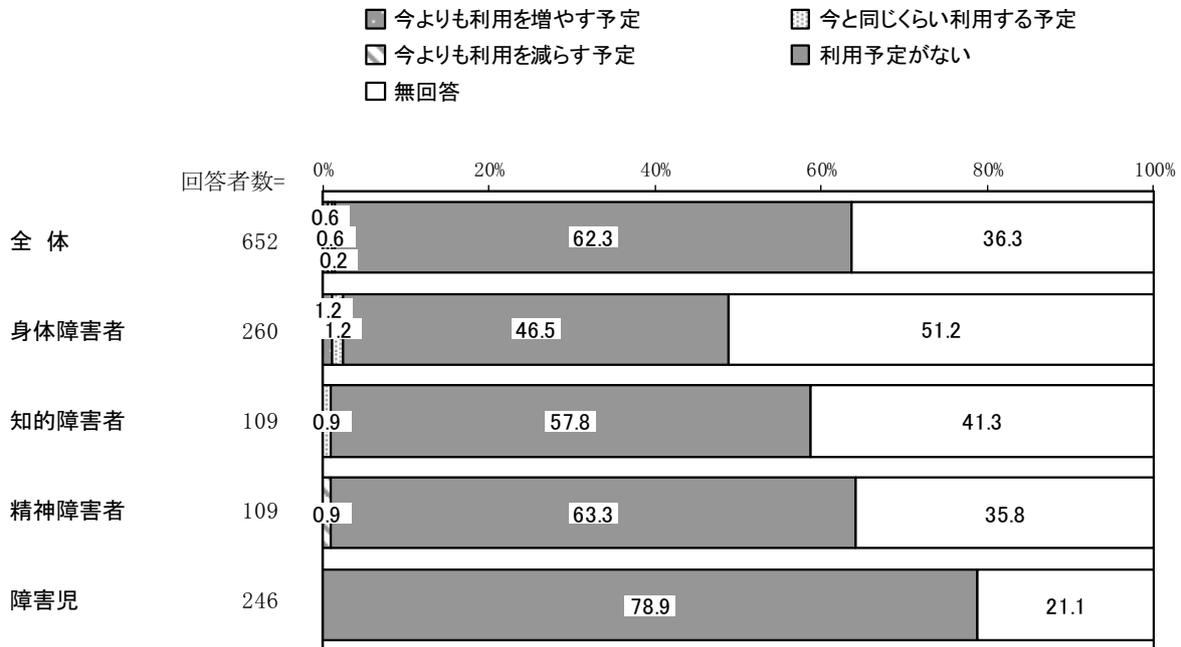
- サービスを受ける必要がないため
- ▨ サービスの対象者に含まれないため
- ▩ 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- ▩ 地域にサービス提供場所がないため
- ▩ 利用料金がかかるため
- ▩ サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が62.3%と最も高くなっています。

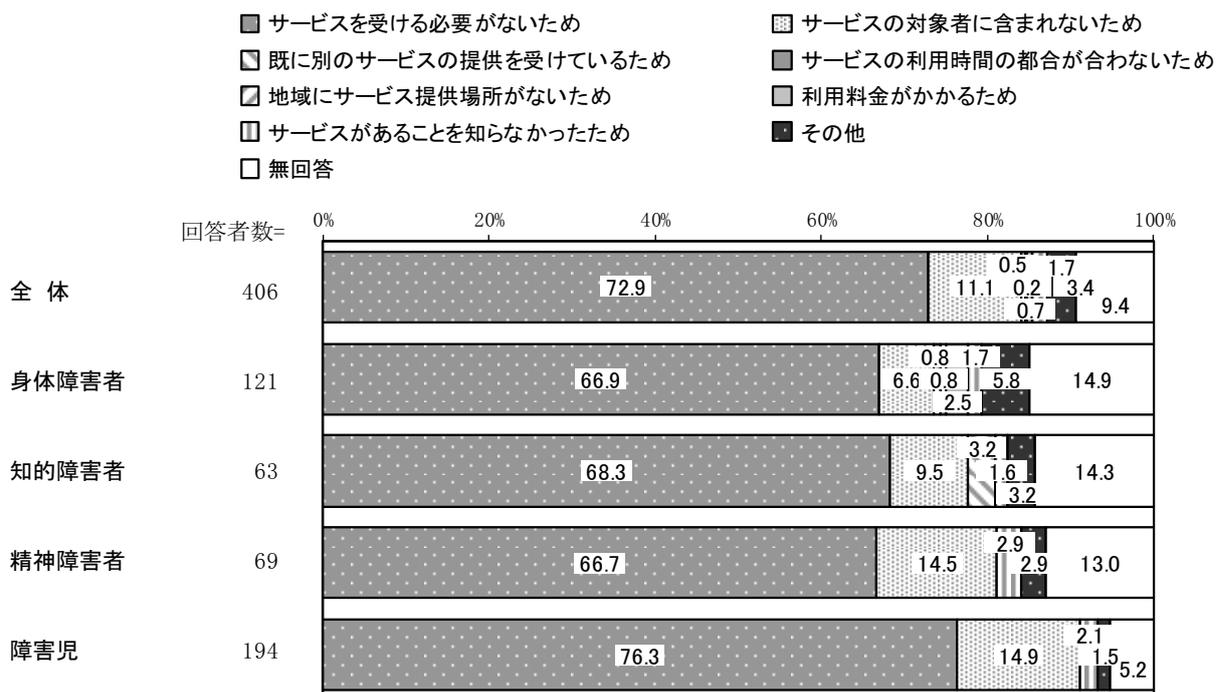
障害別でみると、身体障害のある人で2.4%の人が今後の利用を希望しています。



## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が72.9%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が11.1%となっています。

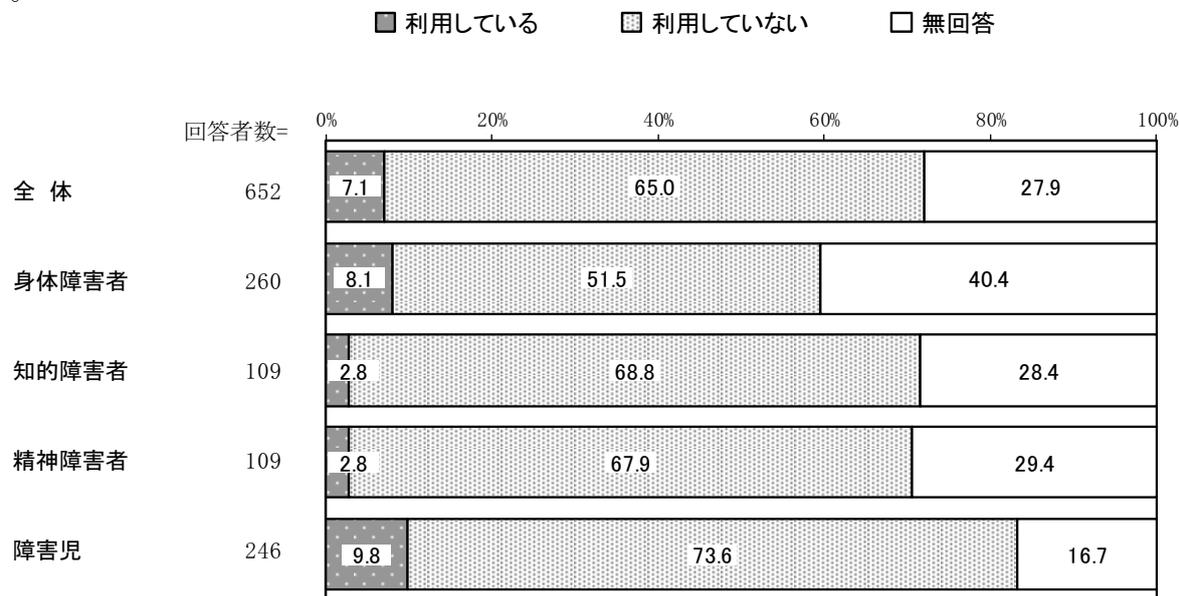
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「既に別のサービスの提供を受けているため」の割合が低くなっています。



## 21 日常生活用具給付

### 現在の利用

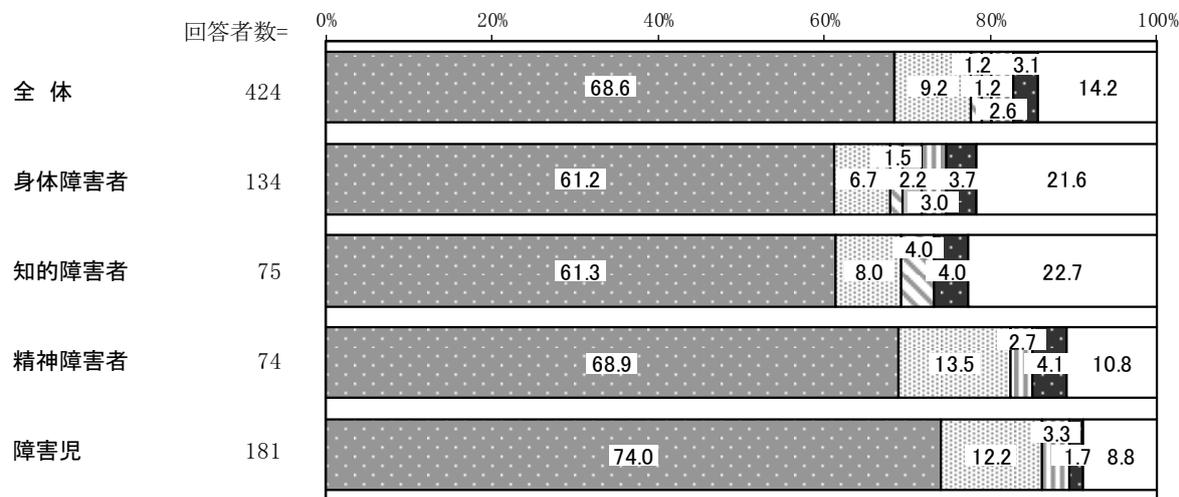
「利用している」の割合が7.1%、「利用していない」の割合が65.0%となっています。  
 障害別でみると、身体障害のある人で8.1%、障害のある子どもで9.8%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が68.6%と最も高くなっています。  
 障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人、障害のある子どもで「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

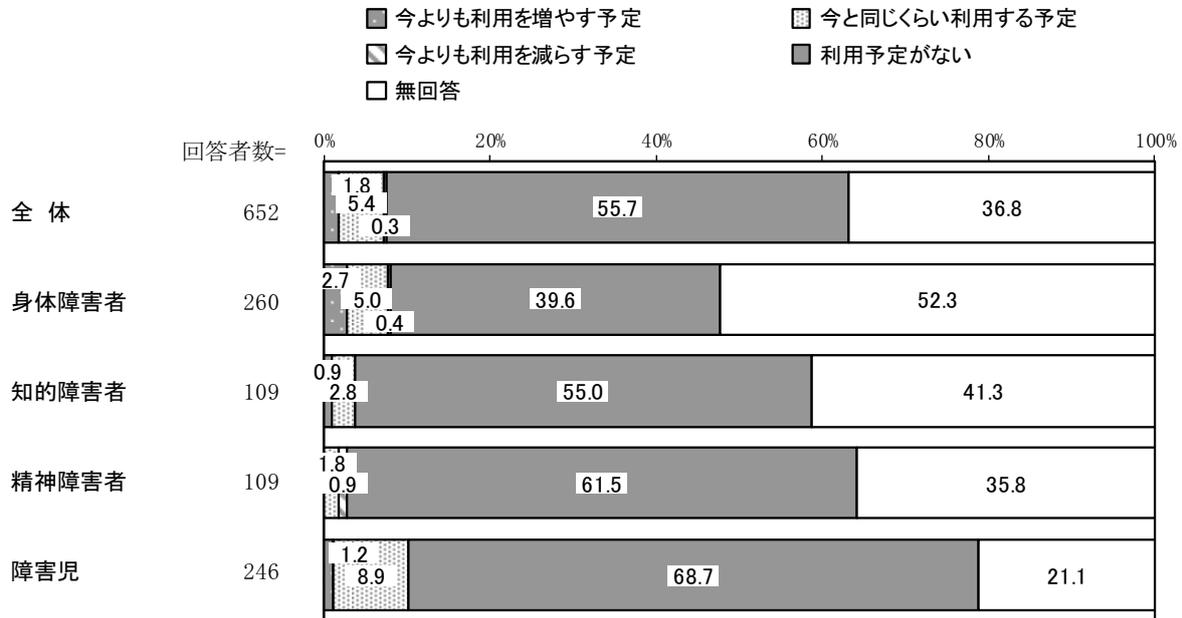
- サービスを受ける必要がないため
- ▨ サービスの対象者に含まれないため
- ▤ 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- ▨ 地域にサービス提供場所がないため
- ▤ 利用料金がかかるため
- ▤ サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が55.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、身体障害のある人で7.7%、障害のある子どもで10.1%の人が今後の利用を希望しています。

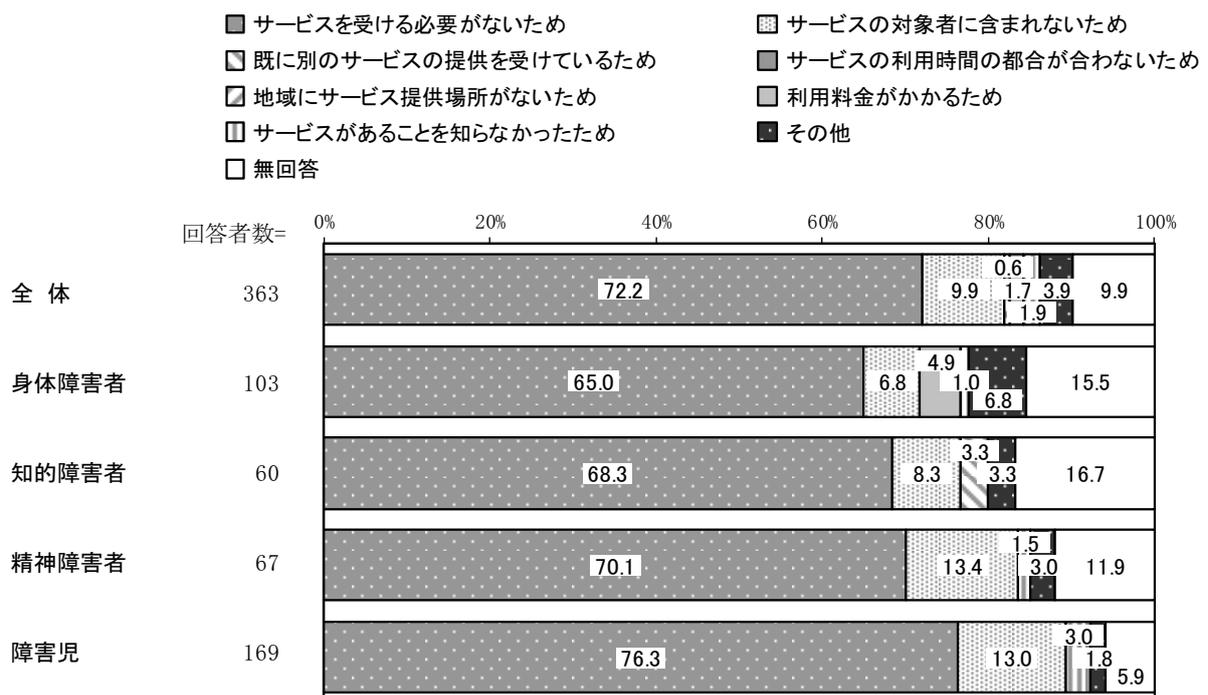


## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が72.2%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

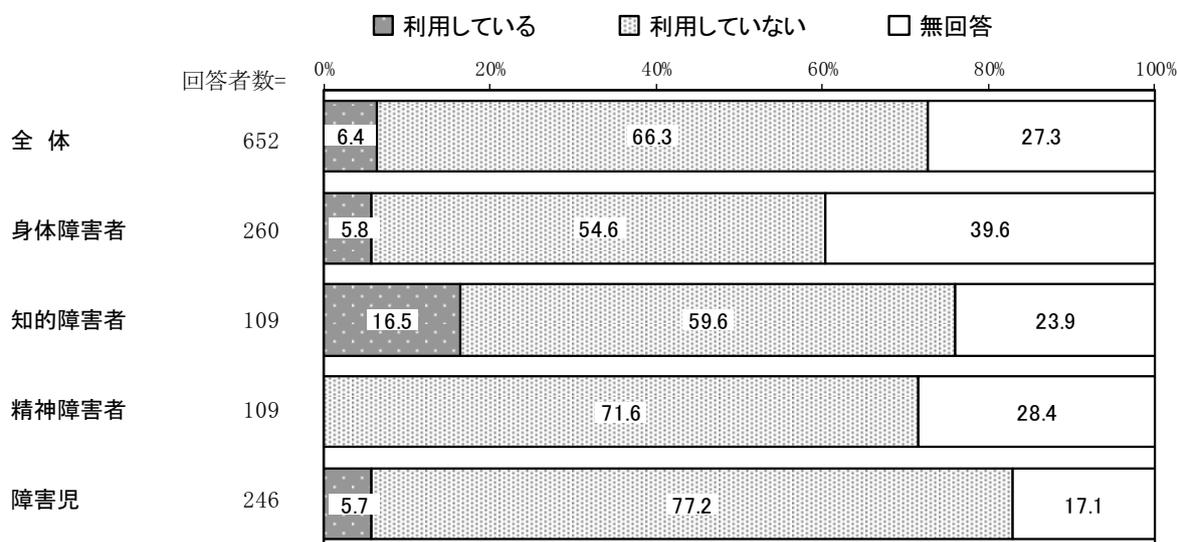
障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「利用料金がかかるため」の割合が高くなっています。



## 22 移動支援

### 現在の利用

「利用している」の割合が6.4%、「利用していない」の割合が66.3%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で16.5%の人が利用しています。

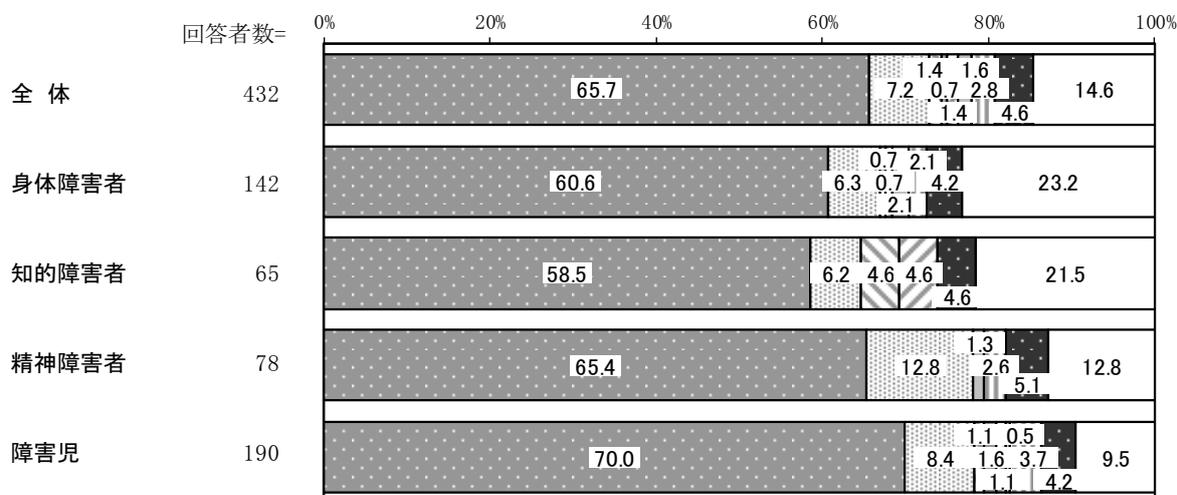


### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が65.7%と最も高くなっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「地域にサービス提供場所がないため」の割合が高くなっています。

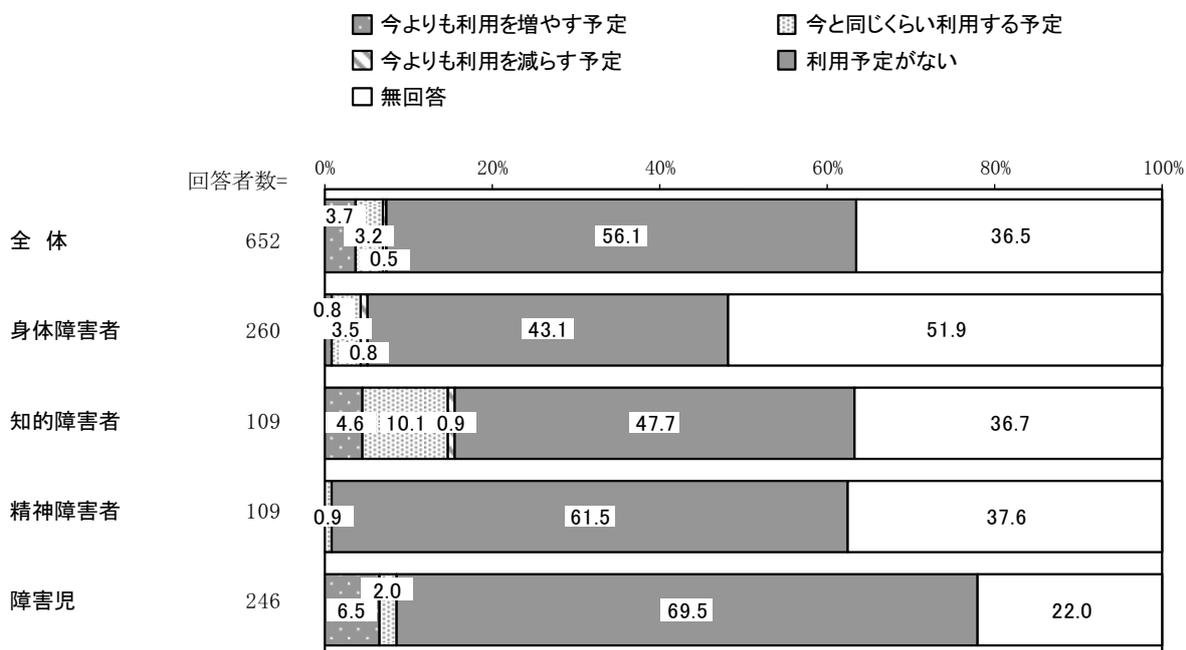
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が56.1%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で14.7%の人が今後の利用を希望しています。

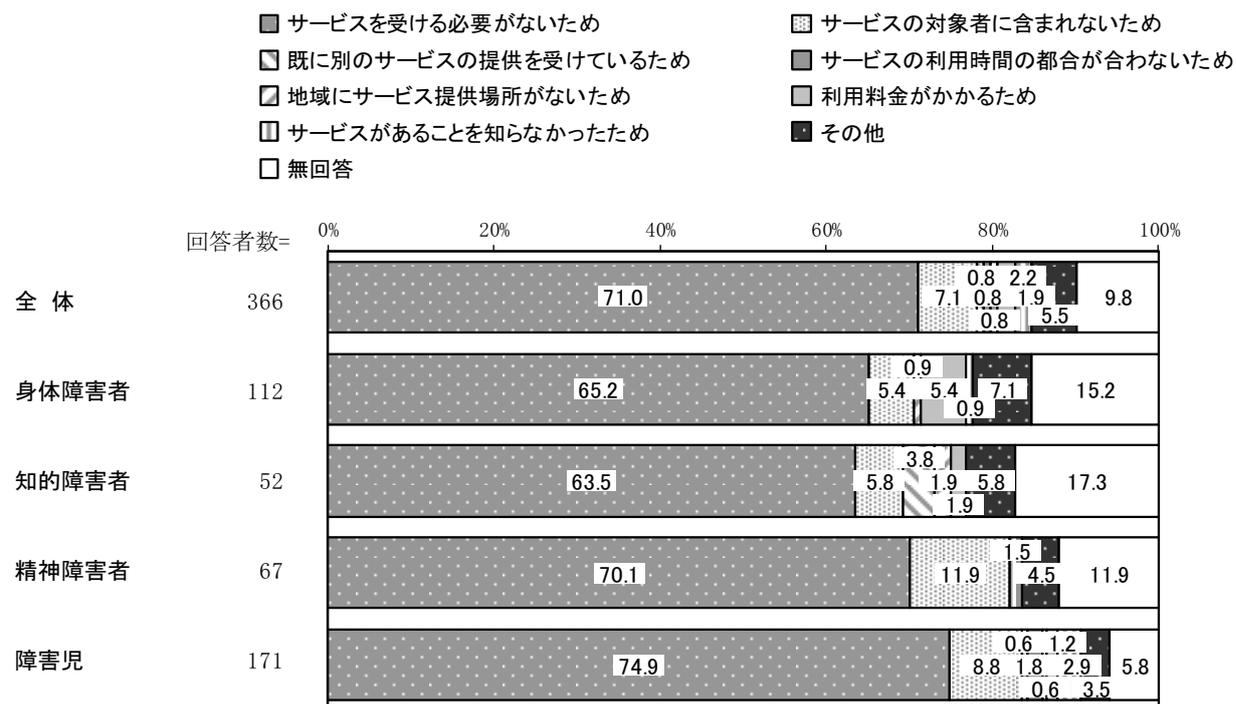


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が71.0%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

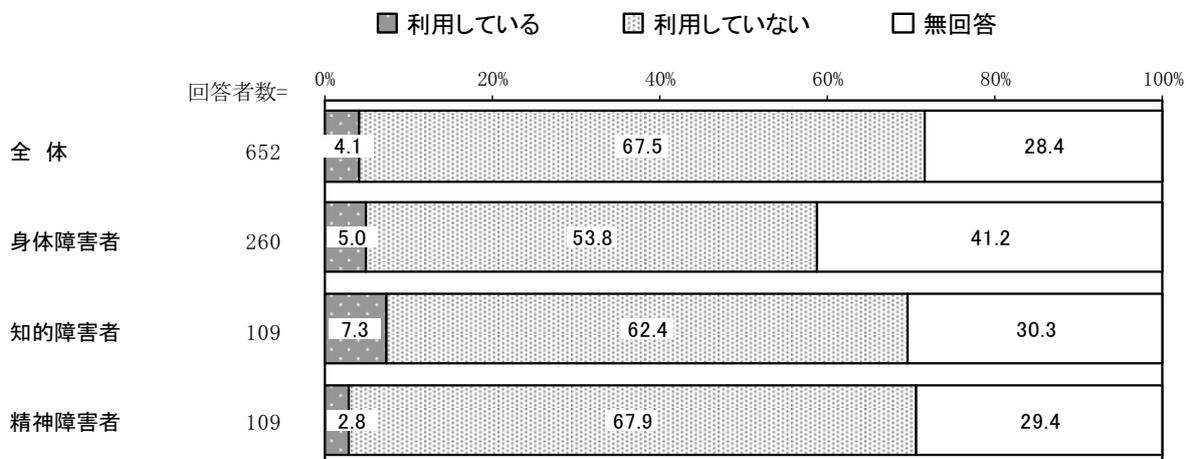
障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「利用料金がかかるため」の割合が高くなっています。



## 23 地域活動支援センター

### 現在の利用

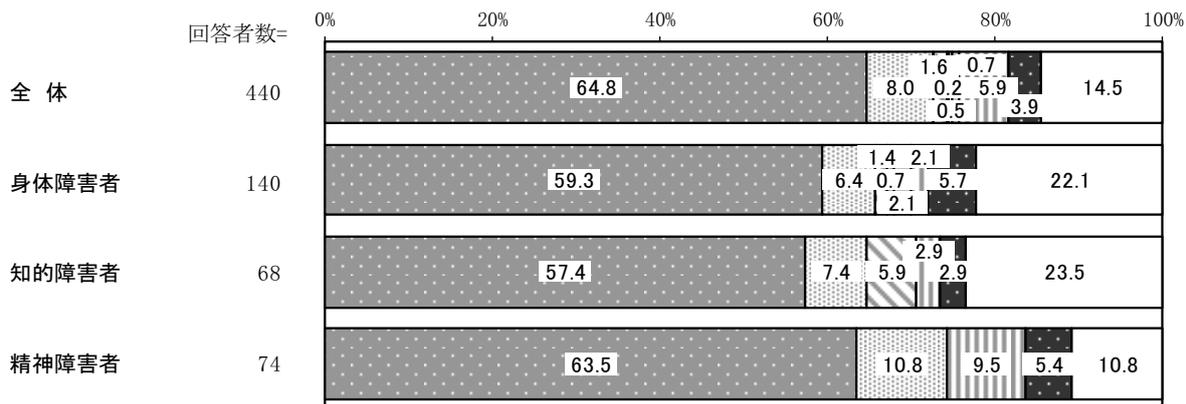
「利用している」の割合が4.1%、「利用していない」の割合が67.5%となっています。  
障害別でみると、知的障害のある人で7.3%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が64.8%と最も高くなっています。  
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

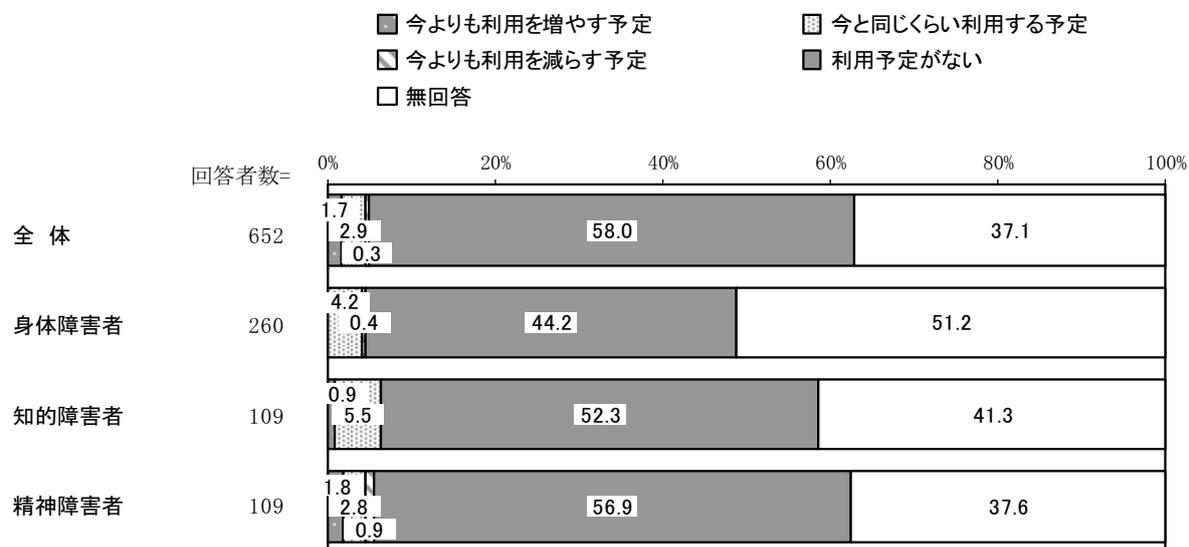
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が58.0%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で6.4%の人が今後の利用を希望しています。

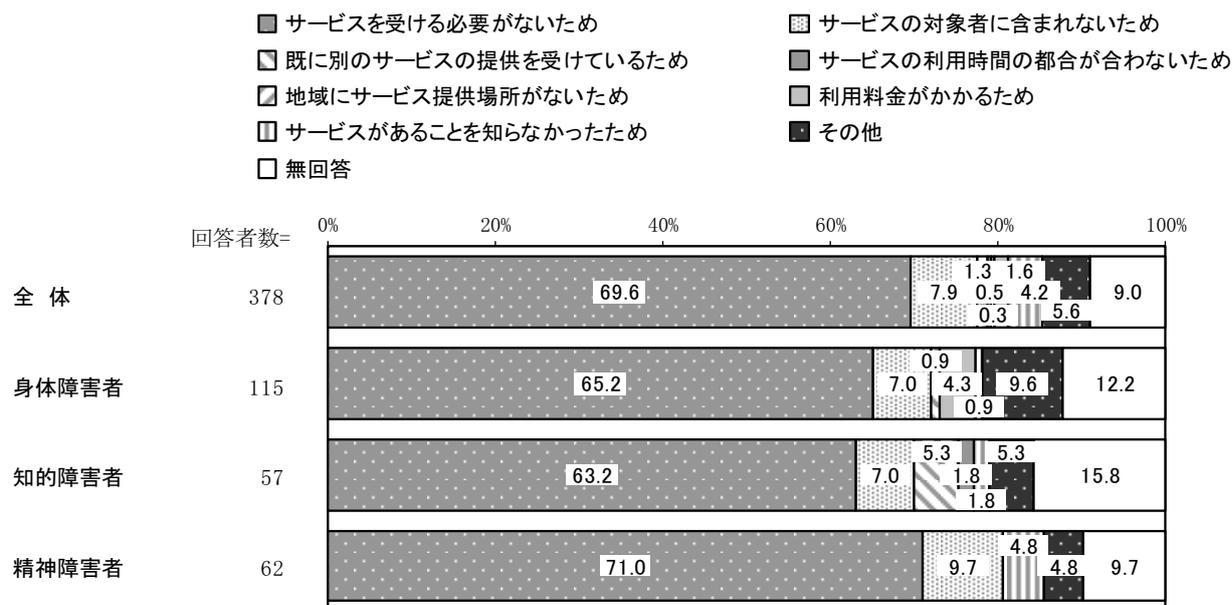


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.6%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。

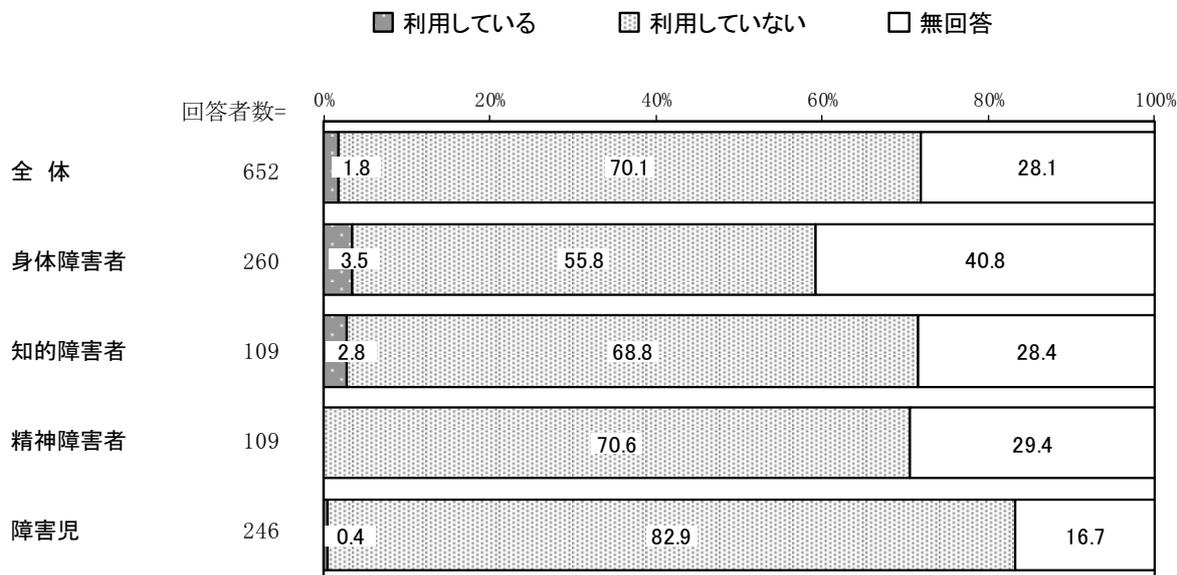
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



## 24 移動入浴

### 現在の利用

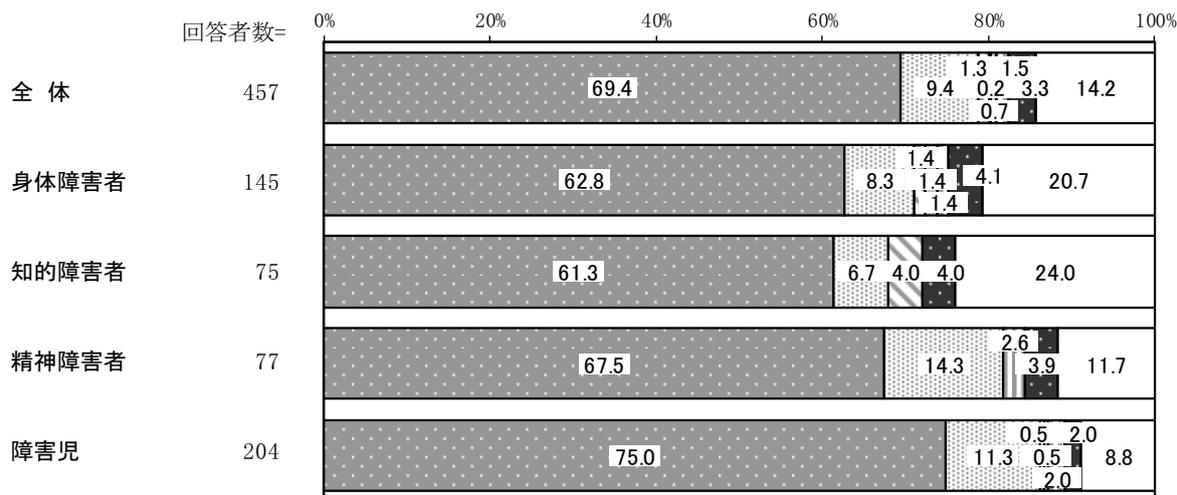
「利用している」の割合が1.8%、「利用していない」の割合が70.1%となっています。  
障害別でみると、身体障害のある人で3.5%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.4%と最も高くなっています。

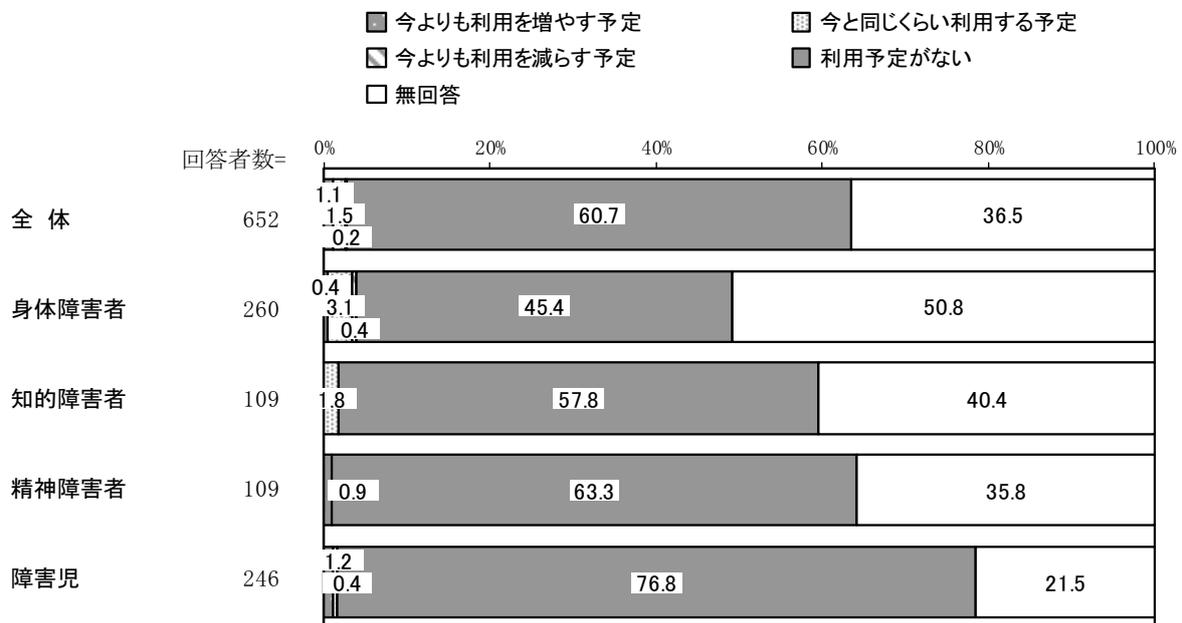
- サービスを受ける必要がないため
- サービスの対象者に含まれないため
- 既に別のサービスの提供を受けているため
- サービスの利用時間の都合が合わないため
- 地域にサービス提供場所がないため
- 利用料金がかかるため
- サービスがあることを知らなかったため
- その他
- 無回答



## 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が60.7%と最も高くなっています。

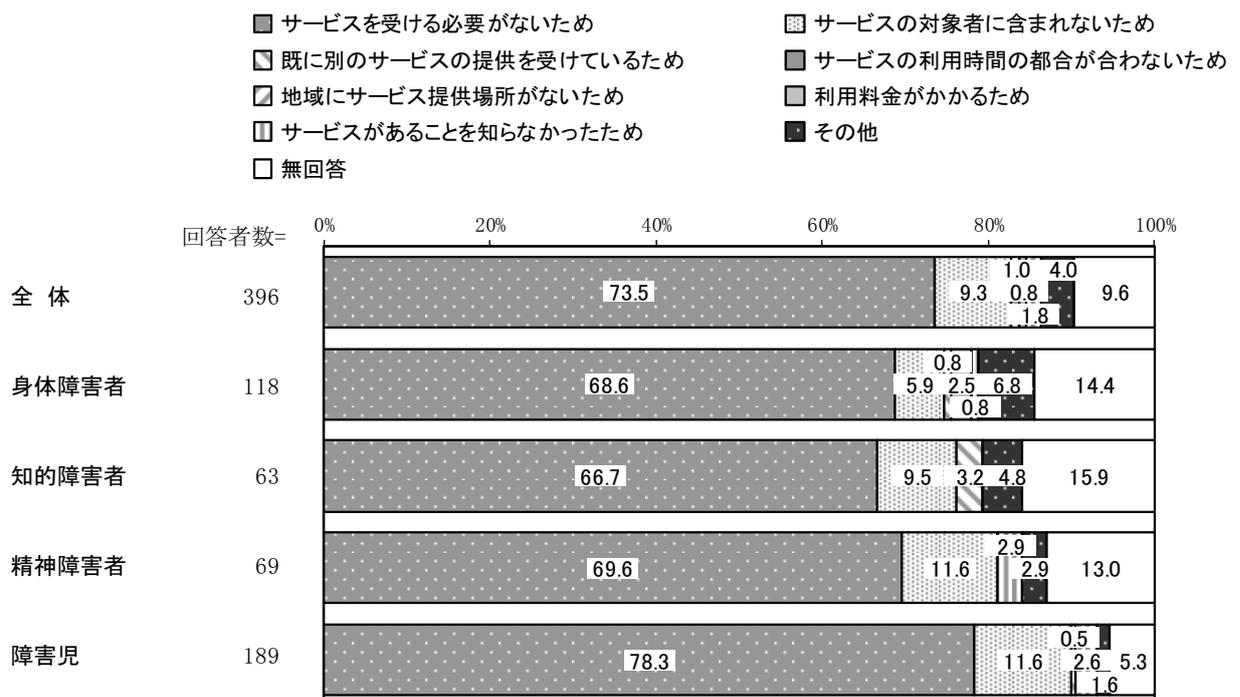
障害別でみると、身体障害のある人で3.5%の人が今後の利用を希望しています。



## 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が73.5%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。

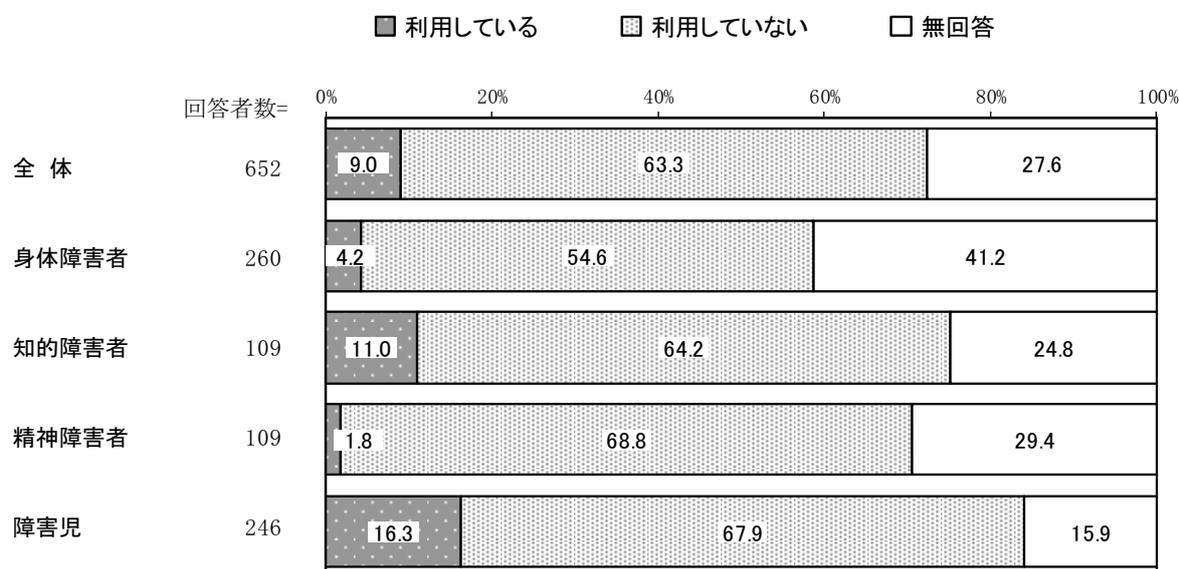


## 25 日中一時支援

### 現在の利用

「利用している」の割合が9.0%、「利用していない」の割合が63.3%となっています。

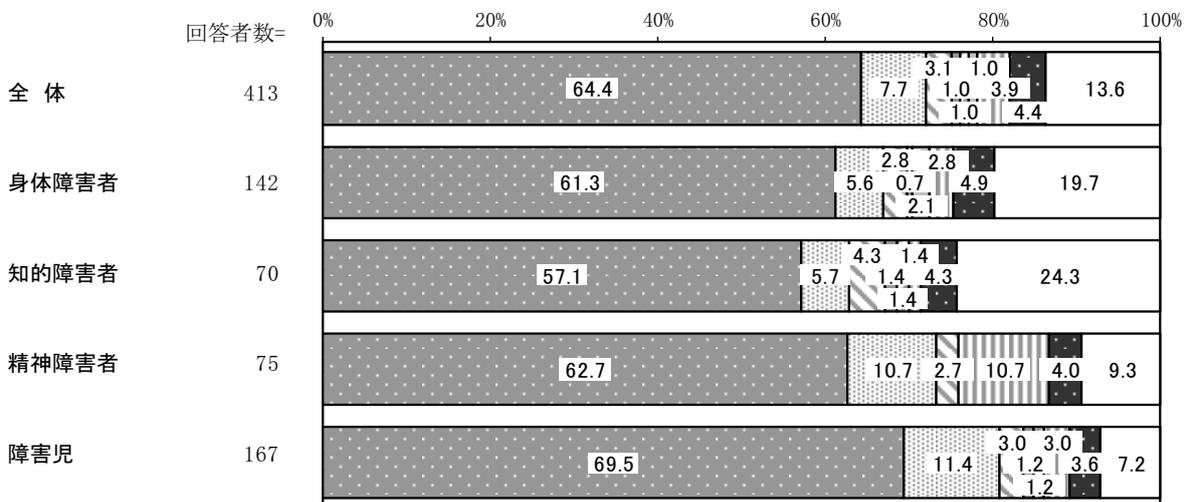
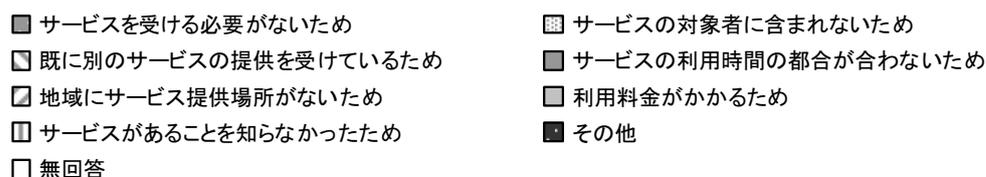
障害別でみると、知的障害のある人で11.0%、障害のある子どもで16.3%の人が利用しています。



### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が64.4%と最も高くなっています。

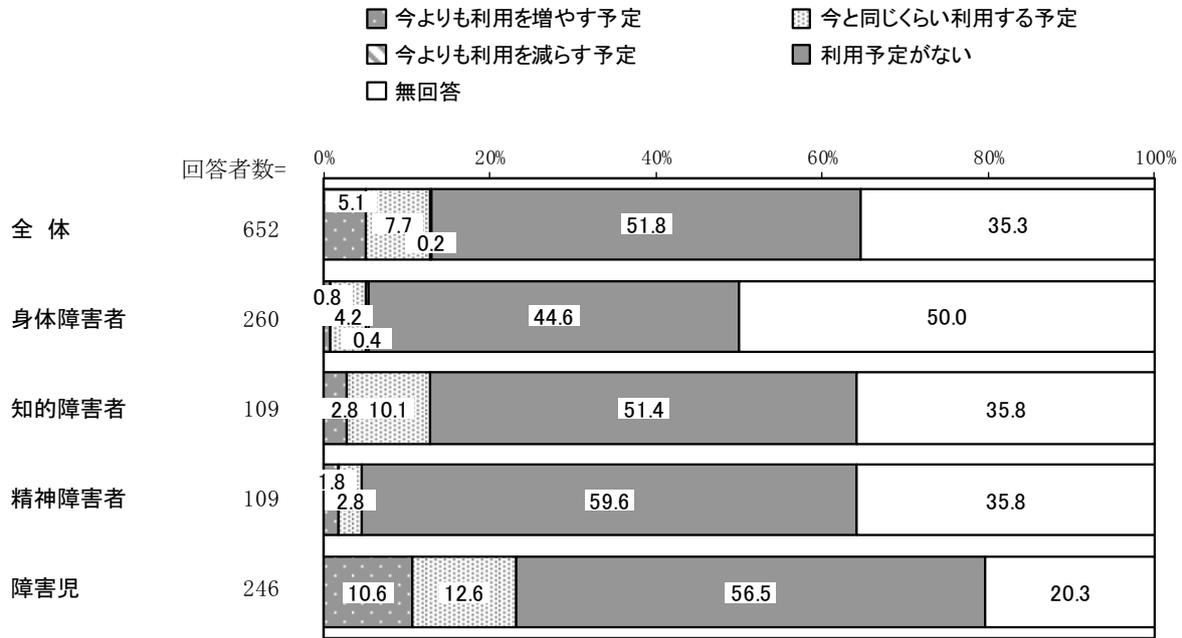
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



### 今後3年以内の利用予定

「利用予定がない」の割合が51.8%と最も高くなっています。

障害別でみると、知的障害のある人で12.9%、障害のある子どもで23.2%の人が今後の利用を希望しています。

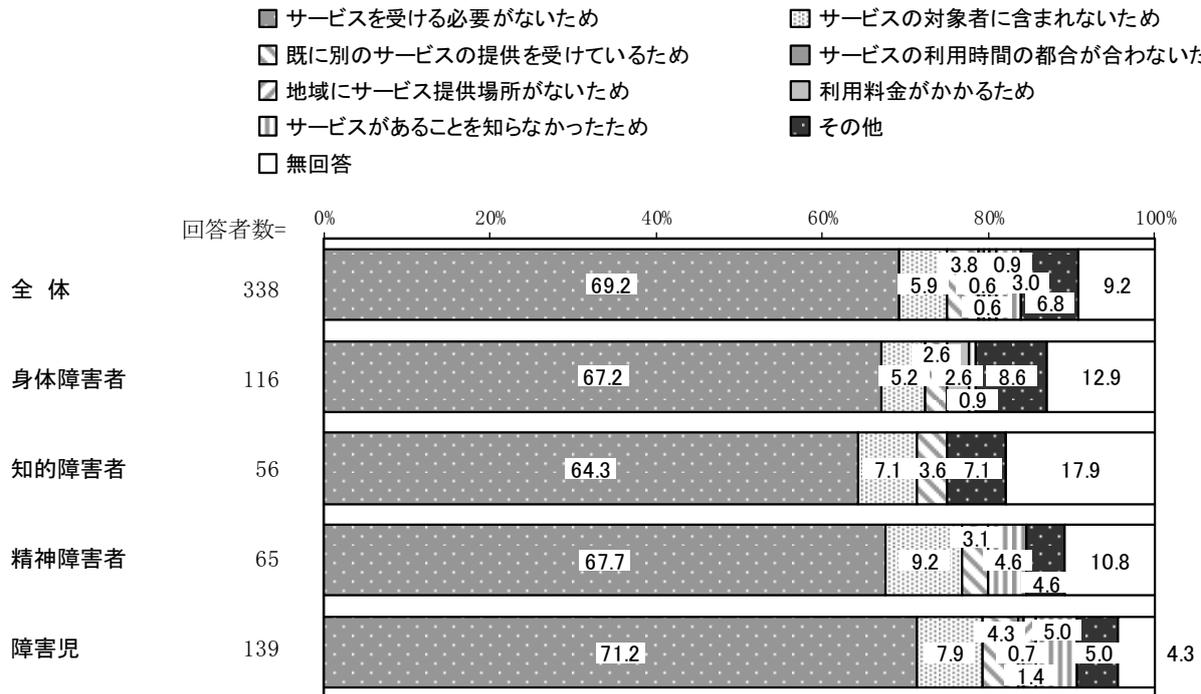


### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が69.2%と最も高くなっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。

障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人、障害のある子どもで「サービスがあることを知らなかったため」の割合が高くなっています。



【利用状況別】

利用状況別でみると、他に比べ、『12 短期入所（ショートステイ）』を利用している人で「今よりも利用を増やす予定」の割合が高くなっています。また、『25 日中一時支援』を利用していない人で「今よりも利用を増やす予定」（新規の利用を考えている人）の割合が高くなっています。

単位：％

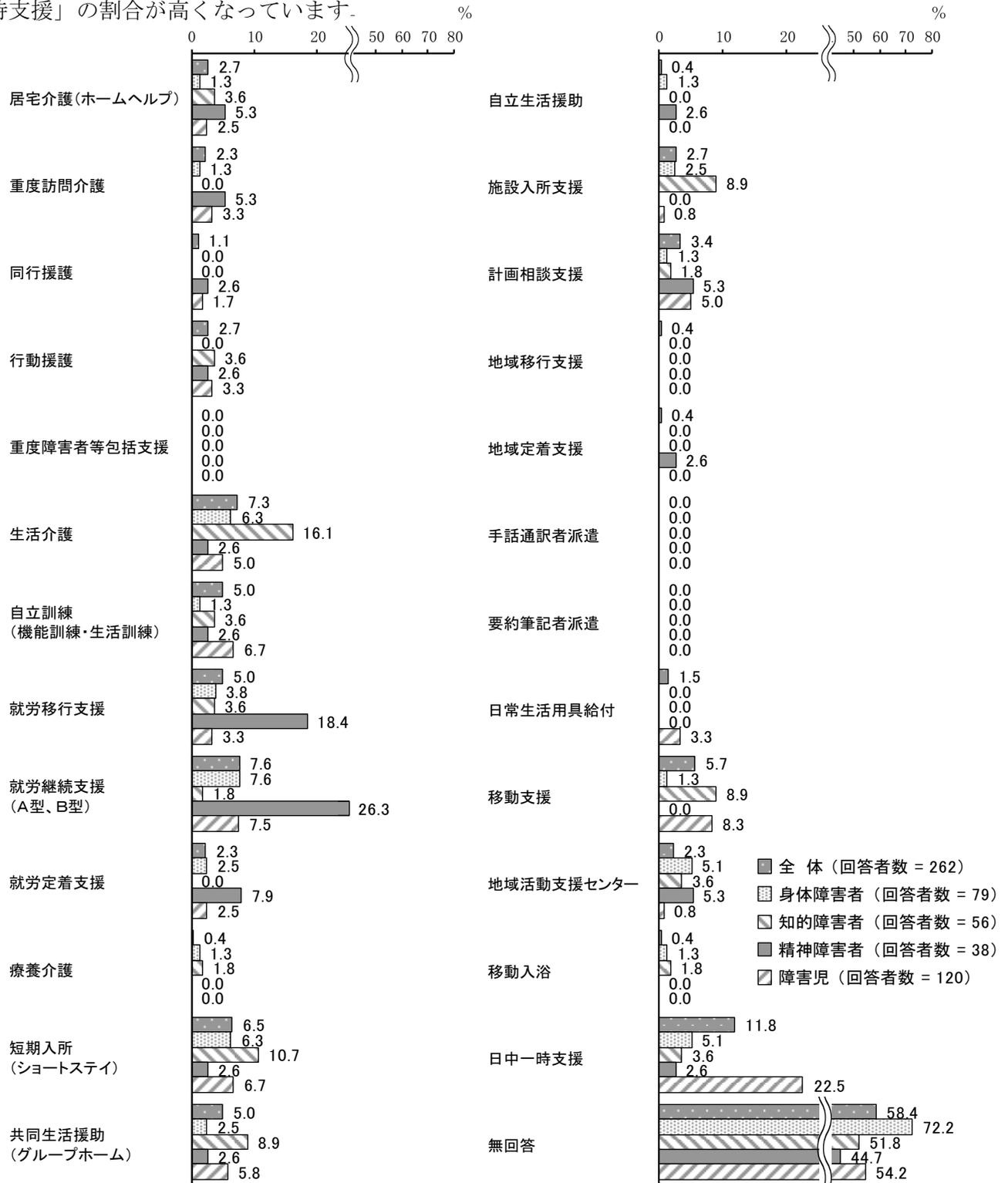
区分		有効回答数 (件)	増やす 今よりも利用を 予定	利用する 予定 今と同じくらい	減らす 今よりも利用を 予定	利用 予定がない	無 回答
1 居宅介護(ホームヘルプ)	利用している	22	18.2	50.0	—	4.5	27.3
	利用していない	468	2.6	1.1	—	83.3	13.0
2 重度訪問介護	利用している	13	23.1	46.2	—	7.7	23.1
	利用していない	462	1.7	0.4	—	85.5	12.3
3 同行援護	利用している	5	—	60.0	—	20.0	20.0
	利用していない	466	1.1	0.6	—	85.2	13.1
4 行動援護	利用している	9	—	44.4	11.1	11.1	33.3
	利用していない	462	1.9	0.4	—	85.3	12.3
5 重度障害者等包括支援	利用している	6	16.7	50.0	—	16.7	16.7
	利用していない	463	2.2	—	0.2	84.9	12.7
6 生活介護	利用している	39	12.8	59.0	5.1	2.6	20.5
	利用していない	447	1.3	0.7	—	84.3	13.6
7 自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	利用している	38	13.2	71.0	2.6	—	13.2
	利用していない	435	2.3	1.1	—	82.8	13.8
8 就労移行支援	利用している	16	6.3	31.3	—	31.3	31.3
	利用していない	453	4.2	0.7	—	82.6	12.6
9 就労継続支援(A型、B型)	利用している	41	12.2	63.4	4.9	2.4	17.1
	利用していない	432	3.9	0.7	0.2	82.2	13.0
10 就労定着支援	利用している	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
	利用していない	462	3.9	1.1	0.2	81.4	13.4
11 療養介護	利用している	12	16.7	41.7	8.3	—	33.3
	利用していない	459	1.5	0.9	0.2	84.1	13.3
12 短期入所(ショートステイ)	利用している	28	32.1	35.7	—	7.1	25.0
	利用していない	448	2.9	1.1	0.2	82.6	13.2
13 共同生活援助 (グループホーム)	利用している	15	26.7	40.0	—	6.7	26.7
	利用していない	465	1.3	0.6	0.4	84.3	13.3
14 自立生活援助	利用している	14	14.3	42.9	—	7.1	35.7
	利用していない	452	2.0	0.7	0.2	85.0	12.2
15 施設入所支援	利用している	18	22.2	50.0	5.6	—	22.2
	利用していない	454	0.2	0.9	0.2	86.1	12.6
16 計画相談支援	利用している	150	2.7	79.3	3.3	3.3	11.3
	利用していない	324	2.5	1.5	0.3	80.2	15.4
17 地域移行支援	利用している	4	25.0	25.0	—	—	50.0
	利用していない	458	0.9	1.3	0.2	85.8	11.8
18 地域定着支援	利用している	5	20.0	40.0	—	20.0	20.0
	利用していない	461	1.3	1.1	0.2	84.4	13.0
19 手話通訳者派遣	利用している	7	28.6	42.9	—	—	28.6
	利用していない	465	0.2	—	0.2	86.2	13.3
20 要約筆記者派遣	利用している	7	28.6	57.1	—	—	14.3
	利用していない	459	0.2	—	0.2	86.5	13.1
21 日常生活用具給付	利用している	46	10.9	76.1	2.2	2.2	8.7
	利用していない	424	1.4	—	0.2	83.5	14.9
22 移動支援	利用している	42	28.6	45.2	7.1	—	19.0
	利用していない	432	2.8	0.5	—	83.1	13.7
23 地域活動支援センター	利用している	27	7.4	59.3	3.7	—	29.6
	利用していない	440	1.8	0.5	0.2	84.5	13.0
24 移動入浴	利用している	12	8.3	58.3	8.3	—	25.0
	利用していない	457	1.3	0.7	—	84.7	13.3
25 日中一時支援	利用している	59	16.9	76.3	1.7	—	5.1
	利用していない	413	5.3	1.0	—	79.9	13.8

問 39 現在利用しているサービスの中で、

(1) 特に充実・改善してほしいものはどれですか。問 38 の 1～25 のサービスから 3 つまでお選びください。(数字を記入) ※無理に 3 つ選ぶ必要はありません。

「日中一時支援」の割合が 11.8% と最も高くなっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「生活介護」の割合が、精神障害のある人で「就労継続支援 (A型、B型)」の割合が高くなっています。また、障害のある子どもで「日中一時支援」の割合が高くなっています。



問 39 現在利用しているサービスの中で、  
(1) で選んだサービスの充実・改善してほしい内容を、以下の1～8からお選び  
ください。(あてはまる数字をすべて記入)

- |                 |                |             |
|-----------------|----------------|-------------|
| 1 事業者の数の充実      | 4 事業所の対応の改善    | 7 利用者負担が大きい |
| 2 利用時間の拡大       | 5 サービスの利用手続き   | 8 その他       |
| 3 サービスの質(技術)の向上 | 6 サービスに関する情報提供 |             |

**1 居宅介護 (ホームヘルプ)**

・「事業者の数の充実」、「サービスの利用手続き」、「サービスに関する情報提供」が2件

**2 重度訪問介護**

・「事業者の数の充実」、「利用時間の拡大」、「サービスに関する情報提供」が2件

**3 同行援護**

・「事業者の数の充実」、「サービスに関する情報提供」が1件

**4 行動援護**

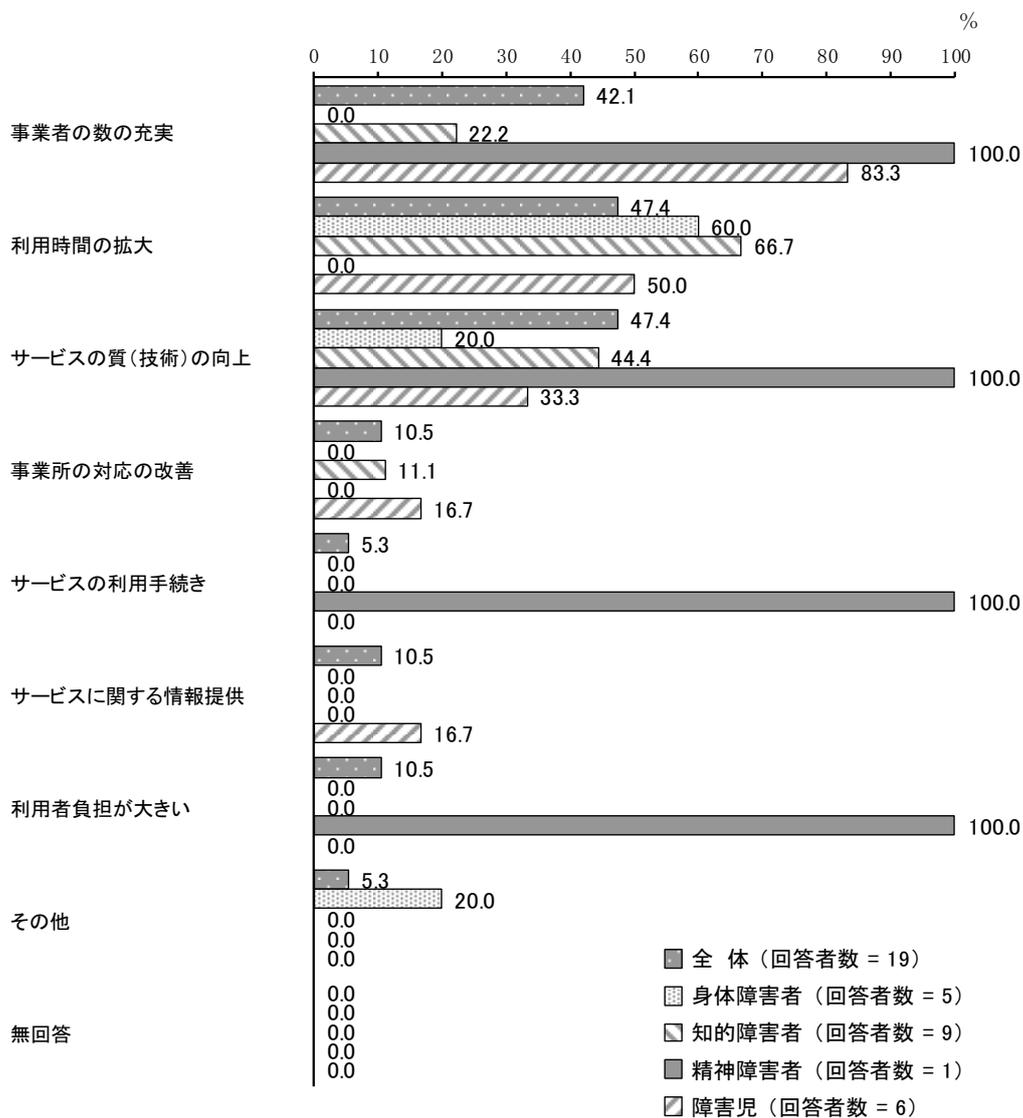
- ・「利用時間の拡大」が3件
- ・「事業者の数の充実」が2件
- ・「サービスの利用手続き」、「サービスに関する情報提供」が1件

**5 重度障害者等包括支援**

有効回答がありませんでした。

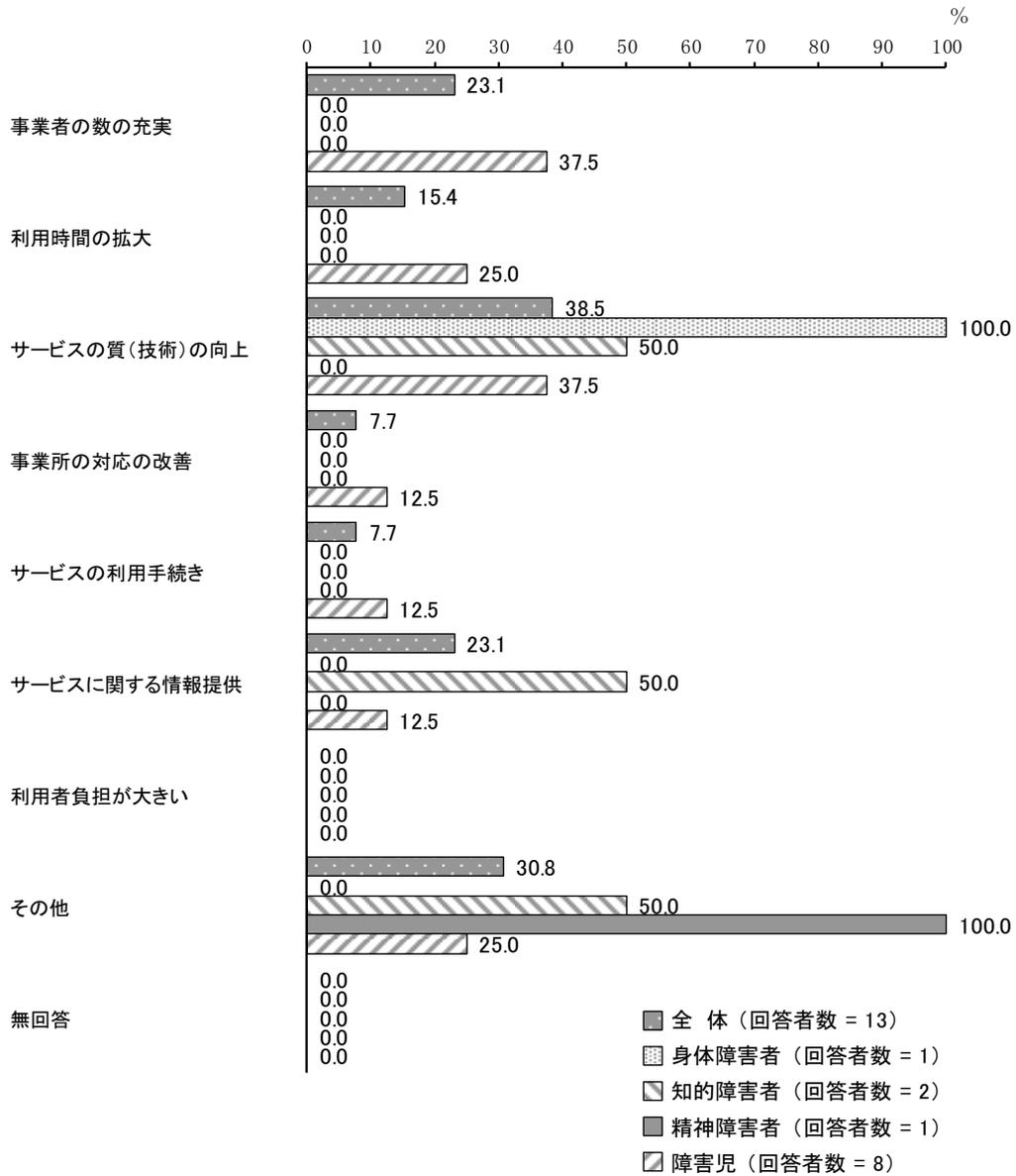
## 6 生活介護

「利用時間の拡大」、「サービスの質（技術）の向上」の割合が47.4%と最も高く、次いで「事業者の数の充実」の割合が42.1%となっています。



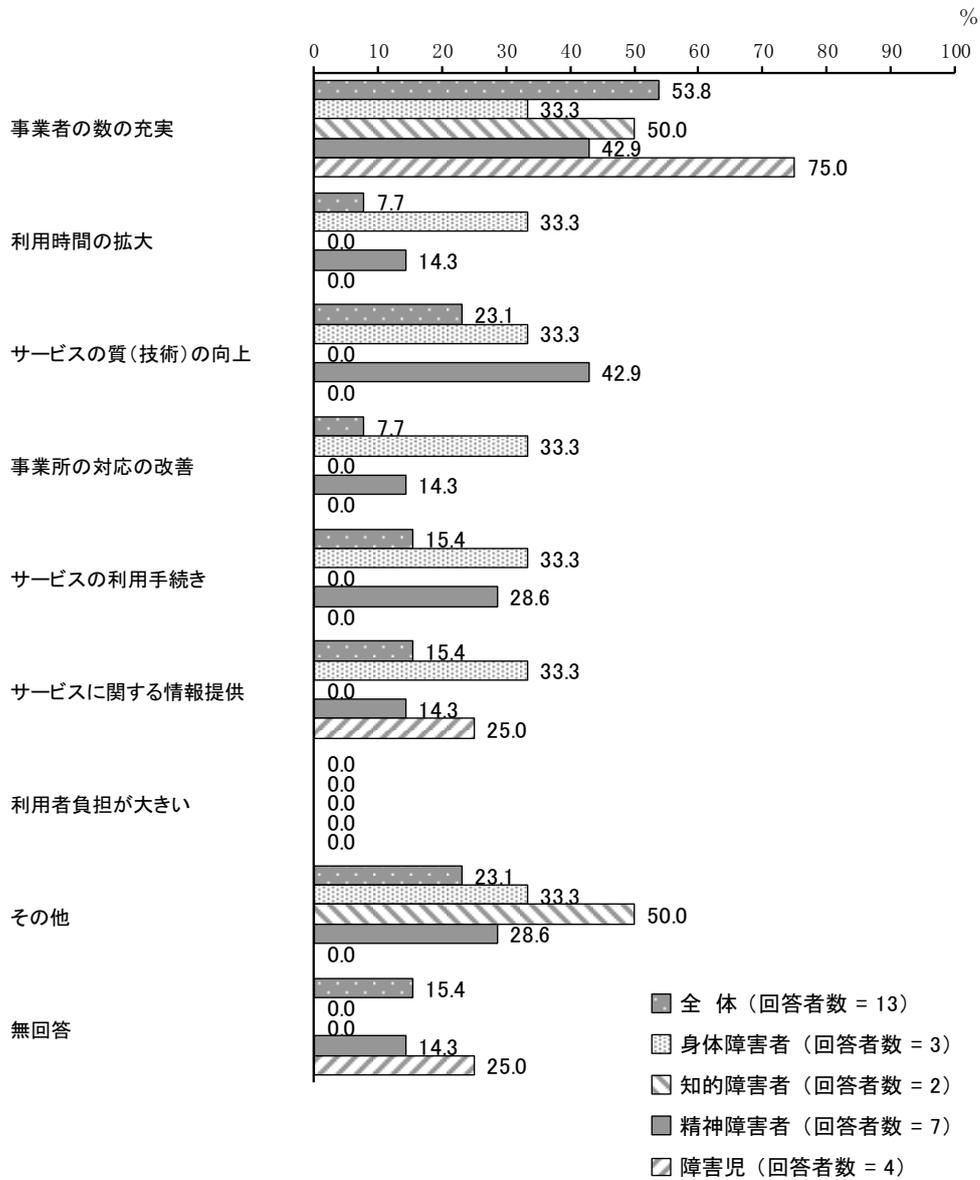
## 7 自立訓練（機能訓練・生活訓練）

「サービスの質（技術）の向上」の割合が38.5%と最も高く、次いで「事業者の数の充実」、  
「サービスに関する情報提供」の割合が23.1%となっています。



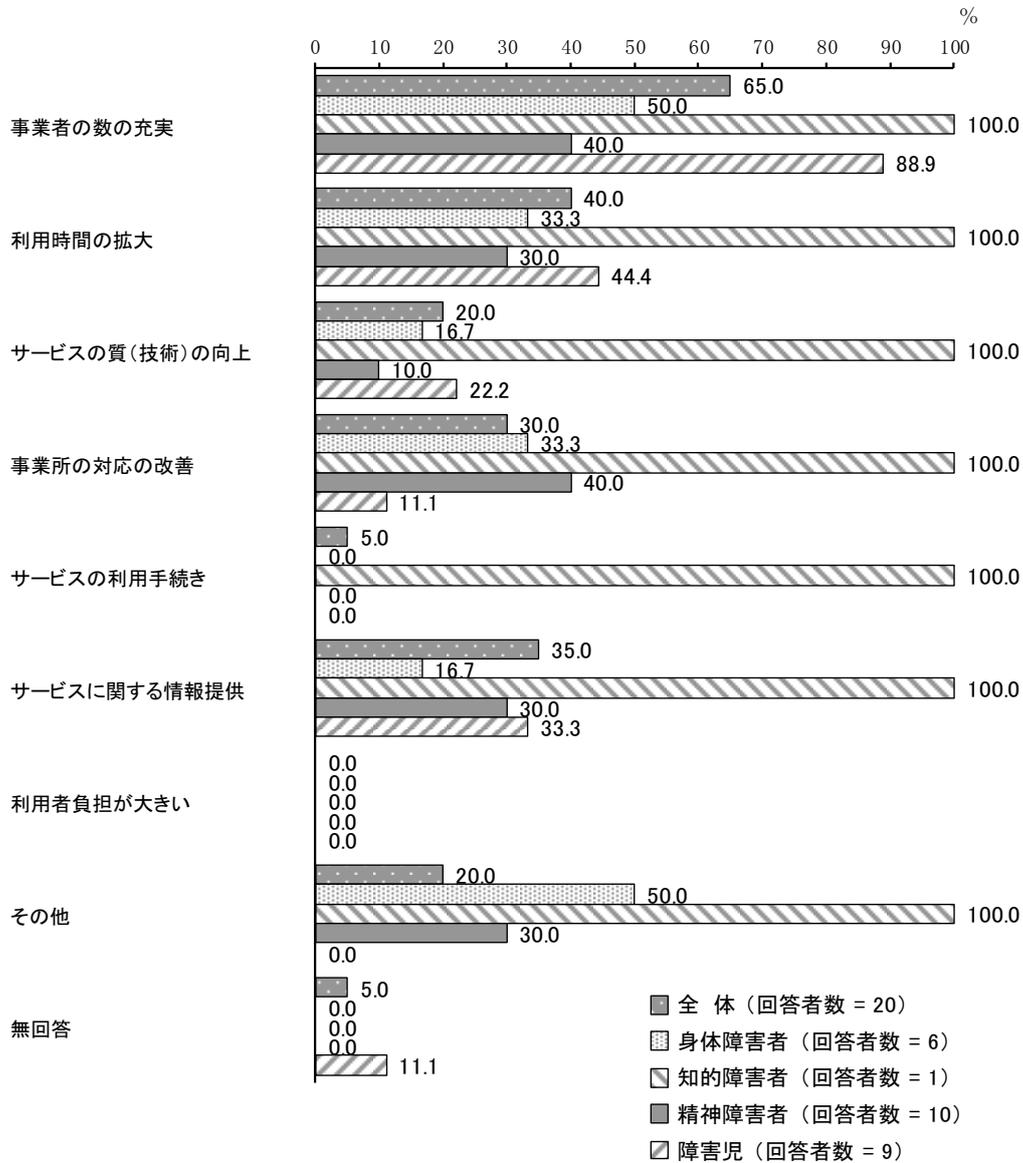
## 8 就労移行支援

「事業者の数の充実」の割合が53.8%と最も高く、次いで「サービスの質（技術）の向上」の割合が23.1%、「サービスの利用手続き」、「サービスに関する情報提供」の割合が15.4%となっています。



## 9 就労継続支援（A型、B型）

「事業者の数の充実」の割合が65.0%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」の割合が40.0%、「サービスに関する情報提供」の割合が35.0%となっています。



## 10 就労定着支援

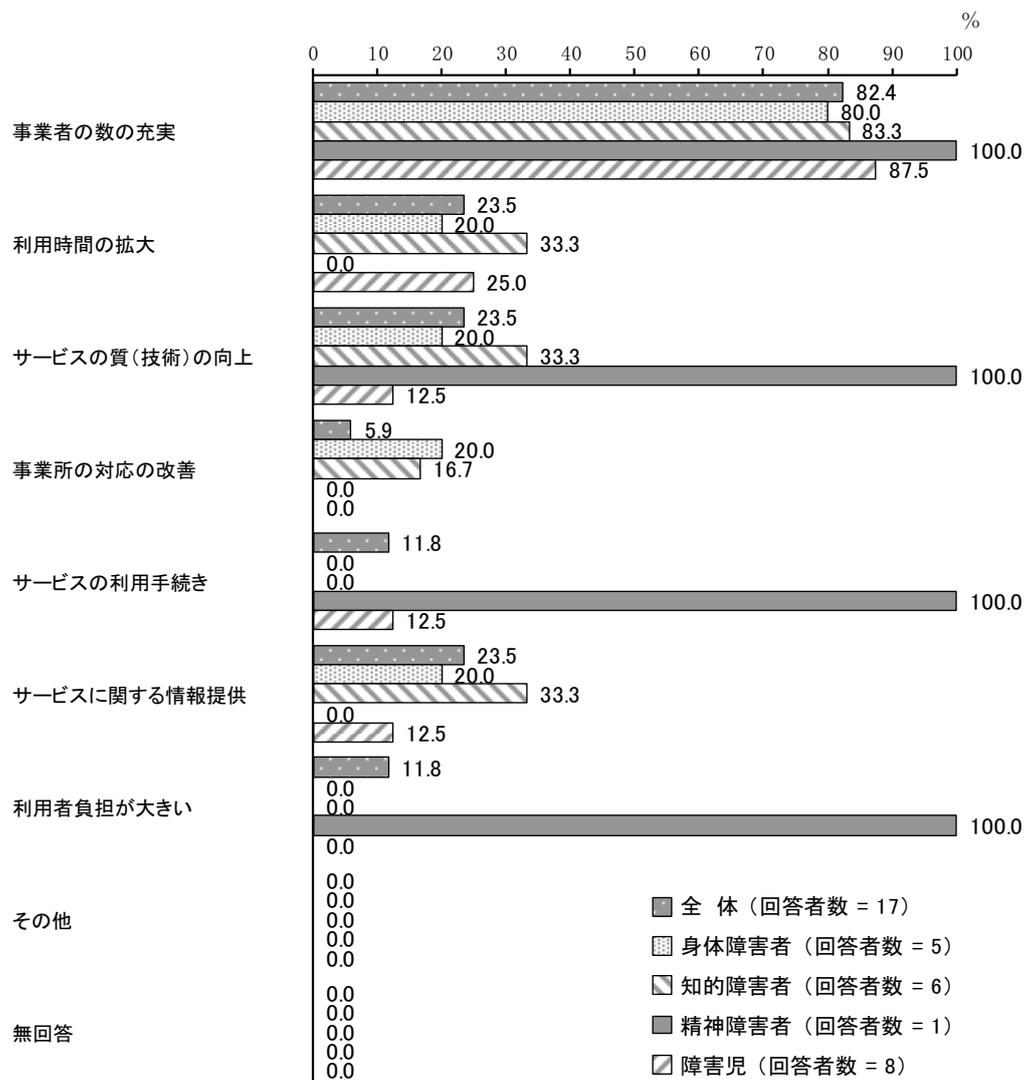
- ・「事業者の数の充実」、「サービスに関する情報提供」が4件
- ・「サービスの質（技術）の向上」が3件

## 11 療養介護

・「事業所の対応の改善」が1件となっています。

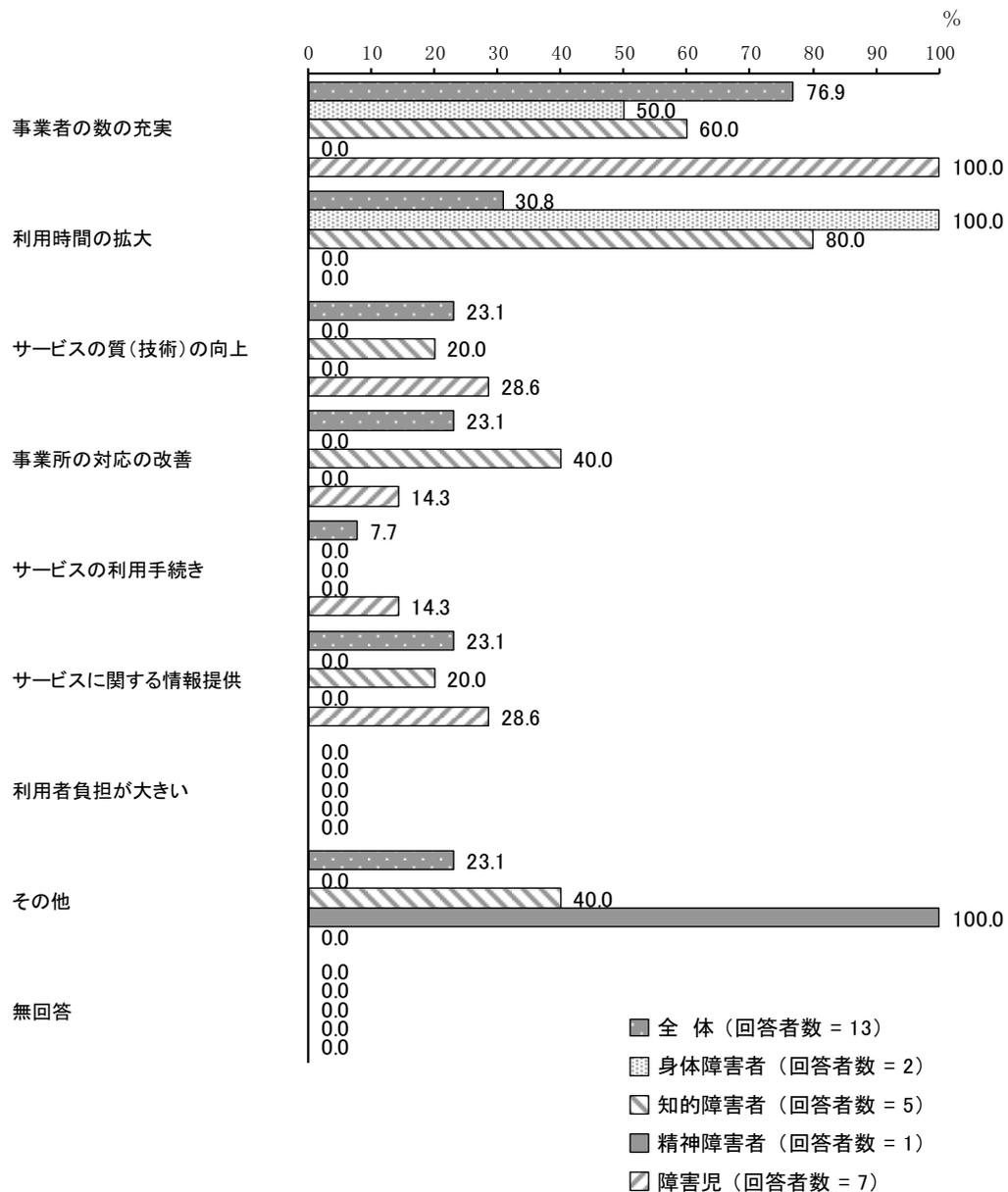
## 12 短期入所（ショートステイ）

「事業者の数の充実」の割合が82.4%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」、「サービスの質（技術）の向上」、「サービスに関する情報提供」の割合が23.5%となっています。



### 13 共同生活援助（グループホーム）

「事業者の数の充実」の割合が76.9%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」の割合が30.8%、「サービスの質（技術）の向上」、「事業所の対応の改善」、「サービスに関する情報提供」の割合が23.1%となっています。



### 14 自立生活援助

・「利用時間の拡大」が1件となっています。

**15 施設入所支援**

- ・「サービスの質（技術）の向上」が4件
- ・「事業者の数の充実」が3件

**16 計画相談支援**

- ・「サービスに関する情報提供」が5件
- ・「事業者の数の充実」が4件
- ・「サービスの質（技術）の向上」、「サービスの利用手続き」が3件

**17 地域移行支援**

- ・「サービスに関する情報提供」が1件

**18 地域定着支援**

- ・「事業者の数の充実」、「サービスの質（技術）の向上」、「サービスの利用手続き」、「サービスに関する情報提供」が1件

**19 手話通訳者派遣**

有効回答がありませんでした。

**20 要約筆記者派遣**

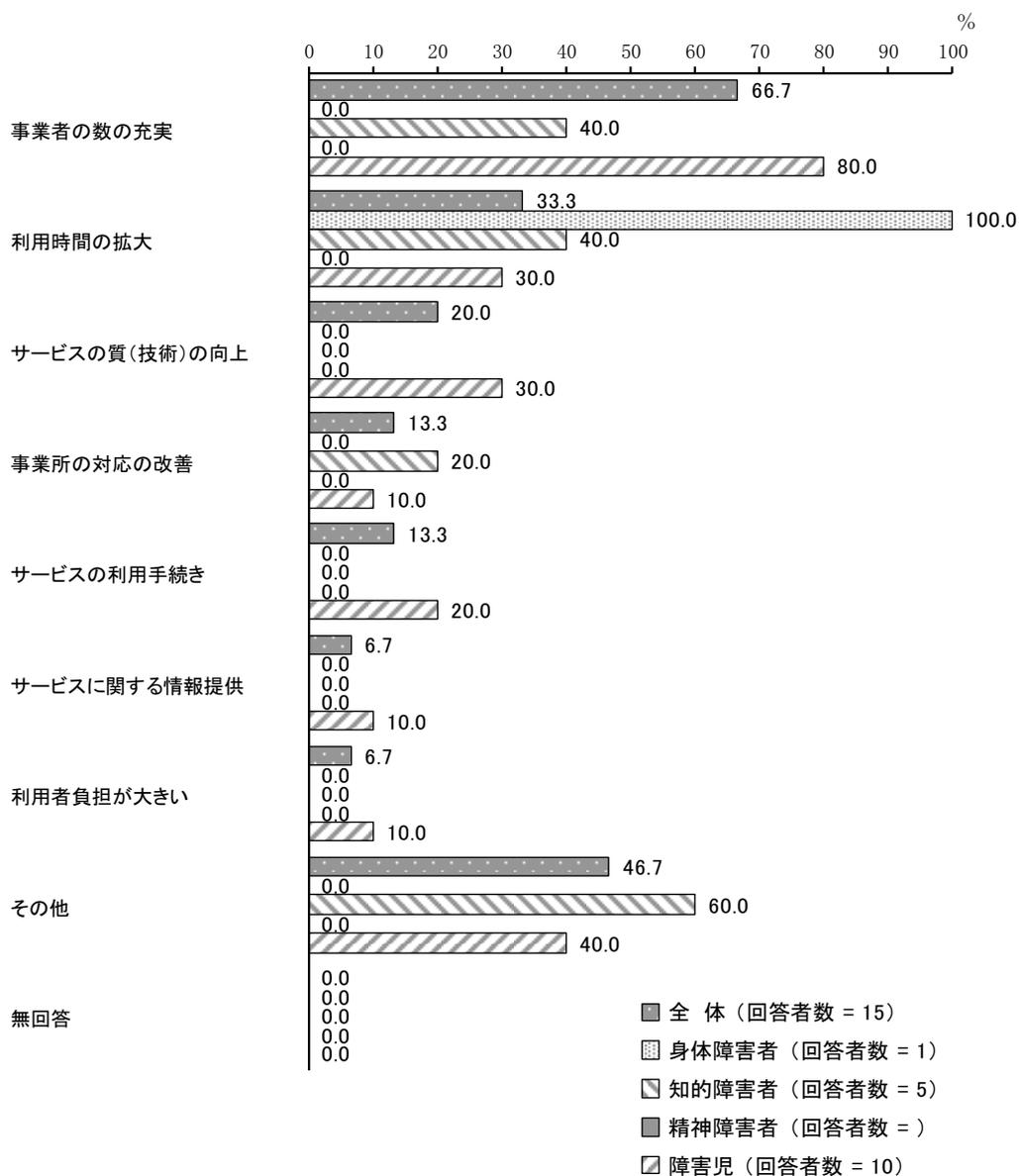
有効回答がありませんでした。

**21 日常生活用具給付**

- ・「利用者負担が大きい」が4件
- ・「サービスの利用手続き」が1件

## 22 移動支援

「事業者の数の充実」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」の割合が 33.3%、「サービスの質（技術）の向上」の割合が 20.0%となっています。



## 23 地域活動支援センター

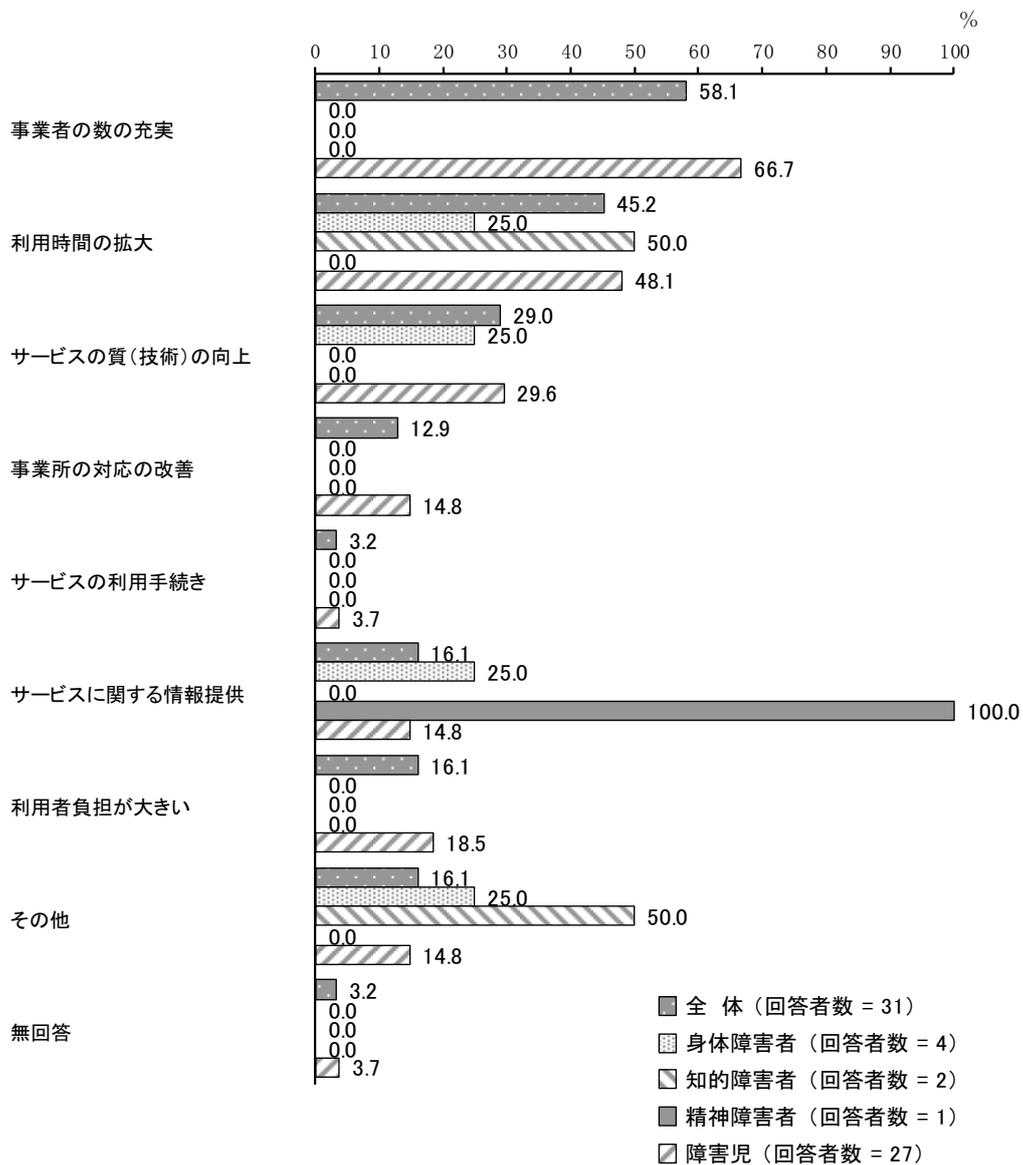
- ・「サービスの質（技術）の向上」が 2 件
- ・「利用時間の拡大」、「事業所の対応の改善」、「サービスに関する情報提供」が 1 件

## 24 移動入浴

・「事業者の数の充実」が1件となっています。

## 25 日中一時支援

「事業者の数の充実」の割合が58.1%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」の割合が45.2%、「サービスの質（技術）の向上」の割合が29.0%となっています。

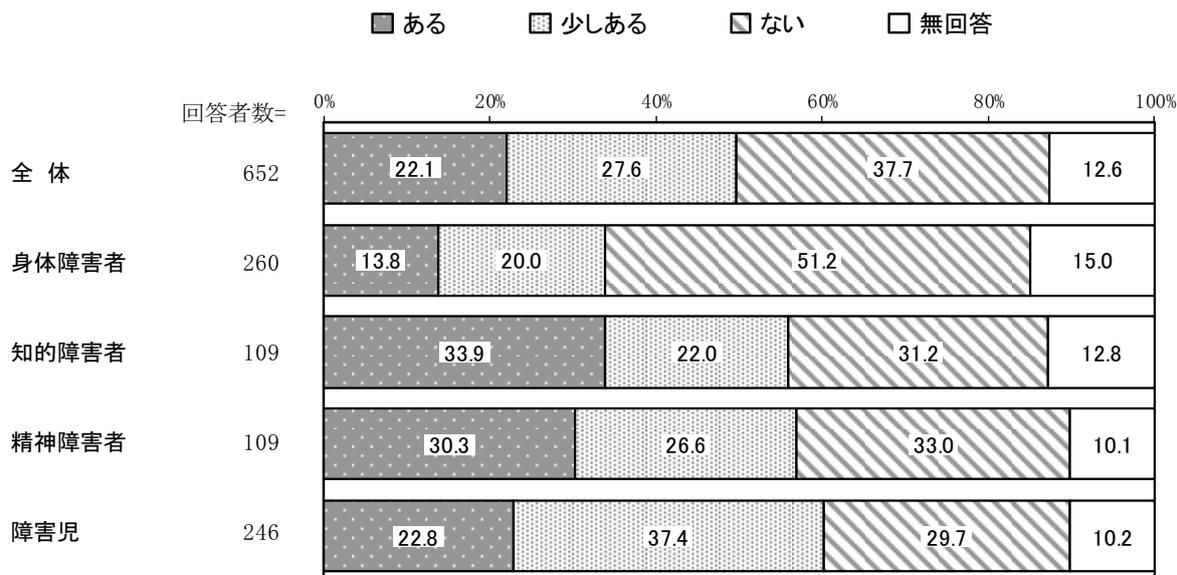


## 7 権利擁護について

問 40 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。  
（○は1つだけ）

「ない」の割合が37.7%と最も高く、次いで「少しある」の割合が27.6%、「ある」の割合が22.1%となっています。

障害別でみると、他に比べ、身体障害のある人で「ない」の割合が、障害のある子どもで「少しある」の割合が高くなっています。

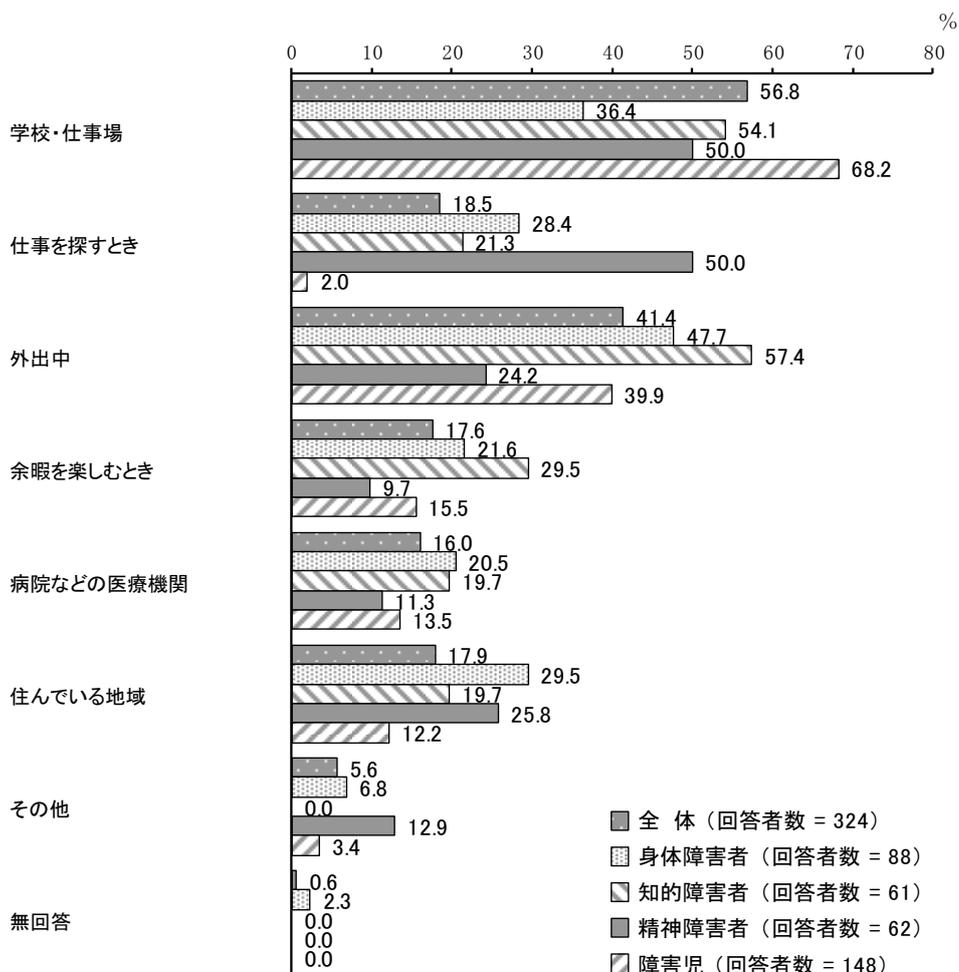


問40で「1 ある」「2 少しある」と回答した方におたずねします。

問41 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(〇はいくつでも)

「学校・仕事場」の割合が56.8%と最も高く、次いで「外出中」の割合が41.4%、「仕事を探すとき」の割合が18.5%となっています。

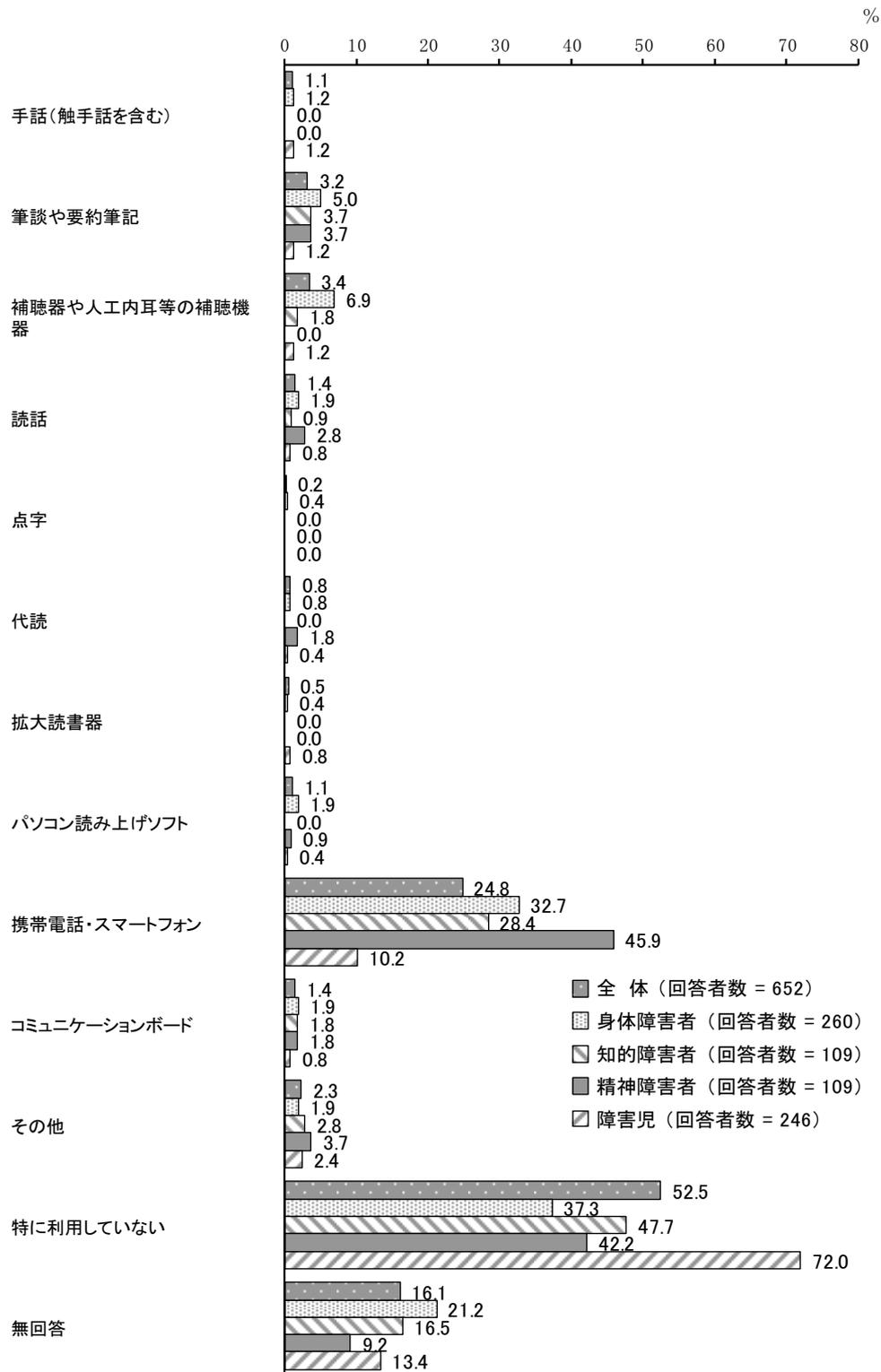
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「外出中」の割合が、精神障害のある人で「仕事を探すとき」の割合が高くなっています。また、障害のある子どもで「学校・仕事場」の割合が高くなっています。



問 42 あなたが普段のコミュニケーションに利用しているものは何ですか。(〇はいくつでも)

「特に利用していない」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「携帯電話・スマートフォン」の割合が 24.8%となっています。

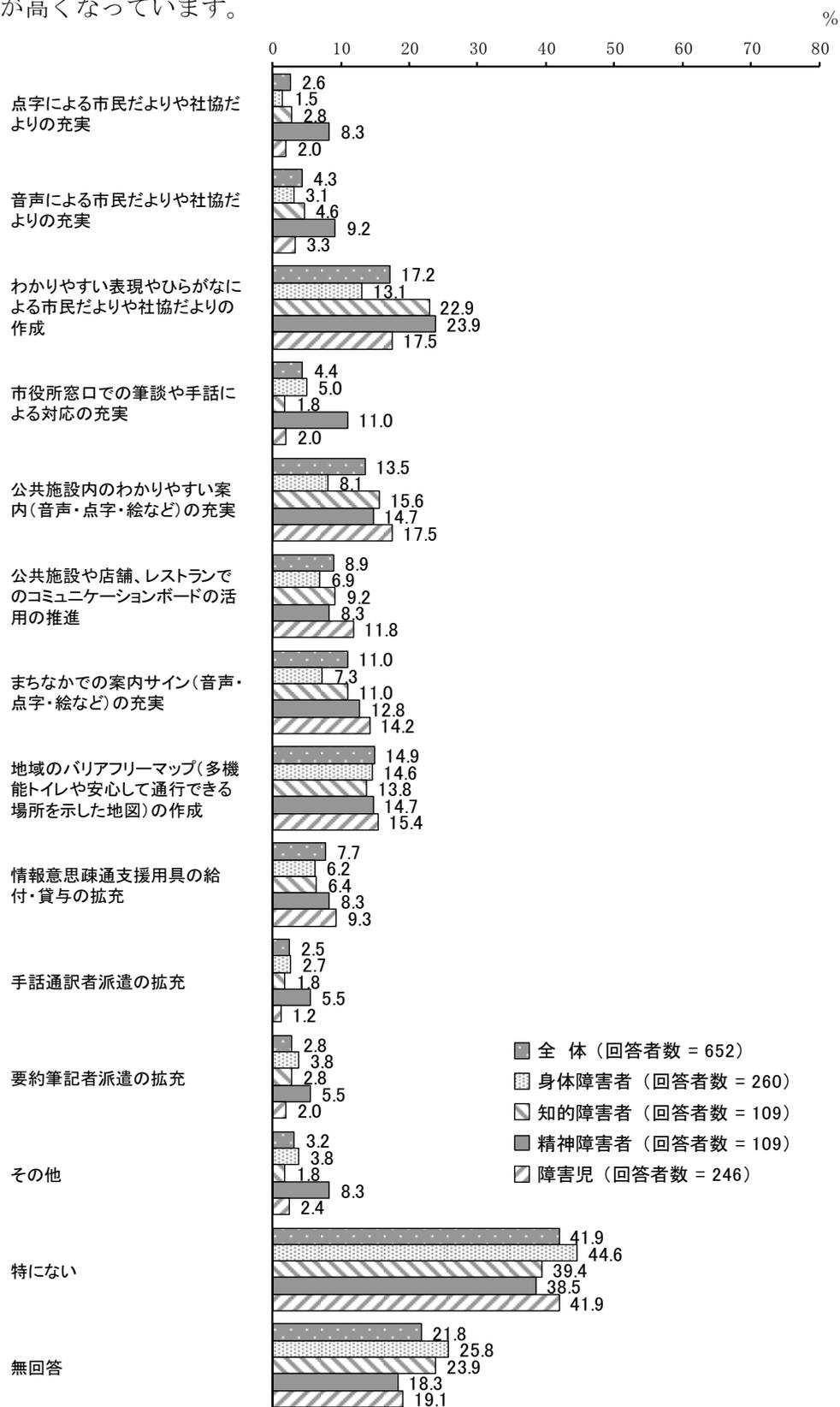
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「携帯電話・スマートフォン」の割合が高くなっています。



問 43 あなたは情報バリアフリー化について、何を求めますか。(〇はいくつでも)

「特にない」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「わかりやすい表現やひらがなによる市民だよりや社協だよりの作成」の割合が 17.2%、「地域のバリアフリーマップ（多機能トイレや安心して通行できる場所を示した地図）の作成」の割合が 14.9%となっています。

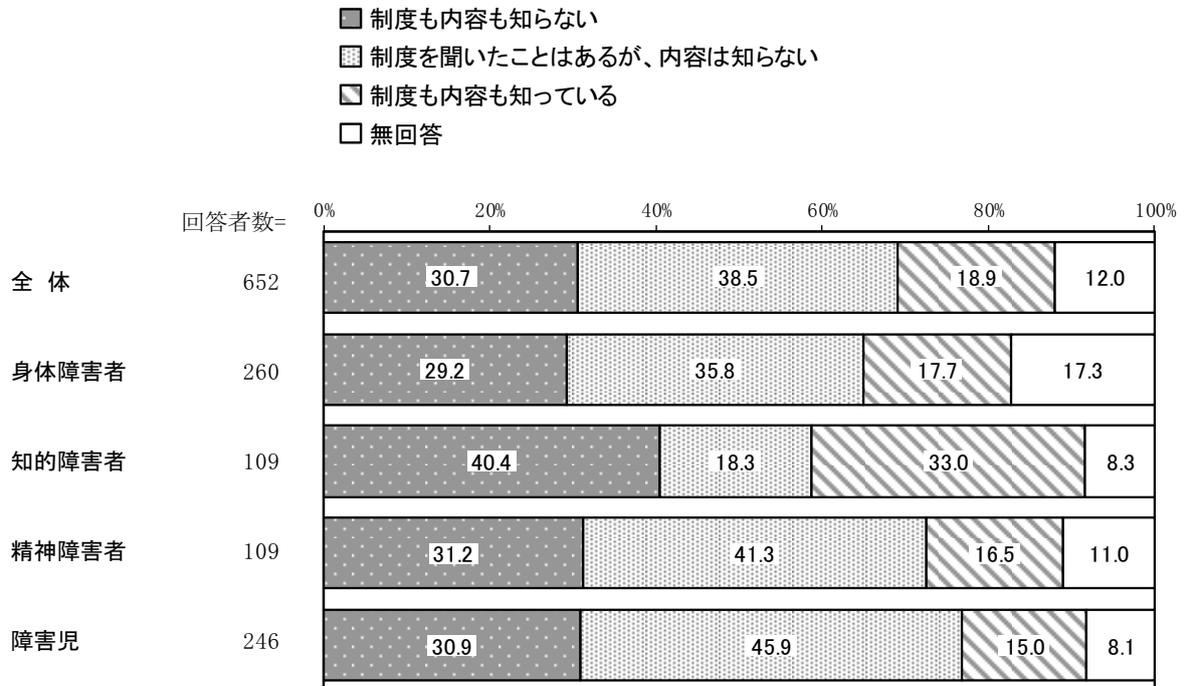
障害別で見ると、他に比べ、精神障害のある人で「市役所窓口での筆談や手話による対応の充実」「音声による市民だよりや社協だよりの充実」「点字による市民だよりや社協だよりの充実」の割合が高くなっています。



**問 44 成年後見制度とは、十分な判断ができない方の権利を守る制度です。成年後見制度について知っていますか。(○は1つだけ)**

「制度を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「制度も内容も知らない」の割合が 30.7%、「制度も内容も知っている」の割合が 18.9%となっています。

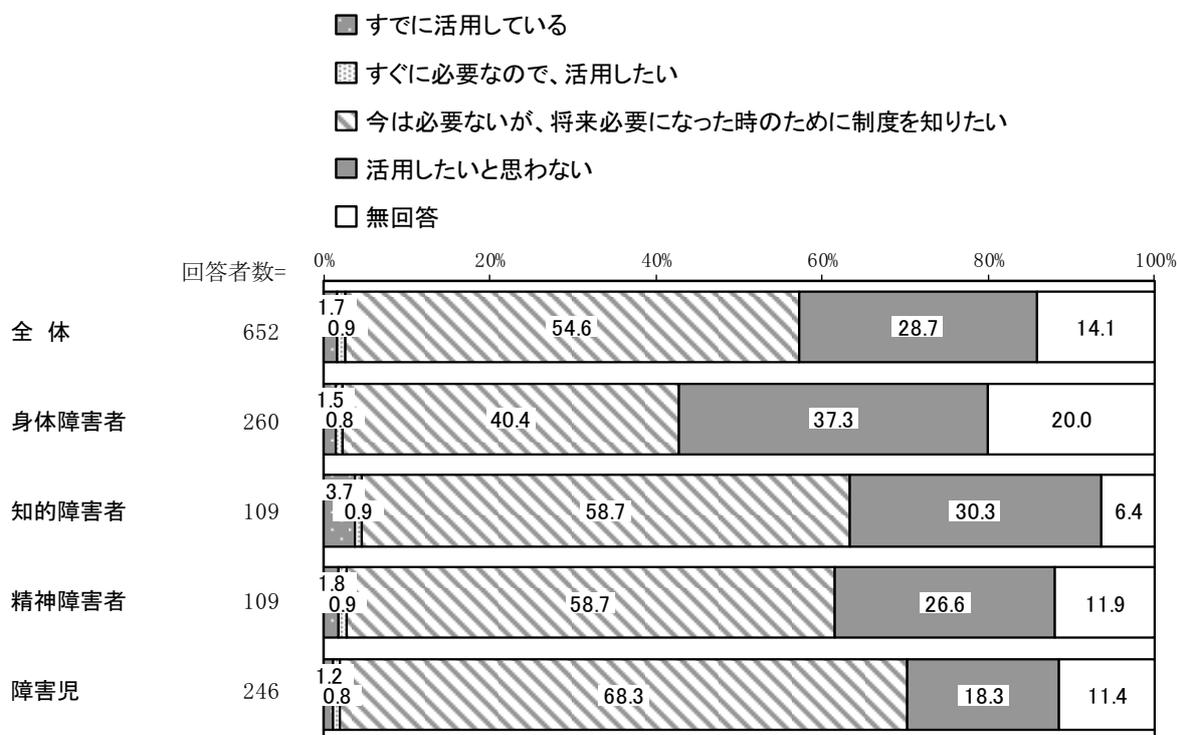
障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「制度も内容も知らない」「制度も内容も知っている」の割合が高くなっています。



問 45 成年後見制度を活用したいと思いますか。(○は1つだけ)

「今は必要ないが、将来必要になった時のために制度を知りたい」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「活用したいと思わない」の割合が 28.7%となっています。

障害別でみると、他に比べ、障害のある子どもで「今は必要ないが、将来必要になった時のために制度を知りたい」の割合が高くなっています。

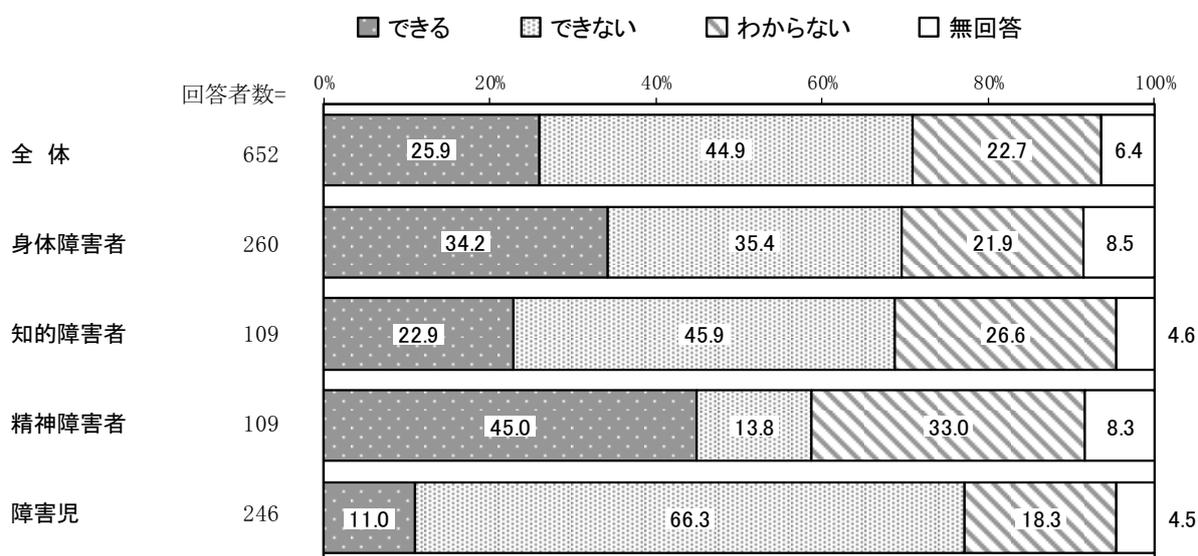


## 8 災害時のことについて

### 問 46 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

「できない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「できる」の割合が25.9%、「わからない」の割合が22.7%となっています。

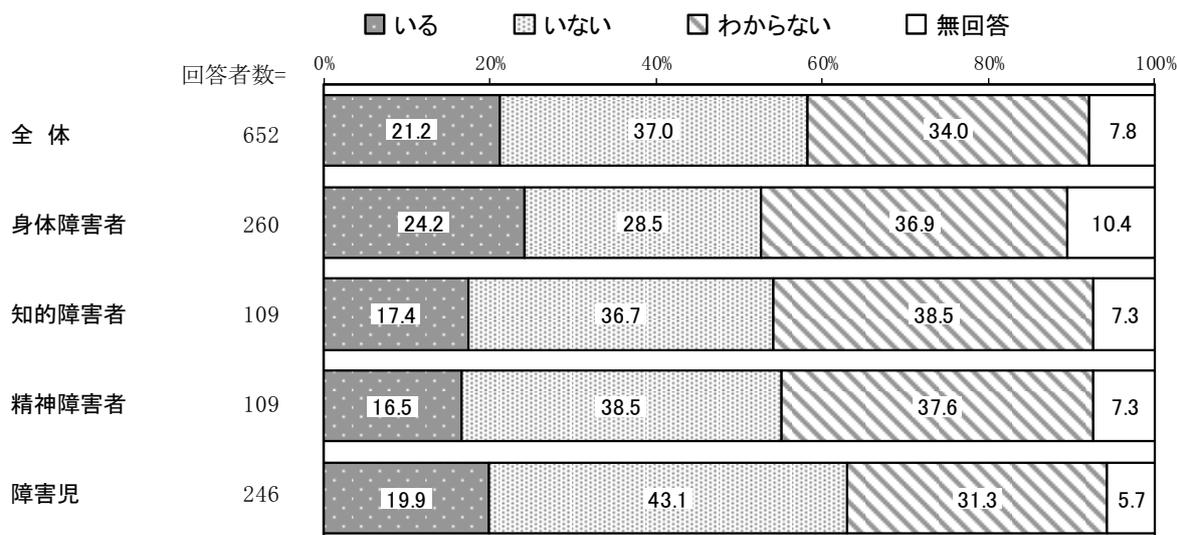
障害別でみると、他に比べ、精神障害のある人で「できる」の割合が高くなっています。



### 問 47 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

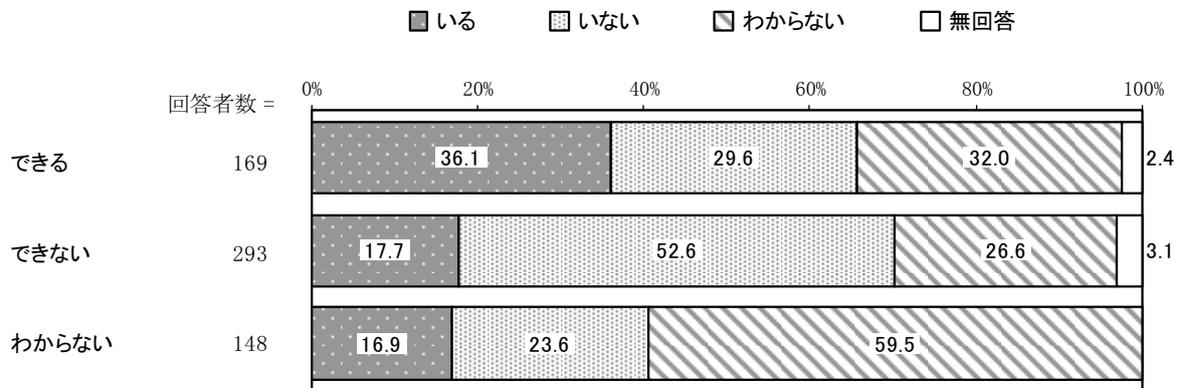
「いない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が34.0%、「いる」の割合が21.2%となっています。

障害別でみると、他に比べ、障害のある子どもで「いない」の割合が高くなっています。



**【災害時に一人で避難できるか別】**

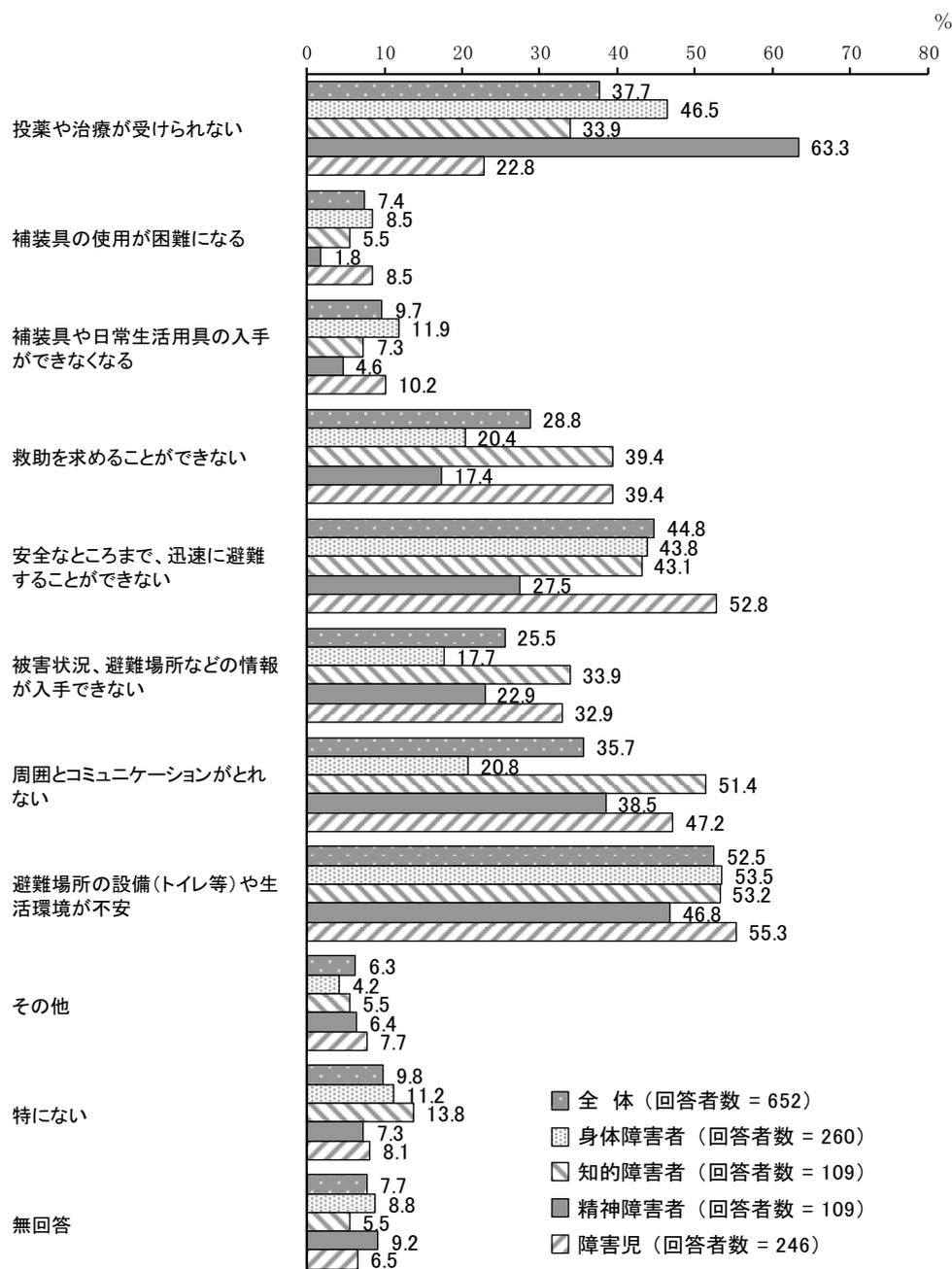
近所にあなたを助けてくれる人がいるかどうかを災害時に一人で避難できるか別でみると、できない人で「いない」の割合が52.6%となっています。



## 問 48 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が 44.8%、「投薬や治療が受けられない」の割合が 37.7%となっています。

障害別でみると、他に比べ、知的障害のある人で「周囲とコミュニケーションがとれない」の割合が、精神障害のある人で「投薬や治療が受けられない」の割合が高くなっています。また、障害のある子どもで「安全なところまで、迅速に避難することができない」の割合が高くなっています。



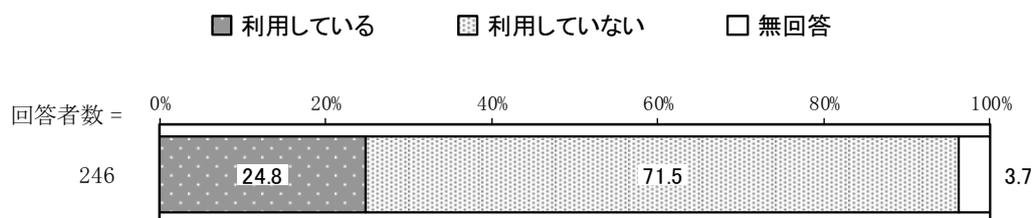
## 9 障害のある子どもの療育・教育・就学について

問 49 次の各サービスにおいて、現在のサービスの利用状況と今後の利用意向をお答えください。(それぞれ○は1つだけ)

### 1 児童発達支援

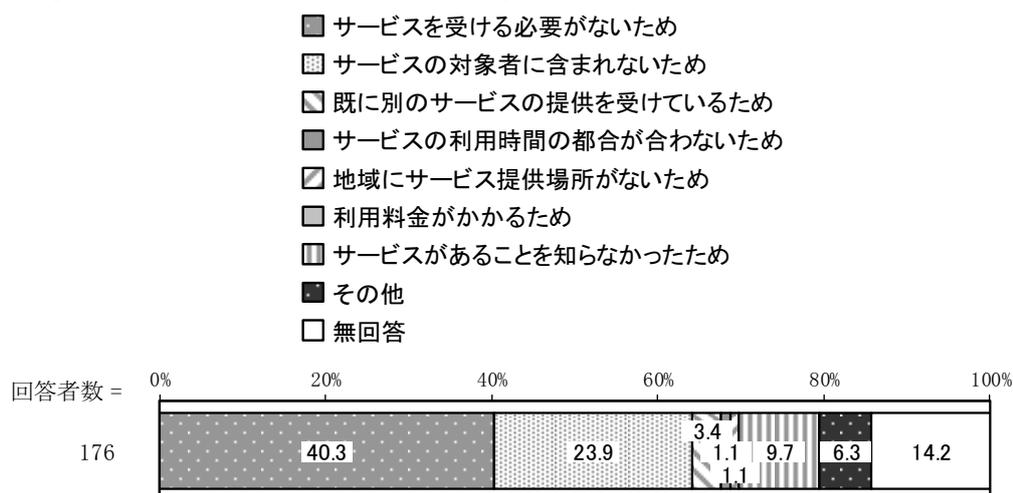
#### 現在の利用

「利用している」の割合が 24.8%、「利用していない」の割合が 71.5%となっています。



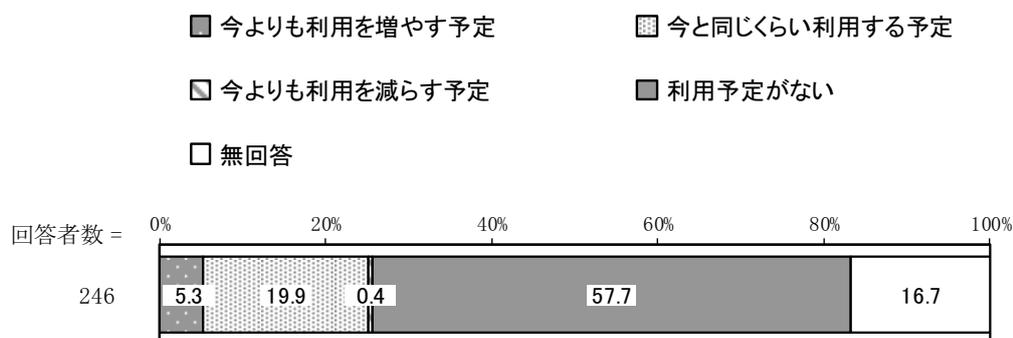
#### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 23.9%となっています。



#### 今後3年以内の利用予定

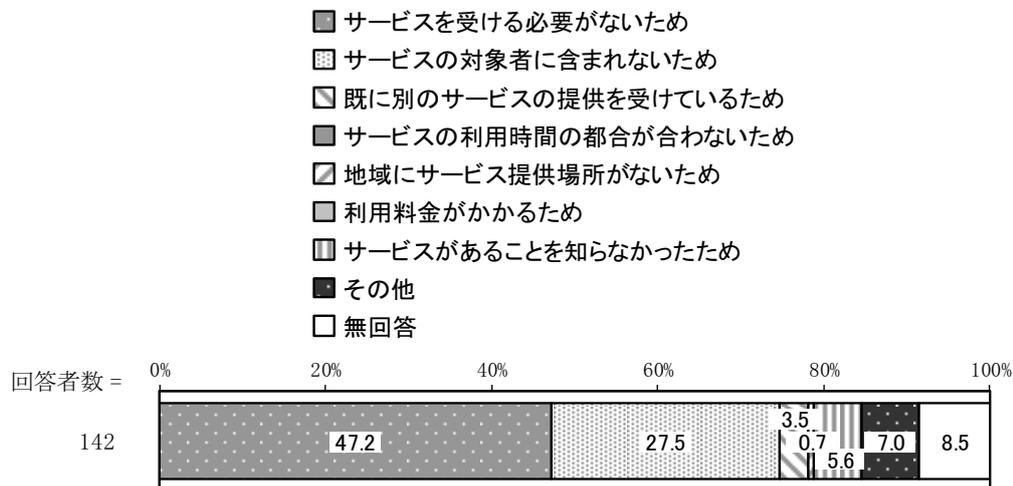
「利用予定がない」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「今と同じくらい利用する予定」の割合が 19.9%となっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 27.5%となっています。

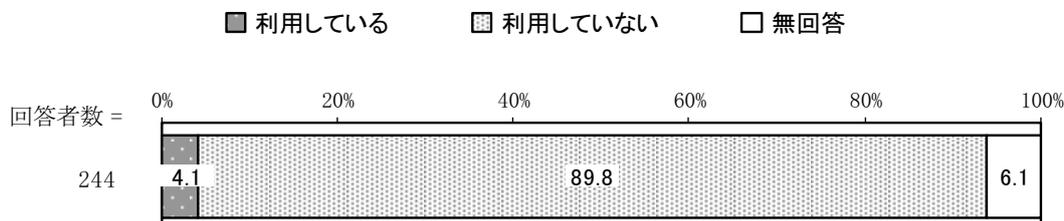
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。



## 2 医療型児童発達支援

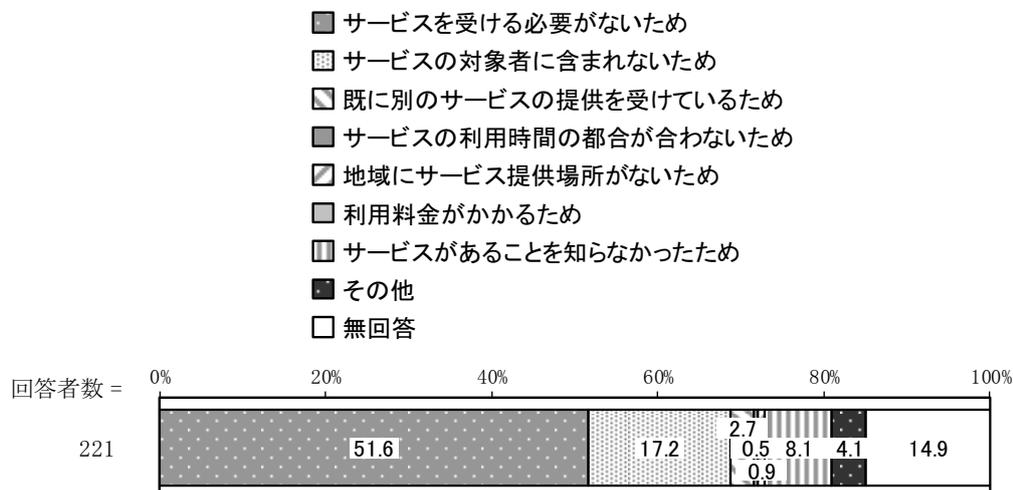
### 現在の利用

「利用している」の割合が 4.1%、「利用していない」の割合が 89.8%となっています。



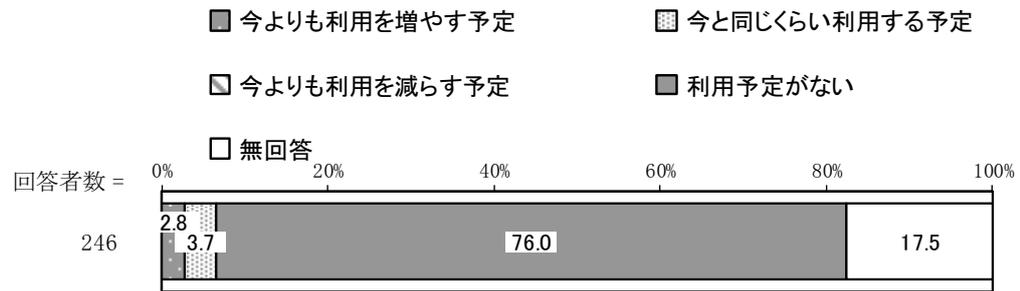
### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 17.2%となっています。



### 今後3年以内の利用予定

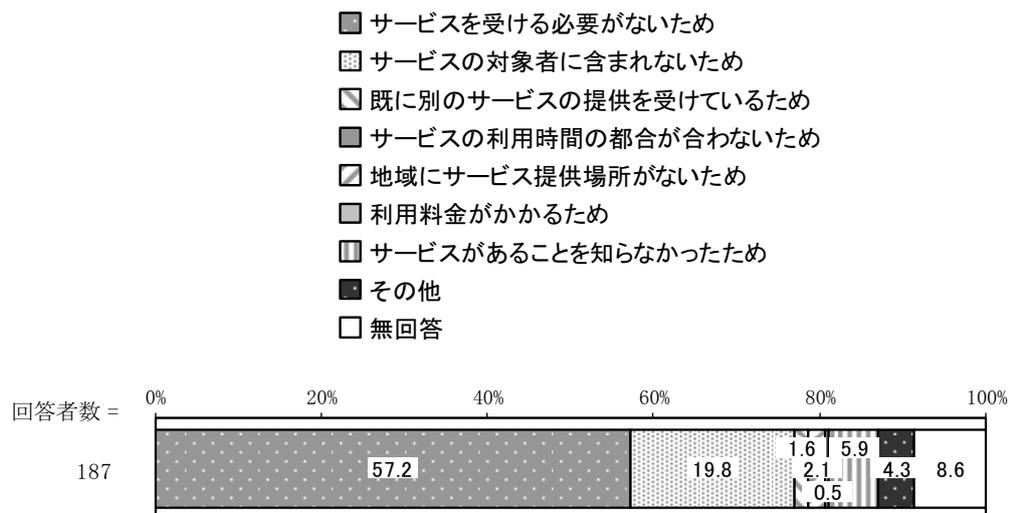
「利用予定がない」の割合が76.0%と最も高くなっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が57.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が19.8%となっています。

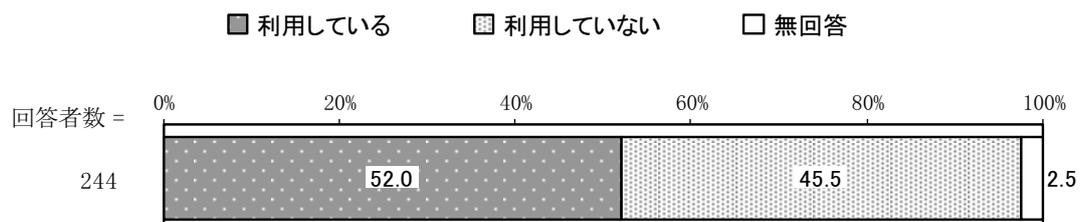
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 3 放課後等デイサービス

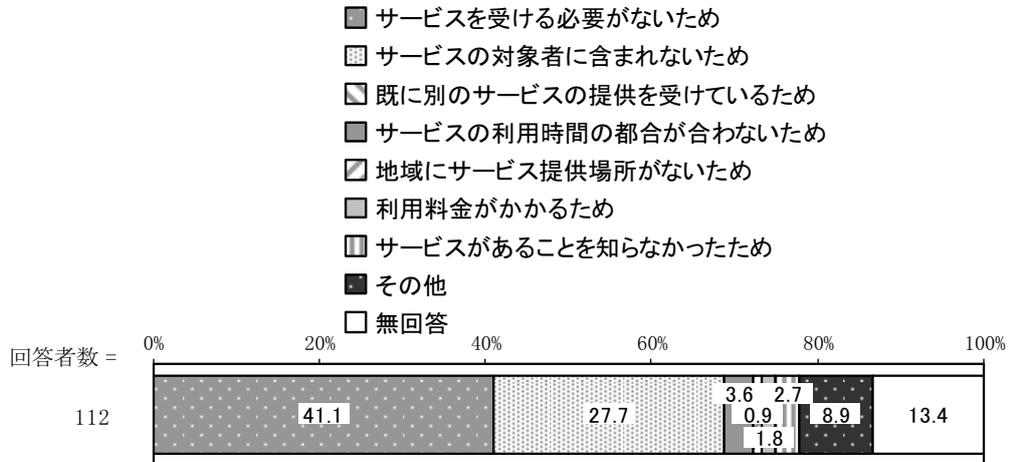
### 現在の利用

「利用している」の割合が52.0%、「利用していない」の割合が45.5%となっています。



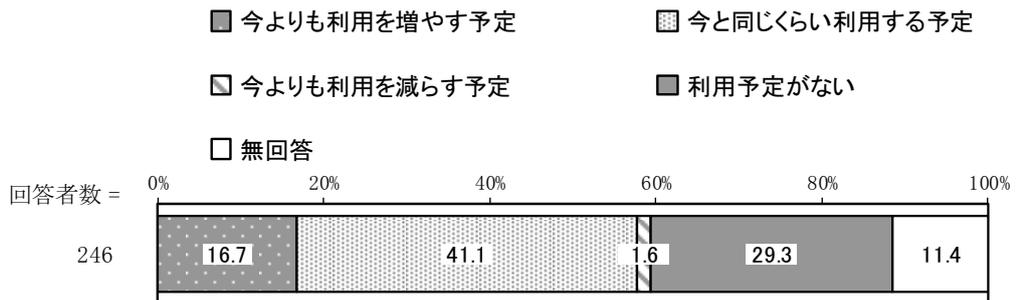
### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 27.7%となっています。



### 今後 3 年以内の利用予定

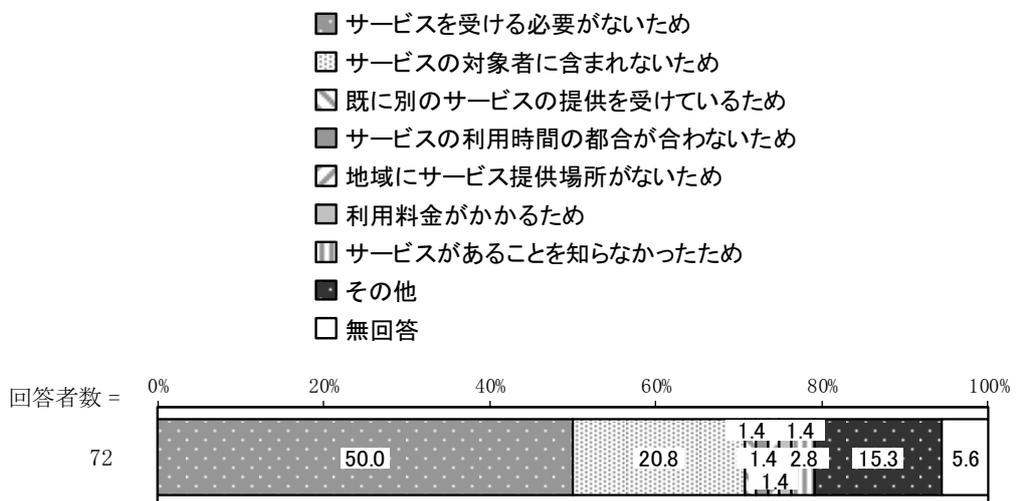
「今と同じくらい利用する予定」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「利用予定がない」の割合が 29.3%、「今よりも利用を増やす予定」の割合が 16.7%となっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 20.8%となっています。

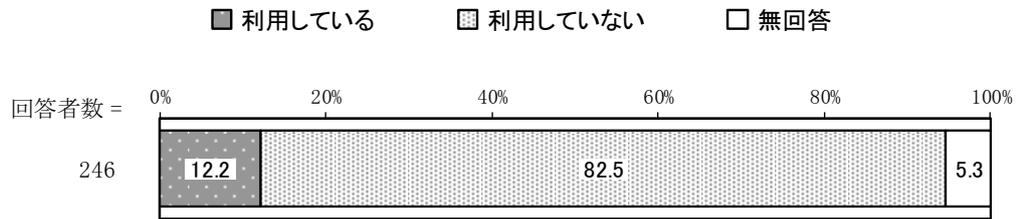
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が低くなっています。



#### 4 保育所等訪問支援

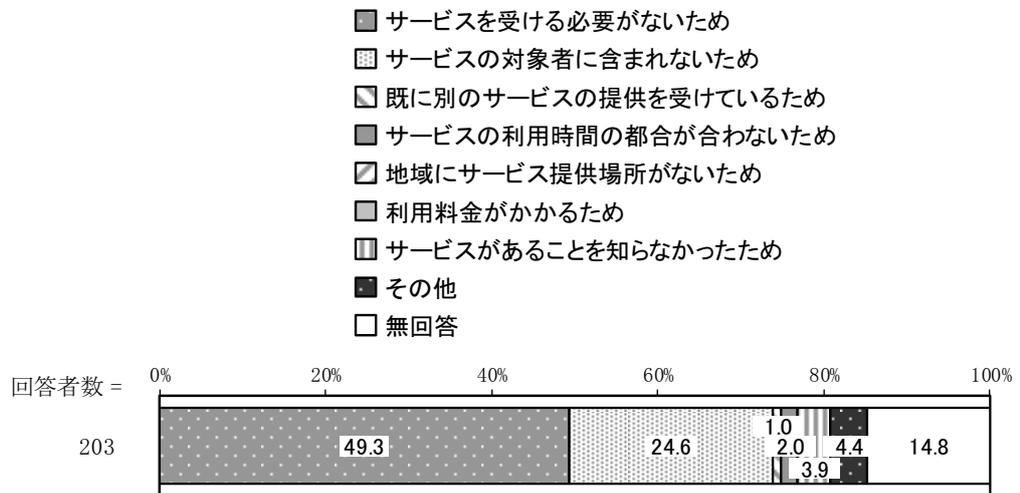
##### 現在の利用

「利用している」の割合が12.2%、「利用していない」の割合が82.5%となっています。



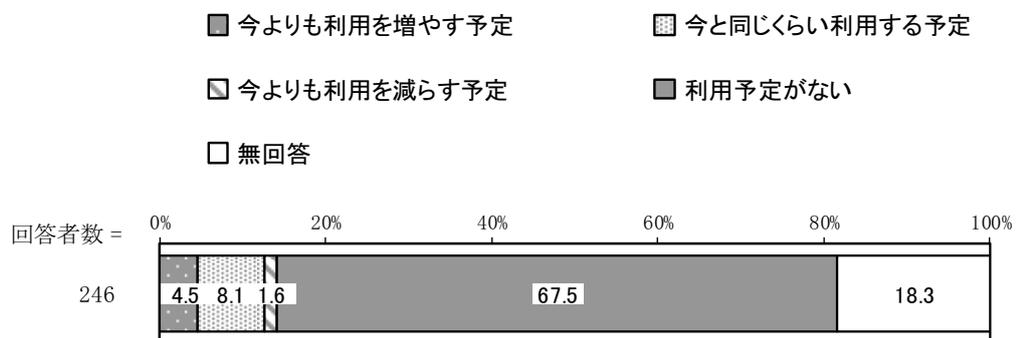
##### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が49.3%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が24.6%となっています。



##### 今後3年以内の利用予定

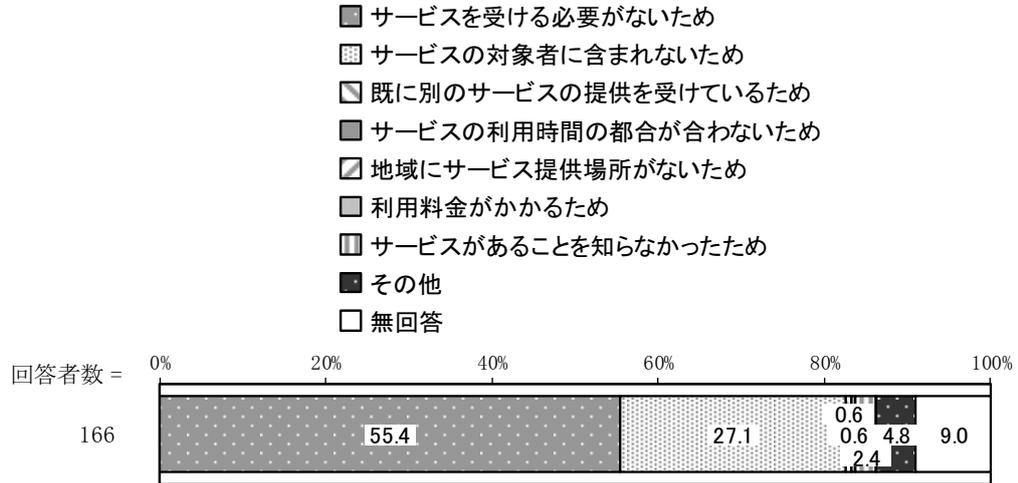
「利用予定がない」の割合が67.5%と最も高くなっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 27.1%となっています。

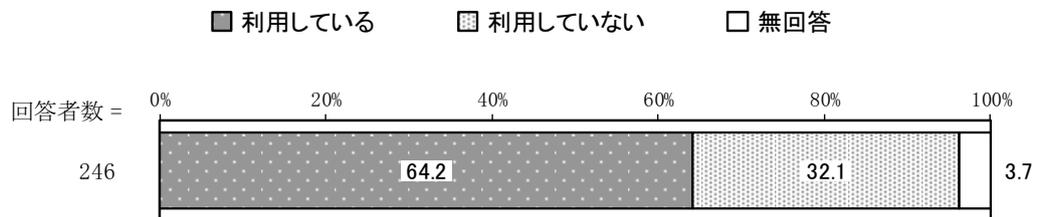
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 5 障害児相談支援

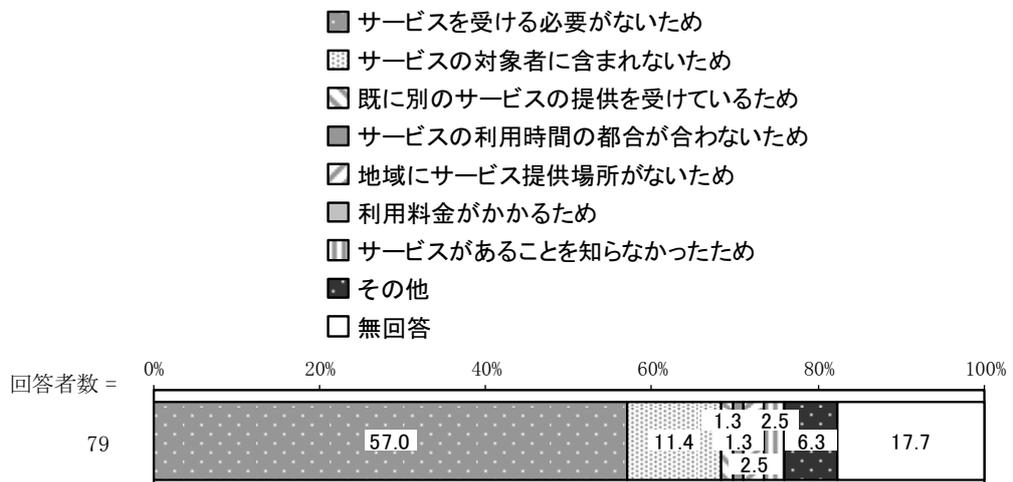
### 現在の利用

「利用している」の割合が 64.2%、「利用していない」の割合が 32.1%となっています。



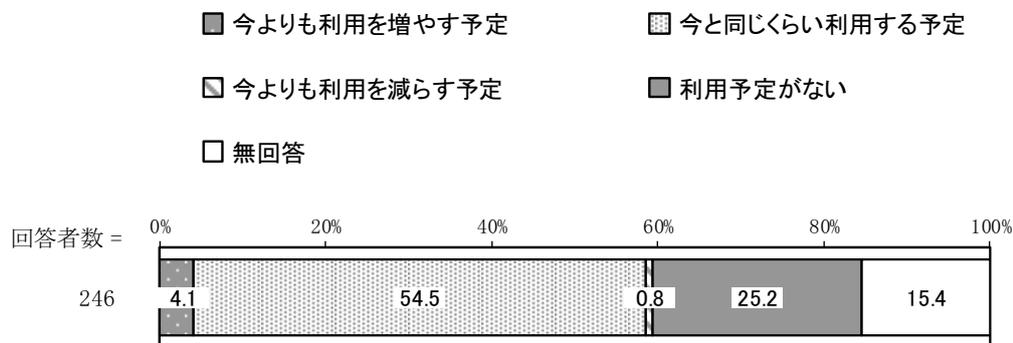
### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 57.0%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 11.4%となっています。



### 今後3年以内の利用予定

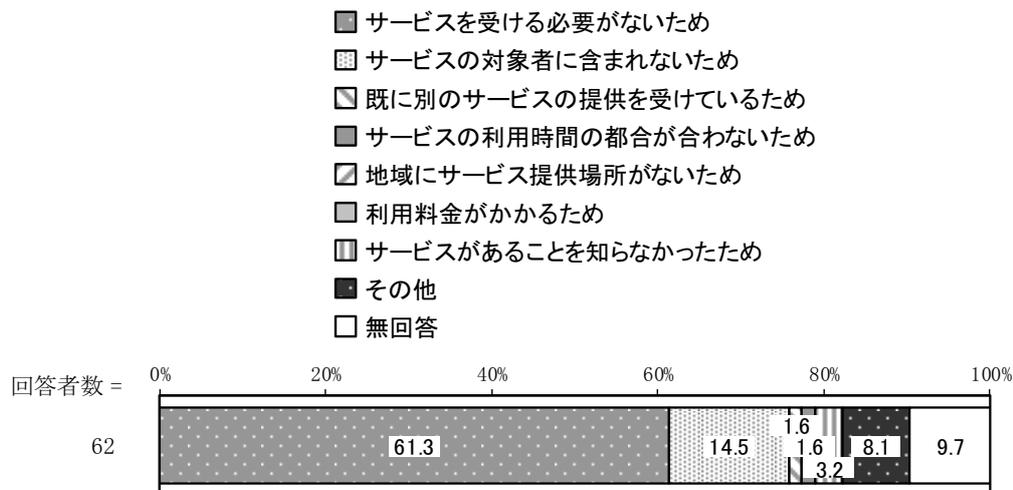
「今と同じくらい利用する予定」の割合が54.5%と最も高く、次いで「利用予定がない」の割合が25.2%となっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が61.3%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が14.5%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



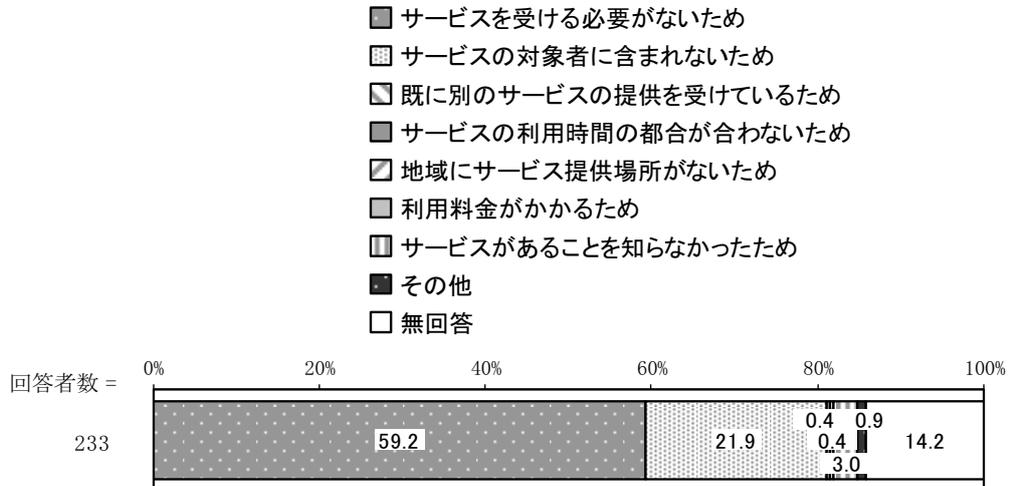
## 6 居宅訪問型児童発達支援

### 現在の利用

有効回答がありませんでした。

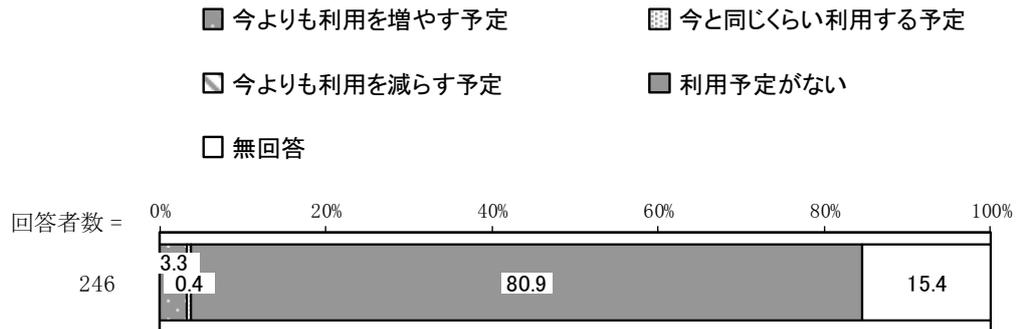
### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 21.9%となっています。



### 今後 3 年以内の利用予定

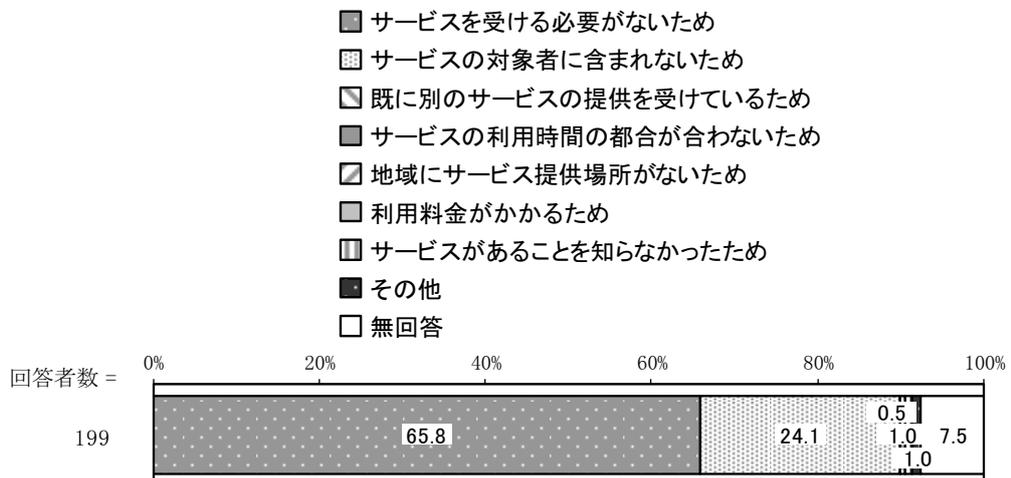
「利用予定がない」の割合が 80.9%と最も高くなっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 24.1%となっています。

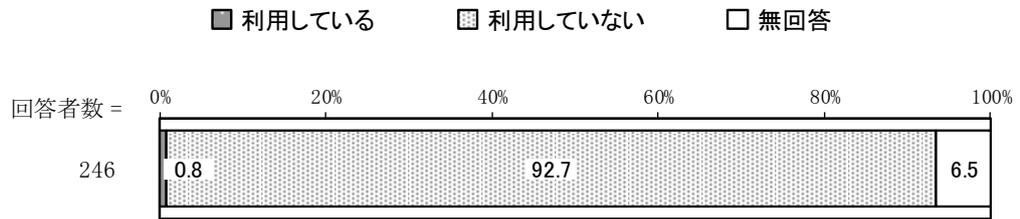
利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスの対象者に含まれないため」の割合が高くなっています。



## 7 福祉型児童入所施設

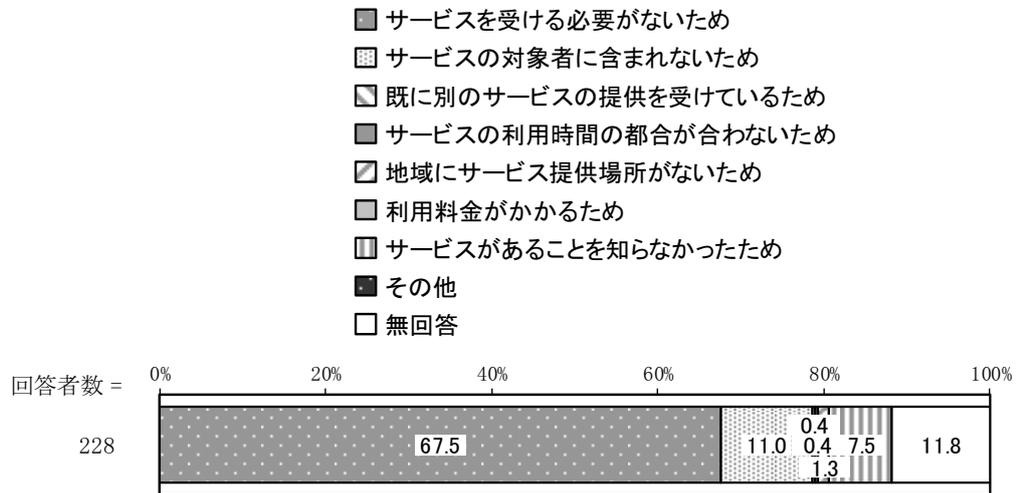
### 現在の利用

「利用している」の割合が 0.8%、「利用していない」の割合が 92.7%となっています。



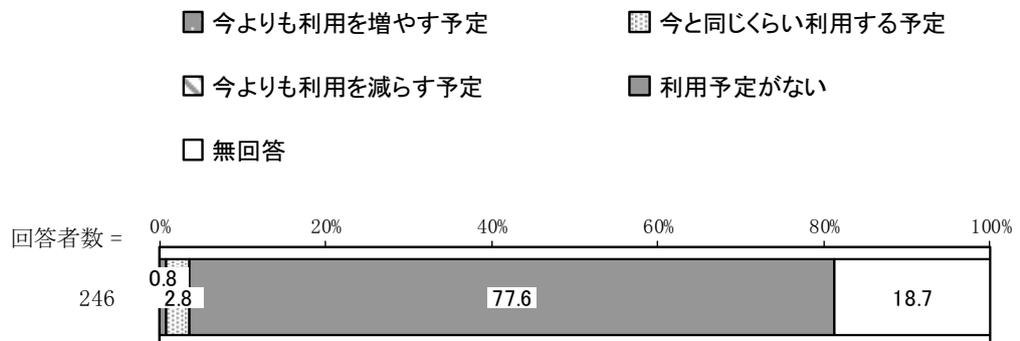
### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が 67.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が 11.0%となっています。



### 今後3年以内の利用予定

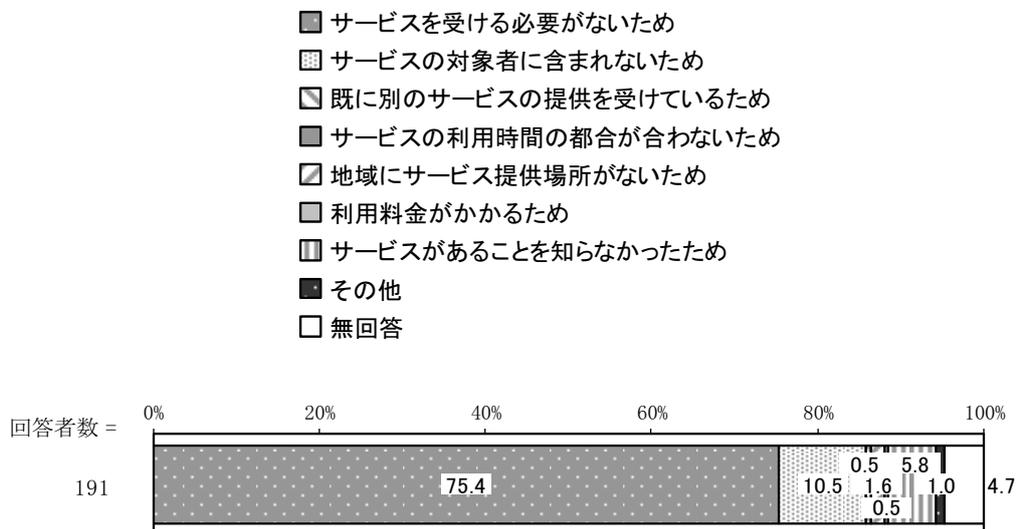
「利用予定がない」の割合が 77.6%と最も高くなっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が75.4%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が10.5%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「サービスがあることを知らなかったため」の割合が低くなっています。



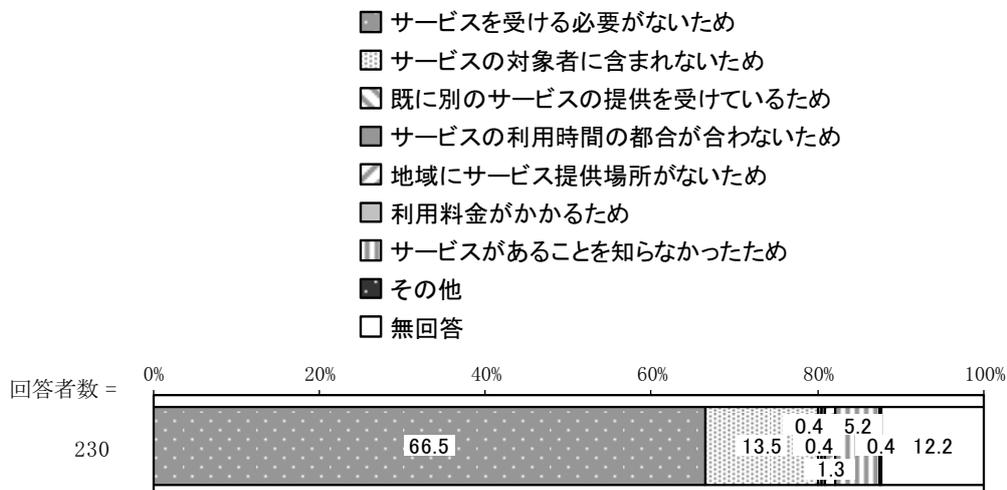
### 8 医療型児童入所施設

#### 現在の利用

有効回答がありませんでした。

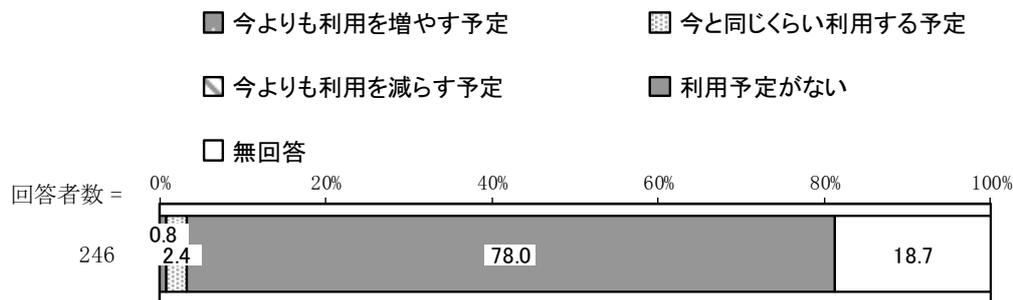
#### 利用していない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が66.5%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が13.5%となっています。



### 今後3年以内の利用予定

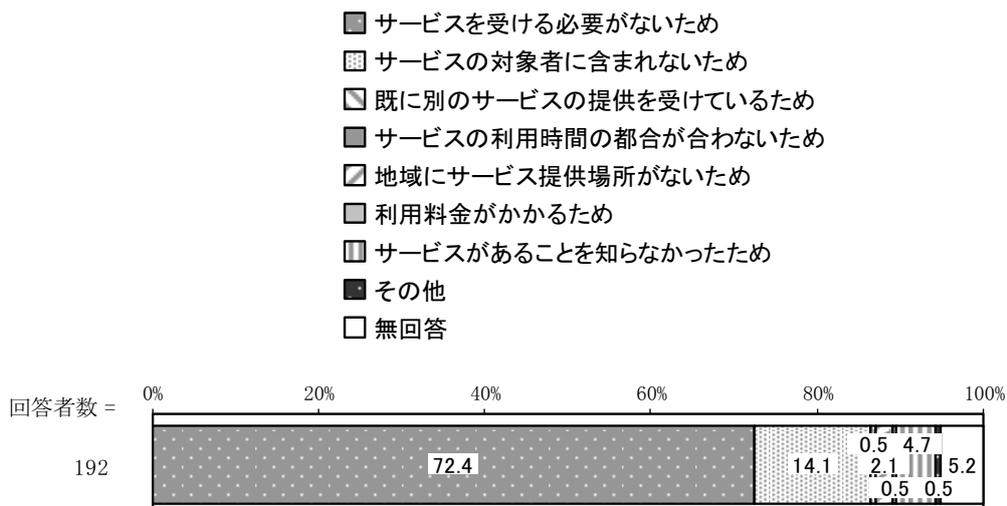
「利用予定がない」の割合が78.0%と最も高くなっています。



### 利用予定がない場合の理由

「サービスを受ける必要がないため」の割合が72.4%と最も高く、次いで「サービスの対象者に含まれないため」の割合が14.1%となっています。

利用予定がない場合の理由をみると、利用していない場合の理由に比べ、「地域にサービス提供場所がないため」の割合が高くなっています。



### 【利用状況別】

利用状況別でみると、他に比べ、『2 医療型児童発達支援』『3 放課後等デイサービス』を利用している人で「今よりも利用を増やす予定」の割合が高くなっています。また、『3 放課後等デイサービス』を利用していない人で「今よりも利用を増やす予定」（新規の利用を考えている人）の割合が高くなっています。

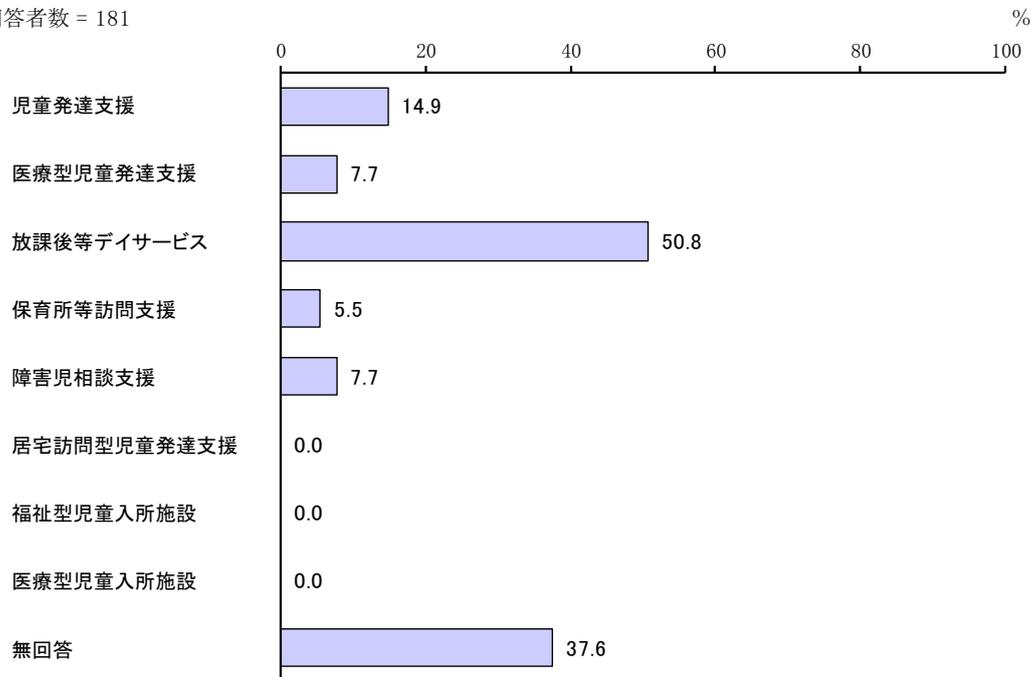
単位：％

区分		有効回答数 (件)	今よりも 利用を 増 やす 予 定	今 と 同 じ く ら い 利 用 す る 予 定	今 よ り も 利 用 を 減 ら す 予 定	利 用 予 定 が な い	無 回 答
1 児童発達支援	利用している	61	4.9	78.7	1.6	6.6	8.2
	利用していない	176	5.1	0.6	—	78.4	15.9
2 医療型児童発達支援	利用している	10	10.0	90.0	—	—	—
	利用していない	221	2.3	—	—	83.7	14.0
3 放課後等デイサービス	利用している	128	10.2	77.3	3.1	2.3	7.0
	利用していない	112	24.1	1.8	—	61.6	12.5
4 保育所等訪問支援	利用している	30	6.7	66.7	10.0	—	16.7
	利用していない	203	3.9	—	0.5	81.3	14.3
5 障害児相談支援	利用している	158	2.5	84.8	1.3	1.3	10.1
	利用していない	79	6.3	—	—	75.9	17.7
6 居宅訪問型児童発達支援	利用している	—	—	—	—	—	—
	利用していない	233	3.0	0.4	—	84.5	12.0
7 福祉型児童入所施設	利用している	2	—	50.0	—	—	50.0
	利用していない	228	0.4	2.6	—	82.9	14.0
8 医療型児童入所施設	利用している	—	—	—	—	—	—
	利用していない	230	0.4	2.6	—	82.6	14.3

問 50 現在利用しているサービスの中で、  
(1) 特に充実・改善してほしいものはどれですか。(〇は2つまで)

「放課後等デイサービス」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「児童発達支援」の割合が 14.9%となっています。

回答者数 = 181

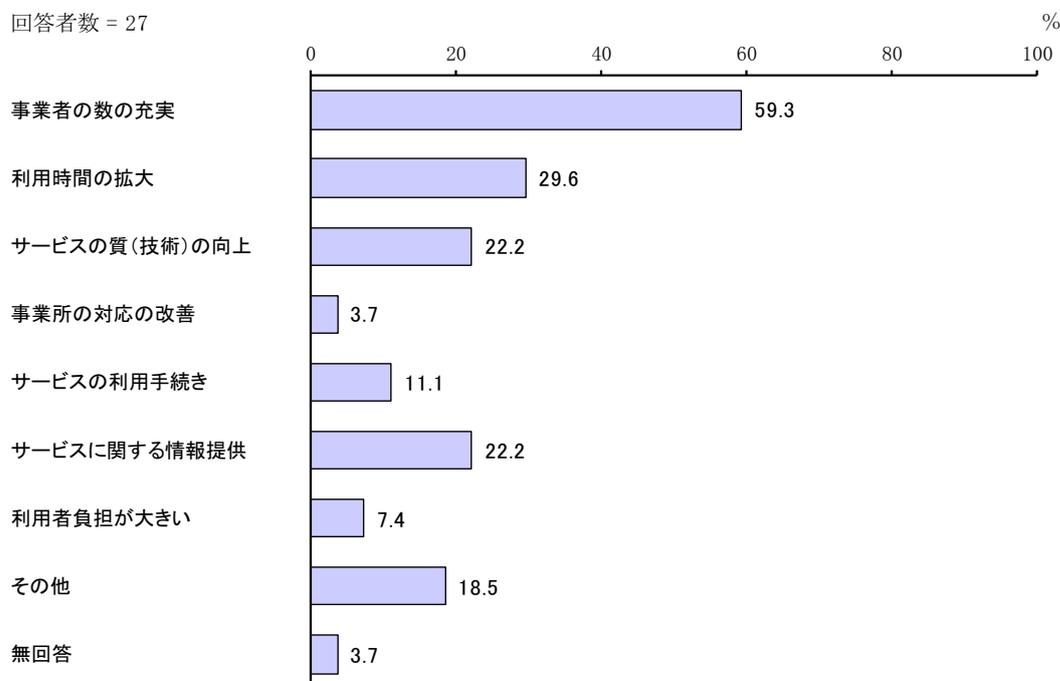


問 50 現在利用しているサービスの中で、  
 (1) で選んだサービスの充実・改善してほしい内容を、以下の1～8からお選び  
 ください。(あてはまる数字をすべて記入)

### 1 児童発達支援

「事業者の数の充実」の割合が59.3%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」の割合が29.6%、「サービスの質(技術)の向上」、「サービスに関する情報提供」の割合が22.2%となっています。

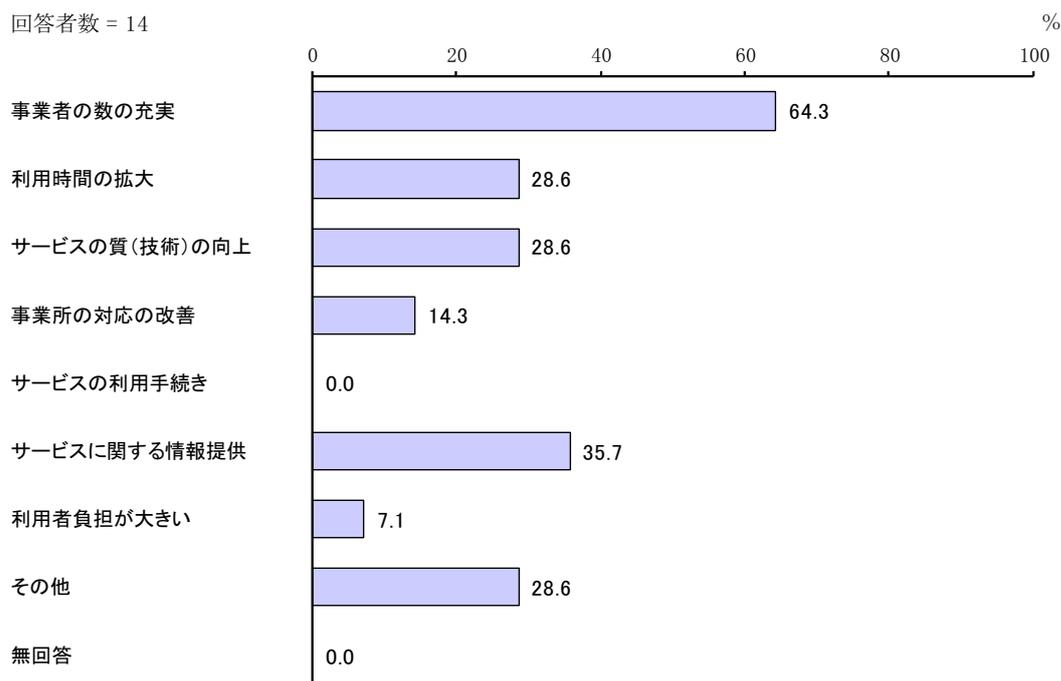
回答者数 = 27



### 2 医療型児童発達支援

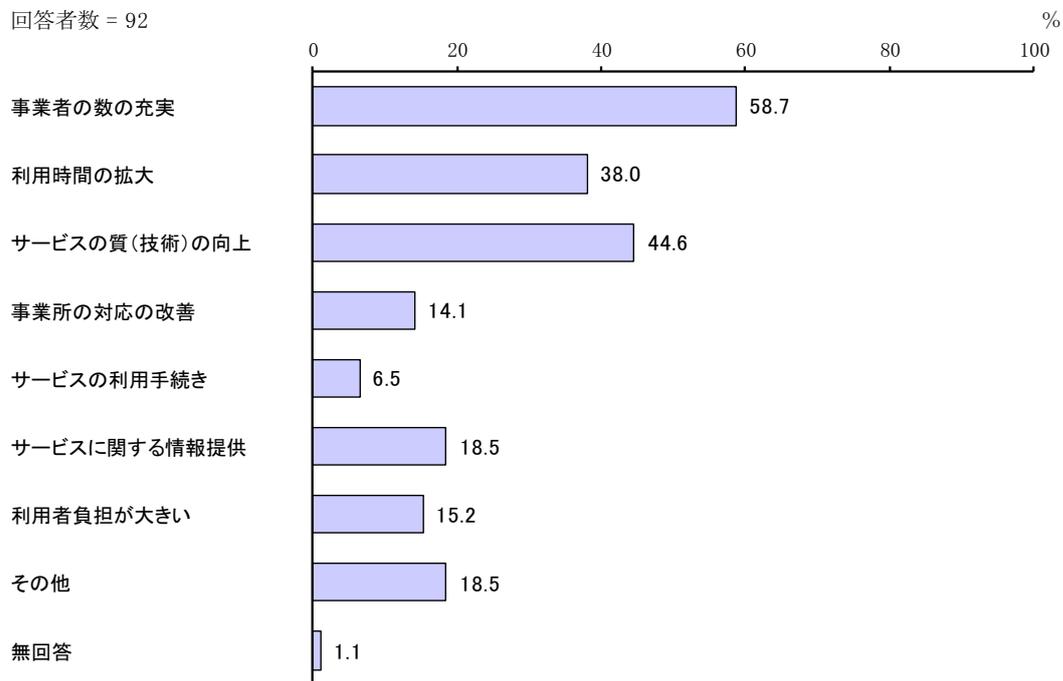
「事業者の数の充実」の割合が64.3%と最も高く、次いで「サービスに関する情報提供」の割合が35.7%、「利用時間の拡大」、「サービスの質(技術)の向上」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 14



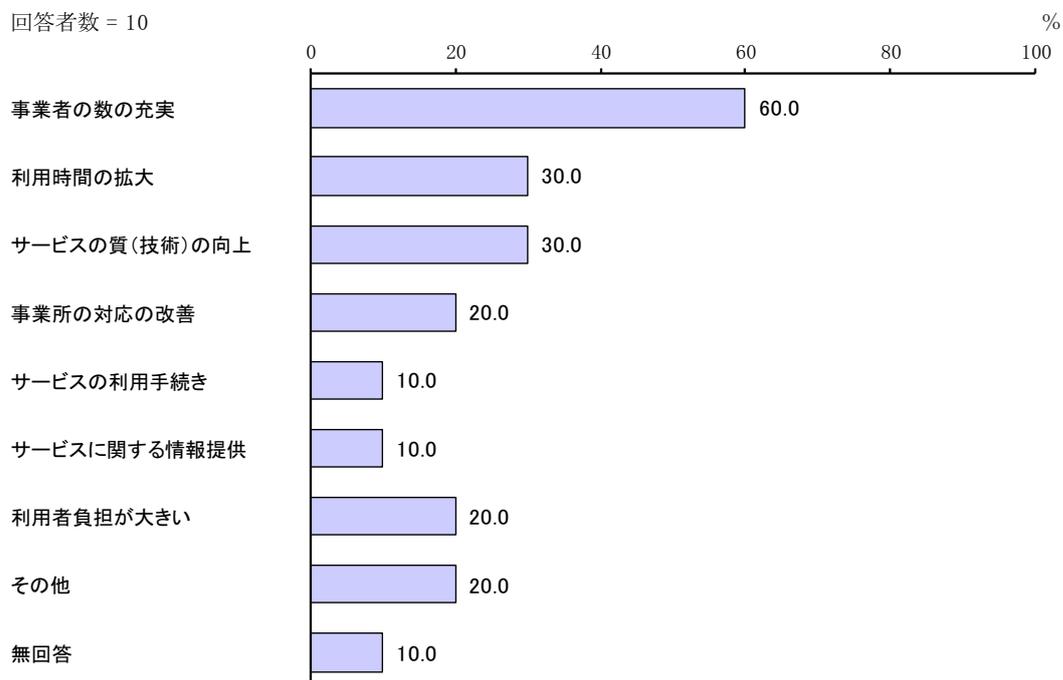
### 3 放課後等デイサービス

「事業者の数の充実」の割合が58.7%と最も高く、次いで「サービスの質（技術）の向上」の割合が44.6%、「利用時間の拡大」の割合が38.0%となっています。



#### 4 保育所等訪問支援

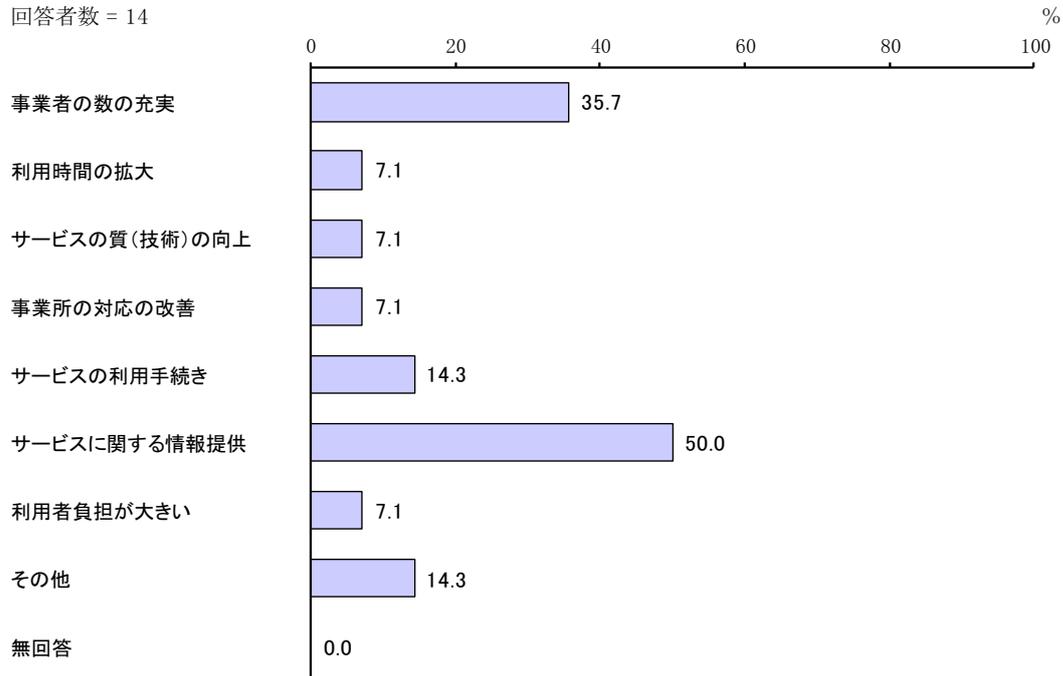
「事業者の数の充実」の割合が60.0%と最も高く、次いで「利用時間の拡大」、「サービスの質（技術）の向上」の割合が30.0%となっています。



## 5 障害児相談支援

「サービスに関する情報提供」の割合が50.0%と最も高く、次いで「事業者の数の充実」の割合が35.7%、「サービスの利用手続き」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 14



## 6 居宅訪問型児童発達支援

有効回答がありませんでした。

## 7 福祉型児童入所施設

有効回答がありませんでした。

## 8 医療型児童入所施設

有効回答がありませんでした。